

茅ヶ崎市

第8期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・ 介護保険事業計画に関する調査 報告書

令和2年3月
茅ヶ崎市

はじめに

長い間日本の経済をけん引されてきた団塊の世代の方々が全て65歳以上の高齢者となり、本市の高齢者人口は6万人を超えております。

令和2年3月1日現在の住民基本台帳に基づく人口により算出した高齢化率は、26.4%に達しており、また平成27年国勢調査に基づく人口推計により試算した高齢化率は、令和7年には27.6%に、令和12年には29.3%に上昇するものと見込んでおり、高齢者を取り巻く状況の変化に対して、適切な対応が求められております。

今回の調査は、高齢者等の方々の健康や生活の状況、介護保険サービスの利用意向や要望などについての的確に把握し、令和3年度に策定する第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基礎資料とするために実施いたしました。本調査の結果を活用し、団塊の世代が全て75歳以上の後期高齢者となる令和7年を念頭においた計画を策定してまいります。

最後になりましたが、本調査を実施するにあたり、ご協力をいただきました8,000人の市民の皆様、調査票案の作成等についてご審議いただきました茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会の委員の皆様及び関係各位に厚く御礼申し上げます。

令和2年3月

茅ヶ崎市長 佐藤 光

〔 目 次 〕

第 1 章 調査実施の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査実施方法及び回収状況	3
(1) 一般高齢者個別調査	3
(2) 要介護・要支援認定者個別調査（在宅）	3
(3) 要介護・要支援認定者個別調査（施設）	4
(4) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	4
3 報告書の見方	4
第 2 章 一般高齢者個別調査	9
1 記入者等について	9
(1) 要介護・要支援認定の有無	9
(2) 調査回答者	9
(2-1) 本人に代わって記入した理由	9
2 回答者（調査対象者）について	10
(1) 性別	10
(2) 年齢	10
(3) 家族構成	10
(3-1) 30 分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無	11
(4) 居住地区	11
3 健康状態について	12
(1) 健康状態	12
(2) 健康状態を保つために実践していること	14
(3) 健康診断の受診の有無	14
(3-1) 健康診断を受けていない理由	15
(4) 歯の健康診断の受診の有無	15
(5) 認知機能の状況	16
4 運動について	17
(1) 運動の習慣	17
(1-1) 運動の頻度	18
(1-2) 運動の継続期間	18
(1-3) 運動の種類	19
5 食生活や口腔について	20
(1) 食事で気をつけていること	20
(2) 食事を抜く頻度	20
(3) 口腔機能や食事について	21

6	介護予防事業について	22
(1)	参加している介護予防事業	22
(2)	今後、参加したい(参加し続けたい)介護予防事業	23
(2-1)	参加したい事業はない理由	24
(3)	ちがさき体操の認知度	24
(4-1)	ちがさき体操の実施状況	25
7	日常生活について	26
(1)	高齢者のための優待サービス事業の認知度	26
(1-1)	利用した店舗の種類	26
(2)	日常生活動作	27
(3)	外出頻度	28
(3-1)	あまり外出しない理由	29
(3-2)	外出しない日に過ごすことが多い人	30
(4)	現在のくらしで不安に思っていること	30
(5)	安全で安心なまちづくりで必要だと思うこと	31
(6)	悩みや心配ごとを相談できる人や場所の有無	31
(6-1)	相談相手や場所がない理由	32
(7)	振り込め詐欺の犯人から電話を受けた経験	32
(8)	振り込め詐欺の対策で行っていること	33
(9)	振り込め詐欺対策認知経路	33
(10)	運転免許返納意思の有無	34
(10-1)	返納意思がない理由	34
(11)	自分らしい最期を迎えるための準備	35
(11-1)	自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備	35
(12)	自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向	36
(13)	かかりつけの医療機関の有無	36
8	社会参加について	37
(1)	社会参加の状況	37
(2)	社会参加の今後の意向	38
(3-1)	社会参加の活動をしやすく(続けやすく)なる条件	38
(3-2)	活動したいとは思わない(できない)理由	39
(3-3)	就労するうえで重視すること	40
(3-4)	就労(したい)日数	41
(4)	興味を持っていること	42
9	今後の「支え合い」のあり方について	43
(1)	地域のボランティア活動への参加意向	43
(1-1)	ボランティア等で支える側として参加したい(している)活動	45
(2)	ボランティア等へ支えられる側としてお願いしたい内容	45
(3)	成年後見制度の認知度	46
(4)	成年後見制度の利用・相談窓口の認知度	46
(4-1)	知っている相談窓口	47
(5)	防災無線による行方不明の高齢者等の市民への呼びかけについての考え	47

10	住まいについて	48
	(1) 住まいの種類	48
	(1-1) 今後の住宅の利用予定	48
11	防災について	49
	(1) 大きな災害に備えた対策	49
	(2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無	49
	(2-1) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人	51
	(2-2) 避難行動要支援者支援制度の認知度	51
12	介護保険について	52
	(1) 在宅ケア相談窓口の認知	52
	(2) 介護保険料の所得段階区分	52
	(3) 介護保険料の納付額について	53
	(4) 地域を担当している地域包括支援センターの認知度	53
	(4-1) 地域包括支援センターの利用状況	55
	(5) 生活の情報源	55
	(6) 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源	56
	(7) 家族介護の状況	56
	(8) 介護が必要となったときの介護予定者の有無	57
	(8-1) 主な介護予定者	57
	(8-2) 主な介護予定者の年齢	58
	(8-3) 主な介護予定者の同居の有無	58
	(9) 介護が必要となったときに希望する介護	59
	(9-1) 自宅等の介護対応度	59
13	自由回答	60
	(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見	60

第3章 要介護・要支援認定者個別調査（在宅） 63

1	記入者等について	63
	(1) 資格喪失や施設入所の有無	63
	(2) 調査回答者	63
	(2-1) 本人に代わって記入した理由	63
2	回答者（調査対象者）について	64
	(1) 性別	64
	(2) 年齢	64
	(3) 家族構成	64
	(3-1) 30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無	65
	(4) 居住地区	65
3	日常生活について	66
	(1) 高齢者のための優待サービス事業の認知度	66
	(1-1) 利用したことのある店舗の種類	66
	(2) 外出頻度	67

(2-1) 外出しない日に過ごすことが多い人	68
(3) 日常生活の中で不自由を感じる事	69
(4) かかりつけの医療機関の有無	70
(5) 在宅医療サービスの利用状況	70
(6) 悩みや心配ごとを相談できる人の有無	71
(6-1) 悩みや心配ごとの相談先	71
(6-2) 相談できる人がいない理由	72
(7) 民間事業者によるサービスの利用状況	72
(7-1) 利用している民間事業者によるサービス	73
(8) 振り込め詐欺の犯人から電話を受けた経験	73
(9) 振り込め詐欺の対策で行っていること	74
(10) 振り込め詐欺対策認知経路	74
(11) 運転免許返納意思の有無	75
(11-1) 返納意思がない理由	75
(12) 自分らしい最期を迎えるための準備	76
(12-1) 自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備	76
(13) 自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向	77
4 住まいについて	78
(1) 住まいの種類	78
(1-1) 今後の住宅（持ち家）の利用予定	78
5 防災について	79
(1) 大きな災害に備えた対策	79
(2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無	79
(2-1) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人	81
(2-2) 避難行動要支援者支援制度の認知度	81
(3) 地域への情報提供の賛否	82
(3-1) 情報提供に同意していない理由	82
6 介護者について	83
(1) 主な介護者	83
(2) 主な介護者の年齢	83
(3) 主な介護者の同居の有無	84
(4) 主な介護者の介護期間	84
(5) 主な介護者が行っている介護等の内容	85
(6) 主な介護者の1日あたりの介護時間	85
(7) 主な介護者を取り巻く状況	86
(8) 家族や親族の中で介護のために仕事を辞めた人の有無	86
(9) 主な介護者の勤務形態	87
(9-1) 主な介護者の勤務形態の調整等	87
(9-2) 仕事と介護を両立するために効果的だと思う支援等	88
(9-3) 働きながら介護を続けることの今後の見込み	89
(10) 主な介護者が不安に感じている介護等	90
(11) 主な介護者の相談先	92

7	介護保険について	93
(1)	在宅ケア相談窓口の認知	93
(2)	要介護認定を申請した理由	93
(3)	要介護度	94
(4)	市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源	95
(5)	介護保険サービスの利用状況	95
(5-1)	利用している介護保険サービスの種類	96
(5-1-1)	福祉具購入や住宅改修の効果	97
(5-1-2)	福祉具購入や住宅改修の内容の適切さ	97
(5-2)	介護保険サービスを利用していない理由	98
(6)	施設等への入所・入居の検討状況	98
(6-1)	入所希望時期	99
(6-2)	入所・入居の申し込みをしている（申し込みをしたい）施設等	99
(7)	介護保険サービスを利用したことによる変化	100
(8)	介護保険サービス提供事業者の満足度	100
(8-1)	介護保険サービス提供事業者に不満を感じた理由	101
(9)	今後利用したい介護保険サービス	101
(10)	介護保険料の所得段階区分	102
(11)	介護保険料の納付額について	102
(12)	今後介護を受けたい場所	103
(13)	受けている介護保険サービスと医療機関の連携状況	103
8	今後の「支え合い」のあり方について	104
(1)	介護保険サービス以外の地域の支え合いによる支援	104
(1-1)	受けている地域の支え合いによる支援の内容	105
(1-2)	地域の支え合いによる支援の提供者	105
(2)	地域の支え合いによる支援で希望するサービス	106
9	自由回答	107
(1)	高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見	107

第4章 要介護・要支援認定者個別調査（施設） 111

1	回答者（調査対象者）について	111
(1)	性別	111
(2)	年齢	111
2	日常生活について	112
(1)	相談者の有無	112
(1-1)	悩みや心配ごとの相談先	112
(2)	有料老人ホーム・グループホーム入居者の在宅医療サービス利用状況	113
3	介護保険について	114
(1)	要介護認定を申請した理由	114
(2)	要介護度	114
(3)	施設入所の決定者	114

(4) 施設入所の理由	115
(5) 施設サービスの満足度	116
(5-1) 施設サービスに不満を感じている内容	117
(6) 部屋の定員数	118
(6-1) 個室への移動希望の有無	118
(6-1-1) 個室への移動を希望しない理由	118
(7) 介護保険料の所得段階区分	119
(8) 介護保険料の納付額について	120
(9) 今後の生活の場についての考え	120
(9-1) 生活の場を移したい施設の種類の種類	121
(9-2) 在宅生活をする場合に必要となる介護保険サービス	121
(9-3) 在宅生活する場合にあれば良いと思う地域のサービス	122
4 自由回答	123
(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見	123

第5章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 127

1 対象者について	127
(1) 性別	127
(2) 年齢	127
(3) 介護度	127
2 家族や生活状況について	128
(1) 家族構成	128
(2) 介護・介助の必要性の有無	128
(3) 現在の経済状況	129
3 からだを動かすことについて	130
(1) 手すりや壁をつたわず階段を昇る	130
(2) 何もつかまらず椅子から立ち上がる	130
(3) 15分位続けて歩く	130
(4) 過去1年間に転んだ経験	131
(5) 転倒に対する不安	131
(6) 外出頻度	132
(7) 昨年と比べた外出回数	132
(8) 外出の控え	132
(8-1) 外出を抑えている理由	133
(9) 外出の際の移動手段	133
4 食べることにについて	134
(1) 身長・体重	134
(2) 固いものの食べにくさ	135
(3) お茶や汁物でむせること	135
(4) 口の渇き	135
(5) 歯の本数と入れ歯の利用	136

(6) 6 か月間の体重減少	136
(7) 人と食事を共にする頻度	136
5 毎日の生活について	137
(1) 物忘れ	137
(2) 乗り物を使った1人の外出	137
(3) 自分で食品・日用品の買い物	137
(4) 自分で食事の用意	138
(5) 自分で請求書の支払い	138
(6) 自分で預貯金の出し入れ	138
6 地域での活動について	140
(1) 地域活動参加頻度	140
(2) グループ活動参加意向	141
(3) グループ活動参画意向	141
7 たすけあいについて	142
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	142
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	143
(3) 病気で寝込んだら看病や世話をしてくれる人	143
(4) 病気で寝込んだら看病や世話をしてくれる人	144
(5) 友人・知人と会う頻度	144
(6) 1 か月間に会った友人・知人の人数	145
(7) よく会う友人・知人	145
8 健康について	146
(1) 現在の健康状態	146
(2) 現在の幸福度	146
(3) 1 か月間抑うつ経験	147
(4) 1 か月間意欲減退経験	147
(5) 喫煙状況	147
(6) 罹患状況	148
9 認知症にかかる相談窓口の把握について	149
(1) 認知症の有無	149
(2) 認知症相談窓口の認知	149
資料編	153
1 一般高齢者個別調査 調査票	153
2 要介護・要支援認定者個別調査（在宅） 調査票	163
3 要介護・要支援認定者個別調査（施設） 調査票	172
4 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査票	176

第 1 章 調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

令和3～5年度を計画期間とする第8期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定するに当たって、高齢者とその家族の意見や要望等を把握するために実施しました。

2 調査実施方法及び回収状況

(1) 一般高齢者個別調査

調査対象	令和元年10月時点で満65歳以上の市民の方（要介護・要支援認定者を除く）
対象数	2,250人
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	令和元年11月1日～11月21日 ※集計の対象には、令和元年12月31日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 2,250件 回収数 : 1,568件 (69.7%) うち、調査実施時点で要介護・要支援認定を「受けている」との回答が4件ありました。 有効回答数 : 1,564人 (69.5%)

(2) 要介護・要支援認定者個別調査（在宅）

調査対象	令和元年10月時点で、要介護・要支援の認定を受け、在宅で生活している方
対象数	2,875人
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	令和元年11月1日～11月21日 ※集計の対象には、令和元年12月31日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 2,875件 回収数 : 1,688件 (58.7%) うち、白票等が10件、調査実施時点で「要介護・要支援認定を受けていない、または市外転出などにより資格を喪失している」との回答が31件、「要介護・要支援認定を受けていて、施設に入所している」との回答が135件ありました。 有効回答数 : 1,512人 (52.6%)

(3) 要介護・要支援認定者個別調査（施設）

調査対象	令和元年10月時点で、要介護・要支援の認定を受け、施設サービス等を利用している方
対象数	500人
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	令和元年11月1日～11月21日 ※集計の対象には、令和元年12月31日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 500件 回収数 : 248件 (49.6%) うち、白票等が3件、調査実施時点で「既に退所している」との回答が6件ありました。 有効回答数 : 242人 (48.4%)

(4) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、地域の高齢者の実情を把握することを目的として実施しました。調査内容は、“からだを動かすこと”、“食べること”、“毎日の生活”、“地域での活動”、“たすけあい”、“健康”などに関する項目を調査しました。

調査対象	令和元年10月時点で満65歳以上の方
対象数	2,375人
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	令和元年11月8日～11月28日 ※集計の対象には、令和元年12月31日到着分までを含めています。
回収状況	対象数 : 2,375件 回収数 : 1,885件 (79.4%) うち、白票等が4件ありました。 有効回答数 : 1,881人 (79.2%)

3 報告書の見方

- ①図表中の「n」（number of caseの略）は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- ②調査結果の割合は、その設問の回答者数(n)を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し算出しています。そのため、端数処理の関係で合計が100.0%にならない場合があります。
- ③複数回答の設問の場合、回答割合の合計は100.0%を超える場合があります。
- ④本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- ⑤クロス集計結果の図表や分析では、次のような留意点があります。
 - ・分析の軸（＝表側）とした調査回答者の属性や設問の無回答は表示していません。そのため、各調査回答者の属性のnの合計が、全体と一致しない場合があります。
 - ・分析の軸（＝表側）でnが少ないもの（25人未満を目安）は、誤差が大きくなるため、参考として図示していますが、分析の対象からは除いています。

⑥平成28年度調査との比較を行っている設問は、比率の差を中心に％ではなく、ポイントで小数点以下第2位を四捨五入し記述しています。

⑦統計数値を記述するにあたり、割での表記を用いている場合があります。その際の目安は、おおむね以下のとおりとしています。また、状況に応じて、〇割台、〇割以上、〇割前後などとまとめている場合もあります。

例	表現
19.5～20.4% (20.0%)	約2割 (2割)
20.5～23.4%	2割を超える
23.5～26.4%	2割台半ば
26.5～29.4%	3割近く

第 2 章 一般高齡者個別調査

第2章 一般高齢者個別調査

1 記入者等について

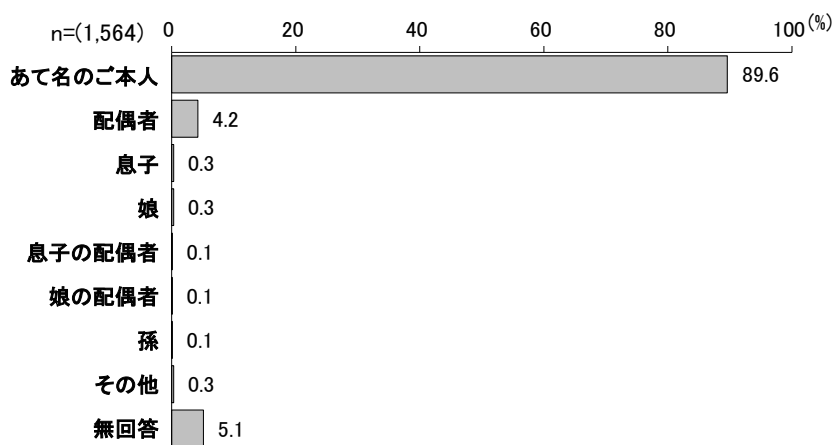
(1) 要介護・要支援認定の有無

回収された調査票1,568件のうち、調査実施時点で要介護・要支援認定を「受けている」との回答が4件ありました。そのため、本調査の有効回答数は1,564件です。

(2) 調査回答者

この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。(ひとつだけに○)

調査回答者は、「あて名のご本人」が89.6%で最も高く、「配偶者」が4.2%となっています。

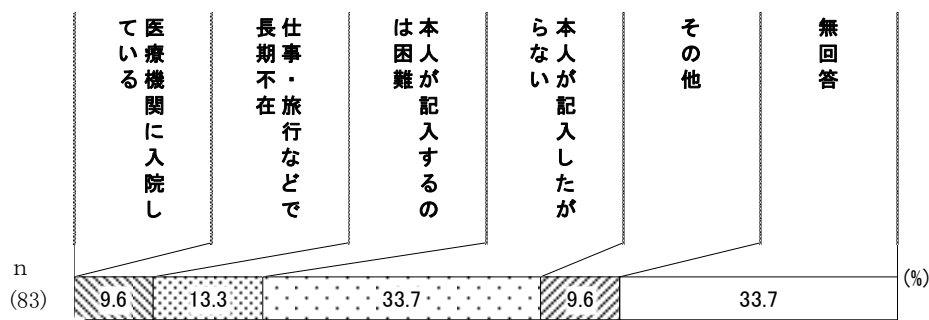


(2-1) 本人に代わって記入した理由

【あて名のご本人以外が記入している場合お答えください。】

◇ご本人に代わって記入した理由をお聞かせください。(ひとつだけに○)

本人以外が記入していると回答した方に、代わって記入した理由をたずねたところ、「本人が記入したがない」が33.7%で最も高く、次いで「本人が記入するのは困難」が13.3%となっています。

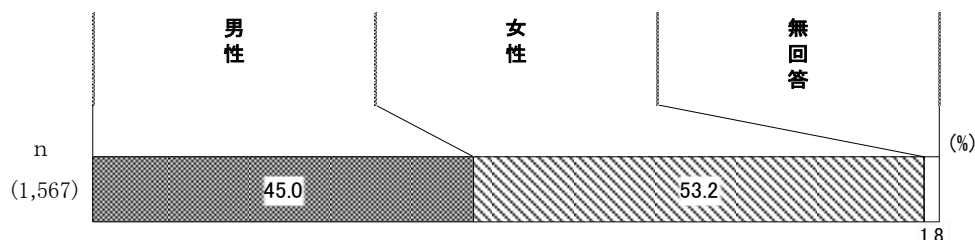


2 回答者（調査対象者）について

（１）性別

問１ あなたの性別をおたずねします。（ひとつだけに○）

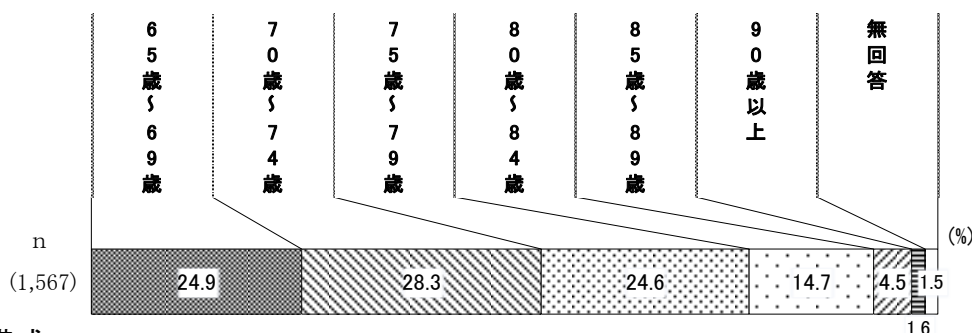
調査対象者の性別は、「男性」が45.0%、「女性」が53.2%となっています。



（２）年齢

問２ あなたの年齢はおいくつですか。（令和元年10月1日現在の満年齢（ひとつだけに○））

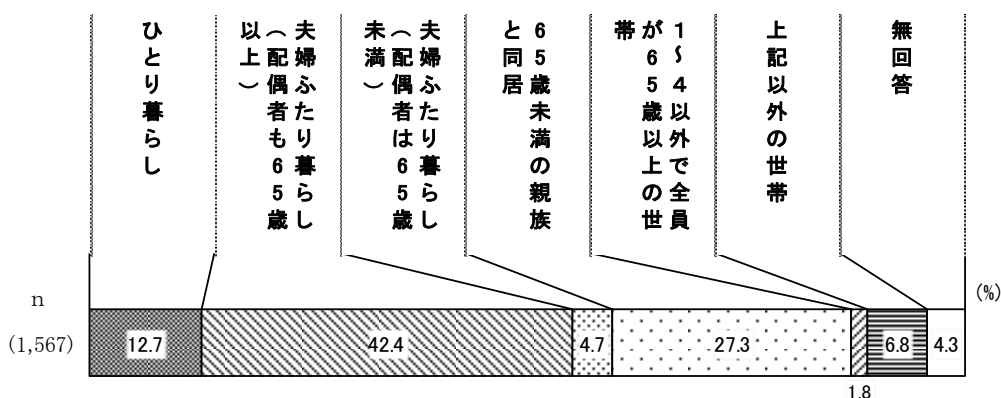
調査対象者の年齢は、「70歳～74歳」が28.3%で最も高く、次いで「65歳～69歳」が24.9%となっています。これらを合わせた《前期高齢者》は53.2%となっています。一方、「75歳～79歳」（24.6%）、「80歳～84歳」（14.7%）、「85歳～89歳」（4.5%）、「90歳以上」（1.6%）を合わせた《後期高齢者》は45.4%です。



（３）家族構成

問３ あなたの家族構成をご記入ください。二世帯住宅の場合は同居と扱います。
（ひとつだけに○）

調査対象者の家族構成は、「夫婦ふたり暮らし（配偶者も65歳以上）」が42.4%で最も高く、次いで「65歳未満の親族と同居」が4.7%となっています。また、「ひとり暮らし」は12.7%です。

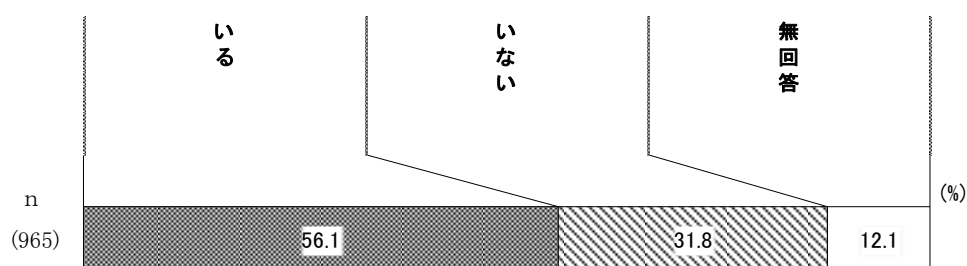


(3-1) 30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無

【問3で「1.」～「3.」か「5.」に○をつけた方におたずねします。】

問3-1 あなたのお子さんやご親族で30分以内に駆けつけられる方はいらっしゃいますか。(ひとつだけに○)

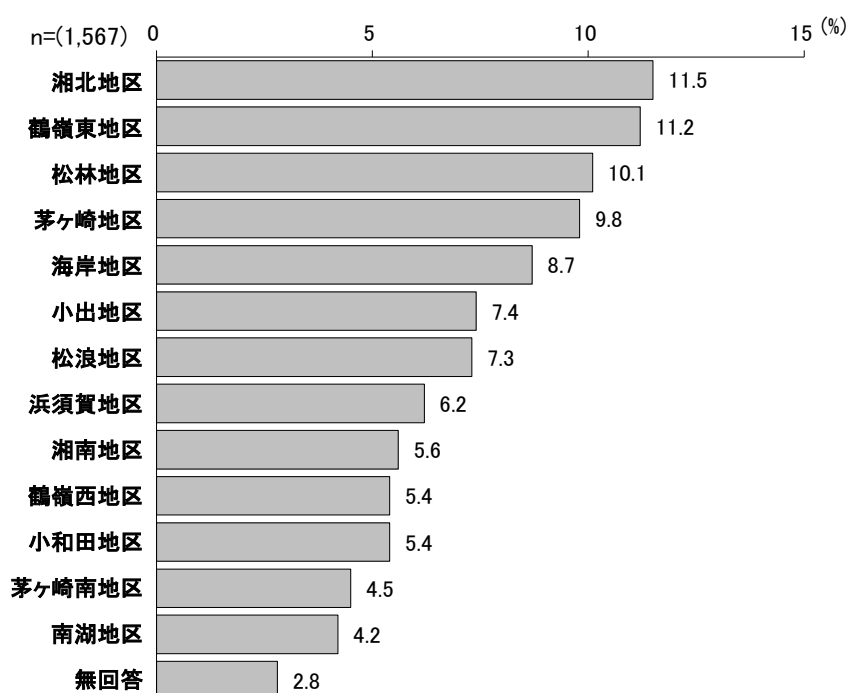
「ひとり暮らし」、「夫婦ふたり暮らし（配偶者も65歳以上）」、「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳未満）」、「(同居者の) 全員が65歳以上の世帯」と回答した方に、30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無をたずねたところ、「いる」が56.1%で、「いない」が31.8%となっています。



(4) 居住地区

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(下記の地区から、ひとつだけに○)
※あなたの地区は、封筒の宛名ラベルの右下に記載されています。

調査対象者の居住地区は、「湘北地区」(11.5%)、「鶴嶺東地区」(11.2%)、「松林地区」(10.1%)が1割を超え、以下、「茅ヶ崎地区」が9.8%、「海岸地区」が8.7%などとなっています。



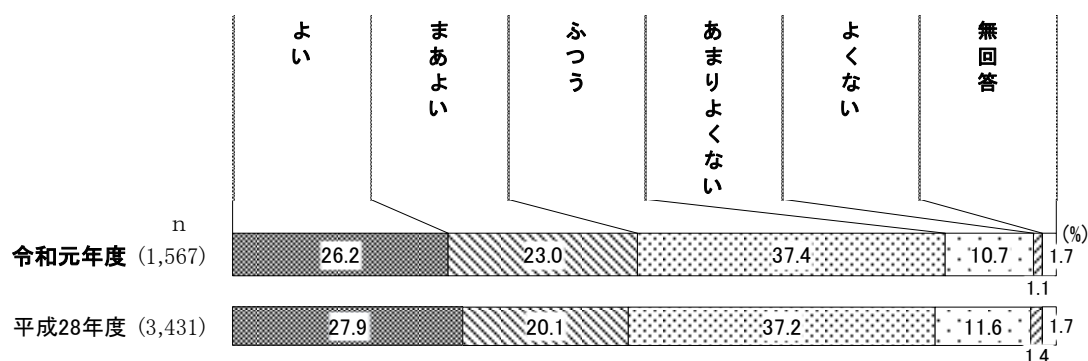
3 健康状態について

(1) 健康状態

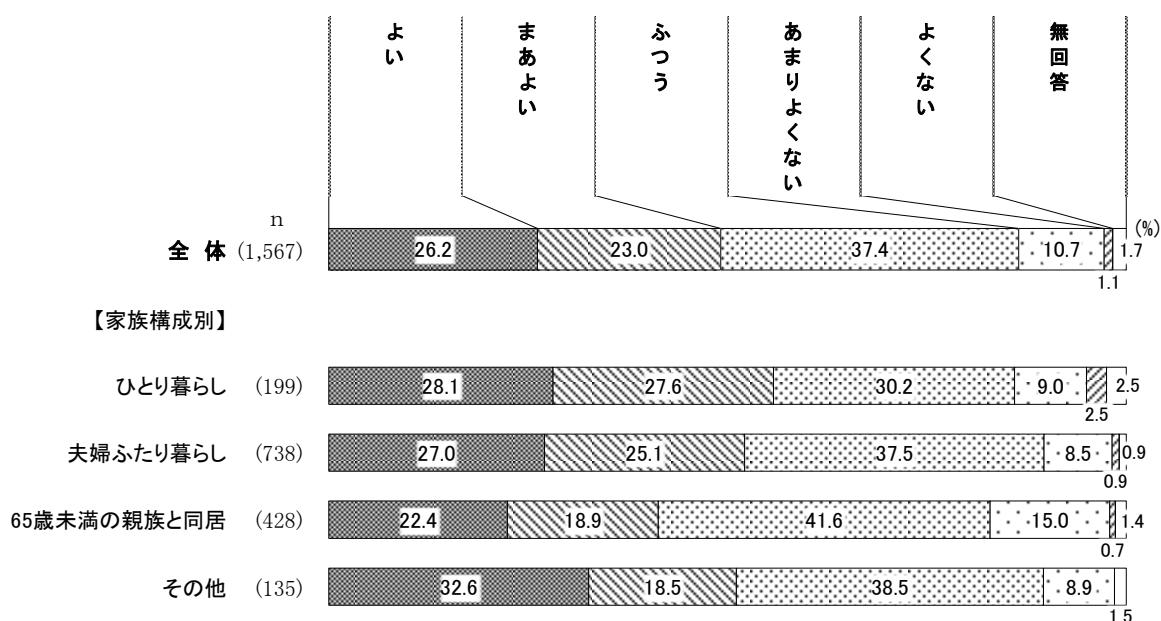
問5 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(ひとつだけに○)

健康状態は、「よい」が26.2%、「まあよい」が23.0%で、これらを合わせた《よい》は49.2%となっています。「ふつう」が37.4%で最も高くなっており、「あまりよくない」(10.7%)と「よくない」(1.1%)を合わせた《よくない》は11.8%です。

平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。

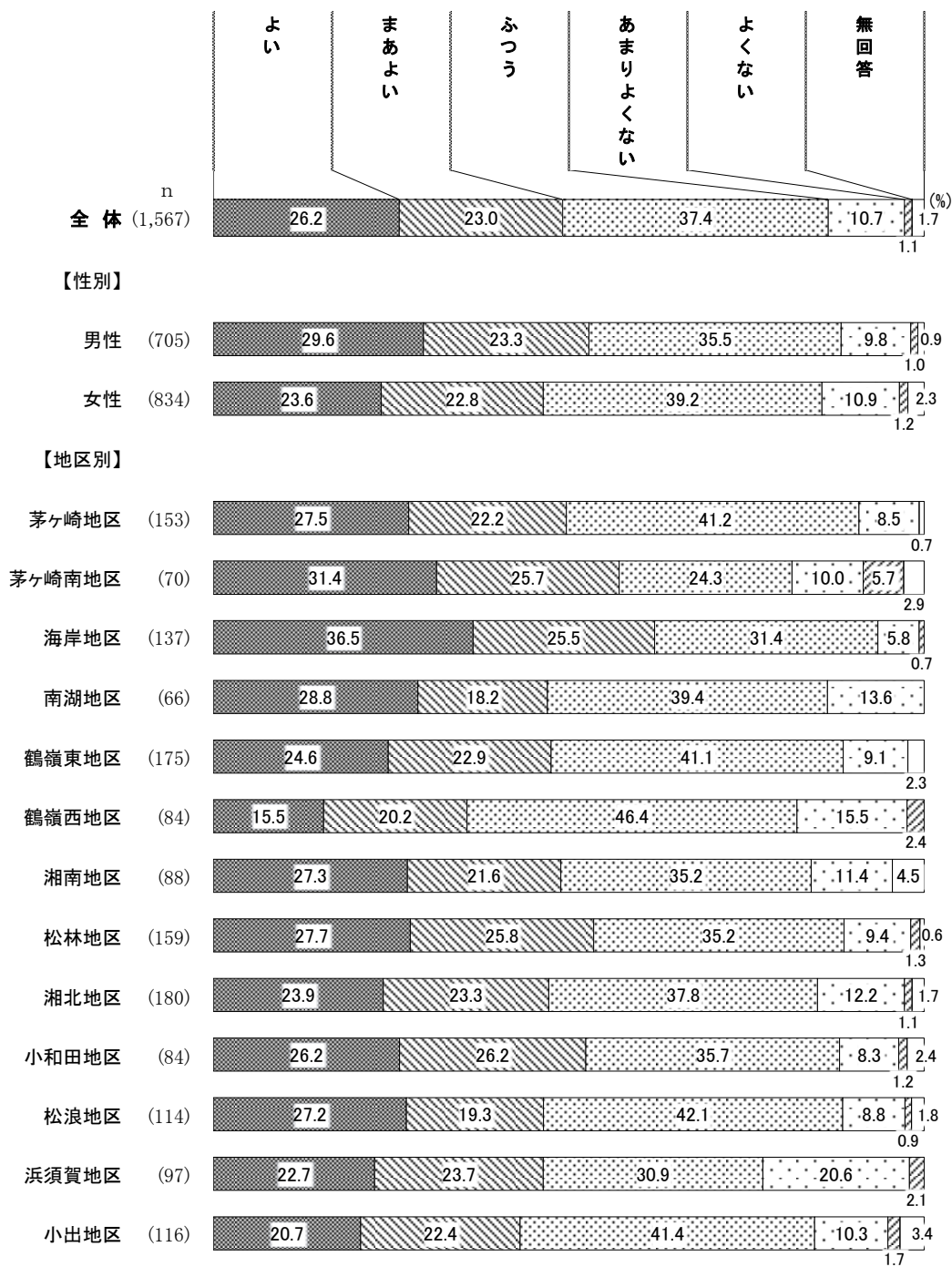


家族構成別でみると、《よい》はひとり暮らしで5割台半ばと高くなっています。



性別でみると、《よい》は男性の方が女性より 6.5 ポイント高くなっています。

地区別でみると、《よい》は海岸地区で6割超えと高くなっています。一方、「小出地区」は4割超え、「鶴嶺西地区」は3割台半ばにとどまっています。

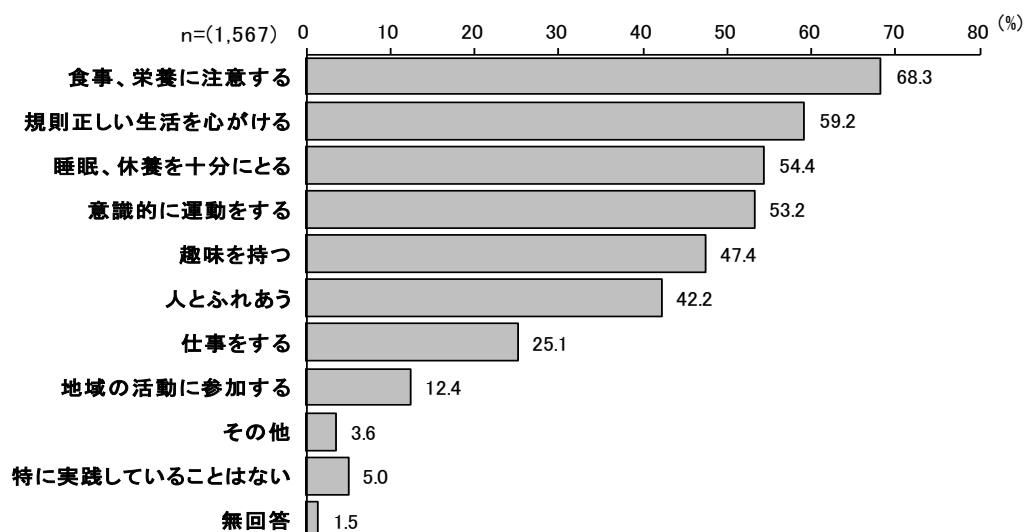


(2) 健康状態を保つために実践していること

問6 健康状態を保つために実践していることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

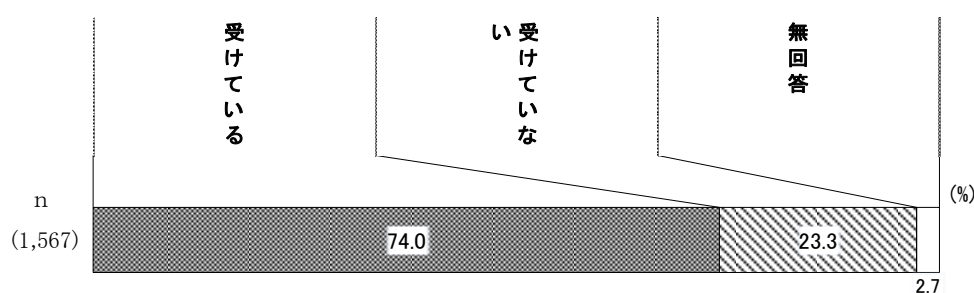
健康状態を保つために実践していることとしては、「食事、栄養に注意する」が68.3%で最も高くなっています。次いで「規則正しい生活を心がける」が59.2%、「睡眠、休養を十分にとる」が54.4%、「意識的に運動をする」が53.2%などとなっています。一方、「特に実践していることはない」は5.0%です。



(3) 健康診断の受診の有無

問7 あなたは、1年に1回以上、健康診断を受けていますか。

健康診断を「受けている」が74.0%で高く、「受けていない」が23.3%となっています。

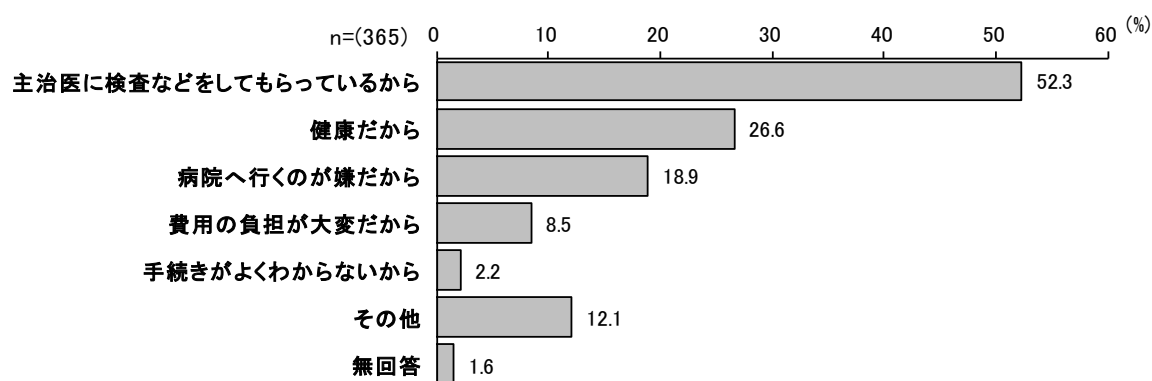


(3-1) 健康診断を受けていない理由

【問7で「2. 受けていない」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 健康診断を受けていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

健康診断を「受けていない」と回答した方に、その理由をたずねたところ、「主治医に検査などをしてもらっているから」が52.3%で最も高く、次いで「健康だから」が26.6%、「病院へ行くのが嫌だから」が18.9%などとなっています。

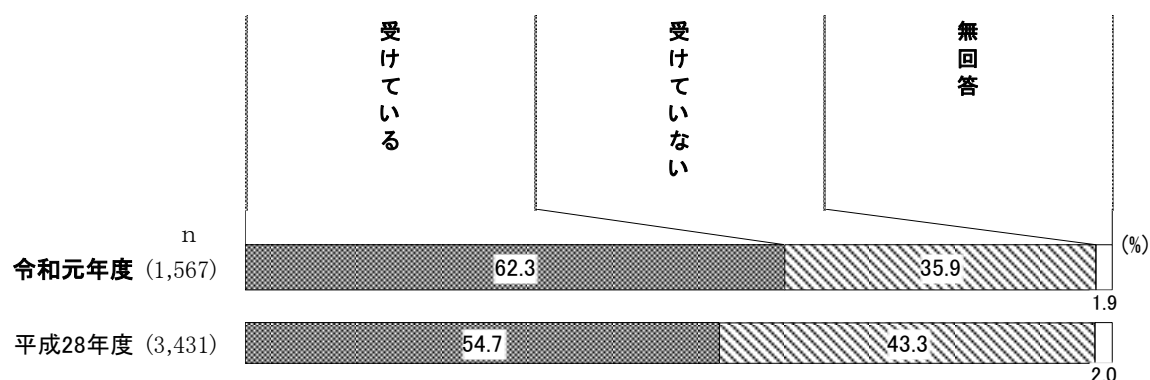


(4) 歯の健康診断の受診の有無

問8 あなたは、1年に1回以上、歯の健康診断を受けていますか。

歯の健康診断を「受けている」が62.3%と6割を超え、「受けていない」が35.9%となっています。

平成28年度と比較すると、「受けている」が7.6ポイント増加しています。

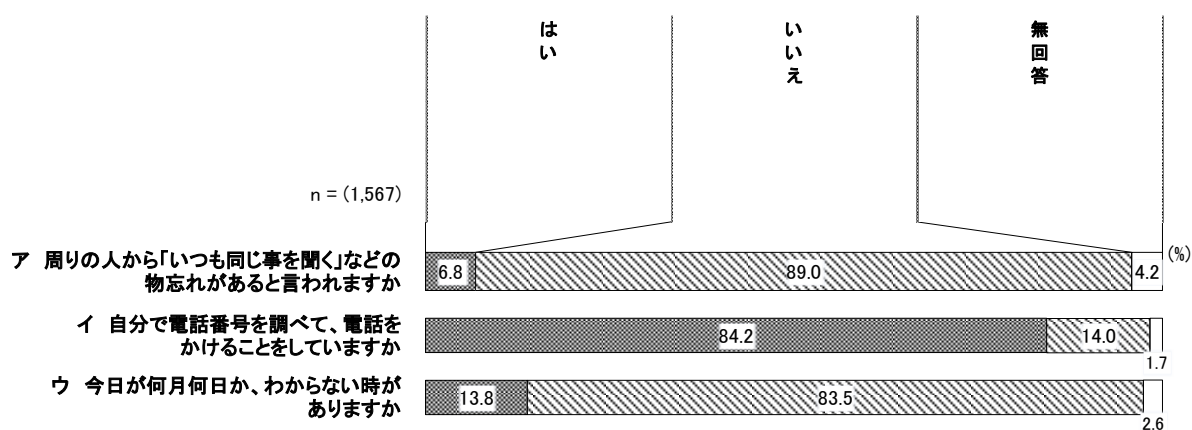


(5) 認知機能の状況

問9 あなたは、下記のようなことがどのくらいあてはまりますか。(ひとつずつ○)

認知機能に関する3つの質問をしたところ、“ア 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか”が「はい」は6.8%、“イ 自分で電話番号を調べて、電話をかけていますか”が「いいえ」は14.0%、“ウ 今日が何月何日かわからない時がありますか”が「はい」は13.8%となっています。

認知機能のリスクがあるとされているのは、“ア”と“ウ”が「はい」、「イ」が「いいえ」の場合です。



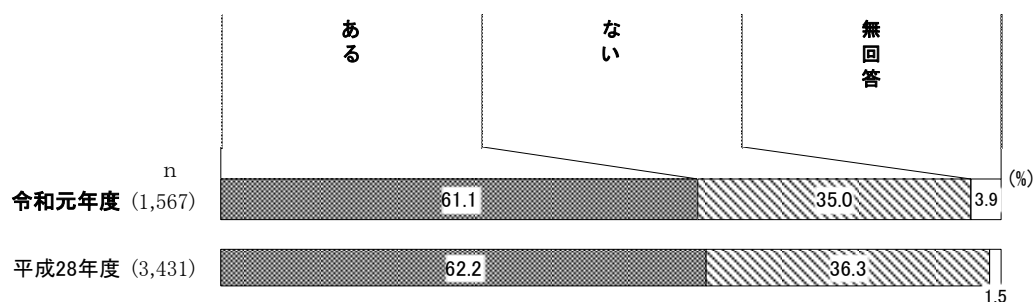
4 運動について

(1) 運動の習慣

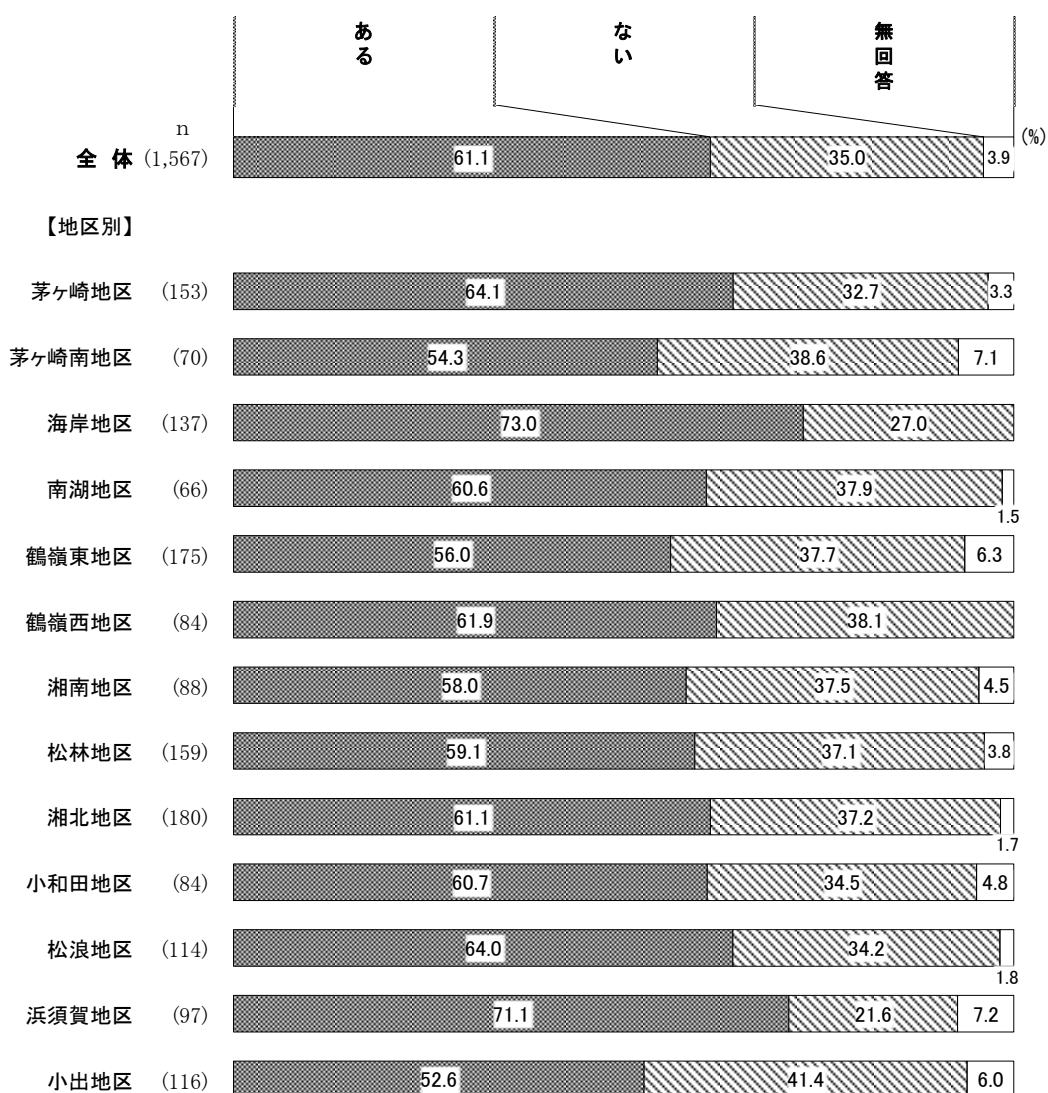
問10 あなたには、運動の習慣がありますか。(ひとつだけに○)

運動の習慣が「ある」は61.1%で、「ない」が35.0%となっています。

平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。



地区別にみると、「ある」は海岸地区と浜須賀地区で7割を超えます。一方、小出地区は5割超えにとどまります。

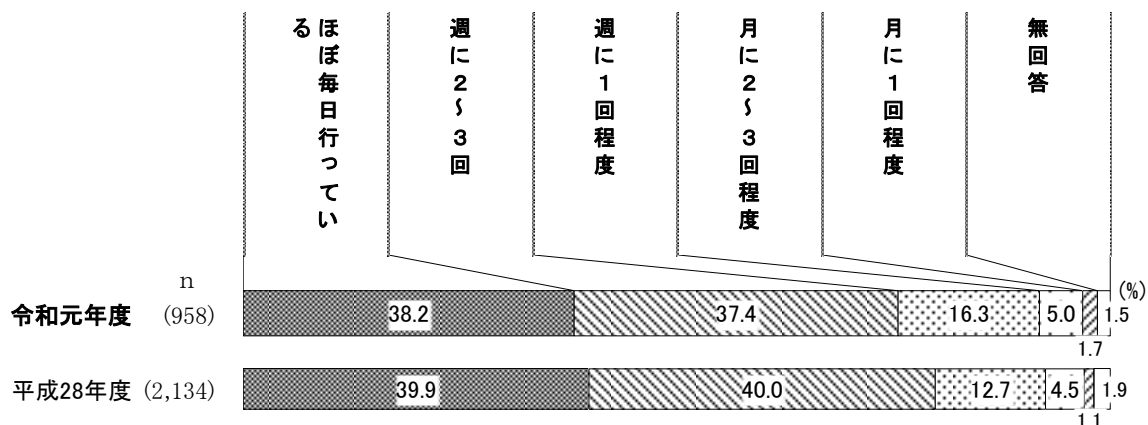


(1-1) 運動の頻度

【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問10-1 運動の頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

運動の習慣が「ある」と回答した方に、運動の頻度をたずねたところ、「ほぼ毎日行っている」の38.2%と「週に2～3回」の37.4%が高く、これらを合わせた《週に2回以上》は75.6%となります。平成28年度と比較すると、《週に2回以上》は減少傾向にあります。



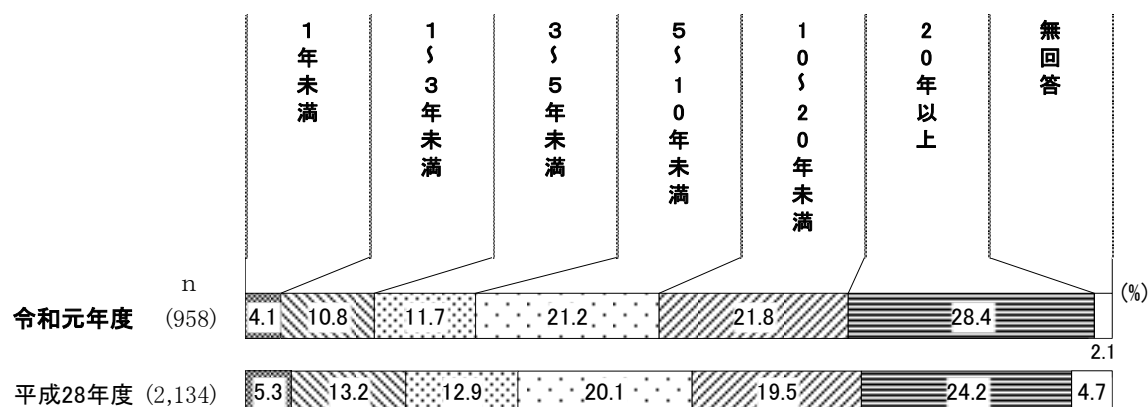
(1-2) 運動の継続期間

【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問10-2 どのくらいの期間続けていますか。(ひとつだけに○)

運動の習慣が「ある」と回答した方に、運動の継続期間をたずねたところ、「20年以上」が28.4%で最も高く、年数が短くなるほど割合が低くなっています。

平成28年度と比較すると、10年以上の割合が6.5ポイント増加しています。



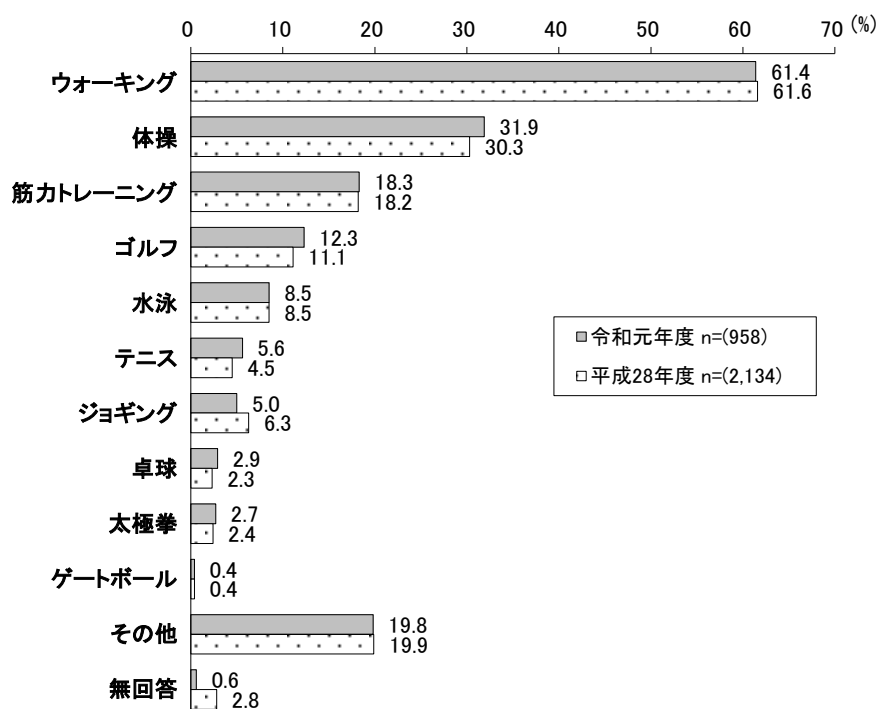
(1-3) 運動の種類

【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問10-3 どのような運動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

運動の習慣が「ある」と回答した方に、どのような運動を行っているかたずねたところ、「ウォーキング」が61.4%で最も高く、次いで「体操」が31.9%、「筋力トレーニング」が18.3%などとなっています。

平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。

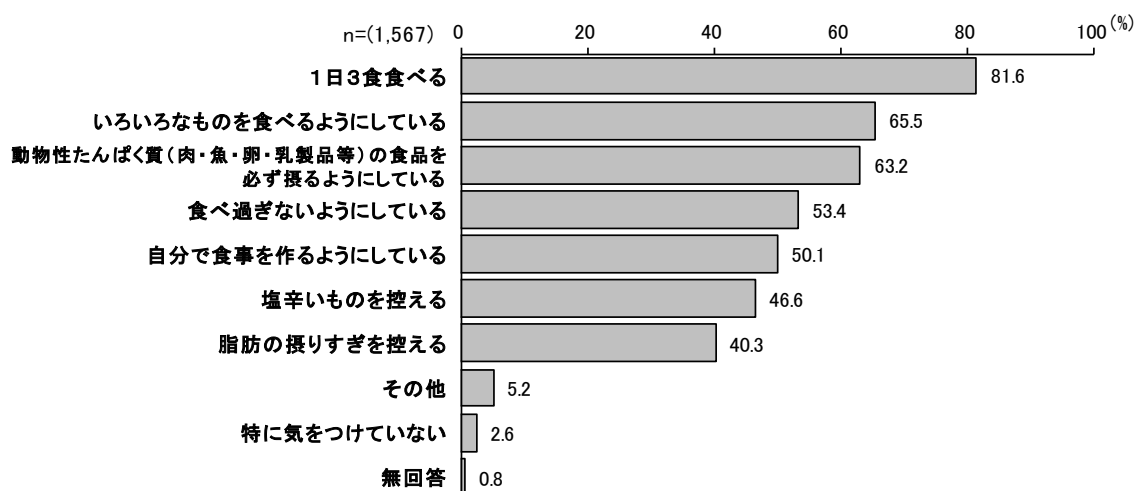


5 食生活や口腔について

(1) 食事で気をつけていること

問11 あなたは、どのようなことに気をつけて食事をしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

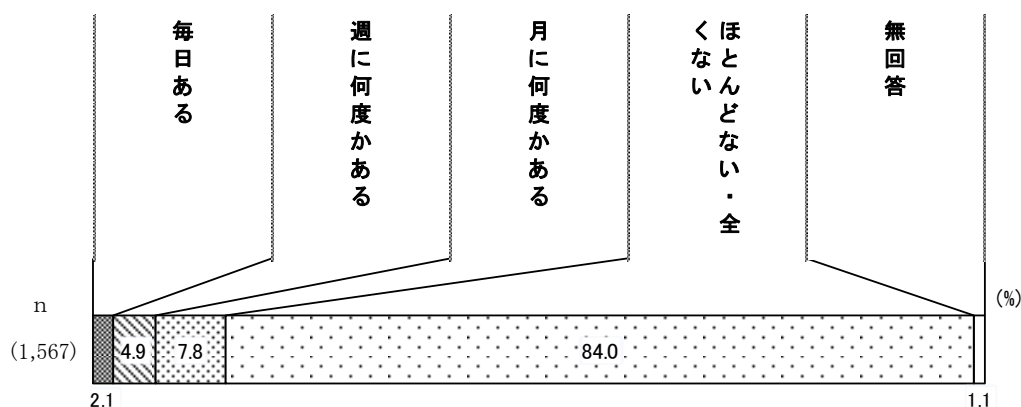
食事で気をつけていることとしては、「1日3食食べる」が81.6%と8割を超え、次いで「いろいろなものを食べるようにしている」が65.5%、「動物性たんぱく質（肉・魚・卵・乳製品等）の食品を必ず摂るようにしている」が63.2%、「食べ過ぎないようにしている」が53.4%などとなっています。



(2) 食事を抜く頻度

問12 食事を抜くことがありますか。(ひとつだけに○)

食事を抜く頻度は、「ほとんどない・全くない」が84.0%で最も高くなっています。しかし、「毎日ある」が2.1%、「週に何度かある」が4.9%、「月に何度かある」が7.8%みられます。



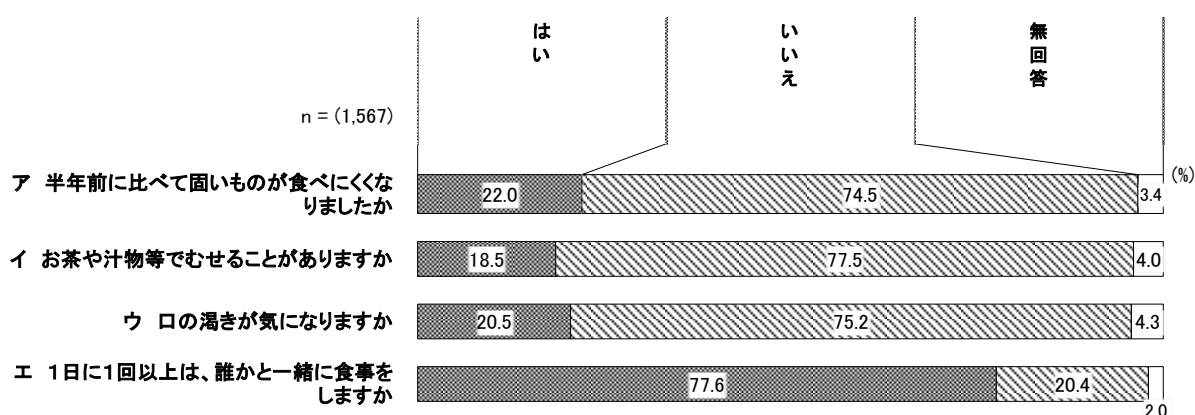
(3) 口腔機能や食事について

問13 あなたは、食事などについて、下記のようなことがどのくらいあてはまりますか。
(ひとつずつ○)

口の健康や食事に関して4つの質問をしました。

“ア 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか”、“イ お茶や汁物等でむせることがありますか”、“ウ 口の渇きが気になりますか”の3つは口腔機能についての設問で、いずれも「はい」が2割前後となっています。

“エ 1日に1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか”は、孤食の状況に関する設問で、「いいえ」が20.4%となっています。



6 介護予防事業について

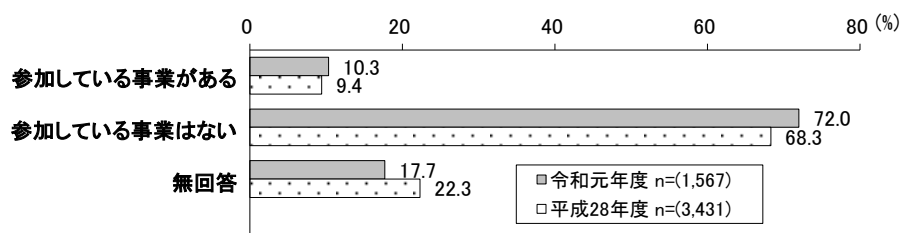
(1) 参加している介護予防事業

問14 茅ヶ崎市では、下記のような一般高齢者向けの介護予防事業を行っています。

(1) あなたは、現在、下記の介護予防事業に参加していますか。

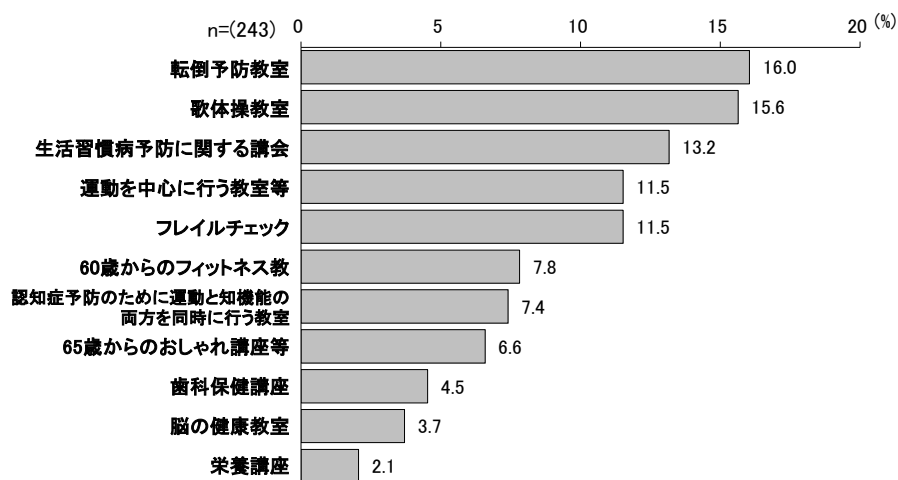
(あてはまるものすべてに○)

介護予防事業に関して、「参加している事業がある」が10.3%で、「参加している事業はない」が72.0%となっています。



※《参加している事業がある》＝100%－「参加している事業はない」－無回答

「参加している事業はない」人と無回答者を除いて、参加している事業の内訳をみると、「転倒予防教室」が16.0%で最も高く、「歌体操教室」が15.6%、「生活習慣予防に関する講演」が13.2%などとなっています。

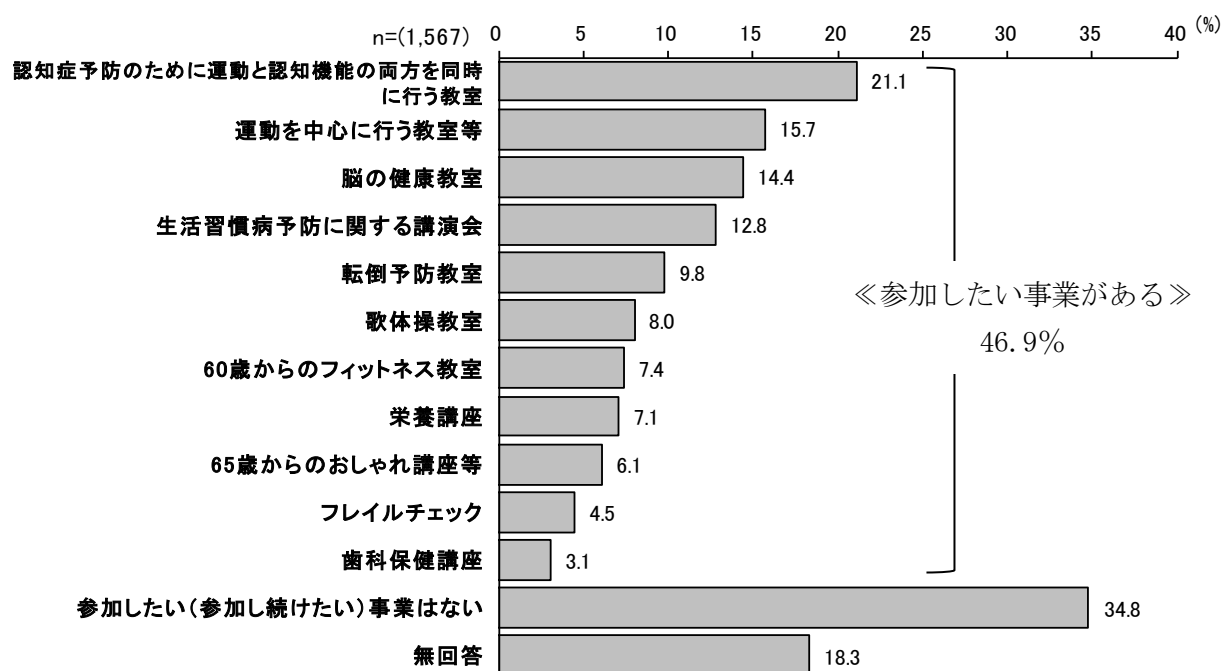


(2) 今後、参加したい（参加し続けたい）介護予防事業

(2) あなたは、今後、どの介護予防事業へ参加したい（参加し続けたい）と思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

今後、参加したい（参加し続けたい）介護予防事業は、《参加したい事業がある》は46.9%、「参加したい（参加し続けたい）事業はない」が34.8%となっています。

参加したい事業の中では、「認知症予防のために運動と認知機能の両方を同時に行う教室」が21.1%と唯一2割を超えています。



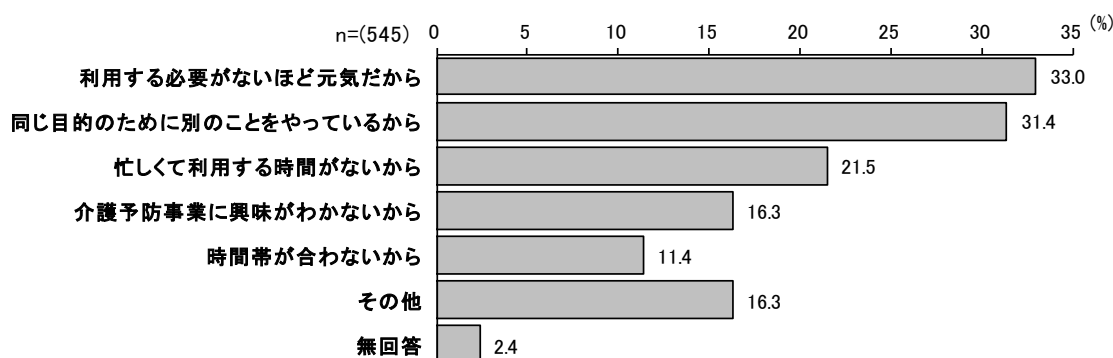
※《参加したい事業がある》＝100%－「参加したい（参加し続けたい）事業はない」－無回答

（２－１）参加したい事業はない理由

【問14（２）で「12. 参加したい（参加し続けたい）事業はない」に○をつけた方におたずねします。】

問14－１ その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

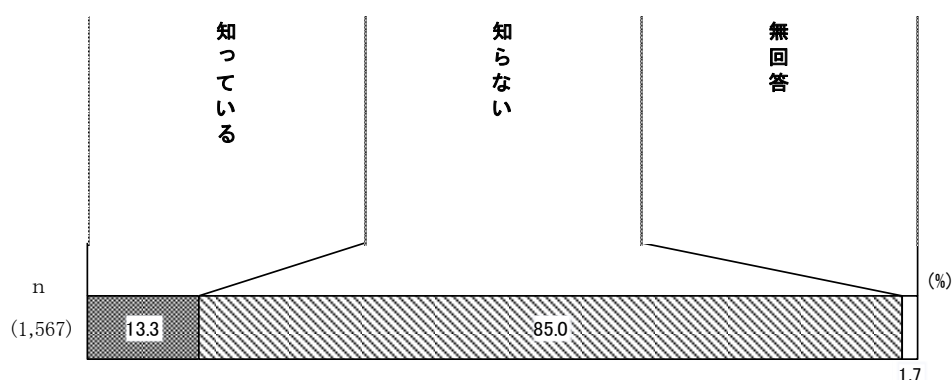
今後、参加したい（参加し続けたい）介護予防事業で、「参加したい（参加し続けたい）事業はない」と回答した方に、その理由をきいたところ、「利用する必要がないほど元気だから」が33.0%で最も高く、次いで「同じ目的のために別のことをやっているから」が31.4%、「忙しくて利用する時間がないから」が21.5%などとなっています。



（３）ちがさき体操の認知度

問15 あなたはちがさき体操を知っていますか。（ひとつだけに○）

ちがさき体操を「知っている」が13.3%で、「知らない」が85.0%となっています。



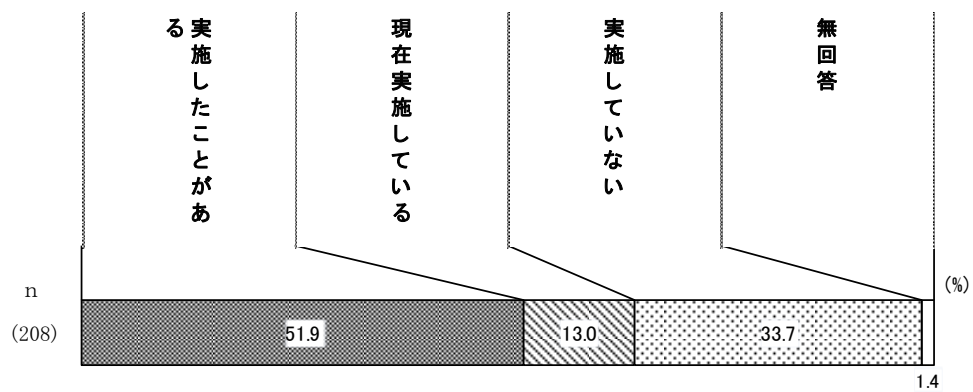
※ちがさき体操：釣りやサーフィンといった茅ヶ崎の海をイメージした親しみやすいポーズを取り入れた介護予防、健康づくりの体操。

(4-1) ちがさき体操の実施状況

問15で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問15-1 「ちがさき体操」の実施状況を教えてください。(ひとつだけに○)

ちがさき体操を「知っている」人の実施状況は、「実施したことがある」の51.9%と「現在実施している」の13.0%を加えた《実施》が64.9%となっています。

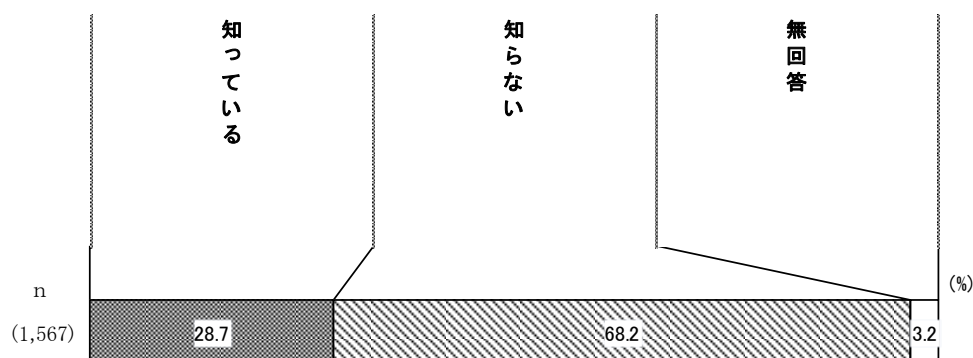


7 日常生活について

(1) 高齢者のための優待サービス事業の認知度

問16 茅ヶ崎市高齢者のための優待サービス事業を知っていますか。(ひとつだけに○)

高齢者のための優待サービス事業を「知っている」のは28.7%で、「知らない」が68.2%を占めています。

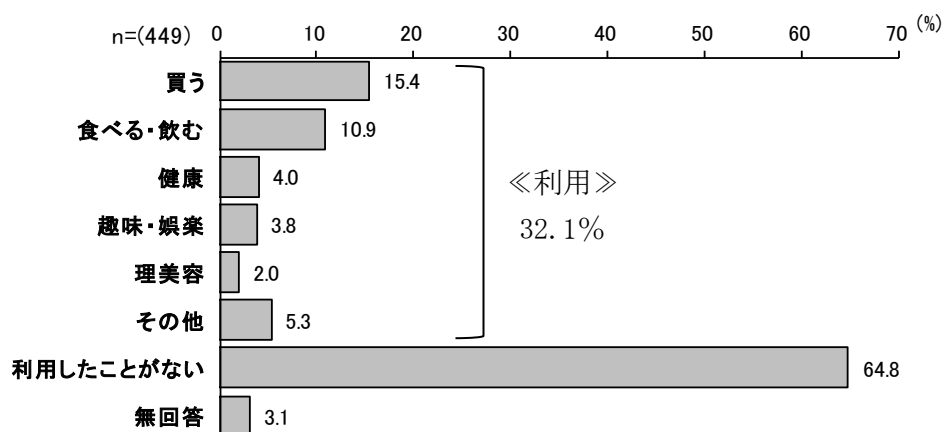


(1-1) 利用した店舗の種類

【問16で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問16-1 利用したことがある店舗の種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

高齢者のための優待サービス事業を「知っている」人が《利用》した割合は32.1%で、利用した店舗の種類は、「買う」が15.4%で最も高く、「食べる・飲む」が10.9%でこれに次いでいます。



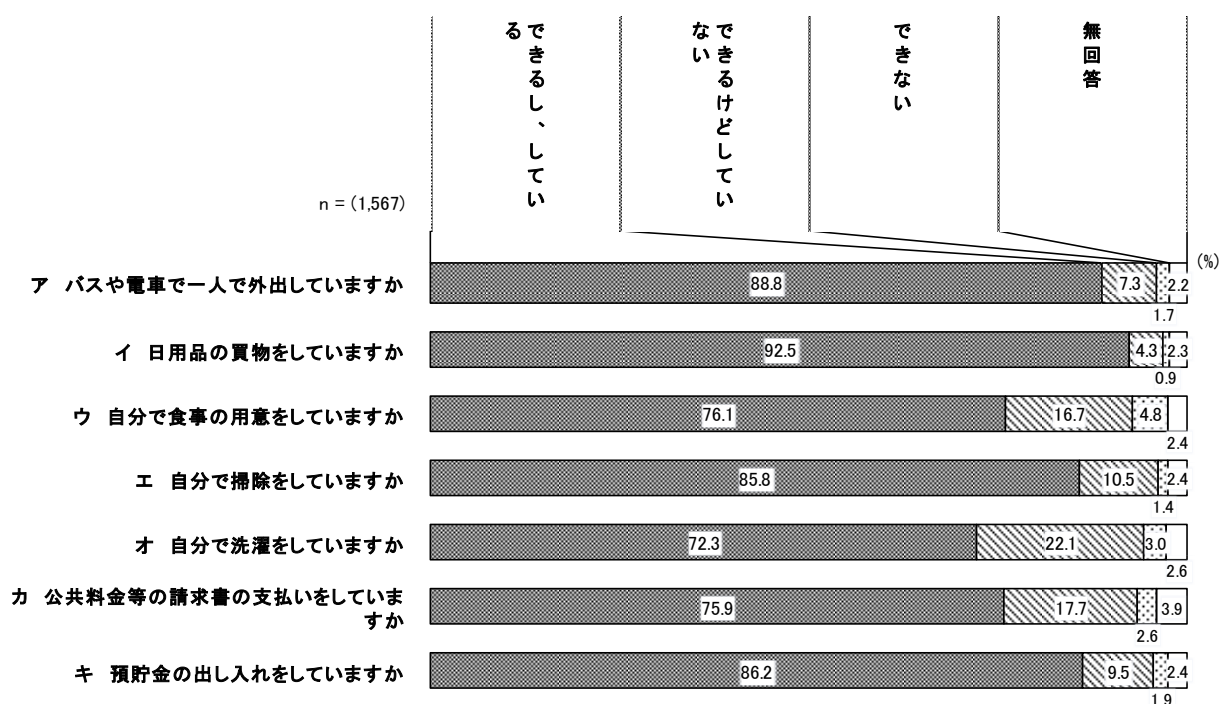
※《利用》＝100%－「利用したことがない」－無回答

(2) 日常生活動作

問17 あなたは、下記のようなことが一人でできますか。

日常生活動作に関して、7つの質問をしました。

“ア バスや電車で一人で外出していますか”、“イ 日用品の買物をしていますか”、“ウ 自分で食事の用意をしていますか”、“カ 公共料金等の請求書の支払いをしていますか”、“キ 預貯金の出し入れをしていますか”の5つの設問は、特に、手段的日常生活動作（IADL）を把握する設問です。「できるし、している」割合は、“ア バスや電車で一人で外出していますか”で88.8%、“イ 日用品の買物をしていますか”で92.5%と高くなっています。一方、「できない」は、“ウ 自分で食事の用意をしていますか”で4.8%、“オ 自分で洗濯をしていますか”で3.0%となっています。

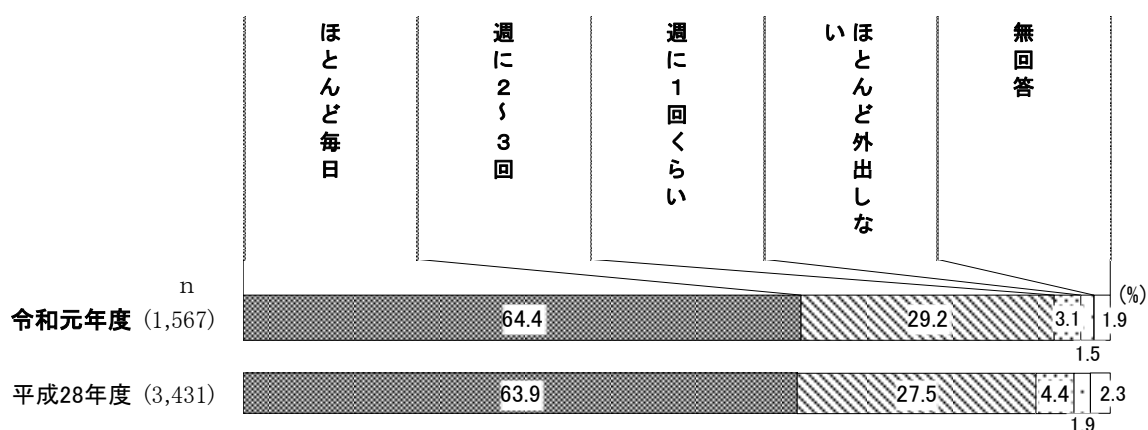


(3) 外出頻度

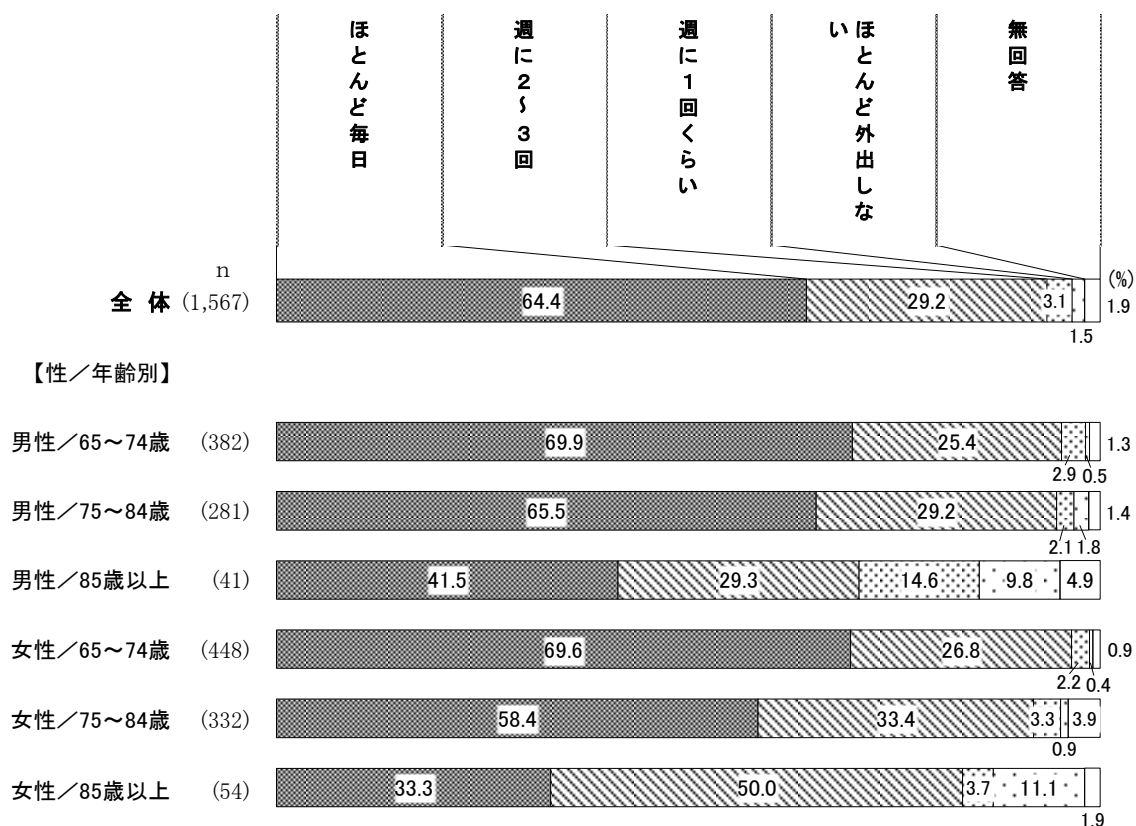
問18 あなたは、週に何回くらい外出（散歩や通院も含む）していますか。
(ひとつだけに○)

外出頻度は、「ほとんど毎日」が64.4%で最も高く、次いで「週に2～3回」が29.2%となっています。「週に1回くらい」(3.1%)と「ほとんど外出しない」(1.5%)を合わせた《閉じこもり傾向》は4.6%です。

平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。



性／年齢別にみると、《閉じこもり傾向》は男女とも85歳以上で大幅に高くなる傾向があり、特に男性／85歳以上で2割台半ばと高くなっています。



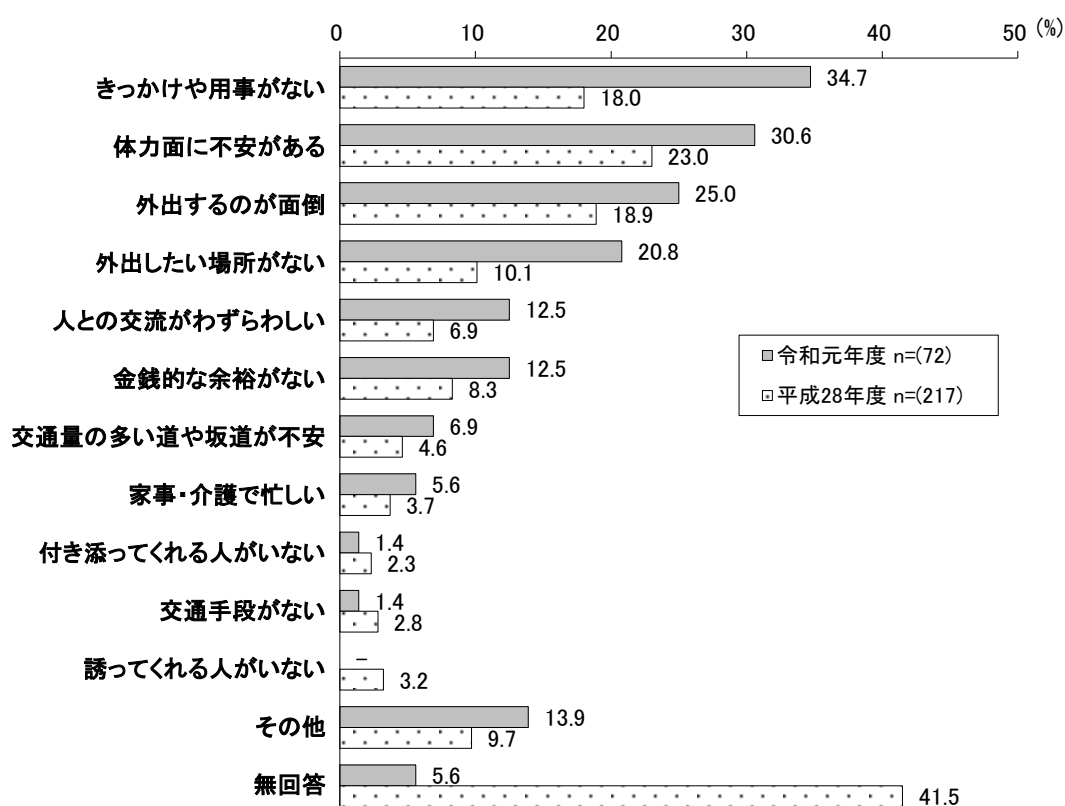
(3-1) あまり外出しない理由

【問18で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問18-1 あまり外出しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出の頻度で《閉じこもり傾向》と回答した方に、その理由をたずねたところ、「きっかけや用事がない」が34.7%で最も高く、次いで「体力面に不安がある」が30.6%、「外出するのが面倒」が25.0%などとなっています。

平成28年度と比較すると、多くの項目で令和元年度が高い割合となっていますが、特に「きっかけや用事がない」「外出したい場所がない」は10ポイント以上差があります。



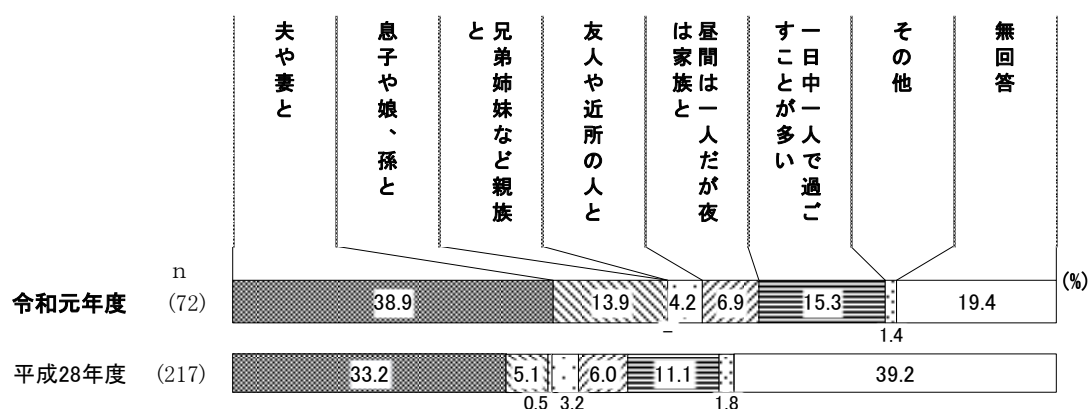
(3-2) 外出しない日に過ごすことが多い人

【問18で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問18-2 外出しない日はどなたと過ごすことが多いですか。(ひとつだけに○)

外出の頻度で《閉じこもり傾向》と回答した方に、外出しない日に過ごすことが多い人をたずねたところ、「夫や妻と」が38.9%で最も高くなっています。一方、「一日中一人で過ごすことが多い」が15.3%です。

平成28年度と比較すると、「夫や妻と」は6.7ポイント増加、「息子や娘、孫と」は8.8ポイント増加しています。

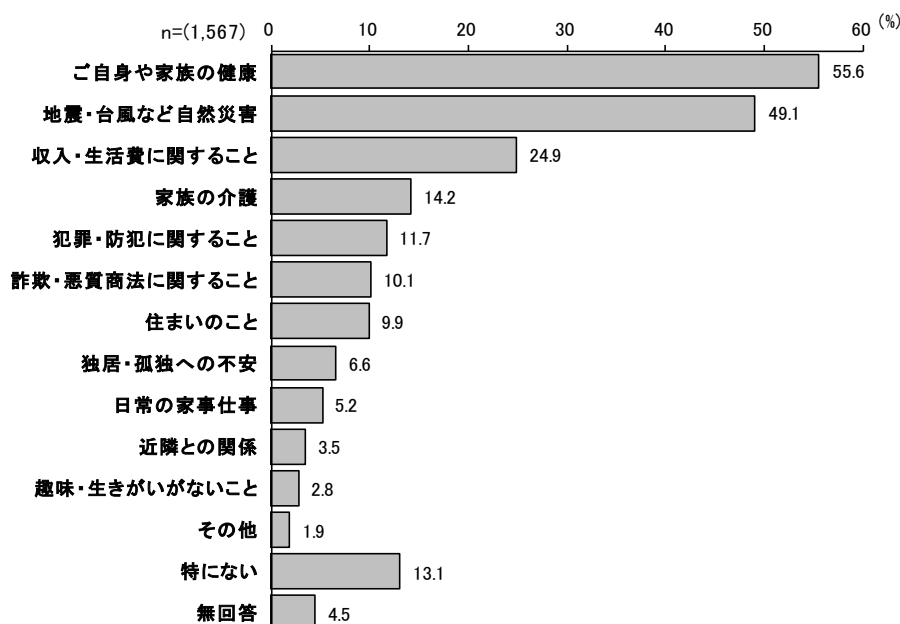


(4) 現在のくらしで不安に思っていること

問19 現在のくらしで、不安に思っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

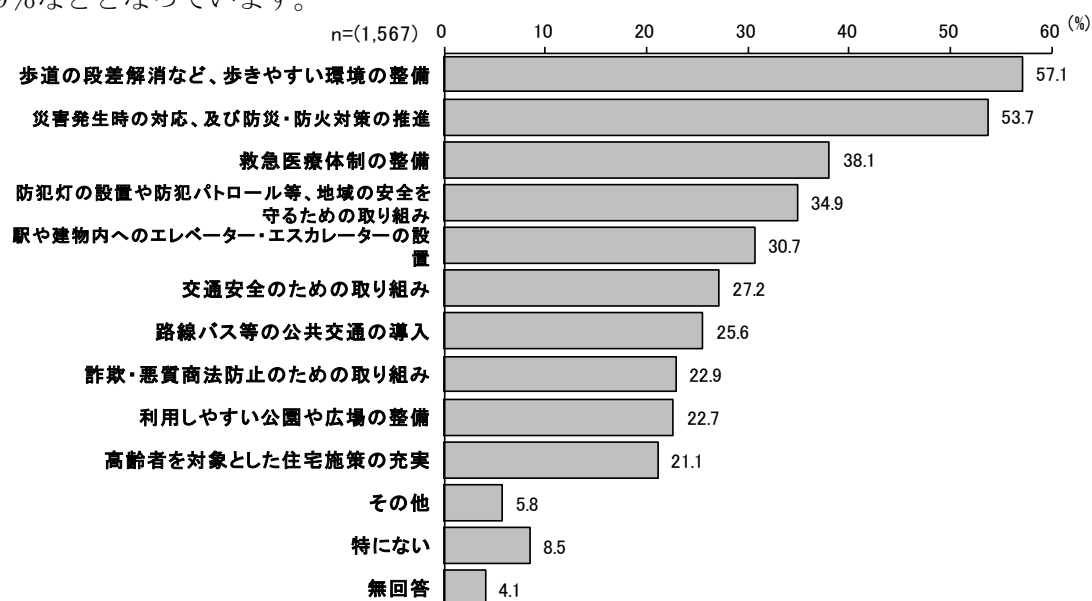
現在のくらしで不安に思っていることは、「ご自身や家族の健康」が55.6%で最も高く、次いで「地震・台風など自然災害」が49.1%、「収入・生活費に関すること」が24.9%などとなっています。



(5) 安全で安心なまちづくりで必要だと思うこと

問20 あなたは、安全で安心なまちづくりを進めるうえで、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

安全で安心なまちづくりで必要だと思うことは、「歩道の段差解消など、歩きやすい環境の整備」(57.1%)と「災害発生時の対応、及び防災・防火対策の推進」(53.7%)が半数以上と高く、以下「救急医療体制の整備」が38.1%、「防犯灯の設置や防犯パトロール等、地域の安全を守るための取り組み」が34.9%などとなっています。



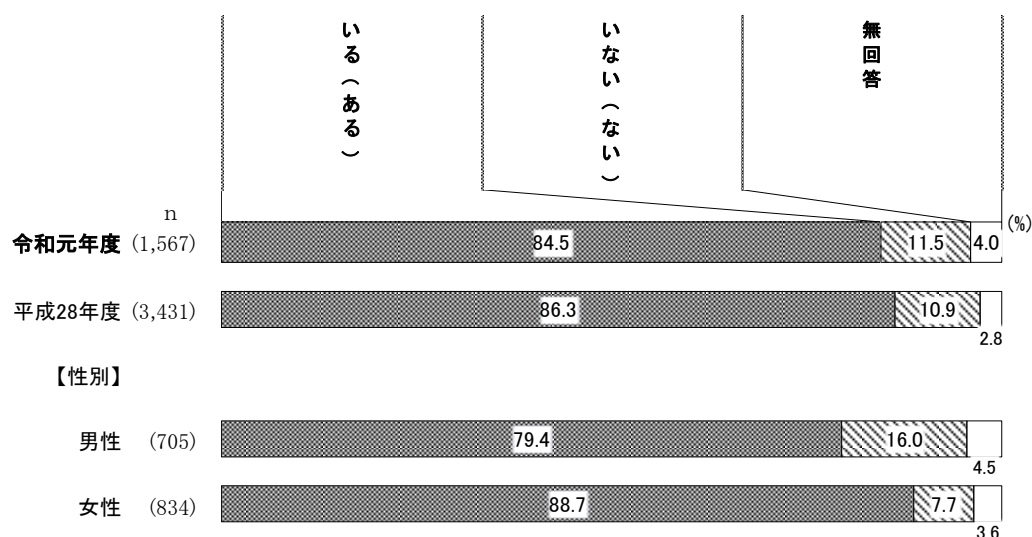
(6) 悩みや心配ごとを相談できる人や場所の有無

問21 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人や相談できる場所がありますか。(ひとつだけに○)

悩みや心配ごとを相談できる人や場所が、「いる(ある)」は84.5%と高くなっていますが、「いない(ない)」が11.5%みられます。

平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。

性別にみると、「いない(ない)」は男性の方が女性より8.3ポイント高くなっています。



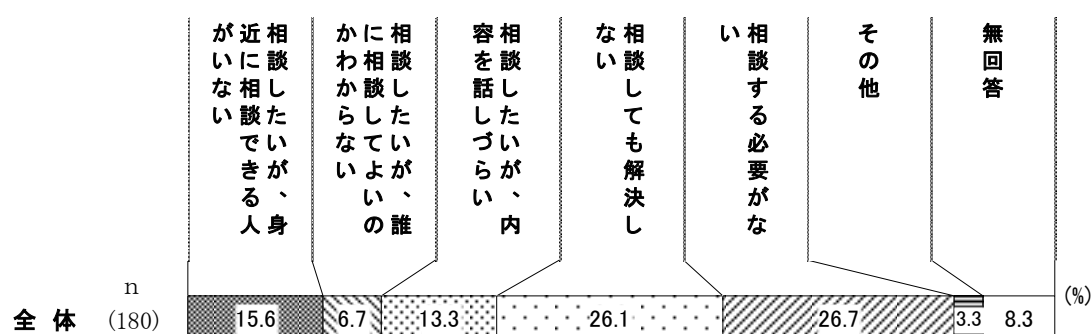
（６－１）相談相手や場所がない理由

【問21で「2. いない（ない）」に○をつけた方におたずねします。】

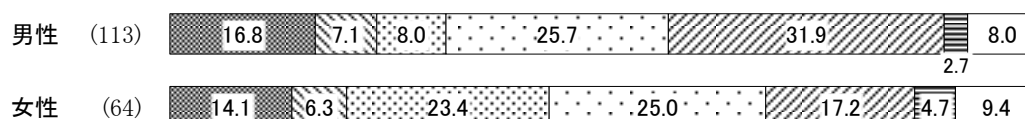
問21－１ 最も近い理由は何ですか。（ひとつだけに○）

悩みや心配ごとを相談できる人や場所が「いない（ない）」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「相談する必要がある」（26.7%）と「相談しても解決しない」（26.1%）の2つが高くなっています。以下、「相談したいが、身近に相談できる人がいない」（15.6%）、「相談したいが、内容を話しづらい」（13.3%）などとなっています。

性別でみると、「相談したいが、内容を話しづらい」は女性の方が男性より15.4ポイント高くなっています。一方、「相談する必要がある」は男性の方が女性より14.7ポイント高くなっています。



【性別】

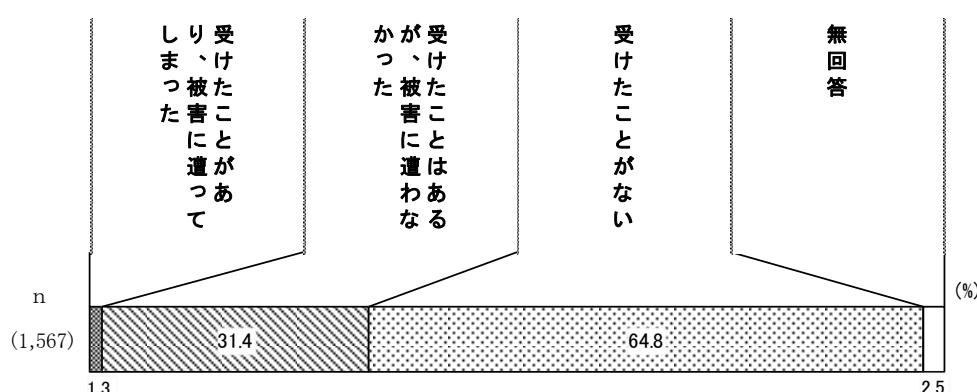


（７）振り込め詐欺の犯人から電話を受けた経験

問22 あなたは、振り込め詐欺の犯人から電話を受けたことがありますか。

（ひとつだけに○）

振り込め詐欺の電話に関して、「受けたことがあります、被害に遭ってしまった」（1.3%）と「受けたことはあるが、被害に遭わなかった」（31.4%）を合わせた《受けた》が32.7%と、3人にひとりの割合となっています。

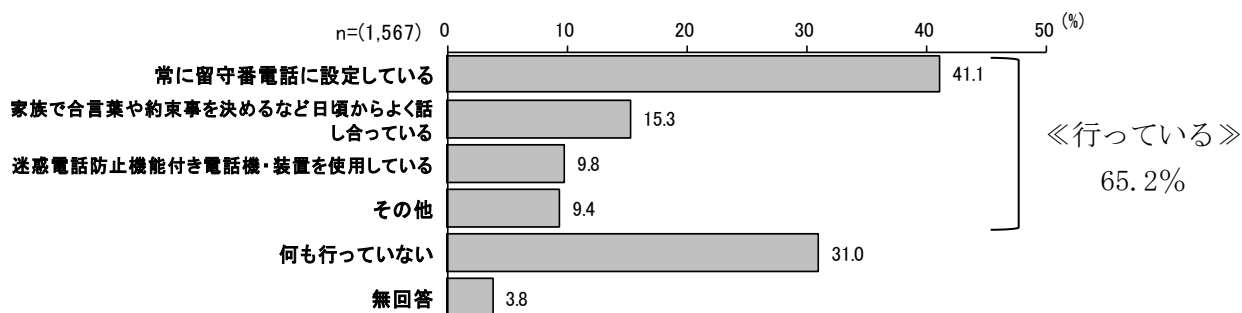


(8) 振り込め詐欺の対策で行っていること

問23 あなたは、振り込め詐欺の対策でどんなことを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

振り込め詐欺に対して、何らかの対策を《行っている》のは65.2%で、具体的には、「常に留守番電話に設定している」が41.1%と特に高くなっています。



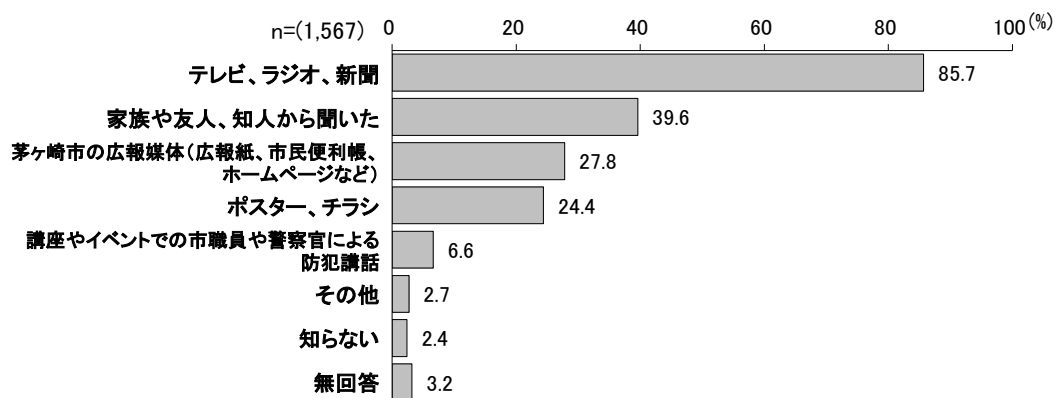
※《行っている》＝100%－「何も行っていない」－無回答

(9) 振り込め詐欺対策認知経路

問24 あなたは、振り込め詐欺の対策方法についてどこで知りましたか。

(あてはまるものすべてに○)

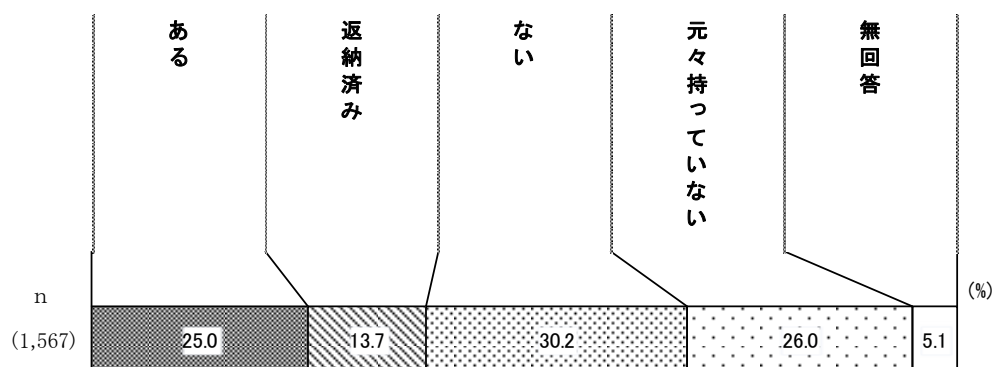
振り込め詐欺対策の認知経路は、「テレビ、ラジオ、新聞」が85.7%と特に高くなっています、次いで「家族や友人、知人から聞いた」が39.6%、「茅ヶ崎市の広報媒体（広報紙、市民便利帳、ホームページなど）」が27.8%等となっています。



(10) 運転免許返納意思の有無

問25 あなたは、運転免許証の返納の意思がありますか。(ひとつだけに○)

運転免許返納意思に関しては、「ない」が30.2%、一方、返納意思が「ある」または「返納済み」は38.7%となっています。

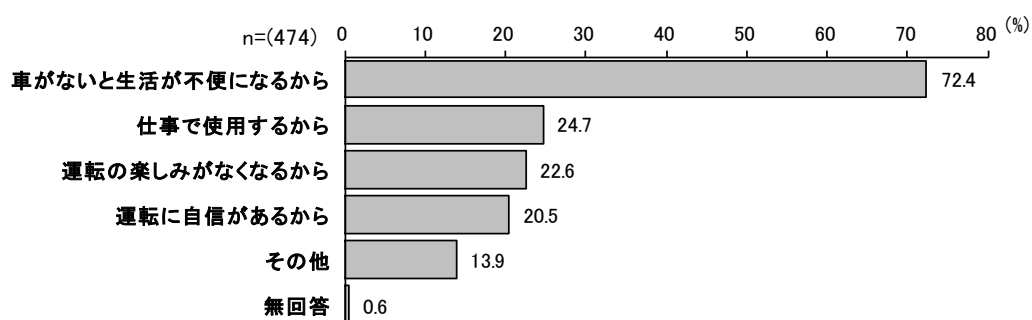


(10-1) 返納意思がない理由

【問25で「3. ない」に○をつけた方におたずねします。】

問21-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

運転免許返納意思がない人にその理由をきいたところ、「車がないと生活が不便になるから」が72.4%を占め、以下、「仕事で使用するから」が24.7%、「運転の楽しみがなくなるから」が22.6%等となっています。

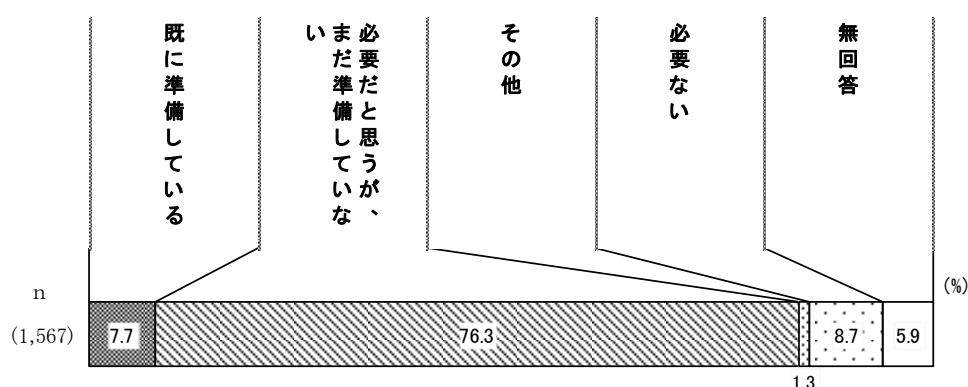


(11) 自分らしい最期を迎えるための準備

問26 あなたは自分らしい最期を迎えるために、何か準備していますか。

(ひとつだけに○)

自分らしい最期を迎えるための準備については、「既に準備している」が7.7%で、「必要だと思うが、まだ準備していない」が76.3%と高くなっています。

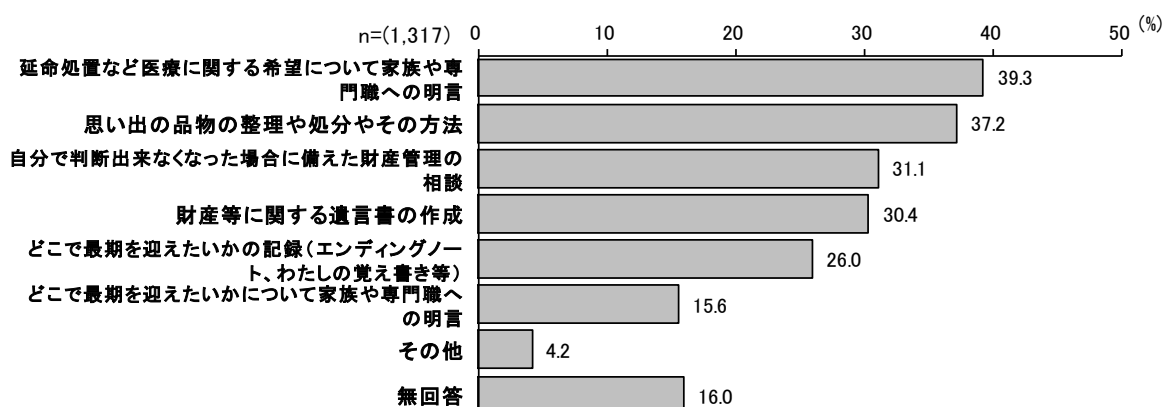


(11-1) 自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備

【問26で「1. 既に準備している」、「2. 必要だと思うが、まだ準備していない」に○をつけた方におたずねします。】

問26-1 どのようなことを準備していますか。また、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

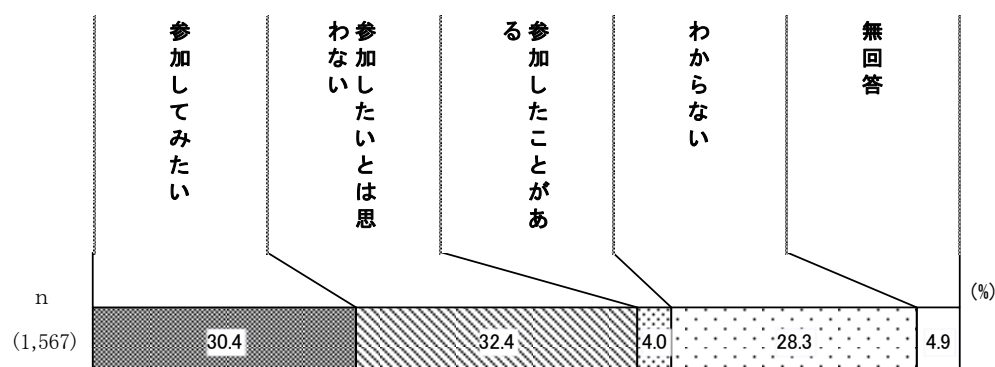
自分らしい最期を迎えるために「既に準備している」、「必要だと思うが、まだ準備していない」と回答した方に、必要だと思う準備をたずねたところ、「延命処置など医療に関する希望について家族や専門職への明言」が39.3%で最も高く、次いで「思い出の品物の整理や処分やその方法」が37.2%となっています。



(12) 自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向

問27 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、エンディングノート（わたしの覚え書き等書き方講座）や家族等への伝達など、具体的に考える機会があれば参加してみたいですか。（ひとつだけに○）

自分らしい最期を迎えることを考える機会への参加意向は、「参加してみたい」（30.4%）、「参加したいとは思わない」（32.4%）、「わからない」（28.3%）がそれぞれ3割前後となっています。

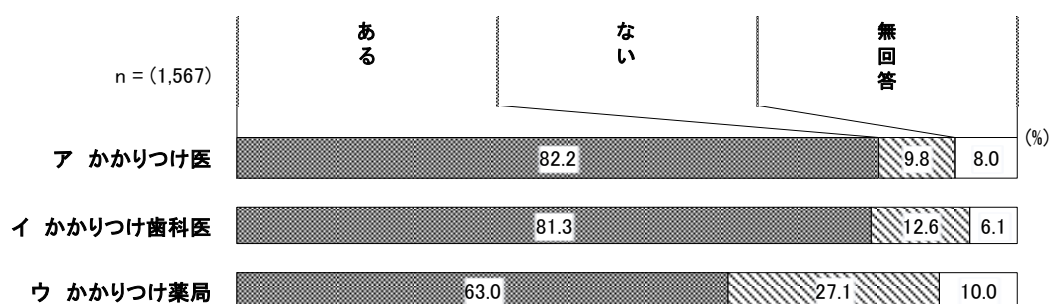


(13) かかりつけの医療機関の有無

問28 あなたには、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけの薬局がありますか。（ひとつずつ○）

また、かかりつけ医を「1. ある」に○をつけた方は、医療機関も併せてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

かかりつけの医療機関について、「ある」割合は、“かかりつけ医”（82.2%）と“かかりつけ歯科医”（81.3%）が8割を超えている一方、“かかりつけ薬局”は63.0%となっています。



“ア かかりつけ医”が「ある」と回答した方に、医療機関の種類をたずねたところ、「診療所・クリニック」が66.2%、「病院」が26.1%となっています。

8 社会参加について

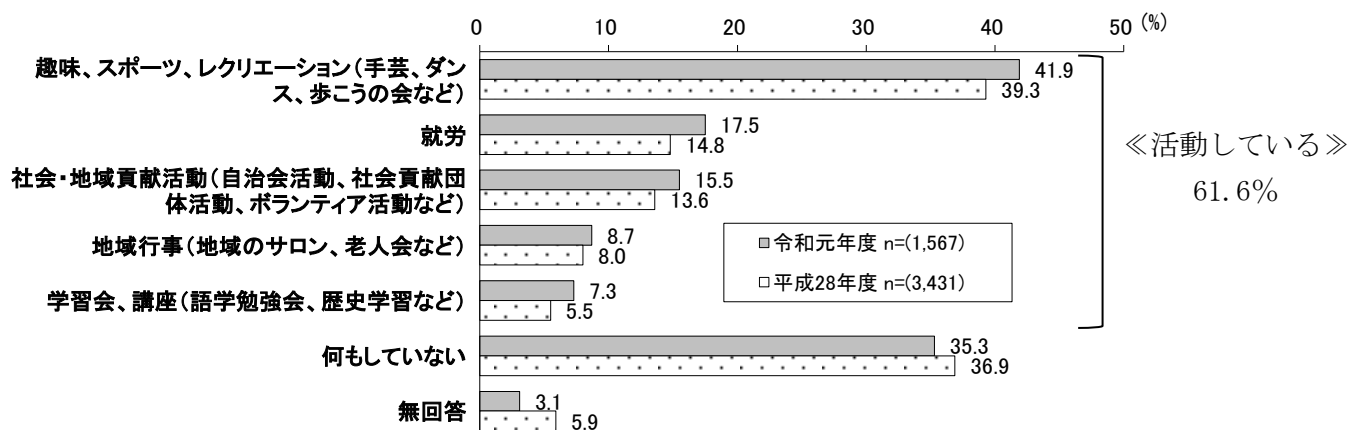
(1) 社会参加の状況

問29 あなたの社会参加の状況や今後の意向についておたずねします。

(1) あなたは、現在、下記のような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

社会参加に関して、「活動をしている」が61.6%で、「何もしていない」が35.3%となっています。具体的には、「趣味、スポーツ、レクリエーション」が41.9%で最も高く、次いで「就労」が17.5%、「社会・地域貢献活動」が15.5%などとなっています。

平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。



地域別にみると、「趣味、スポーツ、レクリエーション(手芸、ダンス、歩こうの会など)」は海岸地区が5割台半ばと高くなっています。また、「地域行事(地域のサロン、老人会など)」は湘南地区、松林地区、浜須賀地区、小出地区で1割以上となっています。

	n	趣味、スポーツ、レクリエーション(手芸、ダンス、歩こうの会など)	就労	社会・地域貢献活動(自治会活動、社会貢献団体活動、ボランティア活動など)	地域行事(地域のサロン、老人会など)	学習会、講座(語学勉強会、歴史学習など)	何もしていない	無回答	その他	無回答
全 体	1567	41.9	17.5	15.5	8.7	7.3	35.3	3.1	13.5	5.6
地 区 別	茅ヶ崎地区	153	39.2	17.0	11.8	4.6	7.2	40.5	5.9	5.9
	茅ヶ崎南地区	70	37.1	22.9	18.6	7.1	11.4	31.4	4.3	11.1
	海岸地区	137	54.0	21.2	16.8	2.9	12.4	26.3	1.5	10.0
	南湖地区	66	48.5	13.6	19.7	7.6	4.5	30.3	3.0	-
	鶴嶺東地区	175	34.9	16.6	13.7	9.1	5.7	42.3	1.7	5.5
	鶴嶺西地区	84	39.3	10.7	13.1	4.8	7.1	47.6	-	-
	湘南地区	88	42.0	15.9	13.6	17.0	4.5	31.8	4.5	5.0
	松林地区	159	40.9	17.0	13.2	11.9	6.3	32.1	3.8	8.0
	湘北地区	180	42.8	17.8	18.9	8.3	5.6	36.7	1.1	2.1
	小和田地区	84	36.9	16.7	13.1	8.3	8.3	39.3	2.4	9.5
	松浪地区	114	47.4	18.4	16.7	7.0	7.9	31.6	5.3	9.7
	浜須賀地区	97	41.2	16.5	18.6	11.3	10.3	35.1	1.0	3.8
	小出地区	116	44.8	20.7	19.0	16.4	6.0	31.9	2.6	3.2

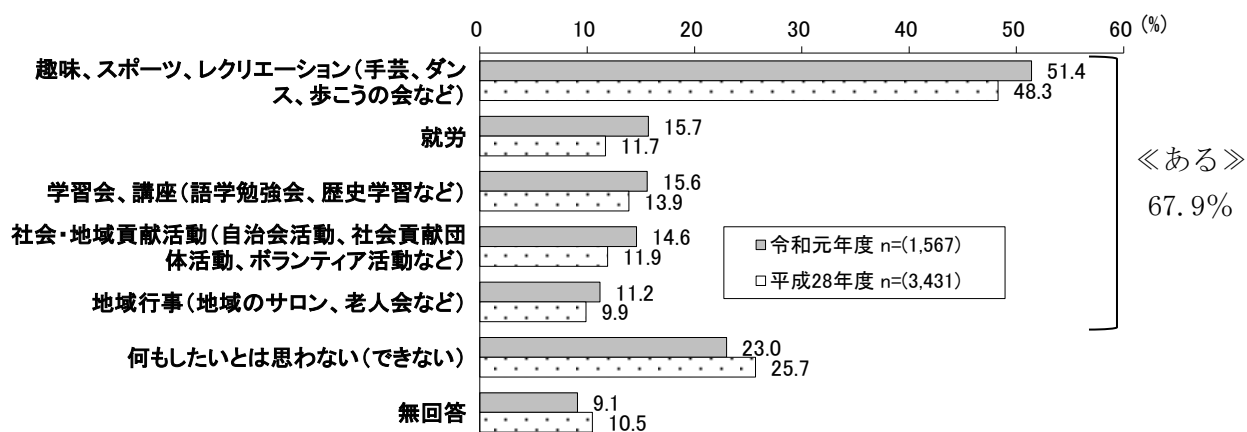
(2) 社会参加の今後の意向

(2) あなたは、今後、どのような活動をしたい(活動をし続けたい)と思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

社会参加の今後の意向は、「ある」が67.9%で、「何もしたいとは思わない(できない)」が23.0%となっています。

具体的には、「趣味、スポーツ、レクリエーション」が51.4%で唯一半数を超え、以下、「就労」が15.7%、「学習会、講座」が15.6%、「社会・地域貢献活動」が14.6%などとなっています。

平成28年度と比較すると、「就労」が増加傾向にあります。



※《ある》 =
100% - 「何もしたいとは思わない(できない)」 - 無回答

(3-1) 社会参加の活動をしやすい(続けやすい)なる条件

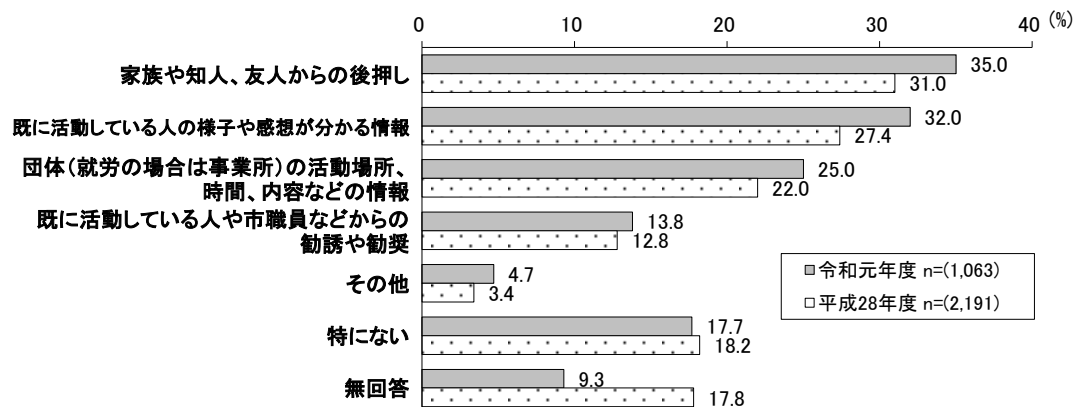
【問 29 (2) で「1.」～「5.」に○をつけた方におたずねします。】

問29-1 何があれば、より活動をしやすい(続けやすい)なりますか。

(あてはまるものすべてに○)

社会参加の今後の意向で、「趣味、スポーツ、レクリエーション」、「学習会、講座」、「社会・地域貢献活動」、「就労」、「地域行事」のいずれかを回答した方に、社会参加の活動をしやすい(続けやすい)なる条件をきいたところ、「家族や知人、友人からの後押し」が35.0%で最も高く、次いで「既に活動している人の様子や感想が分かる情報」が32.0%などとなっています。一方で、「特にない」は17.7%です。

平成28年度と比較すると、「家族や知人、友人からの後押し」、「既に活動している人の様子や感想が分かる情報」が増加傾向にあります。



(3-2) 活動したいとは思わない(できない)理由

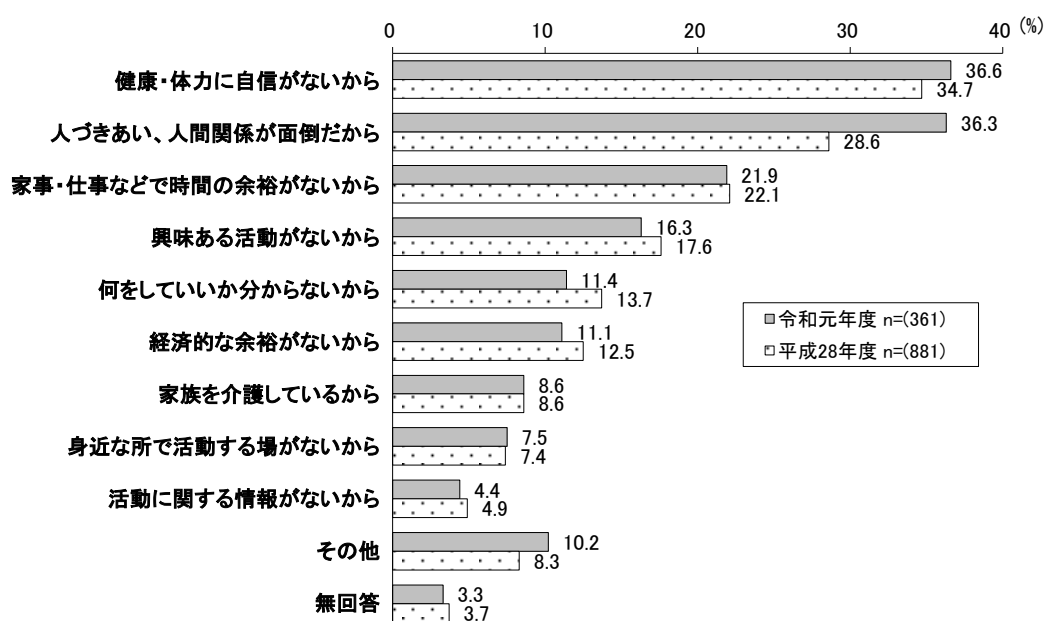
【問29(2)で「6. 何もうたいたいとは思わない(できない)」に○をつけた方におたずねします。】

問29-2 活動をしたいとは思わない(できない)理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

社会参加の今後の意向で、「何もうたいたいとは思わない(できない)」と回答した方に、活動をしたいとは思わない(できない)理由をきいたところ、「健康・体力に自信がないから」(36.6%)と「人づきあい、人間関係が面倒だから」(36.3%)の2つが特に高く、以下、「家事・仕事などで時間の余裕がないから」が21.9%などとなっています。

平成28年度と比較すると、「人づきあい、人間関係が面倒だから」が7.7ポイント増加しています。



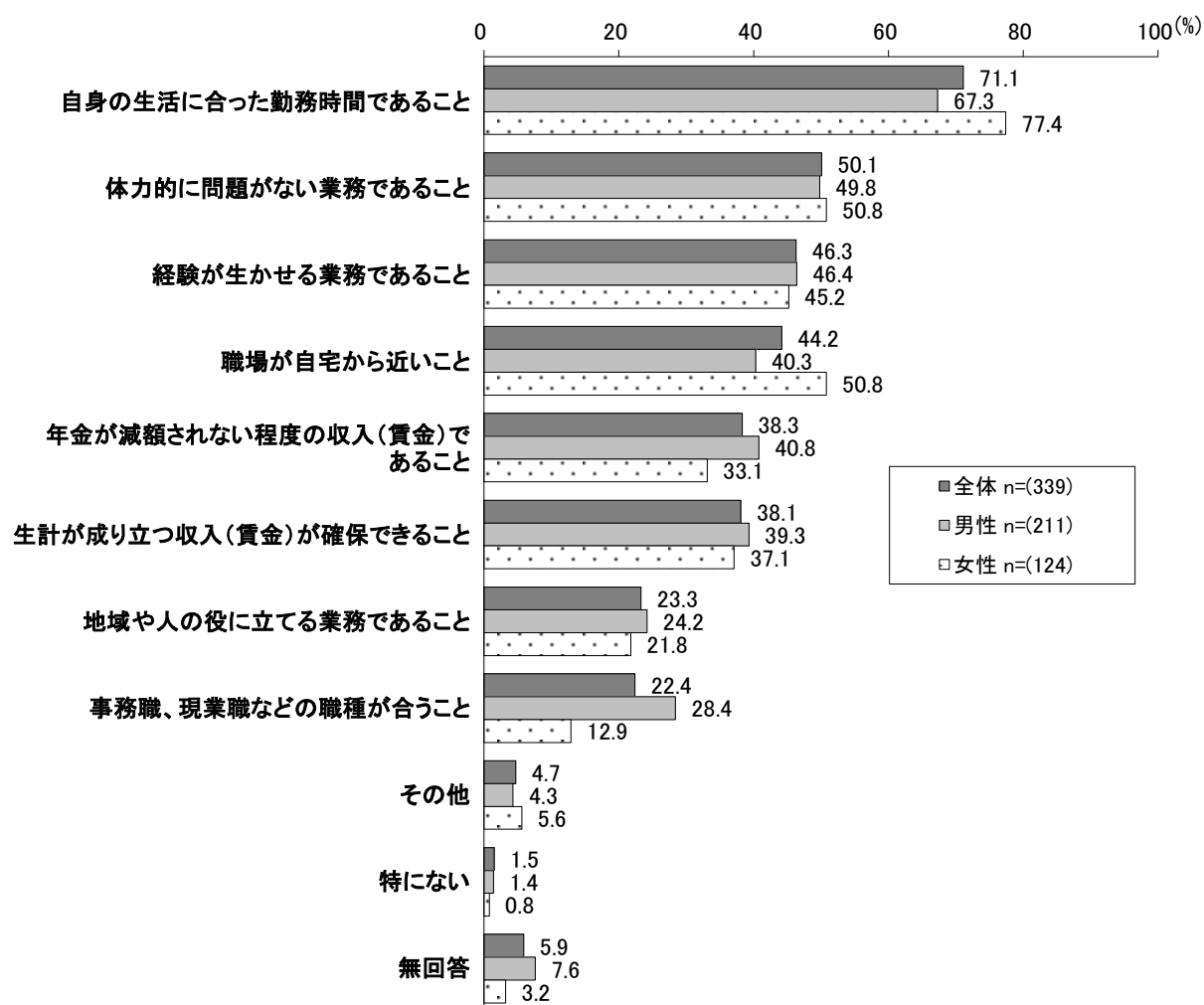
(3-3) 就労するうえで重視すること

【問 29 (1) で「5. 就労」、又は、問 29 (2) で「5. 就労」に○をつけた方におたずねします。】

問29-3 就労するうえで、重視することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

社会参加の状況または社会参加の今後の意向で「就労」と回答した方に、就労するうえで重視することをきいたところ、「自身の生活に合った勤務時間であること」が71.1%で最も高く、次いで「体力的に問題がない業務であること」が50.1%、「経験が生かせる業務であること」が46.3%などとなっています。

性別でみると、「自身の生活に合った勤務時間であること」と「職場が自宅から近いこと」は女性の方が男性より10ポイント以上高くなっています。一方、「年金が減額されない程度の収入(賃金)であること」は男性の方が女性より7.7ポイント高くなっています。



(3-4) 就労(したい)日数

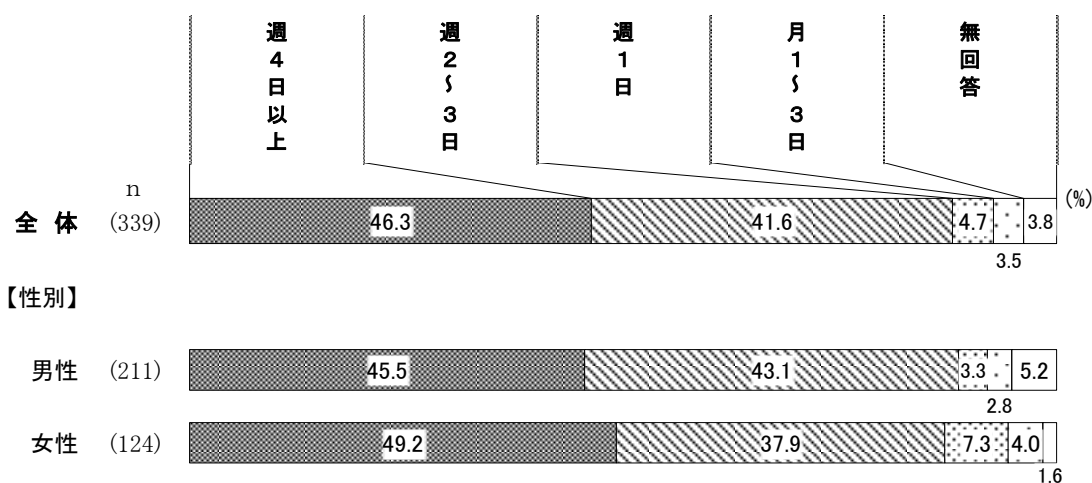
【問 29 (1) で「5. 就労」、又は、問 29 (2) で「5. 就労」に○をつけた方におたずねします。】

問29-4 あなたは週にどれくらい仕事をしていますか(したいですか)。

(ひとつだけに○)

社会参加の状況または社会参加の今後の意向で「就労」と回答した方に、就労(したい)日数をきいたところ、「週4日以上」(46.3%)と「週2～3日」(41.6%)が4割以上となっています。

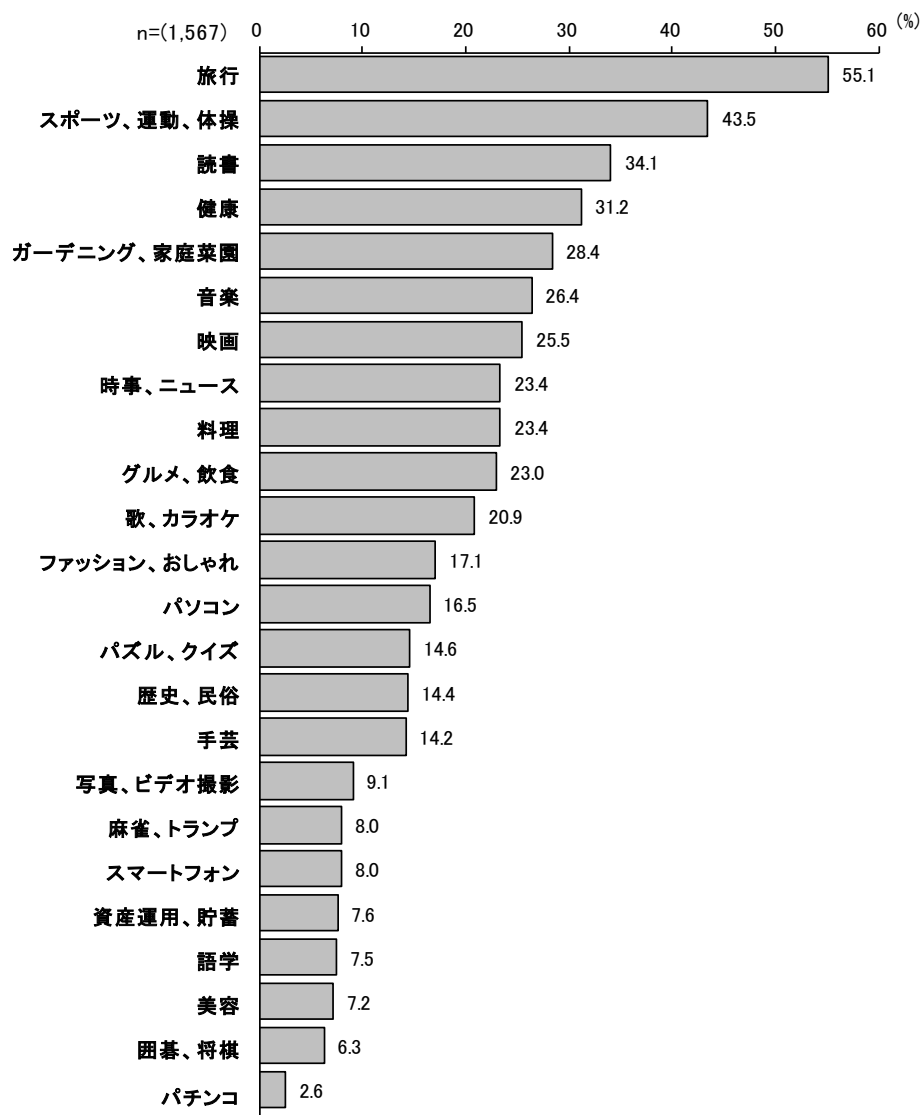
性別でみると、「週2～3日」は男性の方が女性より5.2ポイント高くなっています。



(4) 興味を持っていること

問30 あなたが興味を持っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

興味を持っていることは、「旅行」が55.1%で最も高く、次いで「スポーツ、運動、体操」が43.5%、「読書」が34.1%、「健康」が31.2%、「ガーデニング、家庭菜園」が28.4%、「音楽」が26.4%などとなっています。



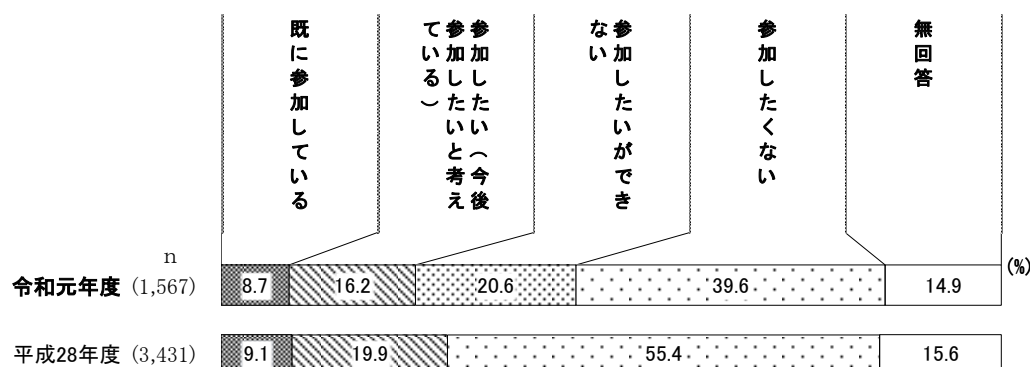
9 今後の「支え合い」のあり方について

(1) 地域のボランティア活動への参加意向

問31 あなたは、地域のボランティア活動に参加したいと思いますか。(ひとつだけに○)

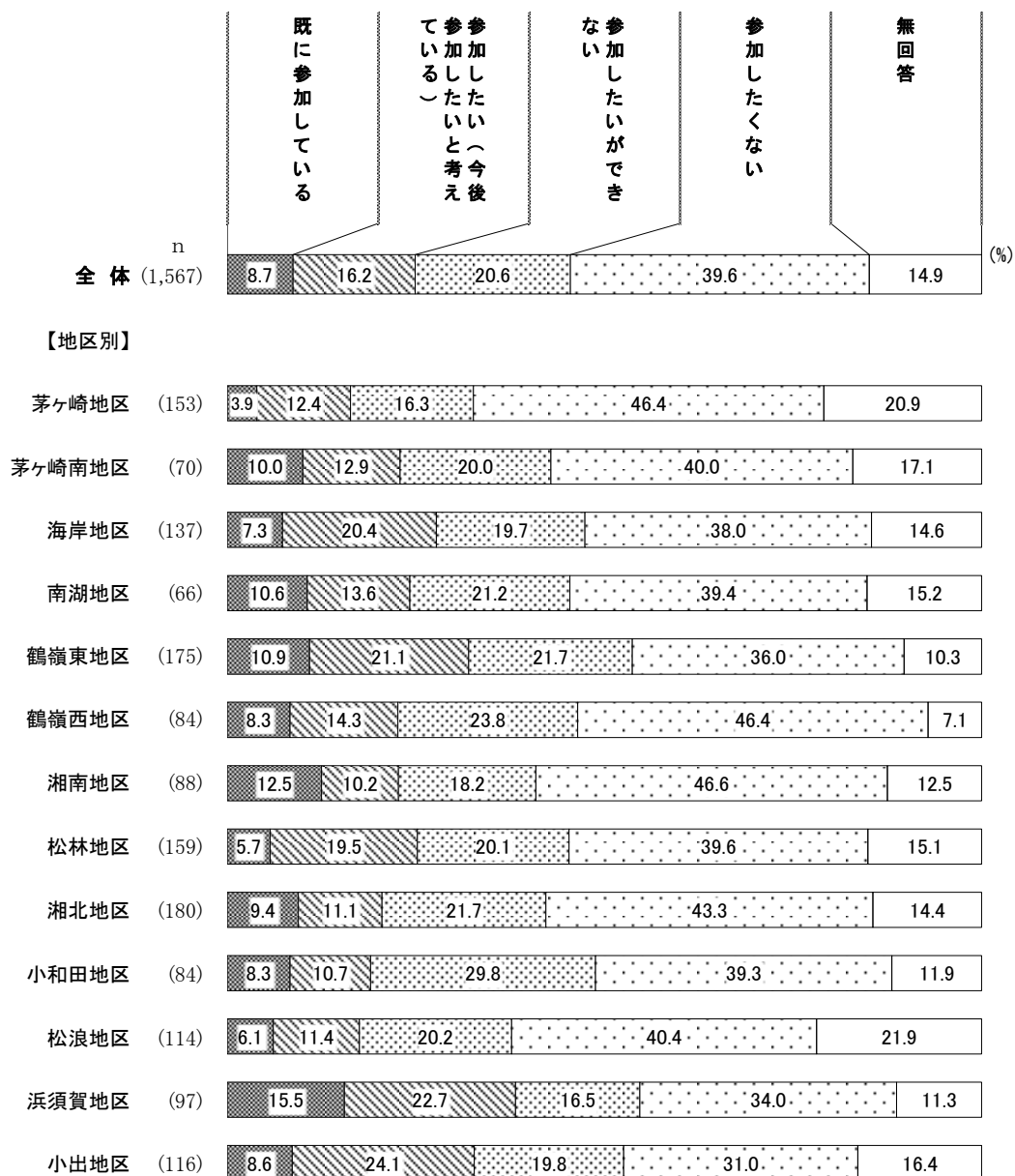
地域のボランティア活動への参加意向は、「既に参加している」が8.7%で、「参加したい」が16.2%となっています。しかし、「参加したくない」が39.6%で最も高くなっています。

平成28年度と比較すると、選択肢の違いもあるが、「参加したくない」が15ポイント以上減少している。



※平成28年度選択肢「参加したい」は、令和元年度から「参加したい(今後参加したいと考えている)」「参加したいができない」の2つの選択肢となった。

地域別にみると、「参加したい（今後参加したいと考えている）」は海岸地区、鶴嶺東地区、浜須賀地区、小出地区で2割以上となっています。

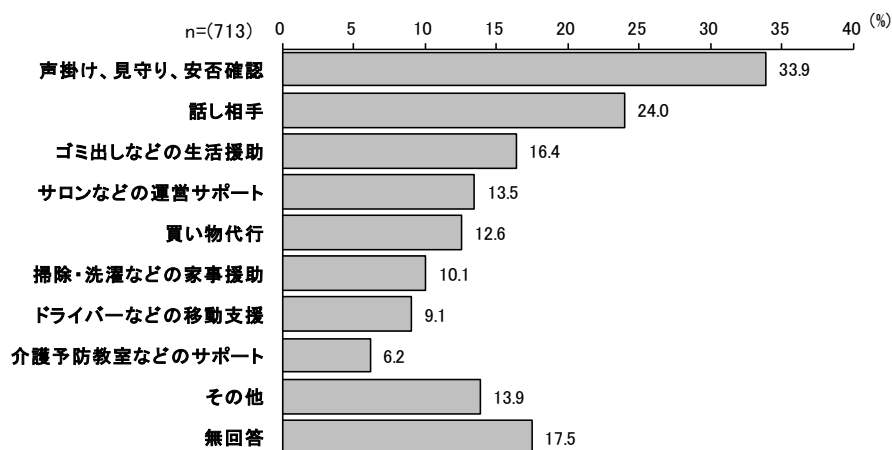


(1-1) ボランティア等で支える側として参加したい（している）活動

【問31で「1. 既に参加している」、又は「2. 参加したい」に○をつけた方におたずねします。】

問31-1 あなたがボランティア等で「支える側」として活動したい（している）内容はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

地域のボランティア活動への参加意向で、「既に参加している」、または「参加したい」と回答した方に、支える側として参加したい（している）活動をきいたところ、「声掛け、見守り、安否確認」が33.9%で最も高く、次いで「話し相手」が24.0%となっています。以下、「ゴミ出しなどの生活援助」が16.4%、「サロンなどの運営サポート」が13.5%、「買い物代行」が12.6%などと続きます。



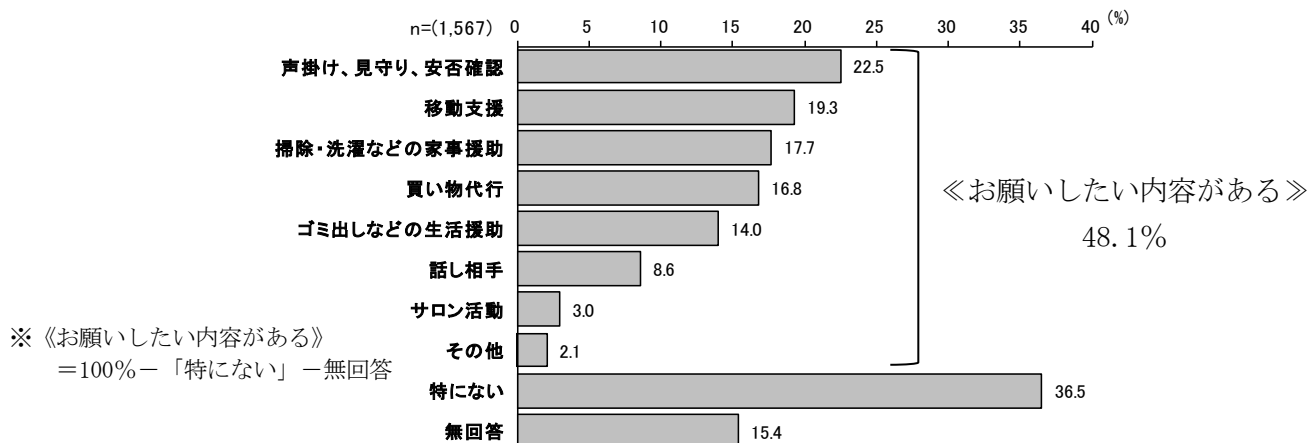
(2) ボランティア等へ支えられる側としてお願いしたい内容

問32 あなたは将来、ボランティア等に「支えられる側」としてお願いしたいと思う内容又はボランティア等に既にお願いしている内容はどのようなものですか。

（あてはまるものすべてに○）

ボランティア等へ支えられる側としてお願いしたい内容は、「お願いしたい内容がある」が48.1%で、「特にない」が36.5%となっています。

お願いしたい具体的な内容は、「声掛け、見守り、安否確認」が22.5%で最も高く、次いで「移動支援」が19.3%、「掃除・洗濯などの家事援助」が17.7%、「買い物代行」が16.8%などとなっています。

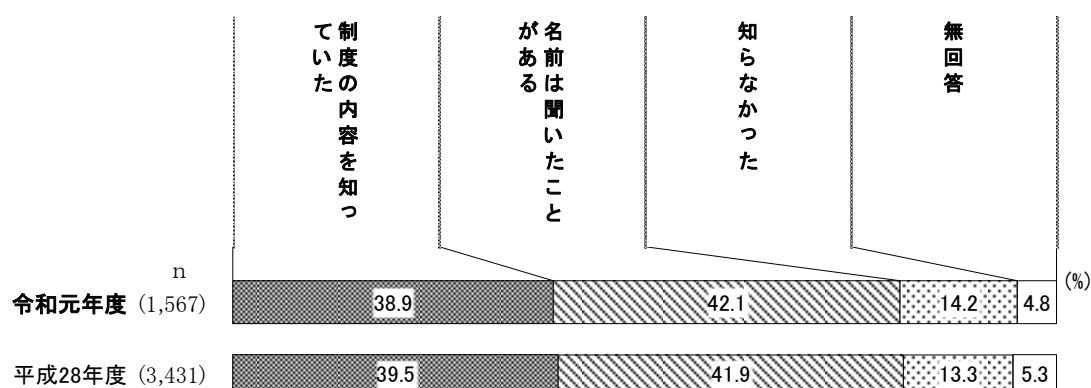


(3) 成年後見制度の認知度

問33 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(ひとつだけに○)

成年後見制度の認知度は、「制度の内容を知っていた」が38.9%、「名前は聞いたことがある」が42.1%で、これらを合わせた《知っている》は81.0%です。一方、「知らなかった」は14.2%です。

平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。

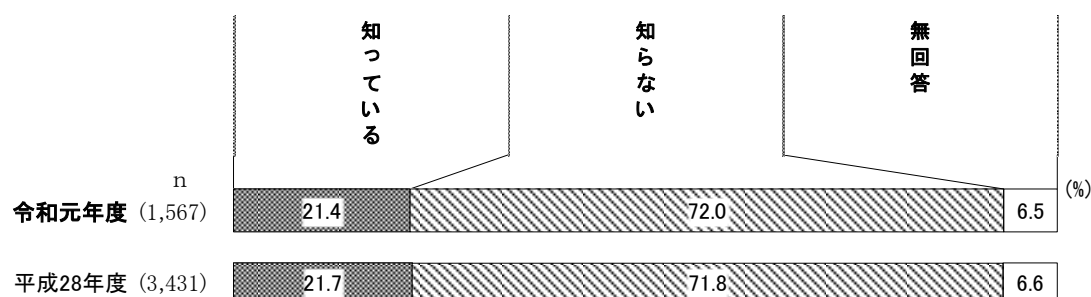


(4) 成年後見制度の利用・相談窓口の認知度

問34 本市に成年後見制度の利用・相談窓口があることを知っていますか。
(ひとつだけに○)

市に成年後見制度の利用・相談窓口があることを、「知っている」のは21.4%で、「知らない」が72.0%を占めています。

平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。



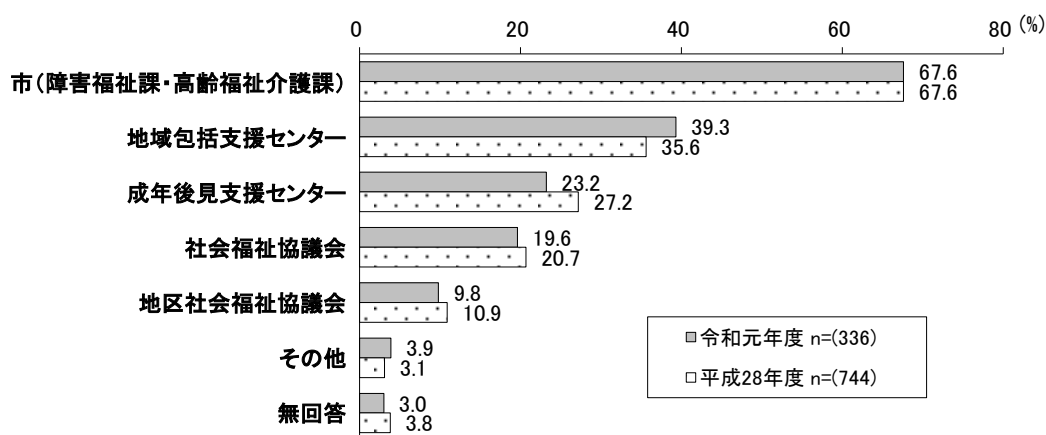
(4-1) 知っている相談窓口

【問34で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問34-1 あなたの知っている相談窓口はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

市に成年後見制度の利用・相談窓口があることを、「知っている」と回答した方に、知っている相談窓口をきいたところ、「市(障害福祉課・高齢福祉介護課)」が67.6%で最も高く、次いで「地域包括支援センター」が39.3%、「成年後見支援センター」が23.2%などとなっています。

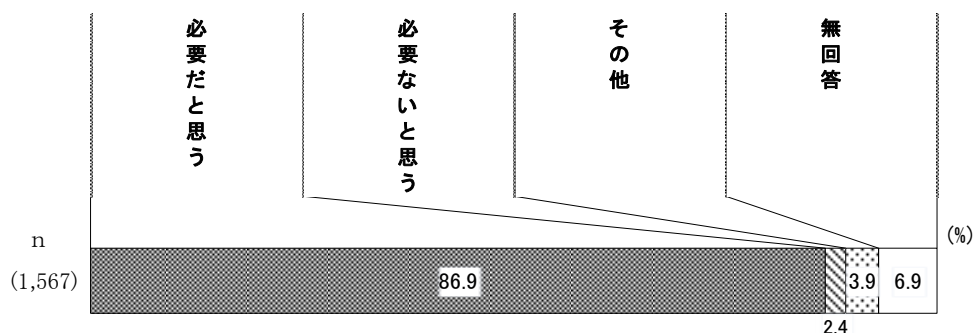
平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。



(5) 防災無線による行方不明の高齢者等の市民への呼びかけについての考え

問35 あなたは、行方不明の高齢者等を防災無線を使って市民に呼びかけて捜していた
だいていることについて、どうお考えですか。(ひとつだけに○)

防災無線による行方不明の高齢者等の市民への呼びかけについては、「必要だと思う」が86.9%を占めています。

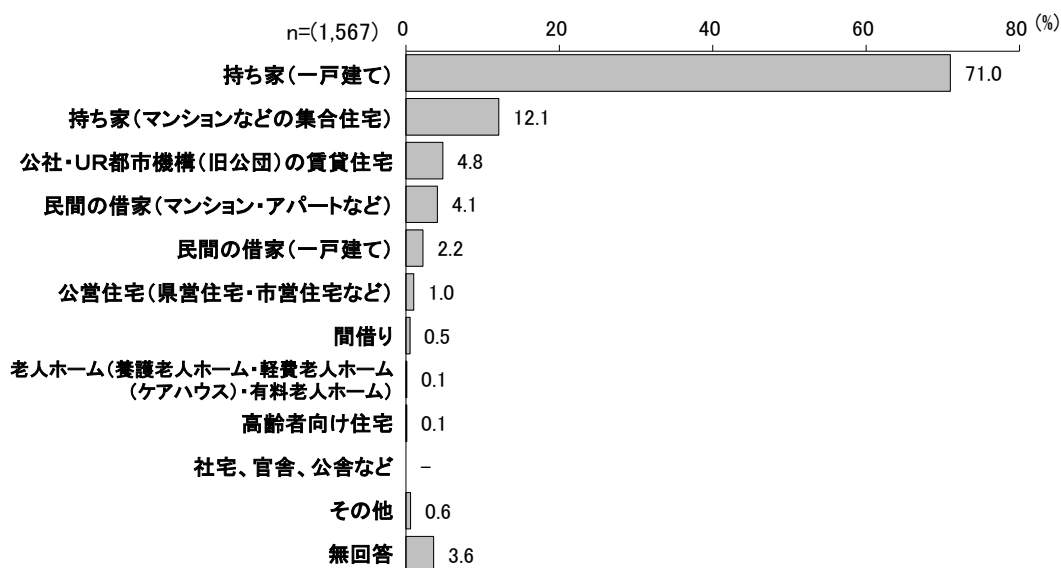


10 住まいについて

(1) 住まいの種類

問36 あなたのお住まいについておたずねします。(ひとつだけに○)

住まいの種類は、「持ち家（一戸建て）」が71.0%で最も高く、次いで「持ち家（マンションなどの集合住宅）」が12.1%などとなっています。



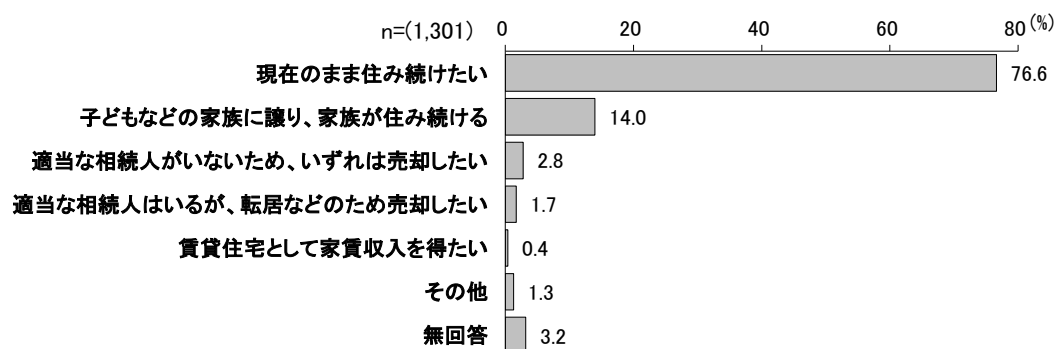
(1-1) 今後の住宅の利用予定

【問36で「1. 持ち家（一戸建て）」、「2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）」に○をつけた方におたずねします。】

問36-1 今後、住宅（持ち家）はどのように利用される予定ですか。

(ひとつだけに○)

住まいの種類で、「持ち家（一戸建て）」、「持ち家（マンションなどの集合住宅）」と回答した方に、今後10年の間の利用予定をたずねたところ、「現在のまま住み続けたい」が76.6%で最も高く、次いで「子どもなどの家族に譲り、家族が住み続ける」が14.0%となっています。



11 防災について

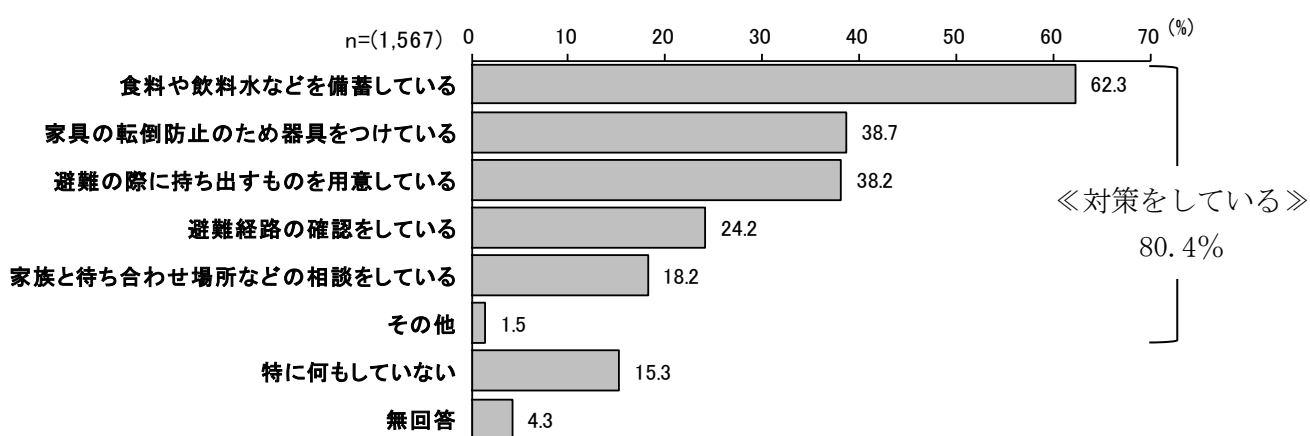
(1) 大きな災害に備えた対策

問37 あなたは、大きな災害に備えて、何か対策をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

大きな災害に備えた対策では、《対策をしている》が80.4%で、「特に何もしていない」が15.3%となっています。

具体的な対策としては、「食料や飲料水などを備蓄している」が62.3%で最も高く、次いで「家具の転倒防止のため器具をつけている」が38.7%、「避難の際に持ち出すものを用意している」が38.2%などとなっています。



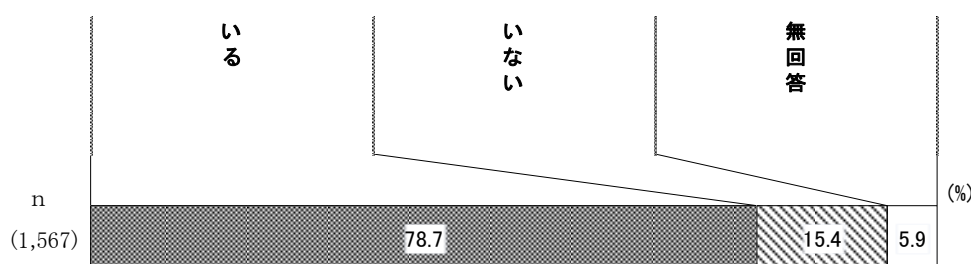
※《対策をしている》＝100%－「特に何もしていない」－無回答

(2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無

問38 あなたは、災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人がいますか。

(ひとつだけに○)

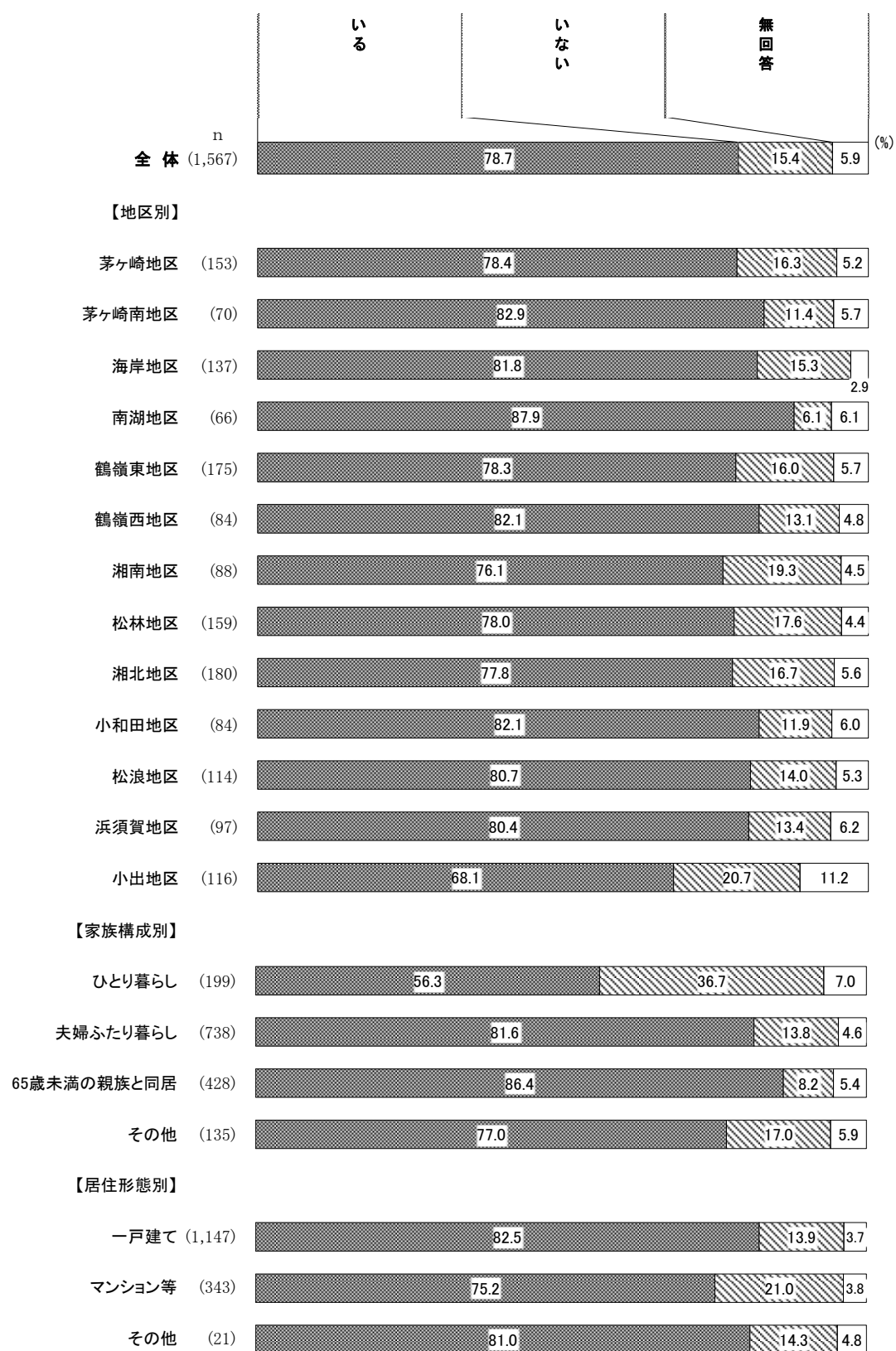
災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いる」割合は78.7%と高くなっています。



地区別にみると、「いる」は小出地区で7割近くにとどまります。

家族構成別でみると、「いる」はひとり暮らしで5割台半ばにとどまります。

居住形態別にみると、「いる」はマンション等で7割台半ばと、比較的低くなっています。

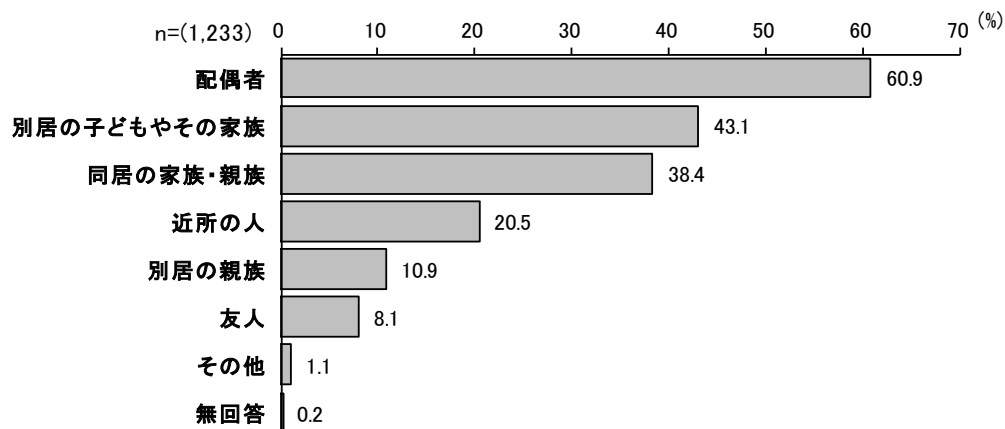


（２－１）災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人

【問38で「１． いる」に○をつけた方におたずねします。】

問38－１ その方はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いる」と回答した方に、手助けしてくれる人をきいたところ、「配偶者」が60.9%で最も高く、次いで「別居の子どもやその家族」が43.1%、「同居の家族・親族」が38.4%などとなっています。

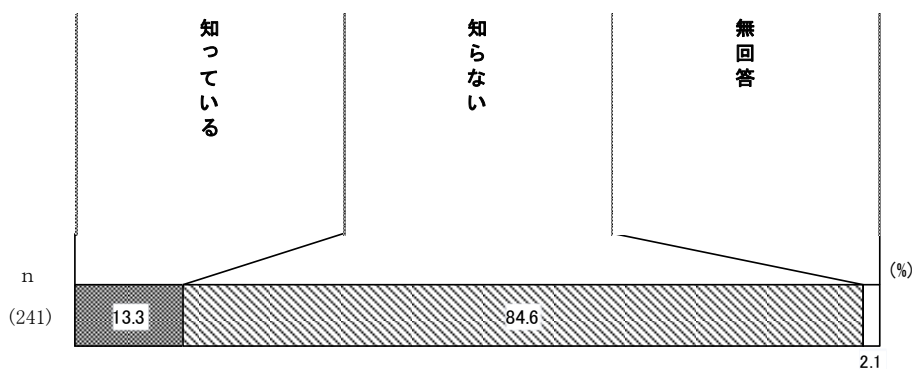


（２－２）避難行動要支援者支援制度の認知度

【問38で「２． いない」に○をつけた方におたずねします。】

問38－２ 市では、地域の共助によって、災害発生時等に自ら避難することが困難な障害者や高齢者などに支援の手を差し伸べることで、「減災」につなげることを目的とした避難行動要支援者支援制度があります。
あなたは、この制度を知っていますか。（ひとつだけに○）

避難行動要支援者支援制度に関して、「知っている」が13.3%にとどまり、「知らない」が84.6%を占めています。

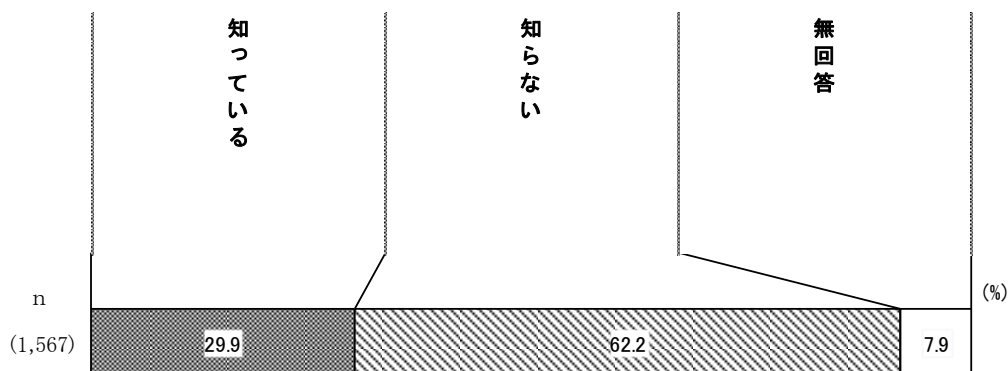


12 介護保険について

(1) 在宅ケア相談窓口の認知

問39 あなたは、在宅ケア相談窓口を知っていますか。(ひとつだけに○)

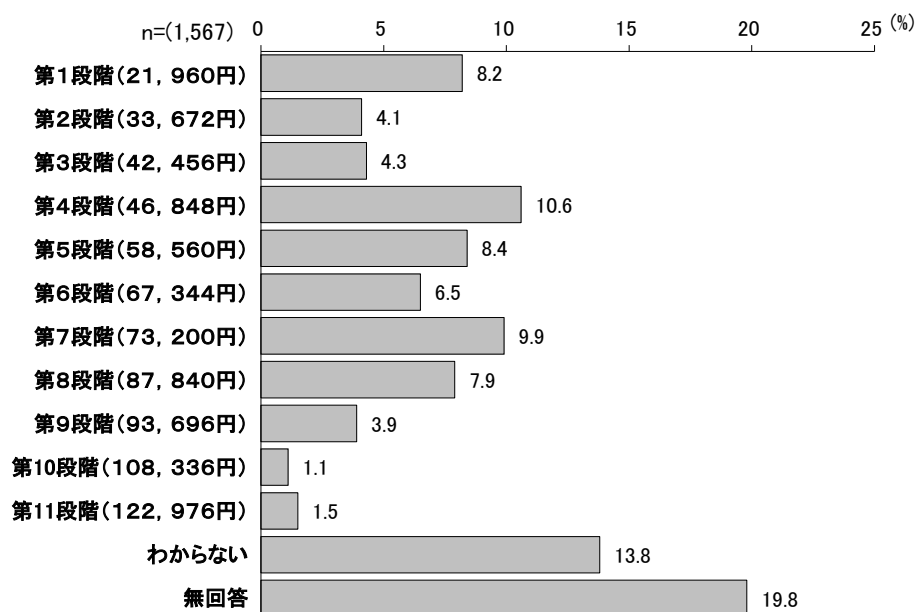
在宅ケア相談窓口に関して、「知っている」は29.9%、「知らない」が62.2%となっています。



(2) 介護保険料の所得段階区分

問40 あなたの介護保険料の「所得段階」は、どの段階ですか。
令和元年度茅ヶ崎市介護保険料納入通知書にてご確認ください。
(ひとつだけに○)

介護保険料の所得段階区分は、「第4段階 (46,848円)」が10.6%と唯一1割を超え、次いで「第7段階 (73,200円)」が9.9%となっています。このほか、「第5段階 (58,560円)」が8.4%、「第1段階 (21,960円)」が8.2%などと続いています。

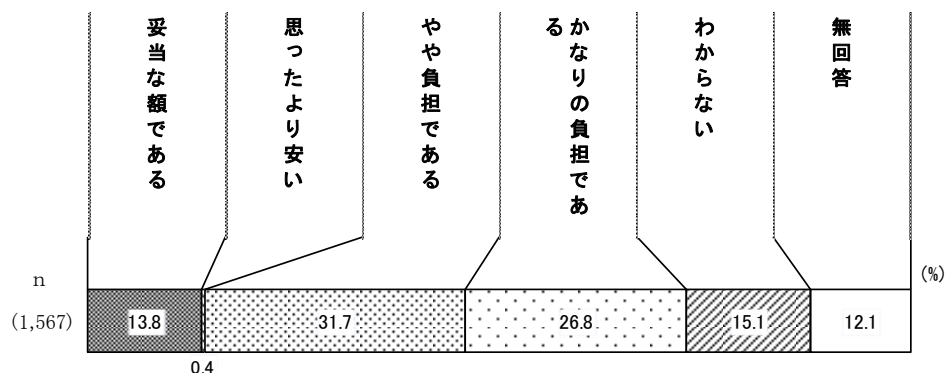


(3) 介護保険料の納付額について

問41 介護保険料の納付額について、どのようにお感じになりますか。

(ひとつだけに○)

介護保険料の納付額については、「妥当な金額である」が13.8%、「思ったより安い」が0.4%となっています。一方、「やや負担である」の31.7%と「かなりの負担である」の26.8%を合わせた《負担である》は58.5%です。

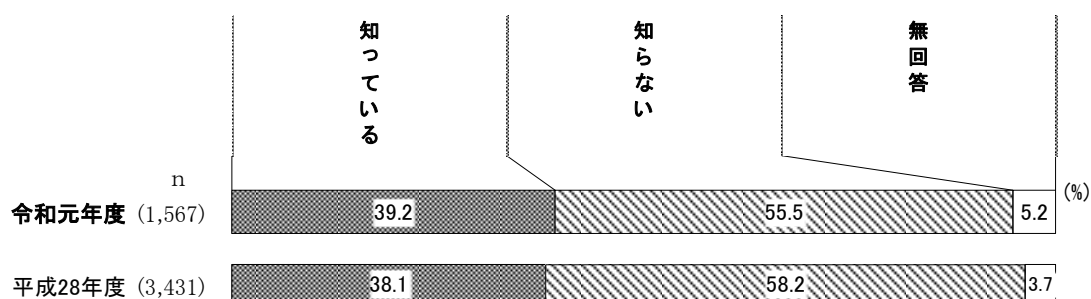


(4) 地域を担当している地域包括支援センターの認知度

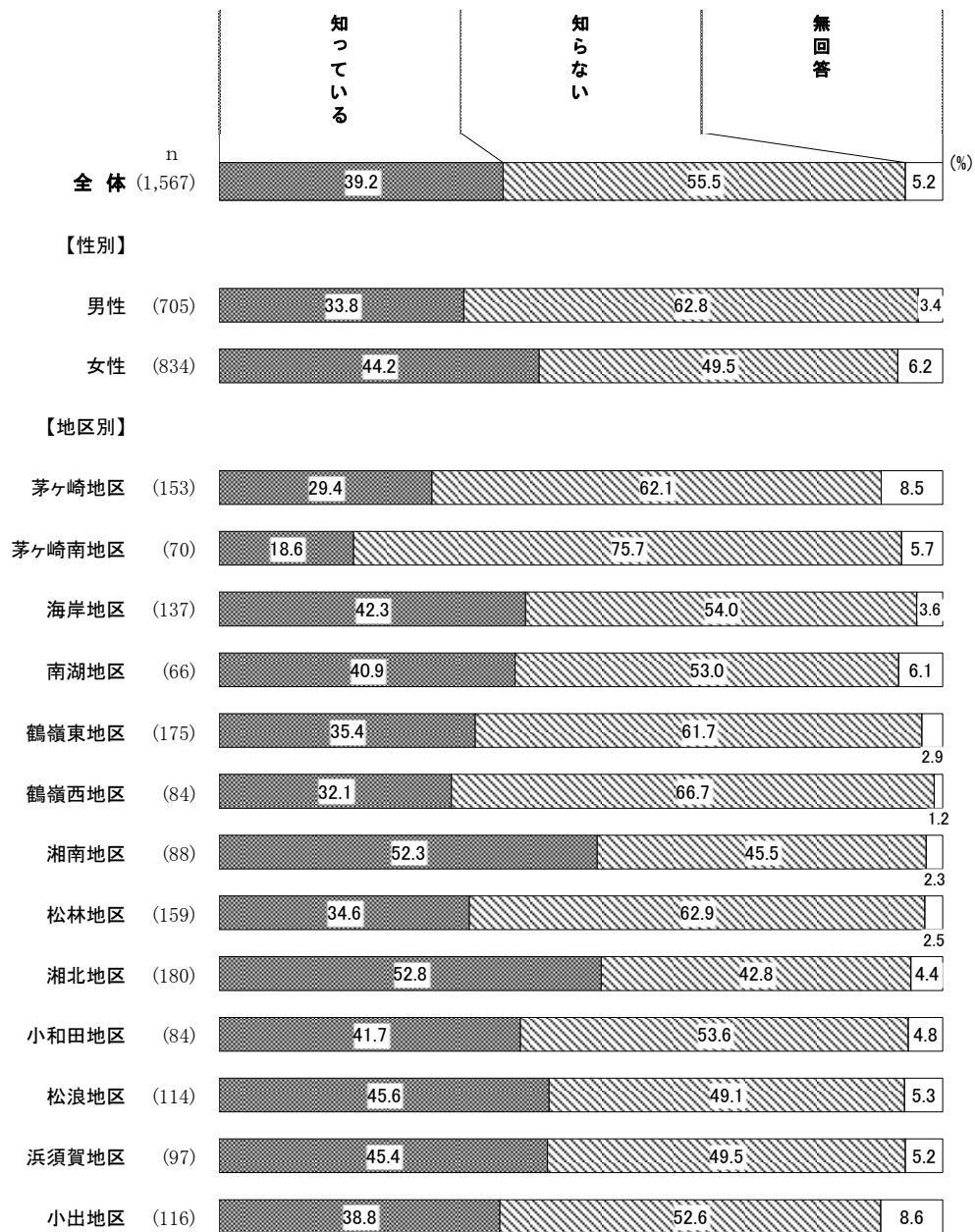
問42 あなたは、あなたの地域を担当している「地域包括支援センター」を知っていますか。(ひとつだけに○)

地域を担当している地域包括支援センターを「知っている」は39.2%で、「知らない」が55.5%となっています。

平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。



性別でみると、「知っている」は女性の方が男性より10.4ポイント高くなっています。
地区別にみると、「知っている」は茅ヶ崎南地区で2割近くに近づきます。



(4-1) 地域包括支援センターの利用状況

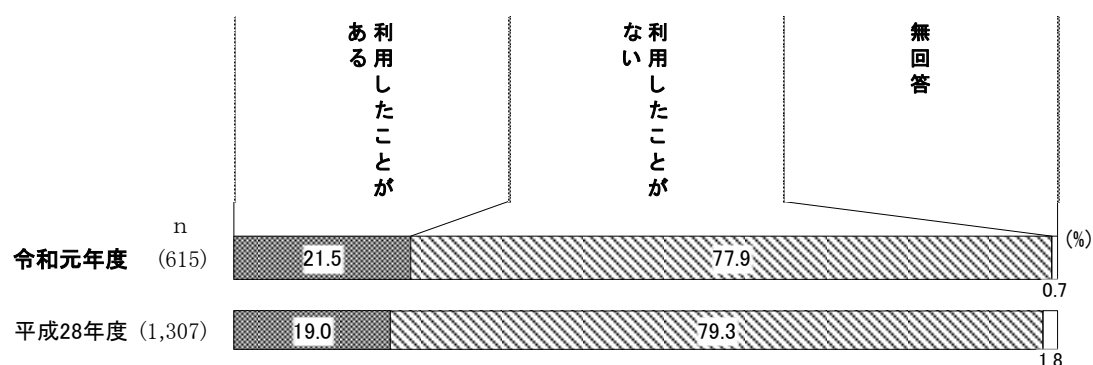
【問42で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問42-1 あなたは、「地域包括支援センター」を利用したことがありますか。

(ひとつだけに○)

地域を担当している地域包括支援センターを、「知っている」と回答した方に、利用状況をきいたところ、「利用したことがある」は21.5%で、「利用したことがない」が77.9%となっています。

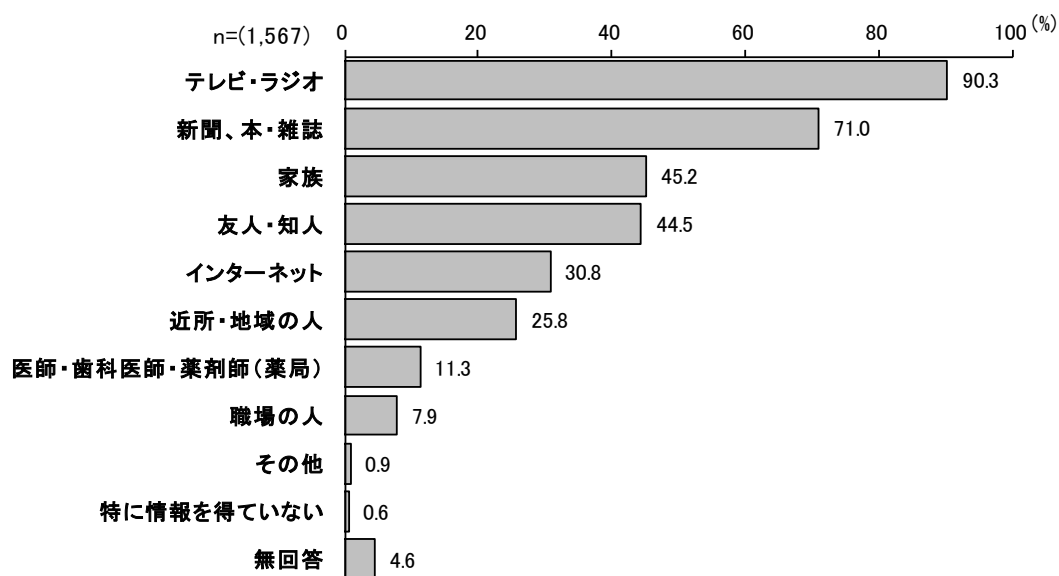
平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。



(5) 生活の情報源

問43 あなたは普段生活をしている中で、どのようなところで様々な情報を得ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

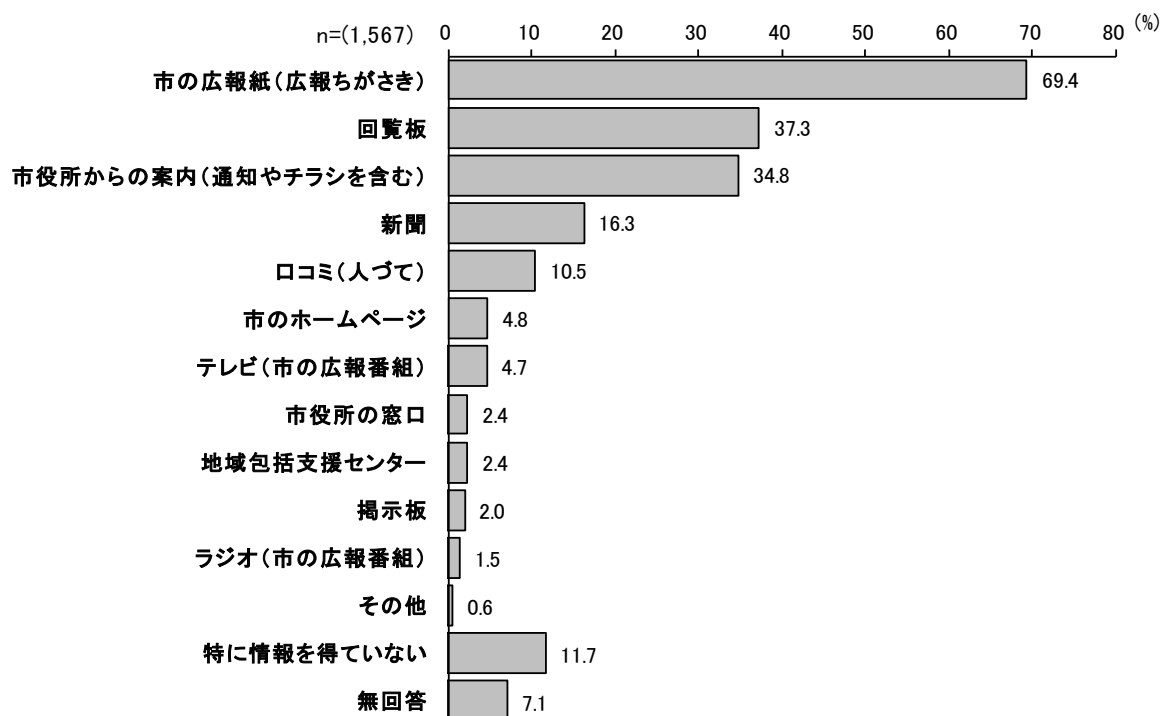
生活の情報源としては、「テレビ・ラジオ」が90.3%で最も高く、次いで「新聞、本・雑誌」が71.0%、「家族」が45.2%、「友人・知人」が44.5%などとなっています。



（６）市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源

問44 市からの、介護保険や高齢者福祉に関する情報について、どのようなところで得ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

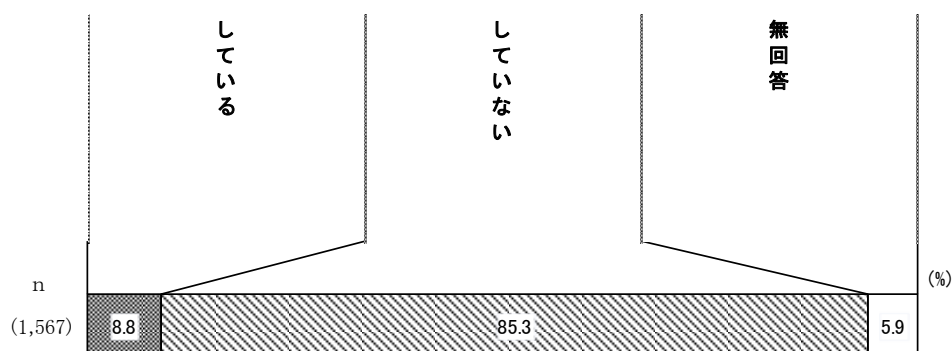
市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源は、「市の広報紙（広報ちがさき）」が69.4%と7割近く、次いで「回覧板」が37.3%、「市役所からの案内（通知やチラシを含む）」が34.8%、「新聞」が16.3%などとなっています。一方、「特に情報を得ていない」は11.7%となっています。



（７）家族介護の状況

問45 あなたは現在、家族の介護をしていますか。（ひとつだけに○）

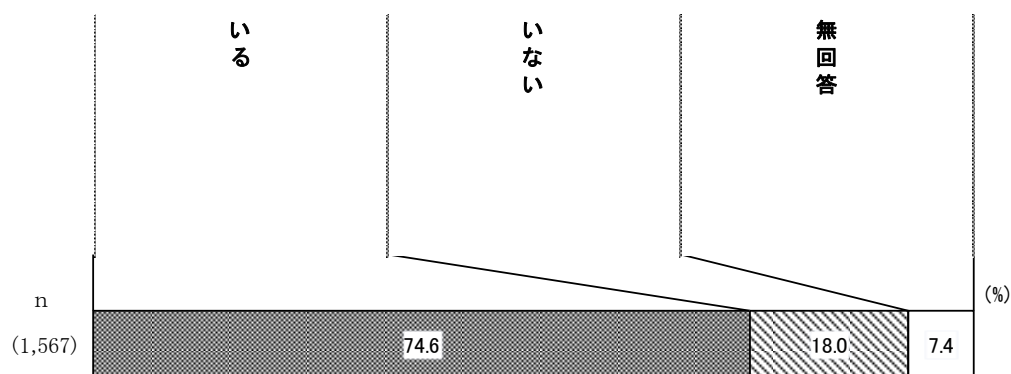
家族の介護に関して、「している」は8.8%で、「していない」が85.3%となっています。



（８）介護が必要となったときの介護予定者の有無

問46 あなたは、介護が必要となったとき、日常生活の世話をしてくれる人（介護予定者）はいますか。（ひとつだけに○）

介護が必要となったとき、介護予定者が「いる」のは74.6%と高く、「いない」が18.0%となっています。

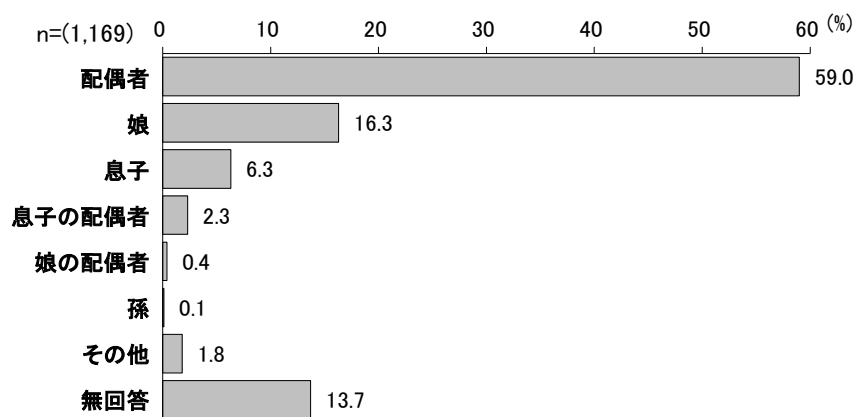


（８－１）主な介護予定者

【問46で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問46－1 主な介護予定者はどなたですか。（ひとつだけに○）

介護予定者が「いる」と回答した方に、主な介護予定者をたずねたところ、「配偶者」が59.0%で最も高く、次いで「娘」が16.3%などとなっています。

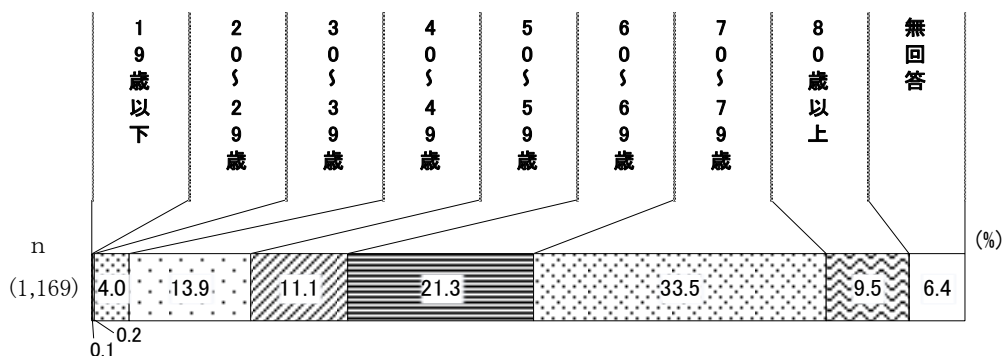


(8-2) 主な介護予定者の年齢

【問46で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問46-2 主な介護予定者の年齢についておたずねします。(ひとつだけに○)

介護予定者が「いる」と回答した方に、主な介護予定者の年齢をきいたところ、「70～79歳」が33.5%で最も高く、次いで「60～69歳」が21.3%となっています。これらに「80歳以上」(9.5%)を合わせると、《60歳以上》は64.3%です。

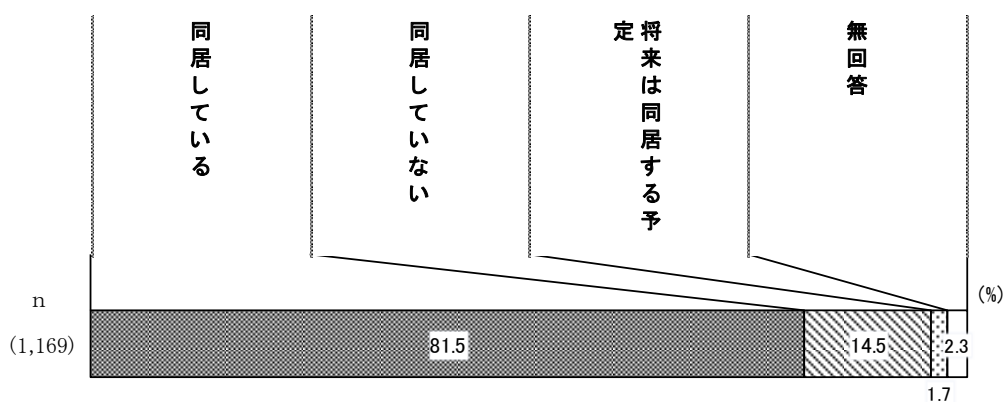


(8-3) 主な介護予定者の同居の有無

【問46で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問46-3 主な介護予定者は、あなたと同居していますか。二世帯住宅の場合は同居と扱います。(ひとつだけに○)

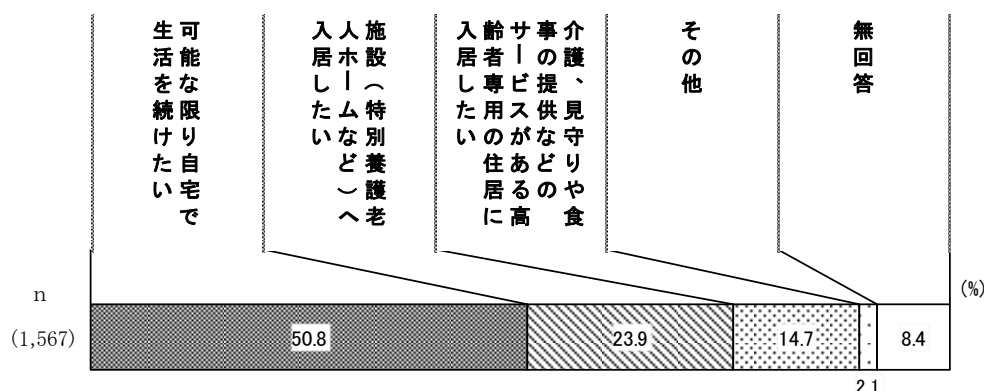
介護予定者が「いる」と回答した方に、主な介護予定者の同居についてきいたところ、「同居している」が81.5%を占め、「同居していない」が14.5%となっています。



(9) 介護が必要となったときに希望する介護

問47 あなたは、寝たきりや認知症になるなど、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか。(ひとつだけに○)

介護が必要となったときに希望する介護は、「可能な限り自宅で生活したい」が50.8%と半数を超え、次いで「施設（特別養護老人ホームなど）へ入居したい」が23.9%、「介護、見守りや食事の提供などのサービスがある高齢者専用の住居に入居したい」が14.7%です。

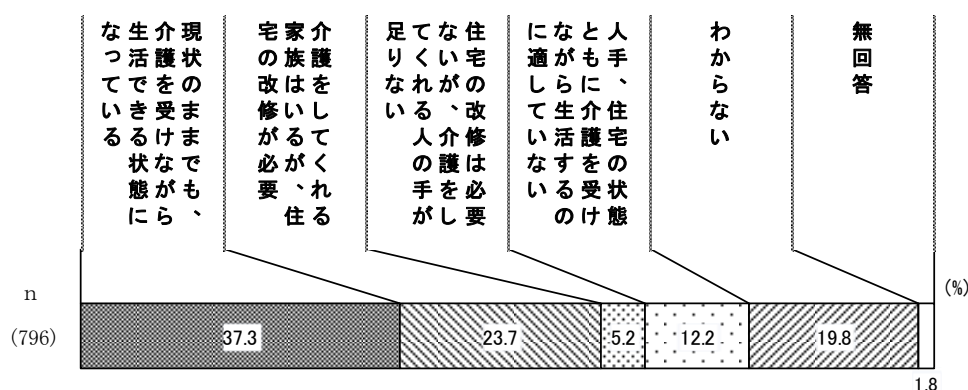


(9-1) 自宅等の介護対応度

【問47で「1. 可能な限り自宅で生活したい」に○をつけた方におたずねします。】

問47-1 あなたの自宅、もしくは子どもや親戚の家は、介護を受けながら生活するのに適した状態になっていると思いますか。(ひとつだけに○)

介護が必要となったときに希望する介護で、「可能な限り自宅で生活したい」と回答した方に、自宅等が介護を受けながら生活するのに適した状態になっているかをきいたところ、「現状のままで、介護を受けながら生活できる状態になっている」が37.3%で最も高く、「介護をしてくれる家族はいるが、住宅の改修が必要」は23.7%、「住宅の改修は必要ないが、介護をしてくれる人の手が足りない」が5.2%、「人手、住宅の状態ともに介護を受けながら生活するのに適していない」は12.2%となっています。



13 自由回答

(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見

問48 最後になりますが、高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

401人の方から440件のご意見をいただきました。回答の主な内容は、以下のとおりです。

分類 (基本方針別)	主な回答内容	件数
1 高齢者の多様な生きがいづくりの支援	・高齢者が集まり、話し合いが出来る場所が身近にあると良い。	18 件
2 高齢者の健康づくりと介護予防の充実	・高齢者が楽しくわくわくするような健康づくりの仕組みを作してほしい。 ・健康で元気なお年寄を増やすための施策に力を入れていくべきだと思う。	36 件
3 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	・バスの割引券などを支給してほしい。 ・介護タクシーをもっと増やしてほしい。 ・年金生活でも入居可能なケア付き賃貸住宅が、たくさんできると良い。	43 件
4 地域における高齢者の支援体制づくり	・介護が必要になった場合の相談できる窓口等について、教えてほしい。 ・24 時間対応してもらえる相談先がほしい。 ・介護する方の負担が不安である。	33 件
6 介護保険サービス及び介護予防・生活支援サービス事業の充実	・介護が必要になった時に備え、制度等を知りたい。 ・介護保険制度等の講習会があったら参加したい。 ・介護保険サービスを一定期間受けない人には、保険料を減免できるような制度を検討してほしい。 ・介護保険の手続きを簡単に行なえるようにしてほしい。	87 件
－ その他	・市が実施している事業等について、もっと広報してほしい。	26 件

※複数の項目について記入されている回答もあるため、各項目における回答件数の合計と自由回答の総数は一致しません。

第3章 要介護・要支援認定者 個別調査（在宅）

第3章 要介護・要支援認定者個別調査（在宅）

1 記入者等について

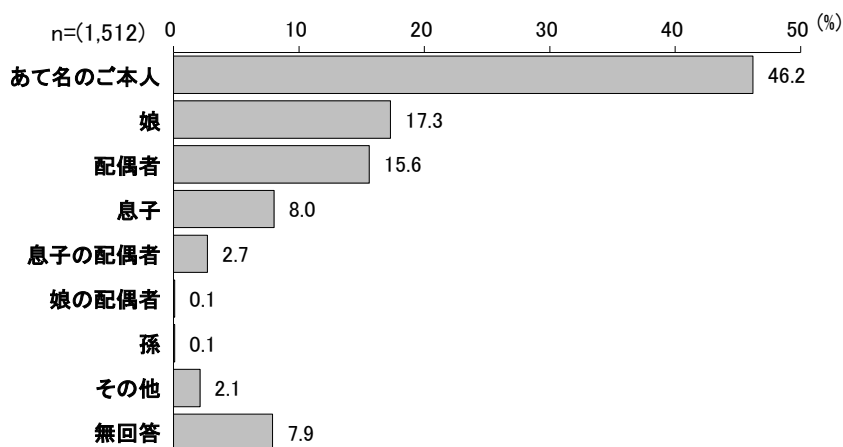
（1）資格喪失や施設入所の有無

回収された調査票1,688件のうち、白票等が10件、調査実施時点で「要介護・要支援認定を受けていない、または市外転出などにより資格を喪失している」との回答が31件、「要介護・要支援認定を受けていて、施設に入所している」との回答が135件ありました。そのため、本調査の有効回答数は1,512件です。

（2）調査回答者

この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。（ひとつだけに○）

調査回答者は、「あて名のご本人」が46.2%で最も高く、次いで「娘」が17.3%、「配偶者」が15.6%などとなっています。

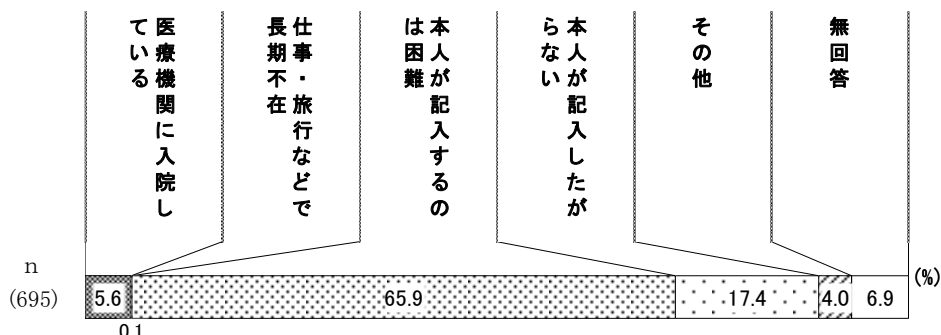


（2－1）本人に代わって記入した理由

【あて名のご本人以外が記入している場合お答えください。】

◇ご本人に代わって記入した理由をお聞かせください。（ひとつだけに○）

本人以外が記入していると回答した方に、代わって記入した理由をたずねたところ、「本人が記入するのは困難」が65.9%で最も高く、次いで「本人が記入したがらない」が17.4%となっています。

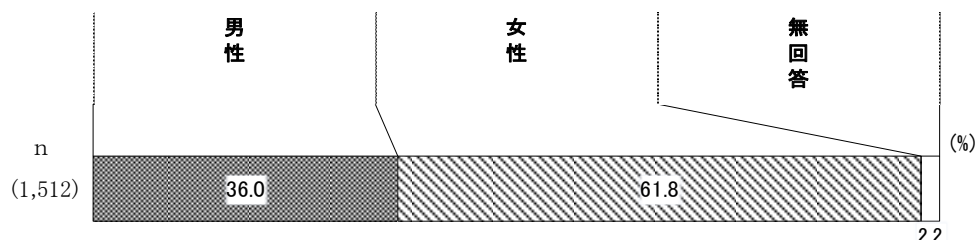


2 回答者（調査対象者）について

（１）性別

問１ あなたの性別をおたずねします。（ひとつだけに○）

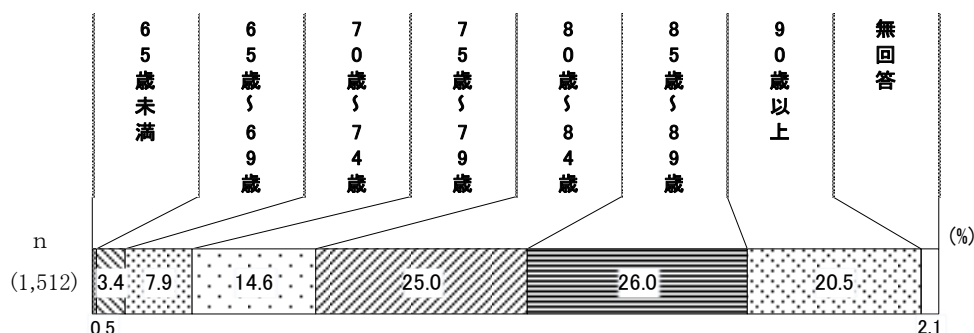
調査対象者の性別は、「男性」が36.0%、「女性」が61.8%となっています。



（２）年齢

問２ あなたの年齢はおいくつですか。（令和元年10月1日現在の満年齢）
（ひとつだけに○）

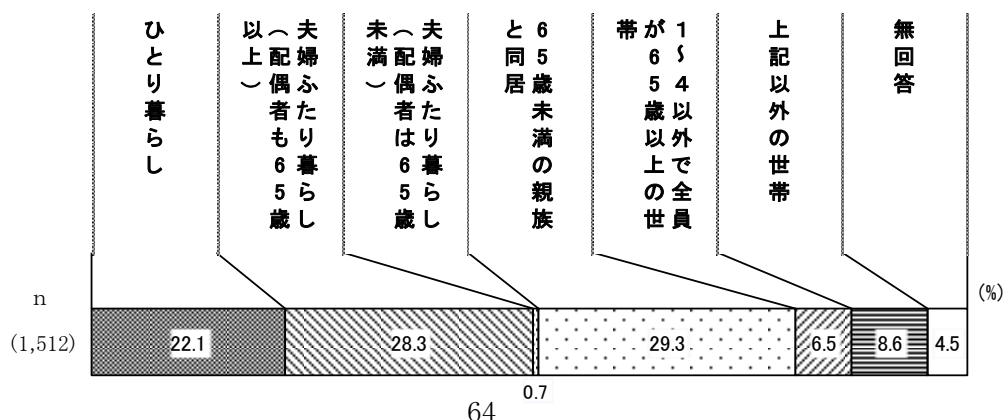
調査対象者の年齢は、「65歳～69歳」が3.4%、「70歳～74歳」が7.9%で、これらを合わせた《前期高齢者》は11.3%となっています。一方、「75歳～79歳」（14.6%）、「80歳～84歳」（25.0%）、「85歳～89歳」（26.0%）、「90歳以上」（20.5%）を合わせた《後期高齢者》は86.1%です。



（３）家族構成

問３ あなたの家族構成をご記入ください。二世帯住宅の場合は同居と扱います。
（ひとつだけに○）

調査対象者の家族構成は、「65歳未満の親族と同居」が29.3%で最も高く、次いで「夫婦ふたり暮らし（配偶者も65歳以上）」が28.3%、「ひとり暮らし」が22.1%となっています。

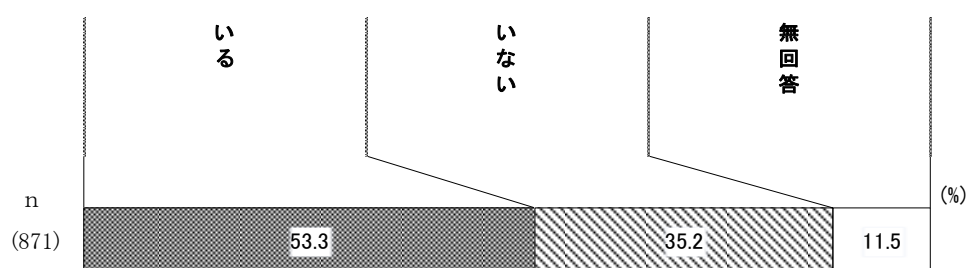


(3-1) 30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無

【問3で「1.」～「3.」か「5.」に○をつけた方におたずねします。】

問3-1 あなたのお子さんやご親族で30分以内に駆けつけられる方はいらっしゃいますか。(ひとつだけに○)

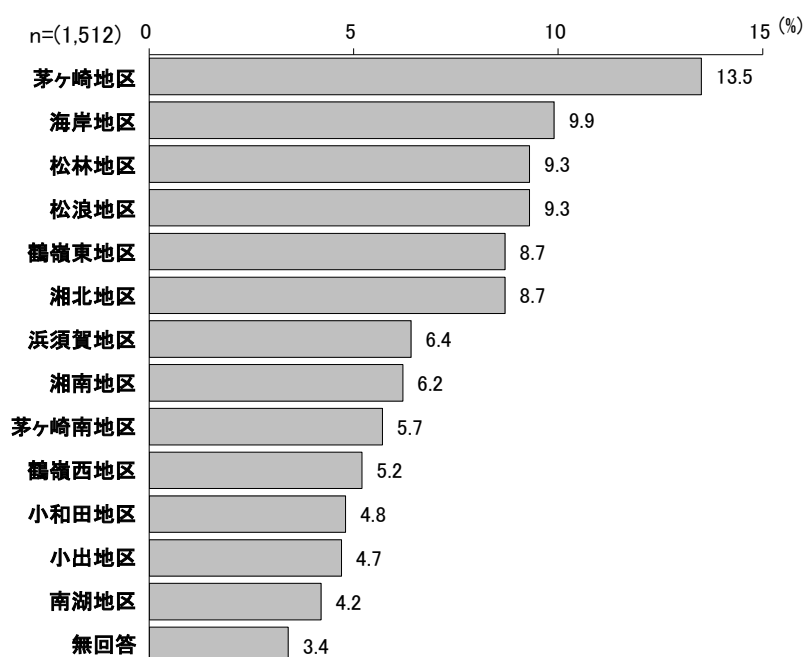
「ひとり暮らし」、「夫婦ふたり暮らし（配偶者も65歳以上）」、「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳未満）」、「(同居者の) 全員が65歳以上の世帯」と回答した方に、30分以内に駆けつけられる子どもや親族の有無は、「いる」が53.3%で、「いない」が35.2%となっています。



(4) 居住地区

問4 あなたのお住まいはどちらですか。(下記の地区から、ひとつだけに○)
※あなたの地区は、封筒の宛名ラベルの右下に記載されています。

調査対象者の居住地区は、「茅ヶ崎地区」が13.5%と最も高く、次いで「海岸地区」が9.9%、「松林地区」と「松浪地区」が9.3%、「鶴嶺東地区」と「湘北地区」が8.7%です。

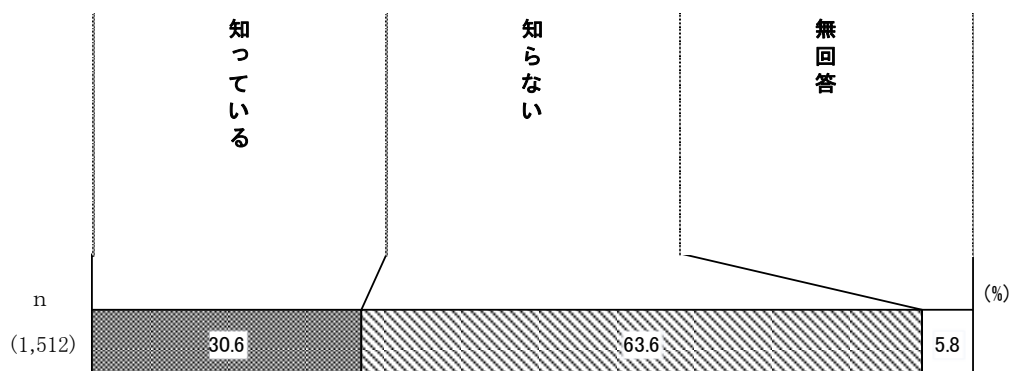


3 日常生活について

(1) 高齢者のための優待サービス事業の認知度

問5 茅ヶ崎市高齢者のための優待サービス事業を知っていますか。(ひとつだけに○)

高齢者のための優待サービス事業を「知っている」のは30.6%で、「知らない」が63.6%を占めています。

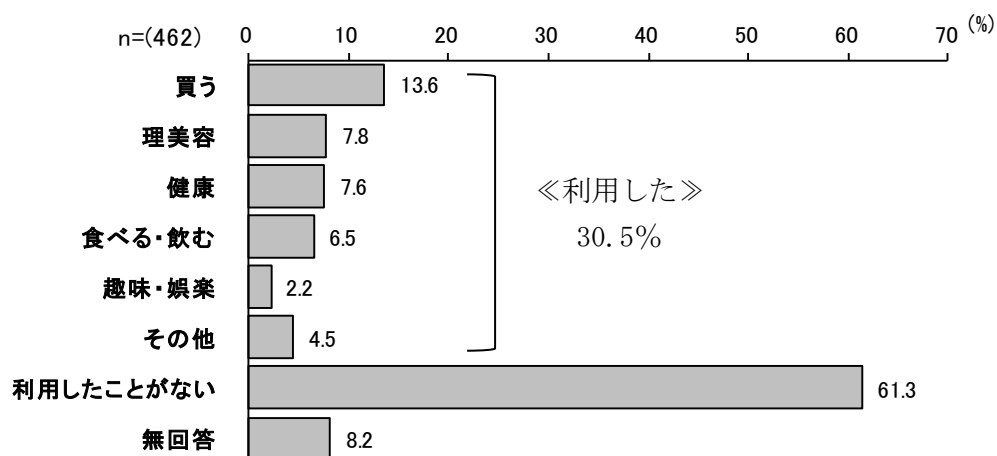


(1-1) 利用したことのある店舗の種類

【問5で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問5-1 利用したことのある店舗の種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

高齢者のための優待サービス事業を知っている人が店舗を《利用した》割合は30.5%で、店舗の種類は「買う」の13.6%が最も高くなっています。



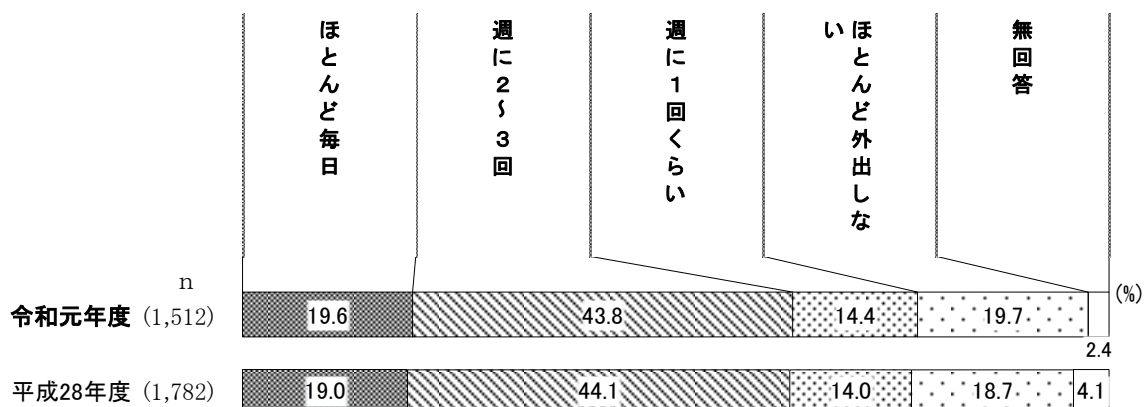
※《利用した》=100%－「利用したことがない」－無回答

(2) 外出頻度

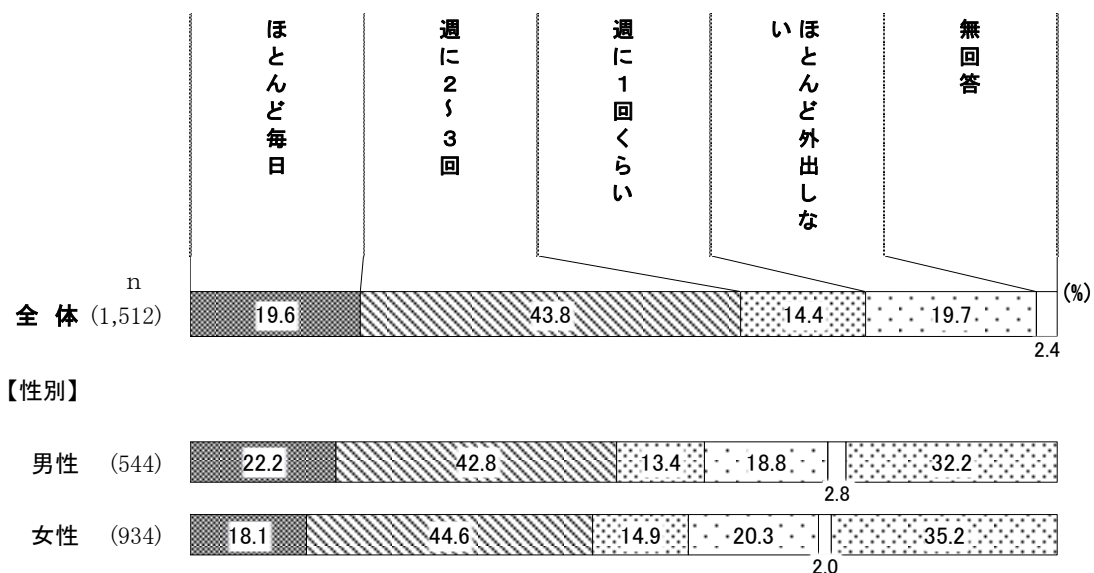
問6 あなたは、週に何回くらい外出（散歩や通院も含む）していますか。
(ひとつだけに○)

外出頻度は、「週に2～3回」が43.8%で最も高くなっています。「週に1回くらい」(14.4%)と「ほとんど外出しない」(19.7%)を合わせた《閉じこもり傾向》は34.1%です。

平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。



性別でみると、特に大きな違いはみられません。



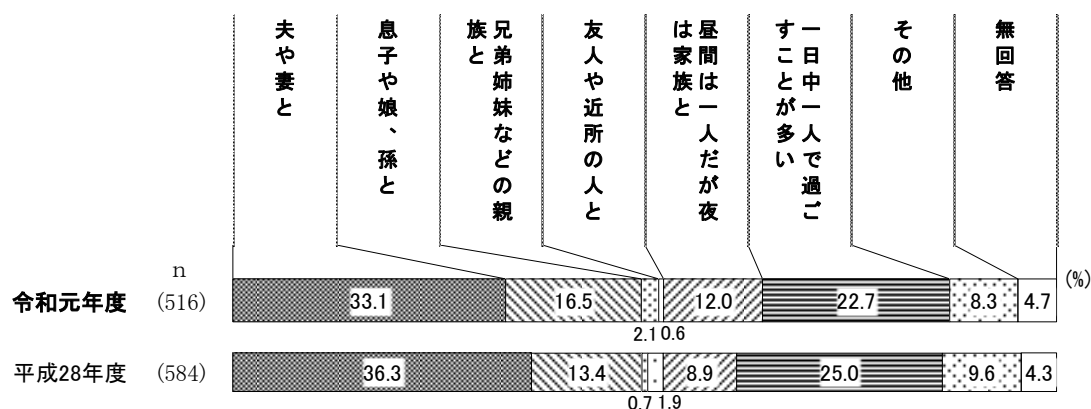
(2-1) 外出しない日に過ごすことが多い人

【問6で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問6-1 外出しない日はどなたと過ごすことが多いですか。(ひとつだけに○)

外出の頻度が《閉じこもり傾向》だった方が、外出しない日に過ごすのは、「夫や妻と」が33.1%で最も高く、「息子や娘、孫と」が16.5%となっています。一方、「一日中一人で過ごすことが多い」が22.7%となっています。

平成28年度と比較すると、特に大きな違いはみられません。

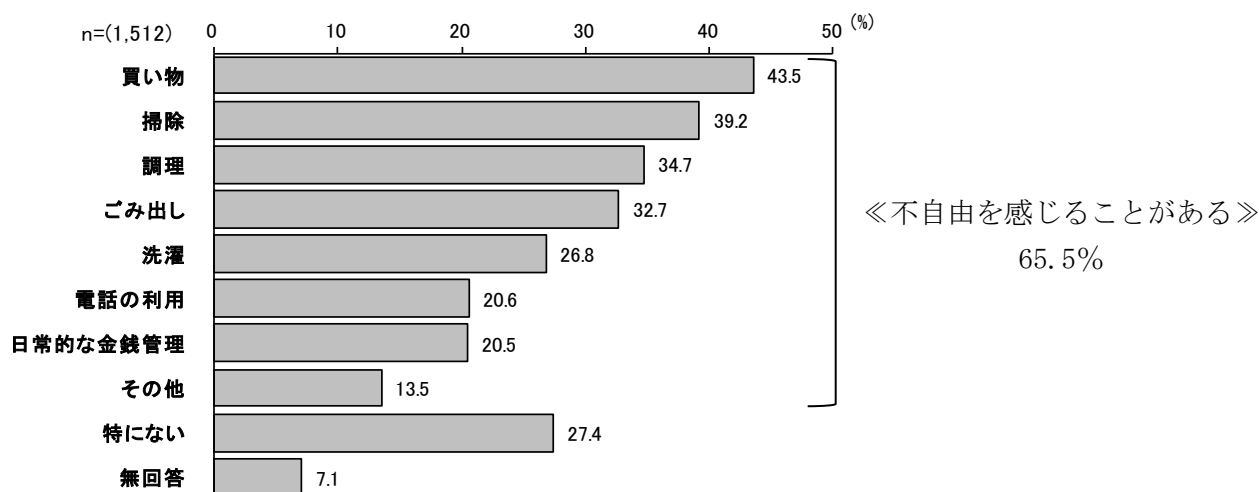


(3) 日常生活の中で不自由を感じること

問7 日常生活の中で不自由を感じることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

日常生活の中で《不自由を感じることもある》のは65.5%で、「特にない」が27.4%となっています。不自由さは、「買い物」で43.5%と最も高く、次いで「掃除」が39.2%、「調理」が34.7%、「ごみ出し」が32.7%、「洗濯」が26.8%などとなっています。



※《不自由を感じることもある》＝100%－「特にない」－無回答

地区別でみると、「買い物」は茅ヶ崎南地区で6割を超えと高くなっています。また、「ごみ出し」も茅ヶ崎南地区で5割近くと高くなっています。

		n	買い物	掃除	調理	ごみ出し	洗濯	電話の利用	日常的な金銭管理	その他	特にない	無回答
全 体		1512	43.5	39.2	34.7	32.7	26.8	20.6	20.5	13.5	27.4	7.1
地区別	茅ヶ崎地区	204	48.0	39.2	37.3	34.8	27.0	15.7	20.1	19.1	23.0	3.9
	茅ヶ崎南地区	86	60.5	59.3	45.3	47.7	38.4	23.3	24.4	10.5	15.1	3.5
	海岸地区	150	42.0	42.0	33.3	34.0	28.7	20.7	24.0	16.0	28.0	4.0
	南湖地区	63	41.3	39.7	34.9	31.7	27.0	20.6	14.3	9.5	28.6	9.5
	鶴嶺東地区	132	43.9	34.8	35.6	31.8	26.5	19.7	20.5	10.6	25.8	9.1
	鶴嶺西地区	79	40.5	38.0	31.6	29.1	25.3	25.3	29.1	11.4	27.8	7.6
	湘南地区	94	34.0	34.0	34.0	28.7	22.3	17.0	12.8	12.8	29.8	8.5
	松林地区	141	48.9	41.1	34.8	29.1	27.0	19.1	19.1	11.3	29.8	2.8
	湘北地区	132	41.7	44.7	36.4	33.3	28.8	24.2	19.7	12.9	29.5	6.1
	小和田地区	72	43.1	34.7	31.9	29.2	27.8	25.0	22.2	15.3	26.4	11.1
	松浪地区	140	43.6	37.1	36.4	35.7	28.6	21.4	23.6	12.1	30.0	8.6
	浜須賀地区	97	36.1	33.0	28.9	25.8	21.6	23.7	19.6	15.5	38.1	7.2
	小出地区	71	38.0	33.8	32.4	35.2	19.7	22.5	16.9	12.7	28.2	14.1

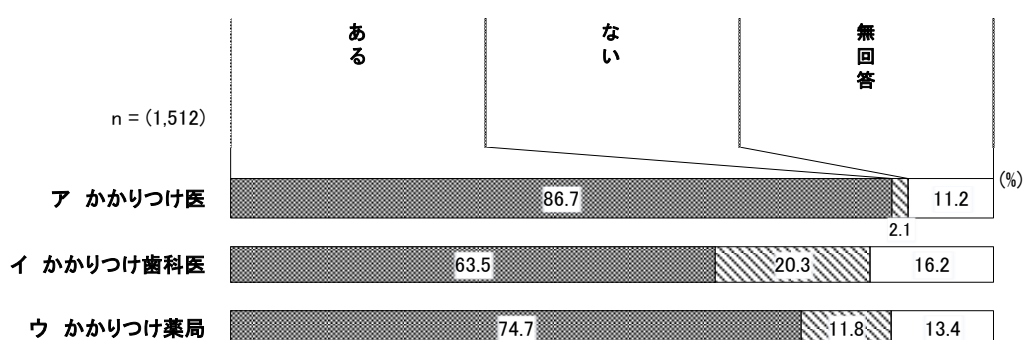
(4) かかりつけの医療機関の有無

問8 あなたには、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけの薬局がありますか。
(ひとつずつ○)

また、かかりつけ医を「1. ある」に○をつけた方は、医療機関も併せてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※かかりつけ薬局とは、薬に関するいろいろな相談に応じ、情報提供してくれる薬局のこと

かかりつけの医療機関が「ある」割合は、「かかりつけ医」が86.7%で最も高く、次いで「かかりつけ薬局」が74.7%、「かかりつけ歯科医」が63.5%となっています。



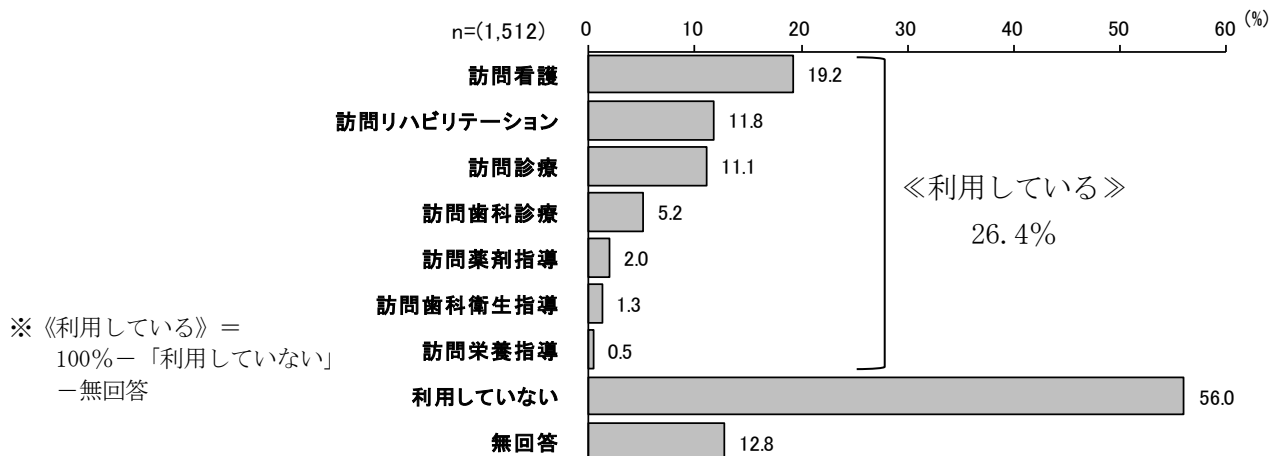
“ア かかりつけ医”が「ある」と回答した方に、医療機関の種類をたずねたところ、「診療所・クリニック」が52.4%、「病院」が39.4%となっています。

(5) 在宅医療サービスの利用状況

問9 どのような在宅医療サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

在宅医療サービスの利用状況は、「利用している」が26.4%で、「利用していない」が56.0%となっています。

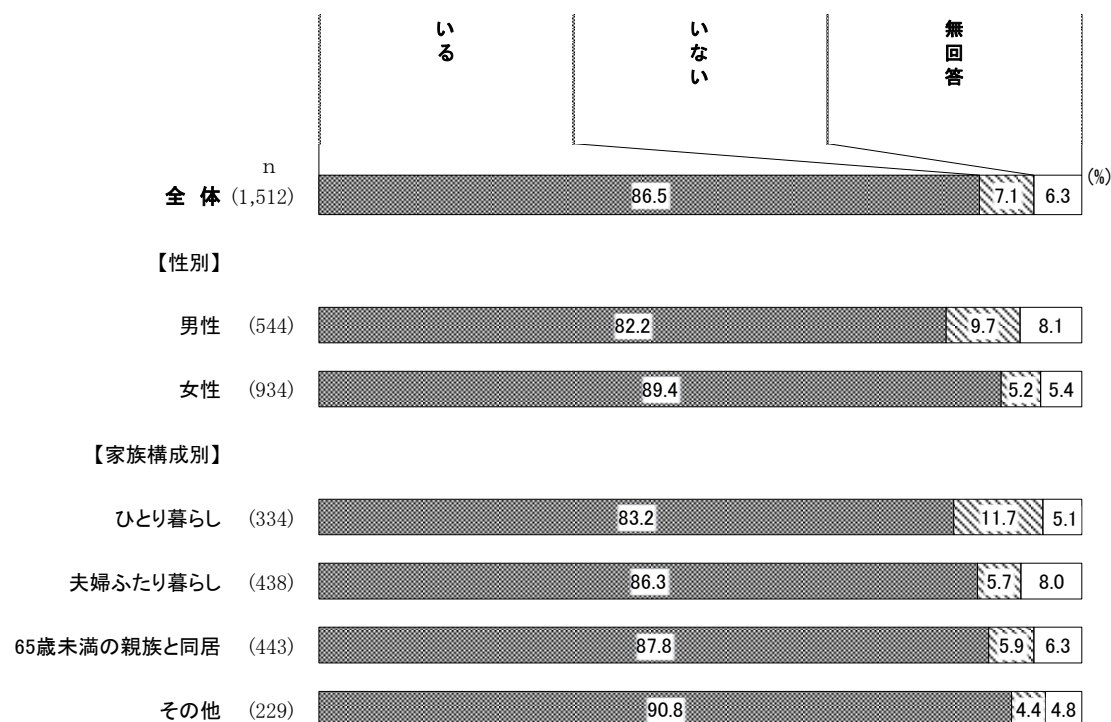
利用している中では、「訪問看護」が19.2%で最も高く、次いで「訪問リハビリテーション」が11.8%、「訪問診療」が11.1%などとなっています。



（６）悩みや心配ごとを相談できる人の有無

問10 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人がいますか。（ひとつだけに○）

悩みや心配ごとを相談できる人や場所が「いる」割合は86.5%と高くなっています。
性別でみると、「いる」は女性の方が男性より7.2ポイント高くなっています。
家族構成別にみると、「いない」はひとり暮らしで1割を超えます。

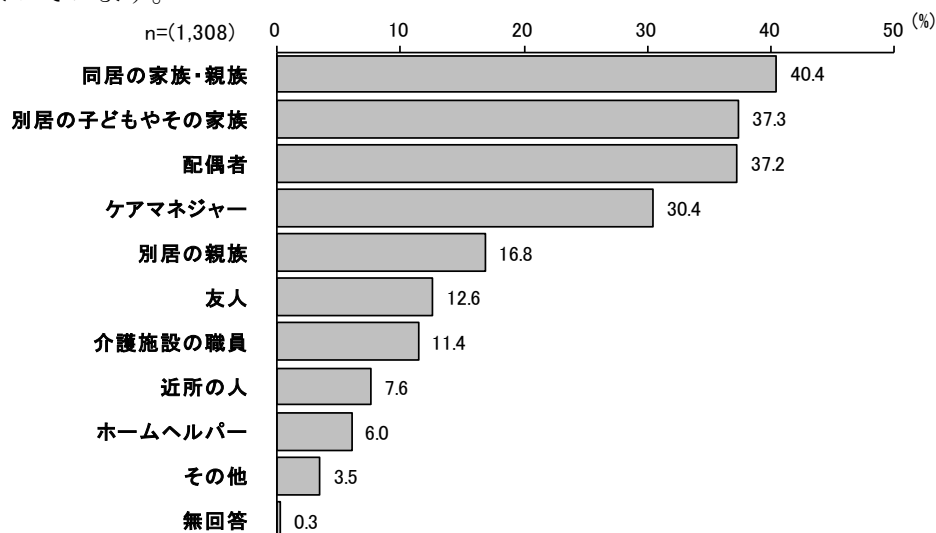


（６－１）悩みや心配ごととの相談先

【問10で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問10-1 その方はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

悩みや心配ごとを相談できる人が「いる」と回答した人の相談先は、「同居の家族・親族」が40.4%で最も高く、次いで「別居の子どもやその家族」が37.3%、「配偶者」が37.2%、「ケアマネジャー」が30.4%などとなっています。



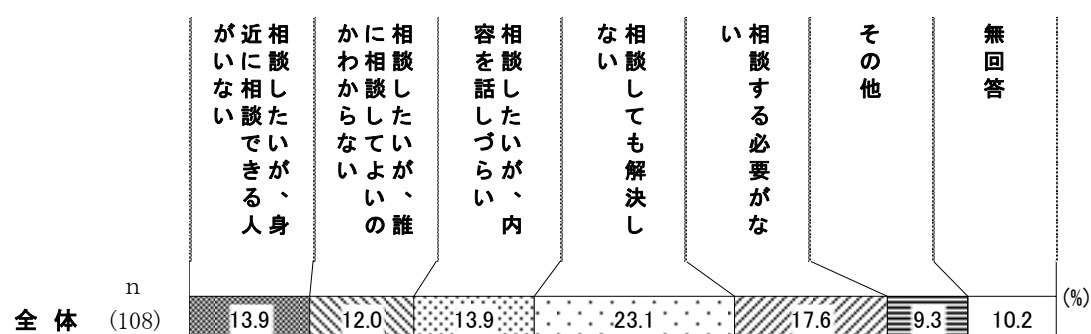
（６－２）相談できる人がいない理由

【問 10 で「2. いない」に○をつけた方におたずねします。】

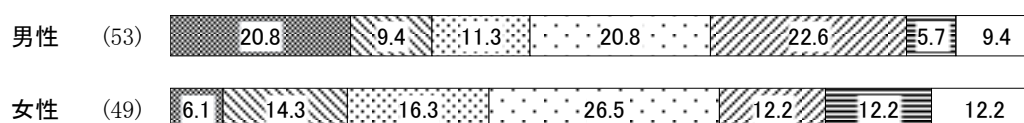
問10-2 最も近い理由は何ですか。（ひとつだけに○）

悩みや心配ごとを相談できる人が「いない」と回答した人の理由は、「相談しても解決しない」が23.1%で最も高く、次いで「相談する必要があるが、身近に相談できる人がいない」「相談したいが、内容を話しづらい」がともに13.9%などとなっています。

性別でみると、「相談したいが、身近に相談できる人がいない」「相談する必要があるが、内容を話しづらい」は男性の方が女性より10ポイント以上高くなっています。一方、「相談したいが、内容を話しづらい」「相談しても解決しない」は女性の方が男性より5ポイント以上高くなっています。



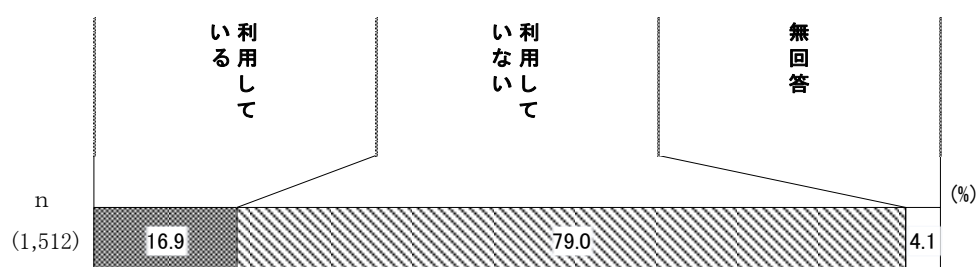
【性別】



（７）民間事業者によるサービスの利用状況

問11 日常生活の中で民間事業者による家事代行サービスや配食サービスなどを利用していますか。（ひとつだけに○）

民間事業者による家事代行や配食サービスを、「利用している」人は16.9%で、「利用していない」が79.0%を占めています。

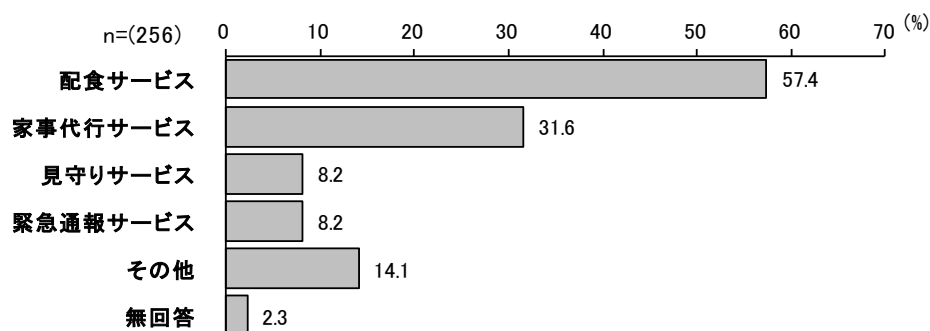


(7-1) 利用している民間事業者によるサービス

【問11で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。】

問11-1 それはどのようなサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

民間事業者によるサービスを「利用している」と回答した方が利用しているのは、「配食サービス」が57.4%で最も高く、次いで「家事代行サービス」が31.6%となっています。

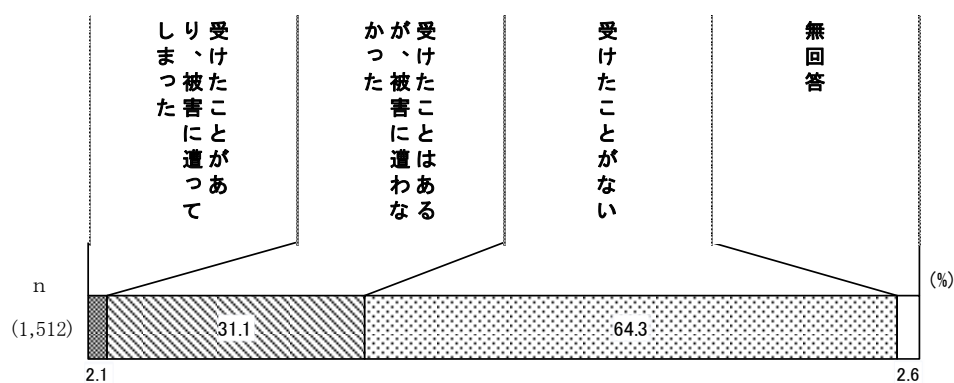


(8) 振り込め詐欺の犯人から電話を受けた経験

問12 あなたは、振り込め詐欺の犯人から電話を受けたことがありますか。

(ひとつだけに○)

振り込め詐欺の犯人からの電話を、「受けたことがあります、被害に遭ってしまった」のは2.1%、「受けたことはあるが、被害に遭わなかった」のは31.1%で、両者を合わせた“受けた”は33.2%となっています。

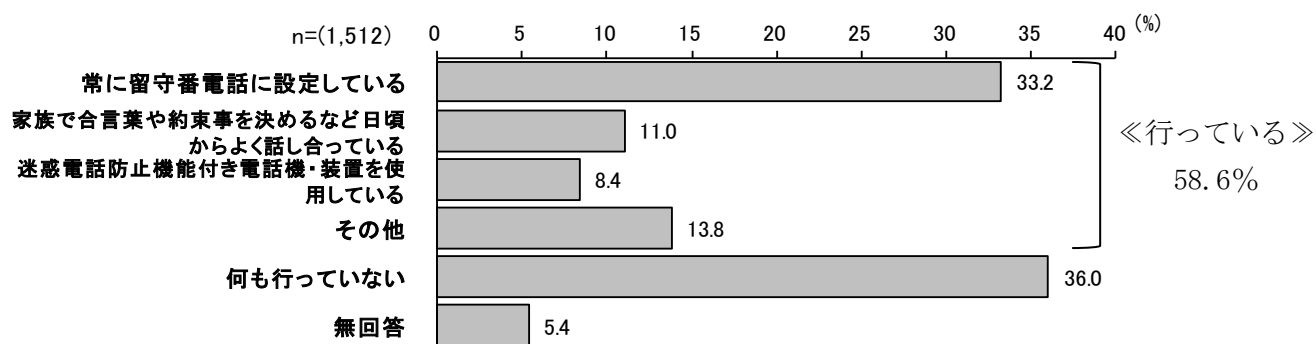


(9) 振り込め詐欺の対策で行っていること

問13 あなたは、振り込め詐欺の対策でどんなことを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

振り込め詐欺に対して、何らかの対策を《行っている》のは58.6%で、具体的には、「常に留守番電話に設定している」が33.2%と特に高くなっています。



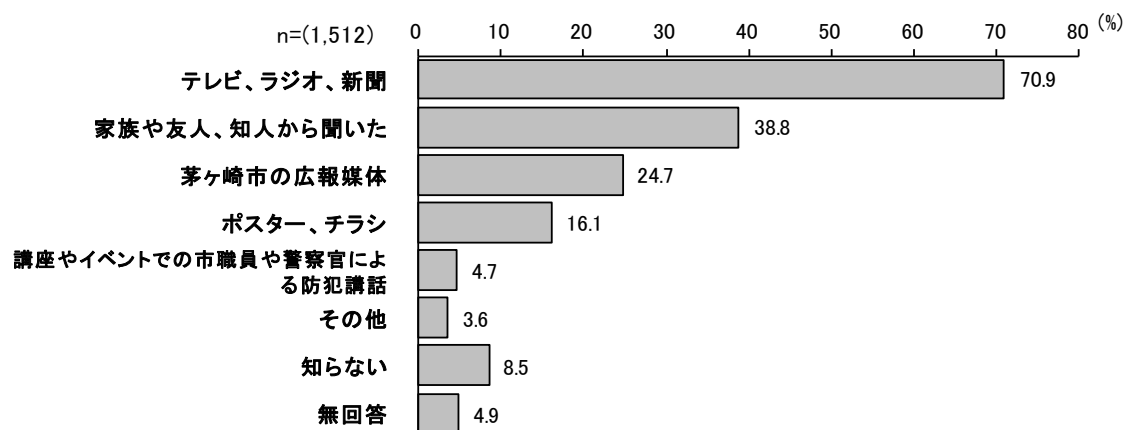
※《行っている》=100%－「何も行っていない」－無回答

(10) 振り込め詐欺対策認知経路

問14 あなたは、振り込め詐欺の対策方法についてどこで知りましたか。

(あてはまるものすべてに○)

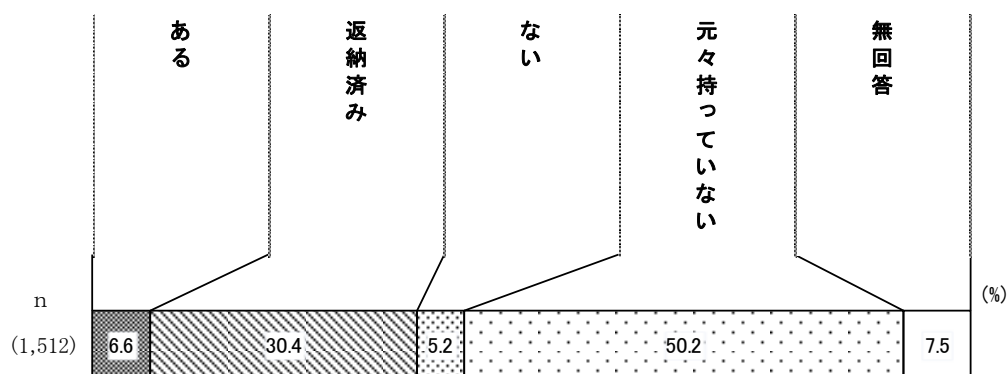
振り込め詐欺対策の認知経路は、「テレビ、ラジオ、新聞」が70.9%を占めています、次いで「家族や友人、知人から聞いた」が38.8%、「茅ヶ崎市の広報媒体（広報紙、市民便利帳、ホームページなど）」が24.7%等となっています。



(11) 運転免許返納意思の有無

問15 あなたは、運転免許証の返納の意思がありますか。(ひとつだけに○)

運転免許返納意思に関しては、「ない」が5.2%、一方、返納意思が「ある」が6.6%、「返納済み」は30.4%となっています。

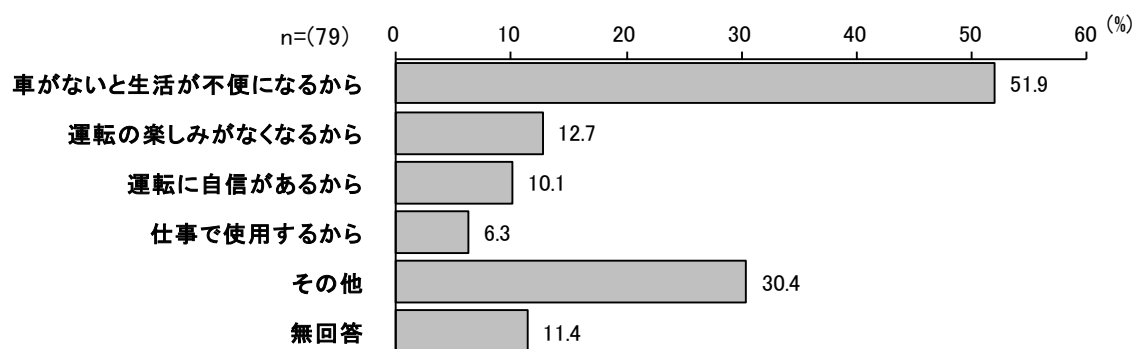


(11-1) 返納意思がない理由

【問15で「3. ない」に○をつけた方におたずねします。】

問15-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

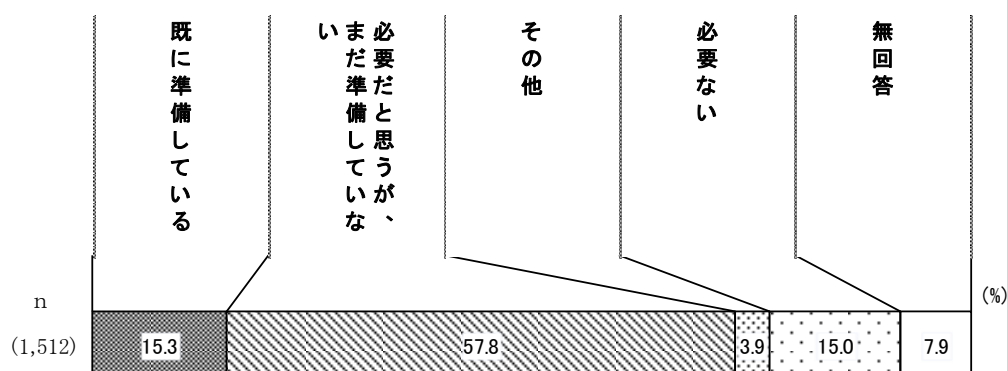
運転免許返納意思がない人にその理由をきいたところ、「車がないと生活が不便になるから」が51.9%、以下、「運転の楽しみがなくなるから」が12.7%「運転に自信があるから」が10.1%等となっています。



(12) 自分らしい最期を迎えるための準備

問16 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、何か準備していますか。
(ひとつだけに○)

自分らしい最期を迎えるための準備については、「既に準備している」が15.3%で、「必要だと思うが、まだ準備していない」が57.8%と高くなっています。

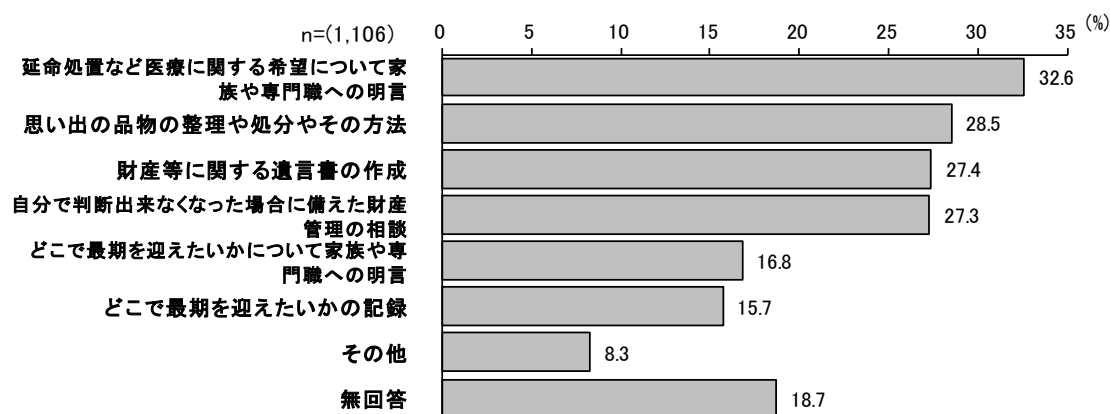


(12-1) 自分らしい最期を迎えるために必要だと思う準備

【問16で「1. 既に準備している」、「2. 必要だと思うが、まだ準備していない」に○をつけた方におたずねします。】

問16-1 どのようなことを準備していますか。また、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

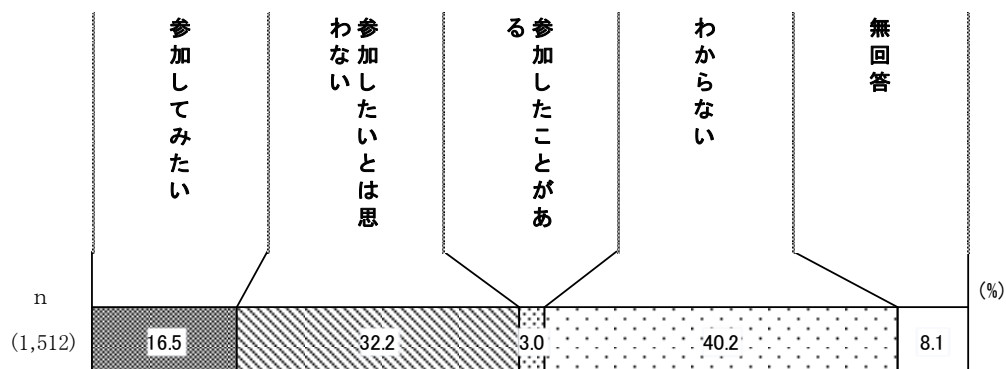
自分らしい最期を迎えるために「既に準備している」、「必要だと思うが、まだ準備していない」と回答した方に、必要だと思う準備をきいたところ、「延命処置など医療に関する希望について家族や専門職への明言」が32.6%で最も高く、次いで「思い出の品物の整理や処分やその方法」が28.5%、「財産等に関する遺言書の作成」が27.4%、「自分で判断出来なくなった場合に備えた財産管理の相談」が27.3%などとなっています。



(13) 自分らしい最期を迎えることを具体的に考える機会への参加意向

問17 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、エンディングノートや家族等への伝達など、具体的に考える機会があれば参加してみたいですか。(ひとつだけに○)

自分らしい最期を迎えるために具体的に考える機会へ、「参加してみたい」が16.5%、「参加したいとは思わない」が32.2%です。なお、「わからない」が40.2%で最も高くなっています。

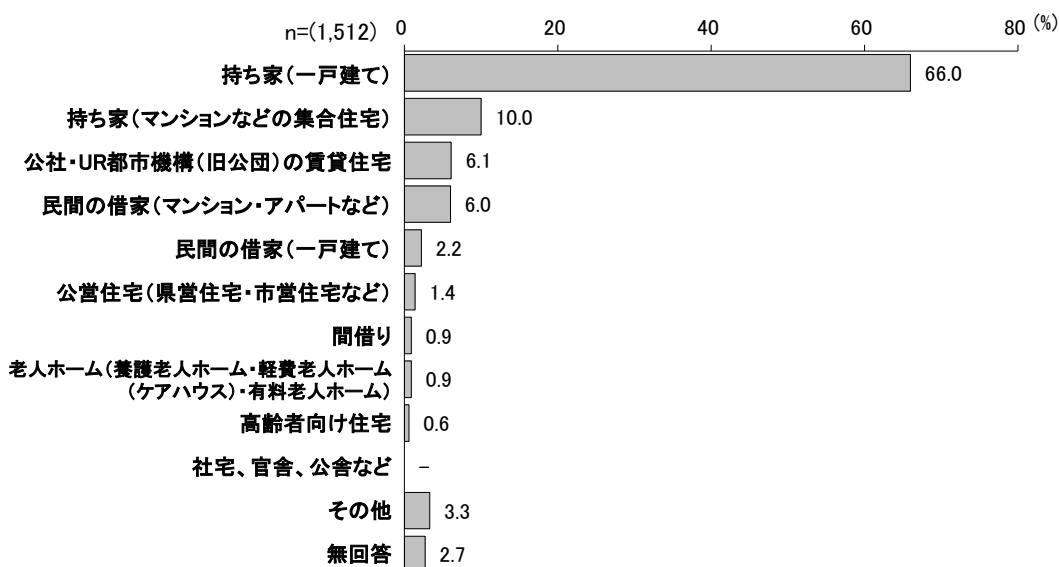


4 住まいについて

(1) 住まいの種類

問18 あなたのお住まいについておたずねします（ひとつだけに○）

住まいの種類は、「持ち家（一戸建て）」が66.0%で最も高く、次いで「持ち家（マンションなどの集合住宅）」が10.0%などとなっています。

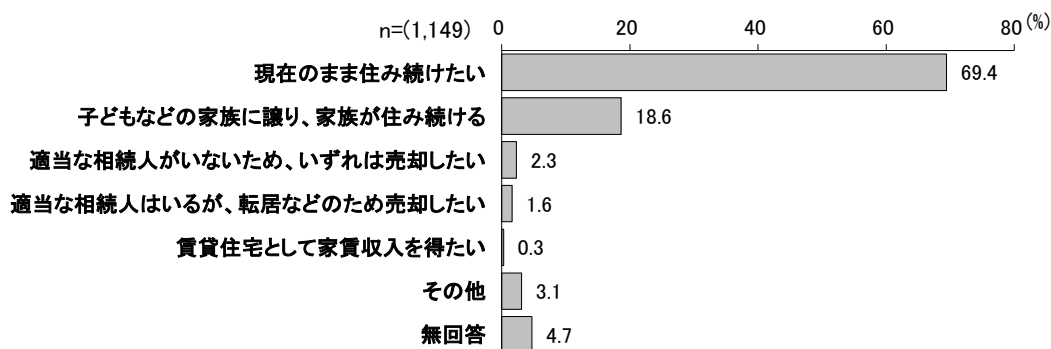


(1-1) 今後の住宅（持ち家）の利用予定

【問18で「1. 持ち家（一戸建て）」、「2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）」に○をつけた方におたずねします。】

問18-1 今後、住宅（持ち家）はどのように利用される予定ですか。（ひとつだけに○）

持ち家に居住している人に、今後の住宅の利用をきいたところ、「現在のまま住み続けたい」が69.4%を占め、「子どもなどの家族に譲り、家族が住み続ける」が18.6%となっています。



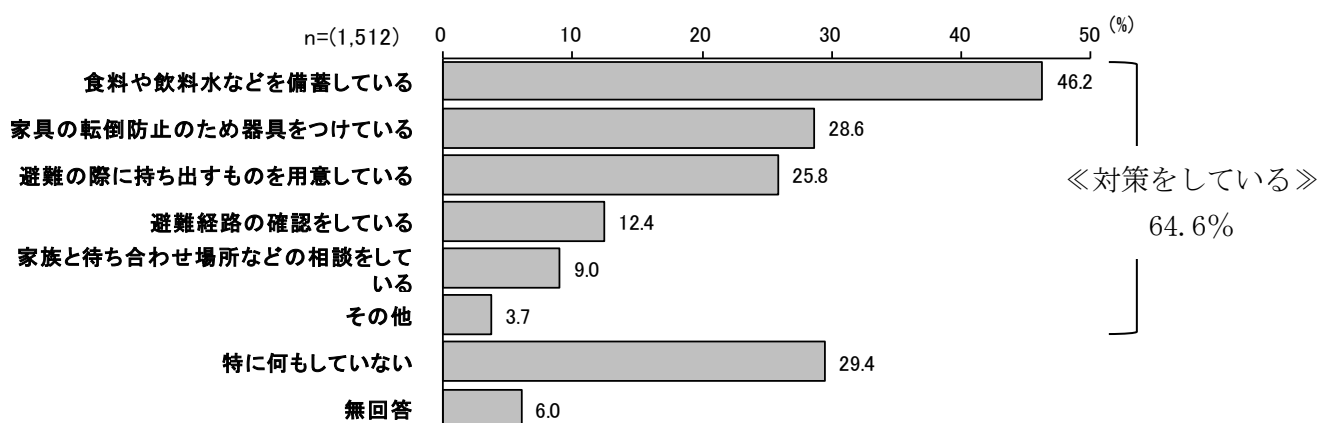
5 防災について

(1) 大きな災害に備えた対策

問19 あなたは、大きな災害に備えて、何か対策をしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

大きな災害に備えた対策に関して、《対策をしている》のは64.6%で、具体的には、「食料や飲料水などを備蓄している」が46.2%で最も高く、次いで「家具の転倒防止のため器具をつけている」が28.6%、「避難の際に持ち出すものを用意している」が25.8%などとなっています。

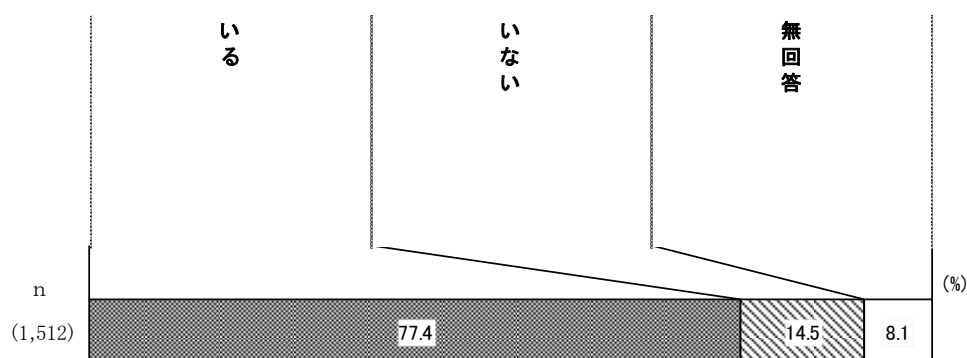


※《対策をしている》=100%－「特に何もしていない」－無回答

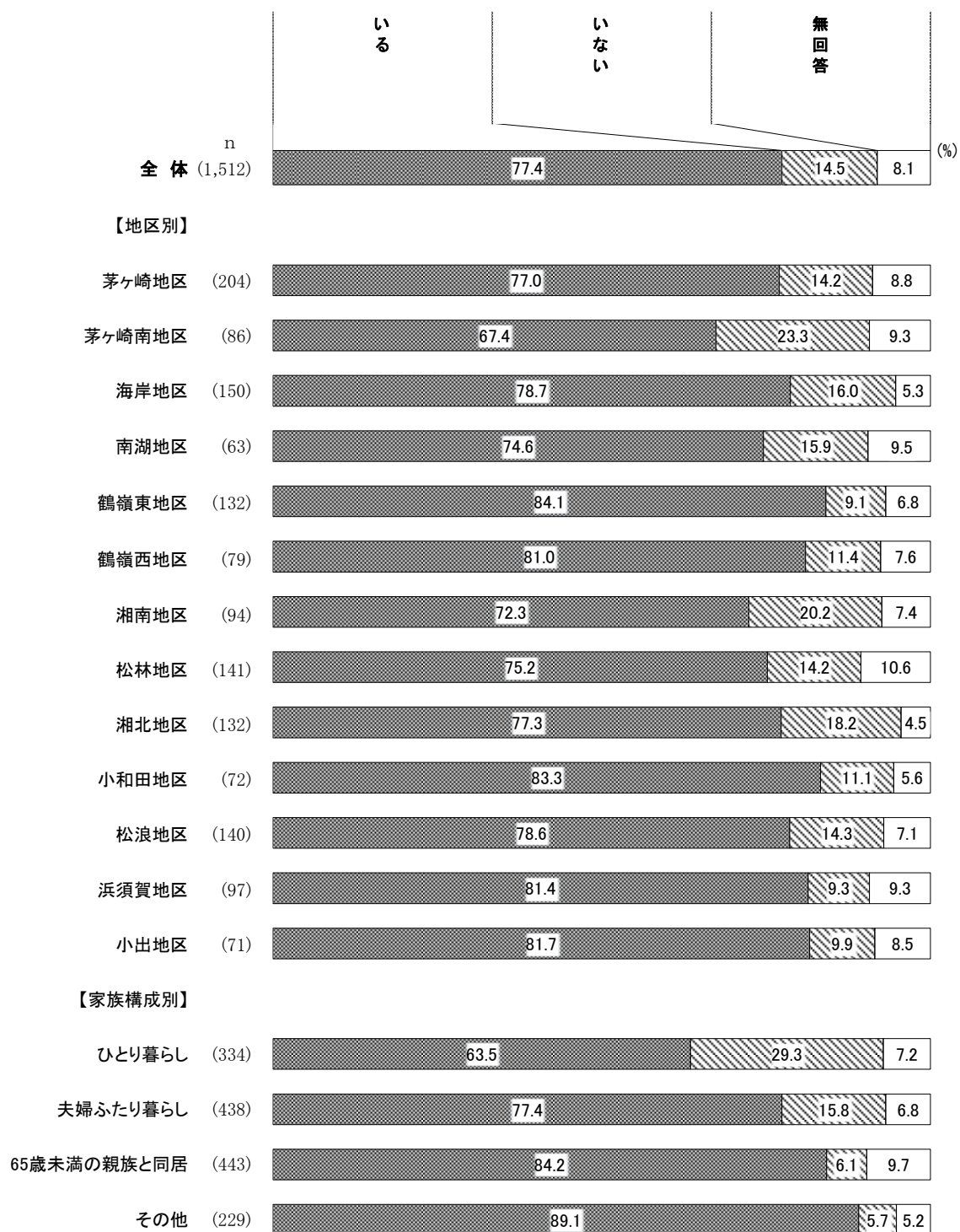
(2) 災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人の有無

問20 あなたは、災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人がいますか。

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いる」割合は77.4%となっています。



地区別にみると、「いない」は茅ヶ崎南地区と湘南地区で2割以上となっています。
 家族構成別にみると、「いない」はひとり暮らしで3割近くとなっています。

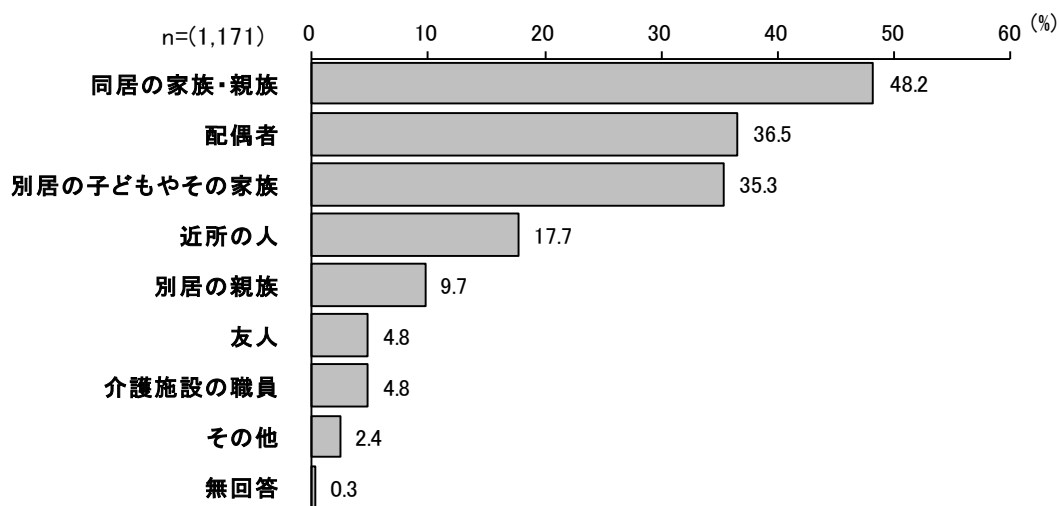


（２－１）災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人

【問 20 で「１． いる」に○をつけた方におたずねします。】

問20－１ その方はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いる」と回答した方に、誰が手助けしてくれるのかをきいたところ、「同居の家族・親族」が48.2%で最も高く、次いで「配偶者」が36.5%、「別居の子どもやその家族」が35.3%などとなっています。

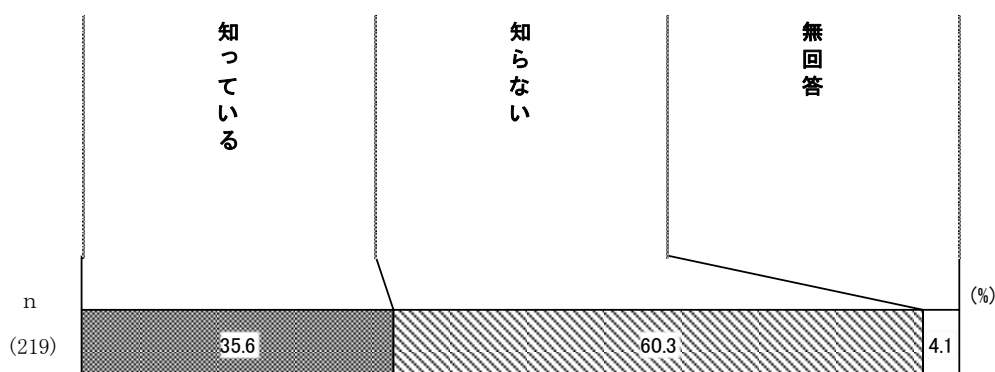


（２－２）避難行動要支援者支援制度の認知度

【問 20 で「２． いない」に○をつけた方におたずねします。】

問20－２ 市では、地域の共助によって、災害発生時等に自ら避難することが困難な障害者や高齢者などに支援の手を差し伸べることで、「減災」につなげることを目的とした避難行動要支援者支援制度があります。
あなたは、この制度を知っていますか。（ひとつだけに○）

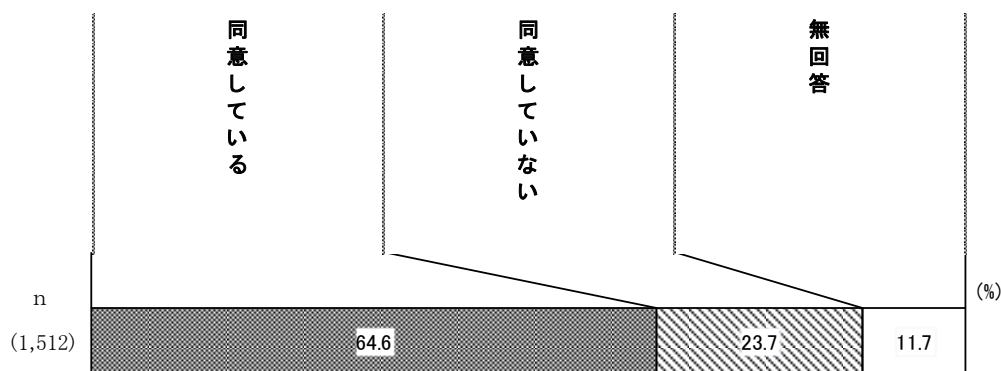
災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人が「いない」と回答した方に、避難行動要支援者支援制度についてきいたところ、「知っている」が35.6%で、「知らない」が60.3%となっています。



(3) 地域への情報提供の賛否

問21 あなたは、避難行動要支援者の対象者ですが、地域への情報提供に同意していますか。(ひとつだけに○)

避難行動要支援者としての情報提供に関して、「同意している」が64.6%、「同意していない」は23.7%となっています。

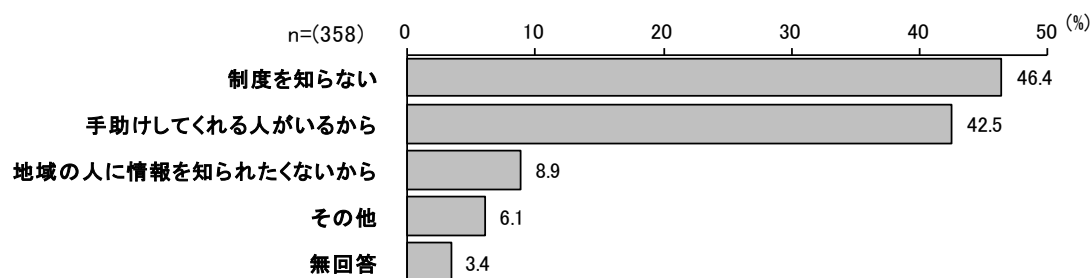


(3-1) 情報提供に同意していない理由

【問21で「2. 同意していない」に○をつけた方におたずねします。】

問21-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

避難行動要支援者としての情報提供に「同意していない」人に、その理由をきいたところ、「制度を知らない」(46.4%)と「手助けしてくれる人がいるから」(42.5%)の2つが4割台で高くなっています。

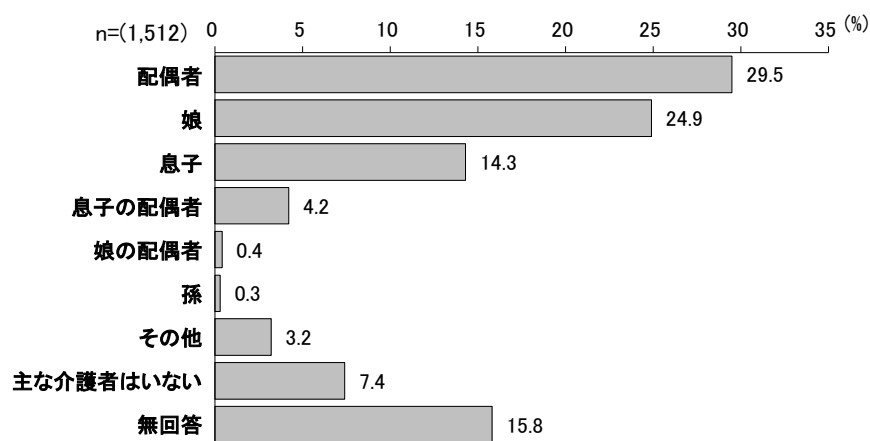


6 介護者について

(1) 主な介護者

問22 あなたの主な介護者はどなたですか。なお、ヘルパーなどの介護職はのぞきます。
(ひとつだけに○)

主な介護者は、「配偶者」が29.5%で最も高く、次いで「娘」が24.9%、「息子」が14.3%などとなっています。一方、「主な介護者はいない」は7.4%となっています。

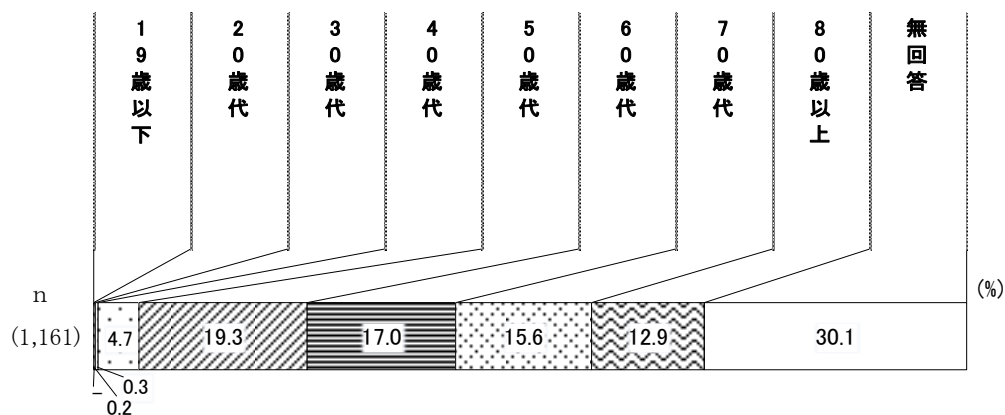


(2) 主な介護者の年齢

【問23～問32は、問22で「8. 主な介護者はいない」以外に○をつけた方におたずねします。】

問23 主な介護者の年齢をおたずねします。(ひとつだけに○)

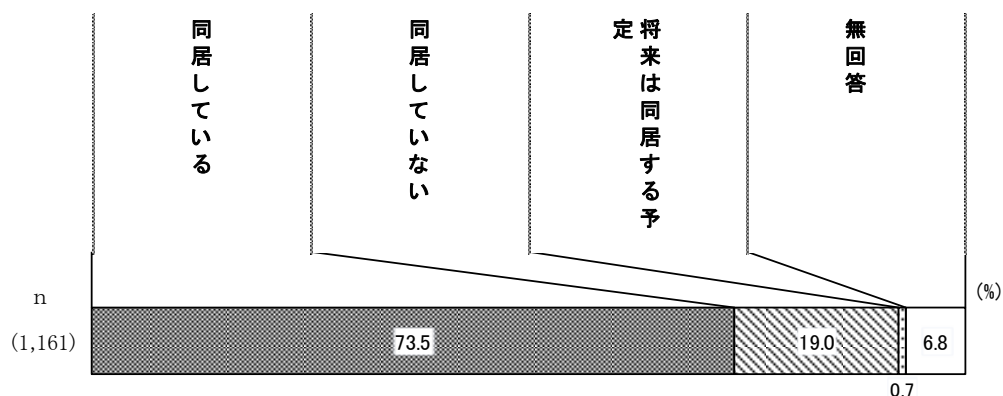
主な介護者の年齢は、「50歳代」が19.3%で最も高く、次いで「60歳代」が17.0%、「70歳代」が15.6%、「80歳以上」が12.9%などとなっています。



(3) 主な介護者の同居の有無

問24 主な介護者は、あなたと同居していますか。二世帯住宅の場合は同居と扱います。
(ひとつだけに○)

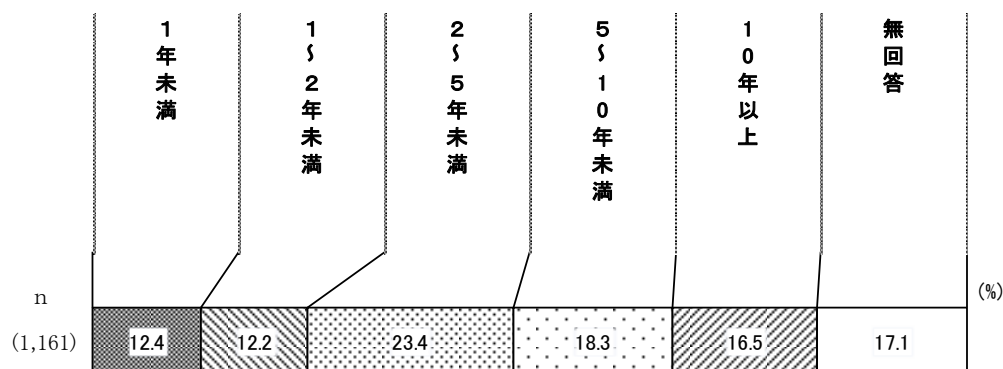
主な介護者が「同居している」割合は73.5%を占め、「同居していない」が19.0%となっています。



(4) 主な介護者の介護期間

問25 主な介護者のこれまでの介護期間をおたずねします。(ひとつだけに○)

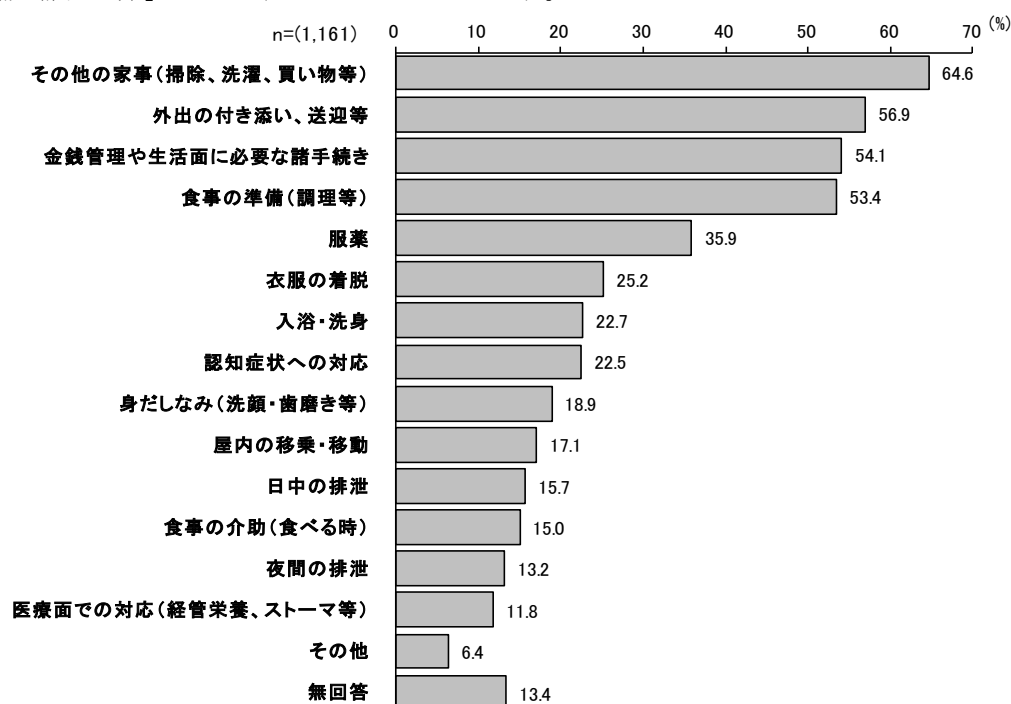
主な介護者の介護期間は、「2～5年未満」が23.4%で最も高く、次いで「5～10年未満」が18.3%、「10年以上」が16.5%などとなっています。



(5) 主な介護者が行っている介護等の内容

問26 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、おたずねします。
(あてはまるものすべてに○)

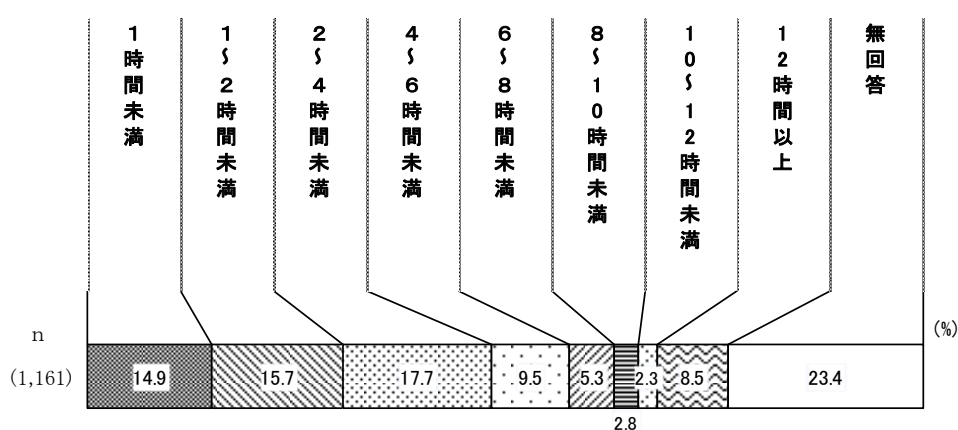
主な介護者が行っている介護等の内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が64.6%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が56.9%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が54.1%、「食事の準備（調理等）」が53.4%などとなっています。



(6) 主な介護者の1日あたりの介護時間

問27 主な介護者が介護を行う時間は1日あたりおよそどのくらいですか。
(ひとつだけに○)

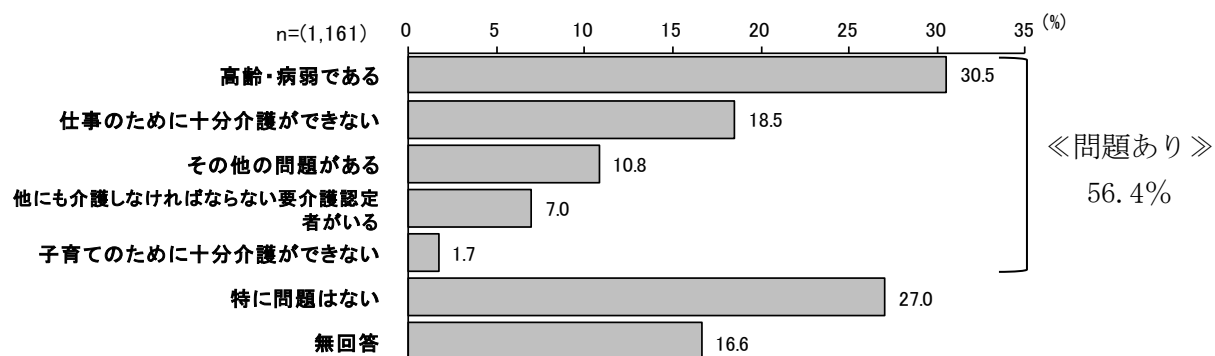
主な介護者の1日あたりの介護時間は、「2～4時間未満」が17.7%で最も高く、次いで「1～2時間未満」が15.7%、「1時間未満」が14.9%などとなっています。



(7) 主な介護者を取り巻く状況

問28 主な介護者の状況についてご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者の状況で、何らかの《問題あり》は56.4%、具体的には、「高齢・病弱である」が30.5%で最も高く、次いで「仕事のために十分介護ができない」が18.5%などとなっています。

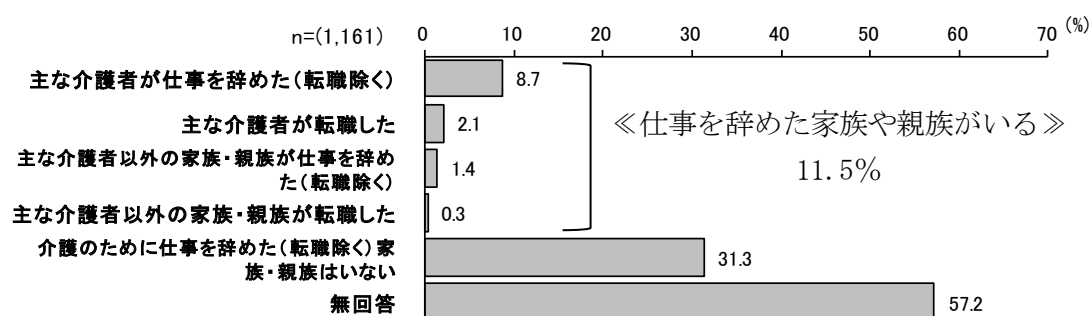


※《問題あり》＝100%－「特に問題はない」－無回答

(8) 家族や親族の中で介護のために仕事を辞めた人の有無

問29 ご家族やご親族の中で、あなたの介護のために、過去に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)
(あてはまるものすべてに○)

介護のために《仕事を辞めた家族や親族がいる》割合は11.5%で、具体的な状況は、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が8.7%となっており、「主な介護者が転職した」「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」がそれぞれ2.1%、1.4%となっており、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が0.3%となっています。



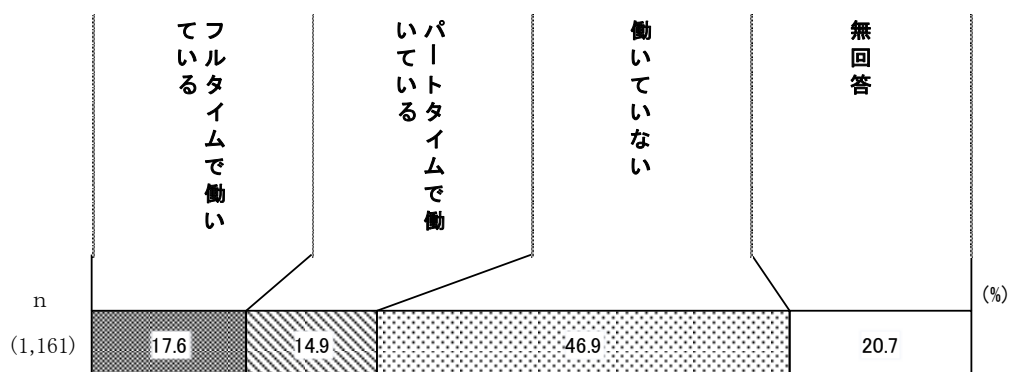
※《仕事を辞めた家族や親族がいる》＝100%－「介護のために仕事を辞めた(転職除く)家族・親族はいない」－無回答

(9) 主な介護者の勤務形態

問30 主な介護者の方の現在の勤務形態について、おたずねします。(ひとつだけに○)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」など、呼び方は異なっても、この条件にあてはまる場合は「パートタイム」になります。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかに○をつけてください。

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が46.9%で最も高くなっています。「フルタイムで働いている」は17.6%、「パートタイムで働いている」は14.9%です。



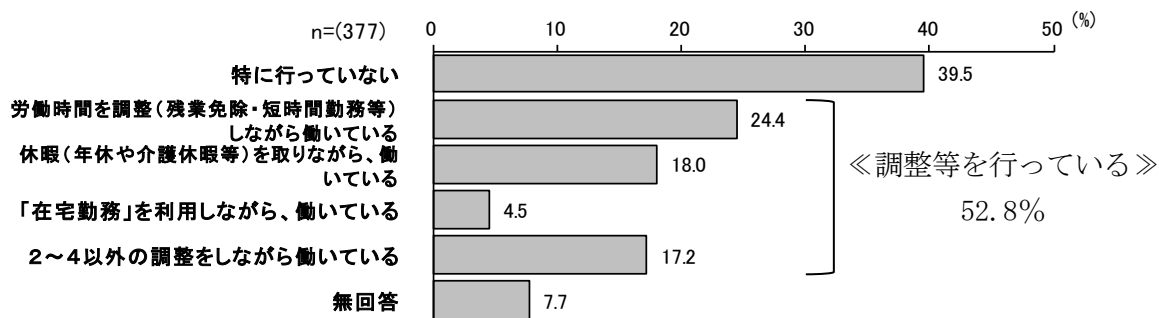
(9-1) 主な介護者の勤務形態の調整等

【問30で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」に○をつけた方におたずねします。】

問30-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者の勤務形態で、「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方に、勤務形態の調整等を行っているかきいたところ、《調整等を行っている》が52.8%となっています。

具体的な調整内容は、「労働時間を調整（残業免除・短時間勤務等）しながら働いている」が24.4%、「休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」が18.0%などとなっています。

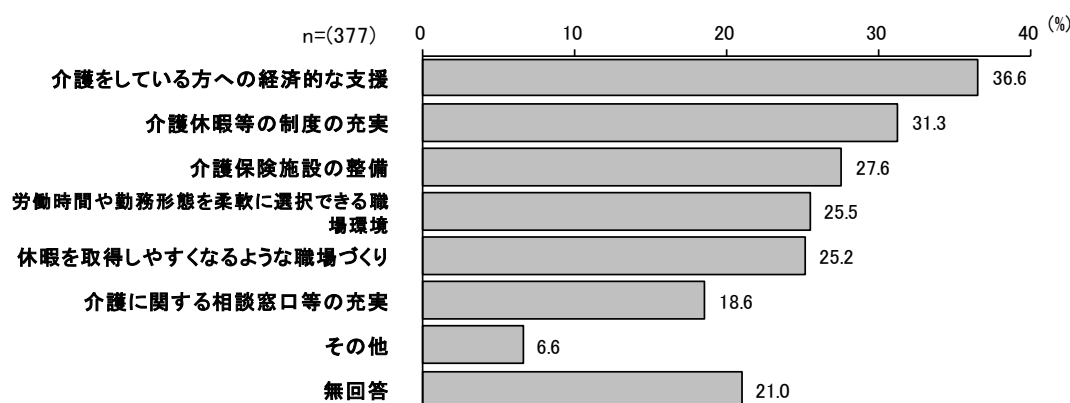


※《調整等を行っている》＝100%－「特に行っていない」－無回答

(9-2) 仕事と介護を両立するために効果的だと思う支援等

問30-2 主な介護者の方は、仕事と介護を両立するために、どのような支援等があれば効果があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者の勤務形態で、「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方に、仕事と介護を両立するために効果的だと思う支援等をきいたところ、「介護をしている方への経済的な支援」が36.6%で最も高くなっています。次いで「介護休暇等の制度の充実」が31.3%、「介護保険施設の整備」が27.6%、「介護保険施設の整備」が27.6%などとなっています。



働きながら介護を続けることの今後の見込み別にみると、「難しい」(やや+かなり難しい)と回答した層では、「介護をしている方への経済的な支援」「介護保険施設の整備」が5割前後と高くなっています。

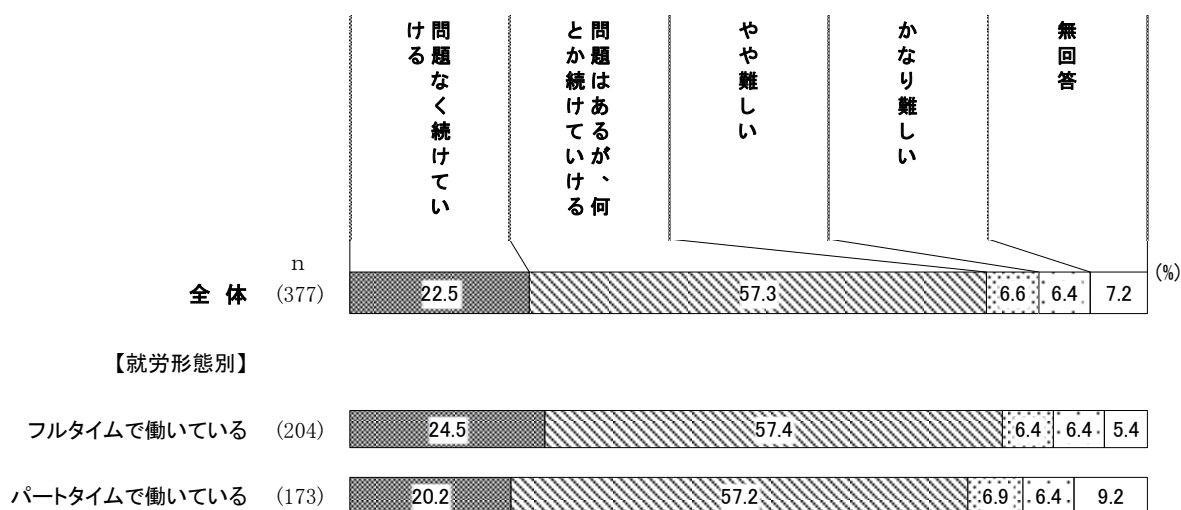
(%)										
		n	介護をしている方への経済的な支援	介護休暇等の制度の充実	介護保険施設の整備	労働時間や勤務形態を柔軟に選択できる職場環境	休暇を取得しやすくなるような職場づくり	介護に関する相談窓口等の充実	その他	無回答
全 体		377	36.6	31.3	27.6	25.5	25.2	18.6	6.6	21.0
見 込 の 介 護 の	問題なく続けていける	85	15.3	17.6	14.1	15.3	18.8	5.9	4.7	42.4
	問題はあるが、何とか続けていける	216	44.0	37.0	30.6	31.5	29.6	24.5	9.3	9.3
	やや難しい	25	56.0	36.0	48.0	16.0	16.0	20.0	-	12.0
	かなり難しい	24	50.0	41.7	50.0	37.5	29.2	25.0	-	8.3

(9-3) 働きながら介護を続けることの今後の見込み

問30-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
(ひとつだけに○)

主な介護者の勤務形態で、「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方に、働きながら介護を続けることの今後の見込みをきいたところ、「問題なく続けていける」が22.5%で、「問題はあるが、何とか続けていける」が57.3%と最も高くなっています。これらを合わせた《続けていける》は79.8%です。一方、「やや難しい」(6.6%)と「かなり難しい」(6.4%)を合わせた、《難しい》は13.0%です。

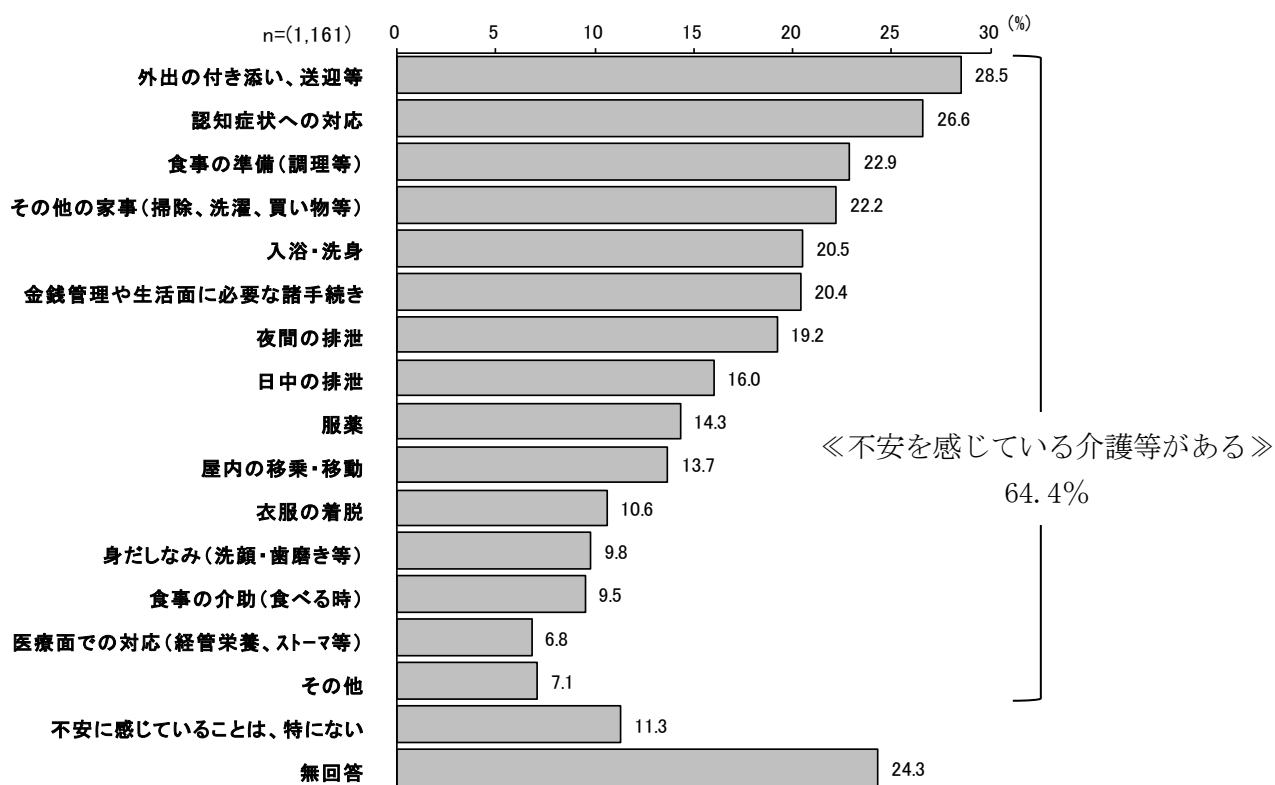
勤務形態別でみると、特に大きな違いはみられません。



(10) 主な介護者が不安に感じている介護等

問31 主な介護者の方が不安に感じている介護等について、おたずねします。
(あてはまるものすべてに○)

主な介護者に《不安を感じている介護等がある》割合は64.4%で、具体的な介護内容は、「外出の付き添い、送迎等」が28.5%で最も高く、以下、「認知症状への対応」が26.6%、「食事の準備（調理等）」が22.9%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が22.2%などとなっています。



※《不安を感じている介護等がある》＝100%－「不安に感じていることは、特にない」－無回答

働きながら介護を続けることの今後の見込み別にみると、《難しい》（やや＋かなり難しい）と回答した層では、「認知症状への対応」が最も高くなっています。

(%)

		n	外出の 付き添 い、送迎 等	認知症 状への対 応	食事の 準備(調 理等)	金銭管 理や生 活面に必 要な諸 手続き	その他の 家事(掃 除、洗 濯、買い 物等)	入浴・洗 身	夜間の 排泄	日中の 排泄	屋内の 移乗・移 動
全 体		377	33.2	31.8	26.0	24.9	24.7	22.5	19.9	17.0	15.1
今 後 の 見 込 み 別	問題なく続けていける	85	27.1	12.9	11.8	15.3	14.1	9.4	4.7	3.5	2.4
	問題はあるが、 何とか続けていける	216	38.0	37.5	31.0	28.7	29.6	26.9	21.8	19.9	16.7
	やや難しい	25	36.0	56.0	52.0	32.0	28.0	36.0	36.0	24.0	40.0
	かなり難しい	24	33.3	45.8	29.2	41.7	29.2	29.2	54.2	45.8	33.3

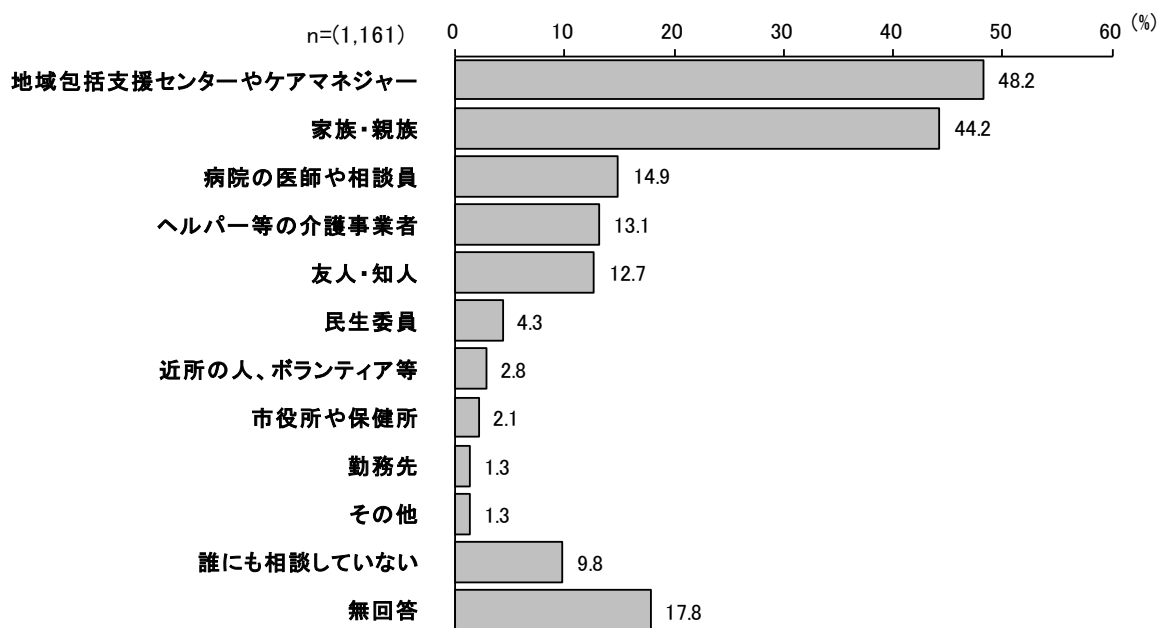
		n	服薬	食事の 介助(食 べる時)	身だしな み(洗 顔・歯磨 き等)	衣服の 着脱	医療面で の対応 (経管栄 養、ストマ 等)	その他	不安に感 じている ことは、 特にな い	無回答
全 体		377	15.1	9.3	9.3	8.5	6.1	6.9	12.2	11.4
今後の み 介 護 の 見	問題なく続けていける	85	8.2	3.5	5.9	4.7	2.4	3.5	36.5	14.1
	問題はあるが、 何とか続けていける	216	16.7	9.3	9.7	8.3	5.6	8.8	4.6	6.0
	やや難しい	25	16.0	16.0	16.0	16.0	8.0	8.0	8.0	4.0
	かなり難しい	24	29.2	25.0	16.7	20.8	25.0	8.3	4.2	

(11) 主な介護者の相談先

問32 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

主な介護者の相談先は、「地域包括支援センターやケアマネジャー」(48.2%)と「家族・親族」(44.2%)の2つが4割台で特に高くなっています。

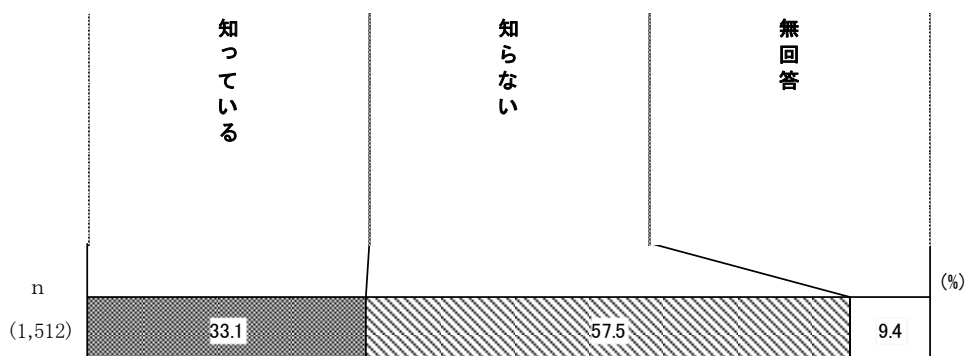


7 介護保険について

(1) 在宅ケア相談窓口の認知

問33 あなたは、在宅ケア相談窓口を知っていますか。(ひとつだけに○)

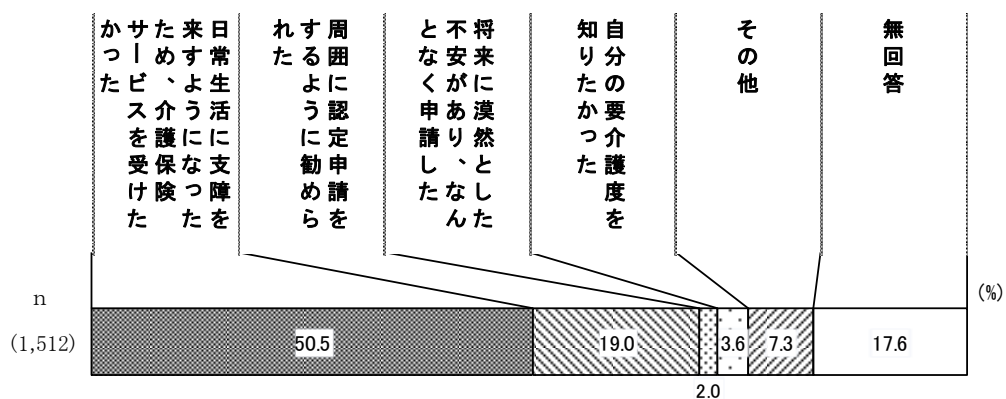
在宅ケア相談窓口に関して、「知っている」は33.1%、「知らない」は57.5%となっています。



(2) 要介護認定を申請した理由

問34 あなたが、要介護認定を申請した理由は何ですか。(ひとつだけに○)

要介護認定を申請した理由は、「日常生活に支障を来すようになったため、介護保険サービスを受けたかった」が50.5%と半数を占め、次いで「周囲に認定申請をするように勧められた」が19.0%となっています。

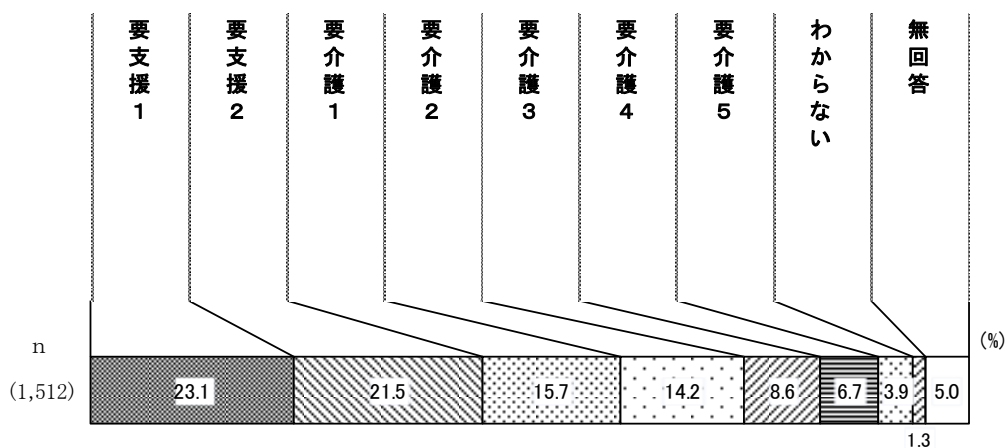


(3) 要介護度

問35 あなたの要介護度はいくつですか。(ひとつだけに○)

対象者の要介護度は、「要支援1」が23.1%で最も高く、次いで「要支援2」が21.5%、「要介護1」が15.7%などとなっています。

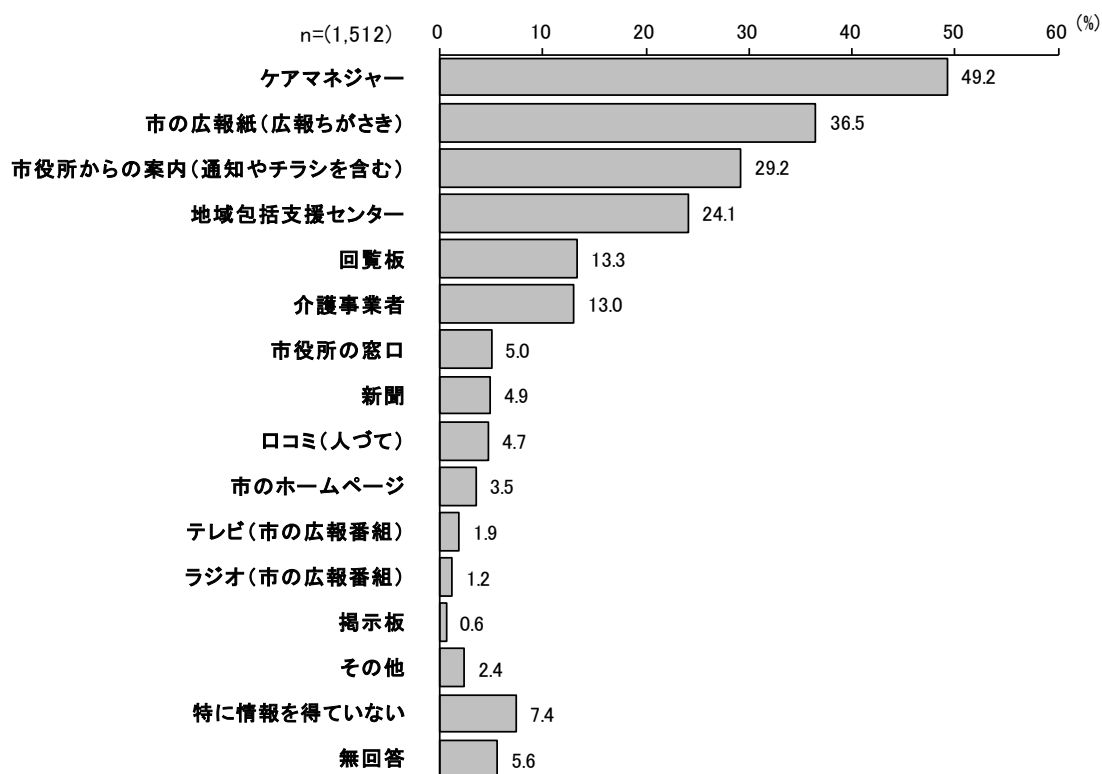
「要支援1」と「要支援2」を合わせた《要支援》は44.6%、「要介護1」と「要介護2」を合わせた《軽度要介護者》は29.9%、「要介護3」以上の《中重度要介護者》は19.2%です。



(4) 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源

問36 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報について、どのような手段を通じて入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

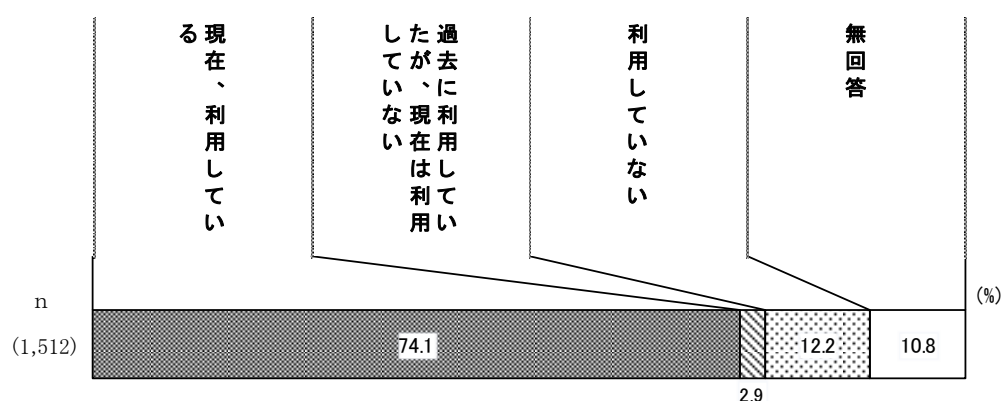
市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報源は、「ケアマネジャー」が49.2%で最も高く、次いで「市の広報紙(広報ちがさき)」が36.5%、「市役所からの案内(通知やチラシを含む)」が29.2%、「地域包括支援センター」が24.1%などとなっています。一方、「特に情報を得ていない」は7.4%です。



(5) 介護保険サービスの利用状況

問37 介護保険サービスの利用についておたずねします。(ひとつだけに○)

介護保険サービスの利用状況は、「現在、利用している」が74.1%となっています。一方、「過去に利用していたが、現在は利用していない」が2.9%、「利用していない」が12.2%です。



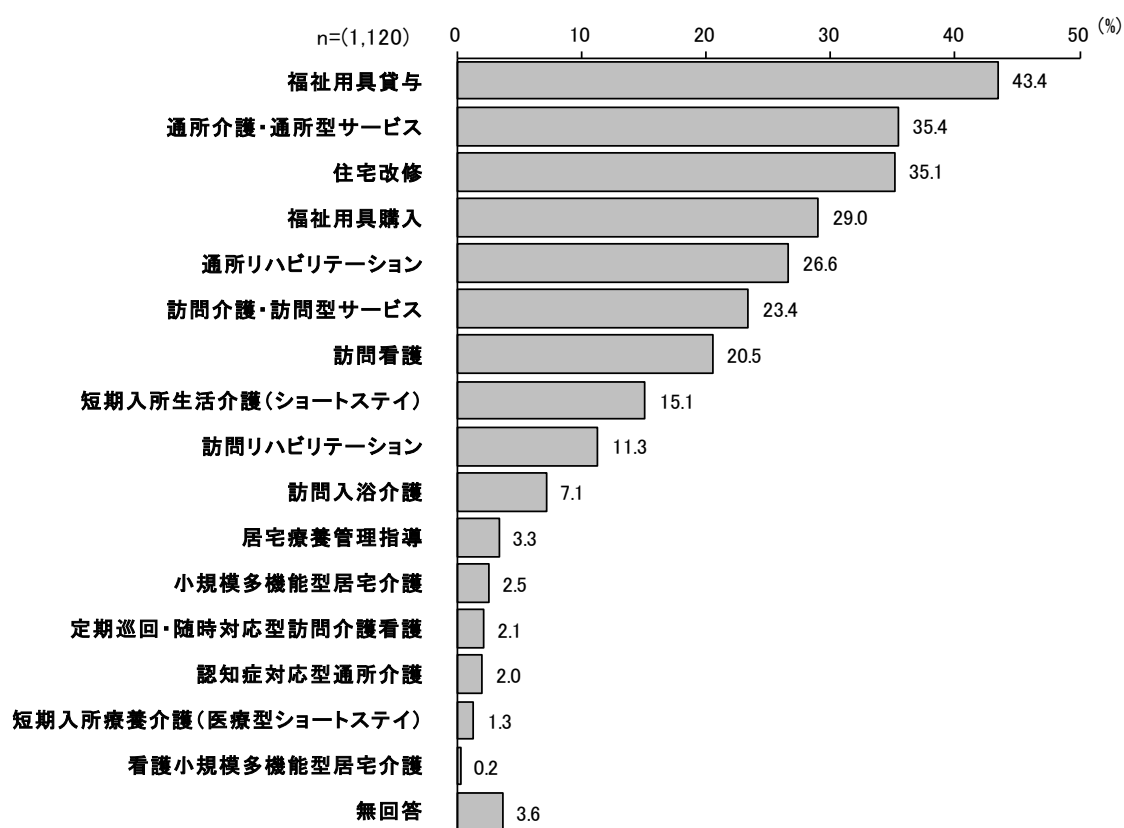
(5-1) 利用している介護保険サービスの種類

【問37で「1. 現在、利用している」に○をつけた方におたずねします。】

問37-1 利用されている介護保険サービスの種類に○をしてください。

(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスを「現在、利用している」と回答した方に、利用している介護保険サービスの種類をきいたところ、「福祉用具貸与」が43.4%で最も高く、次いで「通所介護・通所型サービス」が35.4%、「住宅改修」が35.1%などとなっています。

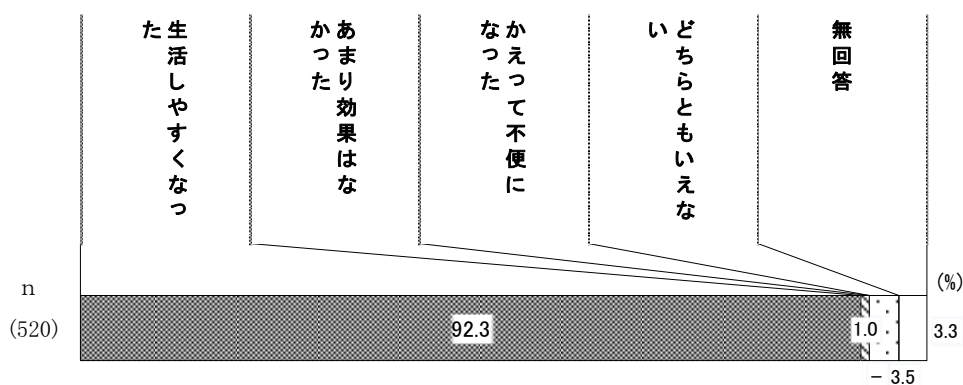


(5-1-1) 福祉具購入や住宅改修の効果

【問 37-1 で「9. 福祉用具購入」、「11. 住宅改修」に○をつけた方におたずねします。】

問37-1-1 福祉用具や住宅改修を利用した効果はありましたか。(ひとつだけに○)

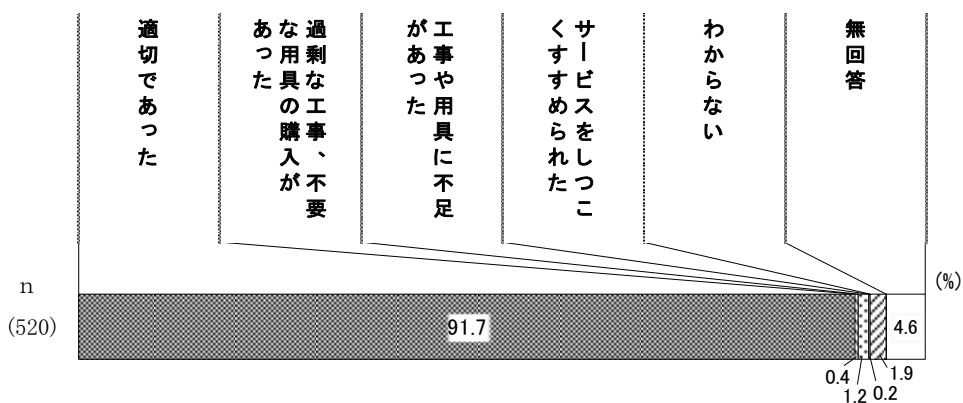
利用している介護保険サービスの種類で、「福祉用具購入」、「住宅改修」と回答した方に、利用した効果をきいたところ、「生活しやすくなった」が92.3%となっています。



(5-1-2) 福祉具購入や住宅改修の内容の適切さ

問37-1-2 福祉用具や住宅改修の内容は適切でしたか。(ひとつだけに○)

利用している介護保険サービスの種類で、「福祉用具購入」、「住宅改修」を回答した方に、福祉具購入や住宅改修の内容の適切さをきいたところ、「適切であった」が91.7%となっています。



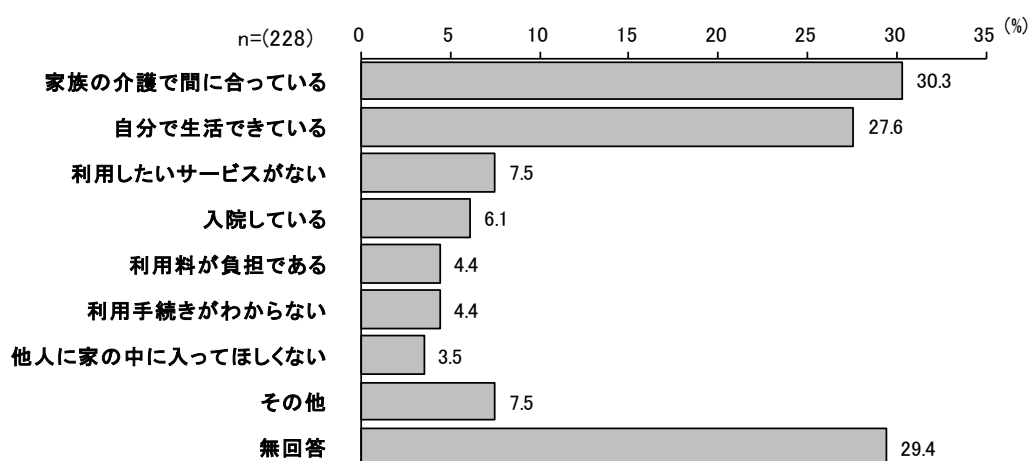
（５－２）介護保険サービスを利用していない理由

【問37で「2. 過去に利用していたが、現在は利用していない」、「3. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。】

問37－2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

介護保険サービスを利用していないと回答した方に、その理由をきいたところ、「家族の介護で間に合っている」（30.3％）と「自分で生活できている」（27.6％）の2つが3割前後となっています。

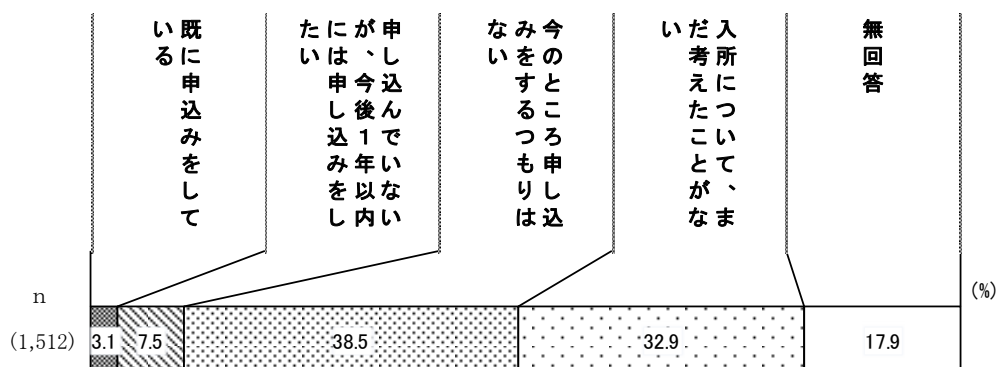


（６）施設等への入所・入居の検討状況

問38 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、おたずねします。

（ひとつだけに○）

施設等への入所・入居の検討状況は、「今のところ申し込みをするつもりはない」が38.5％で最も高く、次いで「入所について、まだ考えたことがない」が32.9％となっています。

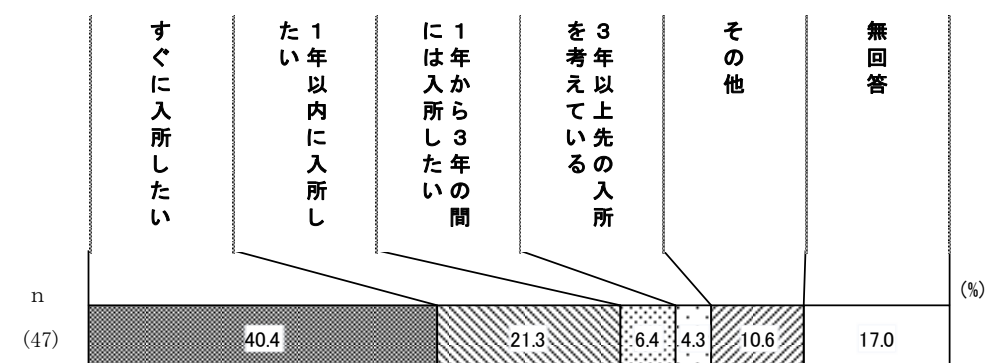


（６－１）入所希望時期

【問38で「１．既に申し込みをしている」に○をつけた方におたずねします。】

問38－１ 入所の時期は、いつごろをご希望ですか。（ひとつだけに○）

施設等への入所・入居に「既に申し込みをしている」と回答した方に、入所希望時期をきいたところ、「すぐに入所したい」が40.4%、「１年以内に入所したい」が21.3%で、これらを合わせた《１年以内》は61.7%となっています。



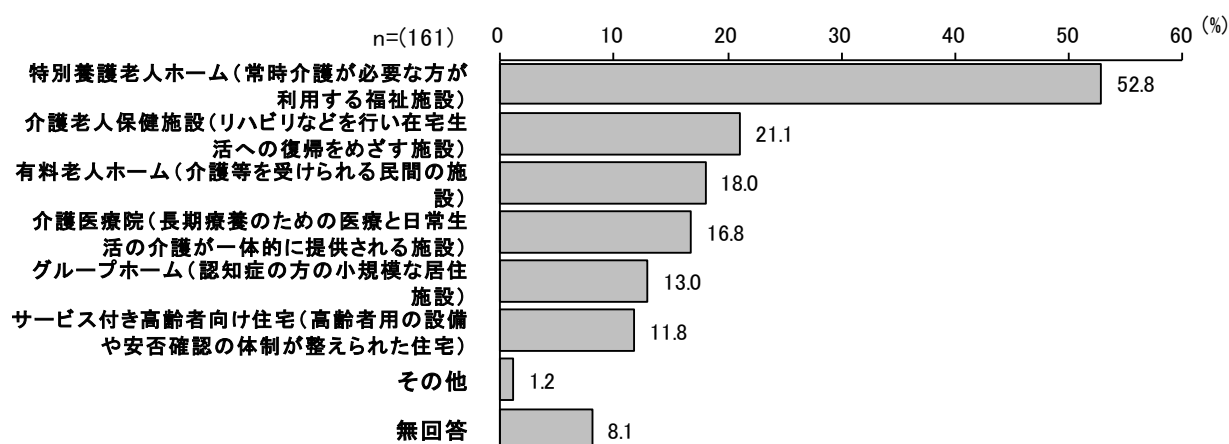
（６－２）入所・入居の申し込みをしている（申し込みをしたい）施設等

【問38で「１．既に申し込みをしている」、「２．申し込んでいないが、今後１年以内には申し込みをしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問38－２ 申し込みをしている（申し込みをしたい）施設等は、どちらですか。

（あてはまるものすべてに○）

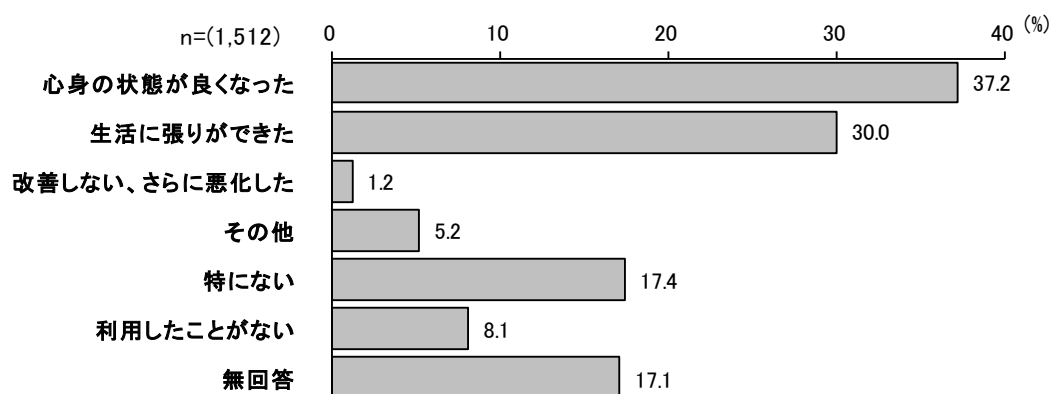
施設等への入所・入居希望が《１年以内》の方に、申し込みをしている（申し込みをしたい）施設等をきいたところ、「特別養護老人ホーム」が52.8%で特に高くなっています。次いで「介護老人保健施設」が21.1%、「有料老人ホーム」が18.0%などとなっています。



(7) 介護保険サービスを利用したことによる変化

問39 介護保険サービスを利用したことで、次にあげるような変化はありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

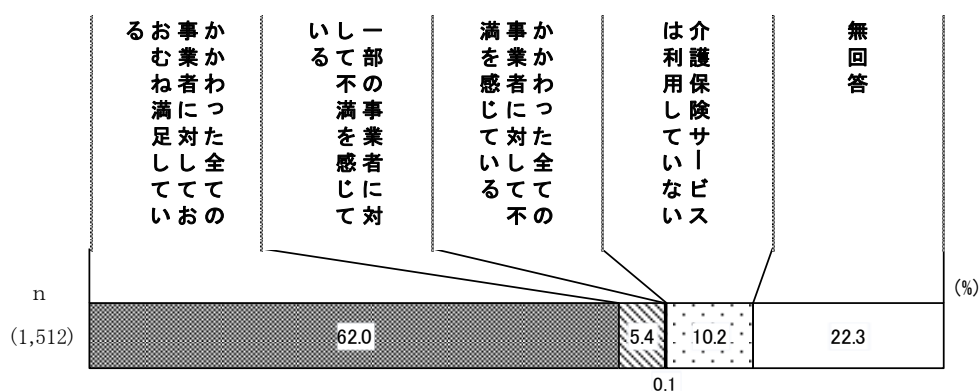
介護保険サービスを利用したことによる変化は、「心身の状態が良くなった」が37.2%で最も高く、次いで「生活に張りができた」が30.0%となっています。一方、「特にない」は17.4%です。



(8) 介護保険サービス提供事業者の満足度

問40 過去1ヶ月間に利用した、ケアマネジャーを除く介護保険サービス提供事業者に対する満足度はいかがですか。(ひとつだけに○)

介護保険サービス提供事業者の満足度は、「かかわった全ての事業者に対しておおむね満足している」が62.0%を占める一方、「一部の事業者に対して不満を感じている」が5.4%、「かかわった全ての事業者に対して不満を感じている」が0.1%となっています。

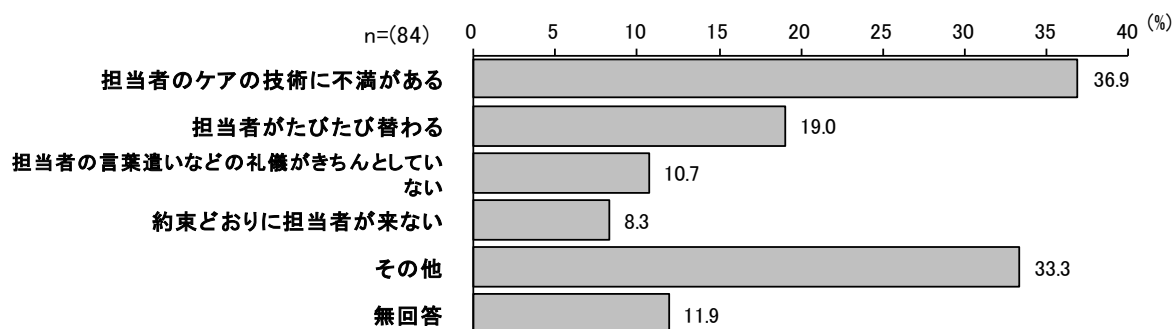


（８－１）介護保険サービス提供事業者に不満を感じた理由

【問40で「２．一部の事業者に対して不満を感じている」、「３．かかわったすべての事業者に対して不満を感じている」に○をつけた方におたずねします。】

問40－１ 具体的にはどのような不満をお持ちですか。（あてはまるものすべてに○）

介護保険サービス提供事業者の満足度で、「一部の事業者に対して不満を感じている」、「かかわった全ての事業者に対して不満を感じている」と回答した方に、その理由をきいたところ、「担当者のケアの技術に不満がある」が36.9%で最も高くなっています。

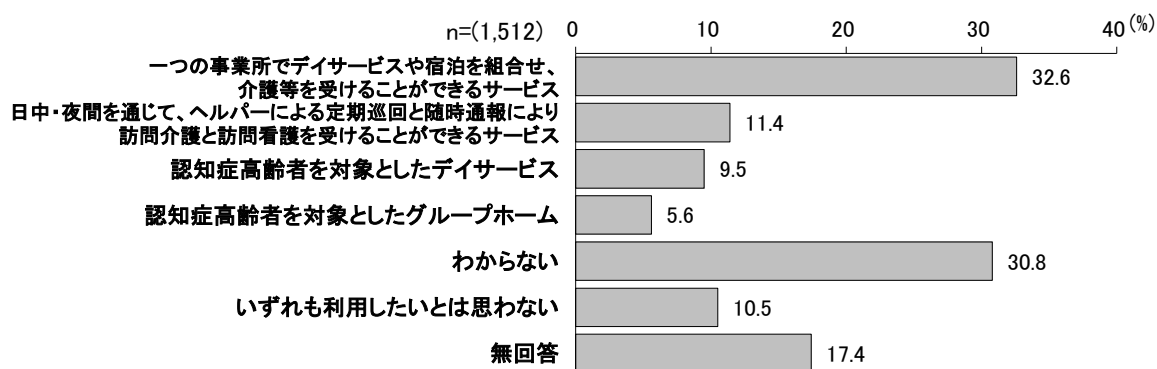


（９）今後利用したい介護保険サービス

問41 次のサービスのうち、今後、利用してみたいサービスはどれですか。

（あてはまるものすべてに○）

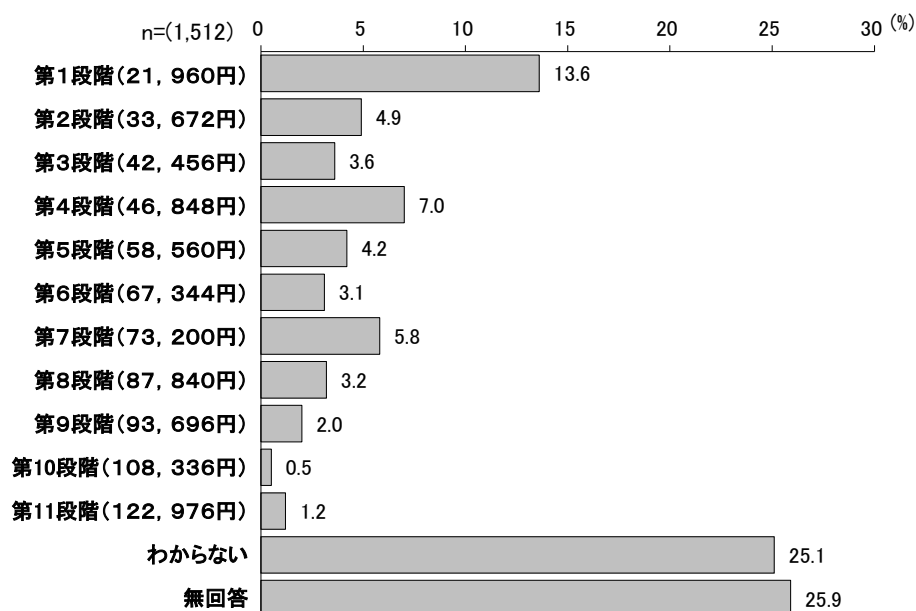
今後利用したい介護保険サービスは、「一つの事業所でデイサービス、ホームヘルパー、宿泊を組み合わせ、介護や看護ケアを受けることができるサービス」が32.6%で最も高く、次いで「日中・夜間を通じて、ヘルパーによる定期巡回と随時通報により訪問介護と訪問看護を受けることができるサービス」が11.4%となっています。一方、「いずれも利用したいとは思わない」が10.5%です。



(10) 介護保険料の所得段階区分

問42 あなたの介護保険料の「所得段階」は、どの段階ですか。令和元年度茅ヶ崎市介護保険料納入通知書にてご確認ください。(ひとつだけに○)

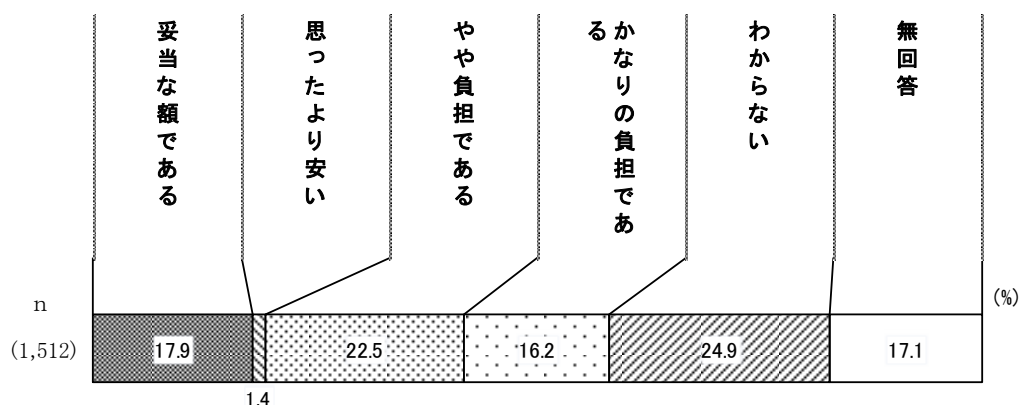
介護保険料の所得段階区分では、「第1段階(21,960円)」が13.6%で最も高く、次いで「第4段階(46,848円)」が7.0%などとなっています。



(11) 介護保険料の納付額について

問43 介護保険料の納付額について、どのようにお感じになりますか。(ひとつだけに○)

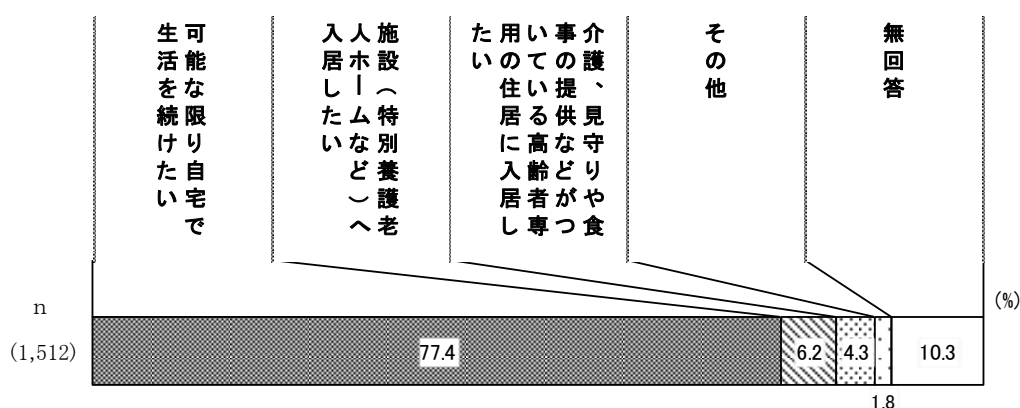
介護保険料の納付額については、「妥当な金額である」が17.9%、「思ったより安い」が1.4%となっています。一方、「やや負担である」(22.5%)と「かなりの負担である」(16.2%)を合わせた《負担である》は38.7%です。



(12) 今後介護を受けたい場所

問44 あなたは、今後どのような場所で介護を希望しますか。(ひとつだけに○)

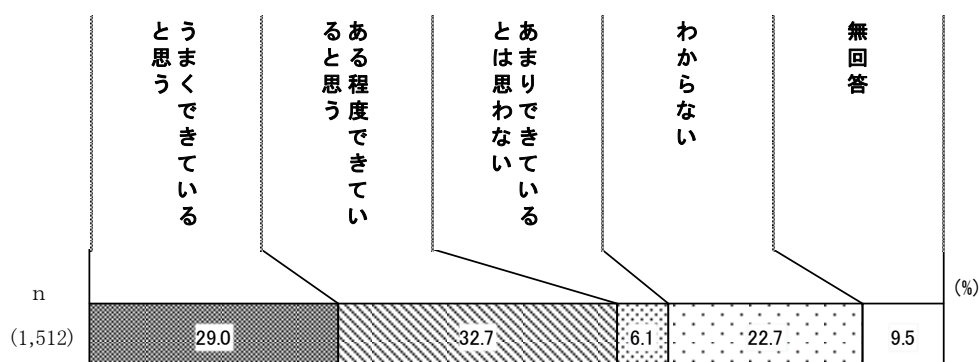
今後介護を受けたい場所は、「可能な限り自宅で生活が続けたい」が77.4%と大半を占めています。次いで「施設（特別養護老人ホームなど）へ入居したい」が6.2%、「介護、見守りや食事の提供などがついている高齢者専用の住居に入居したい」が4.3%となっています。



(13) 受けている介護保険サービスと医療機関の連携状況

問45 あなたの受けている介護保険サービスについて、医療機関（病院、診療所等）との連携はうまくできていると思いますか。(ひとつだけに○)

受けている介護保険サービスと医療機関の連携状況は、「うまくできていると思う」(29.0%)と「ある程度できていると思う」(32.7%)を合わせた《できていると思う》が61.7%となっています。



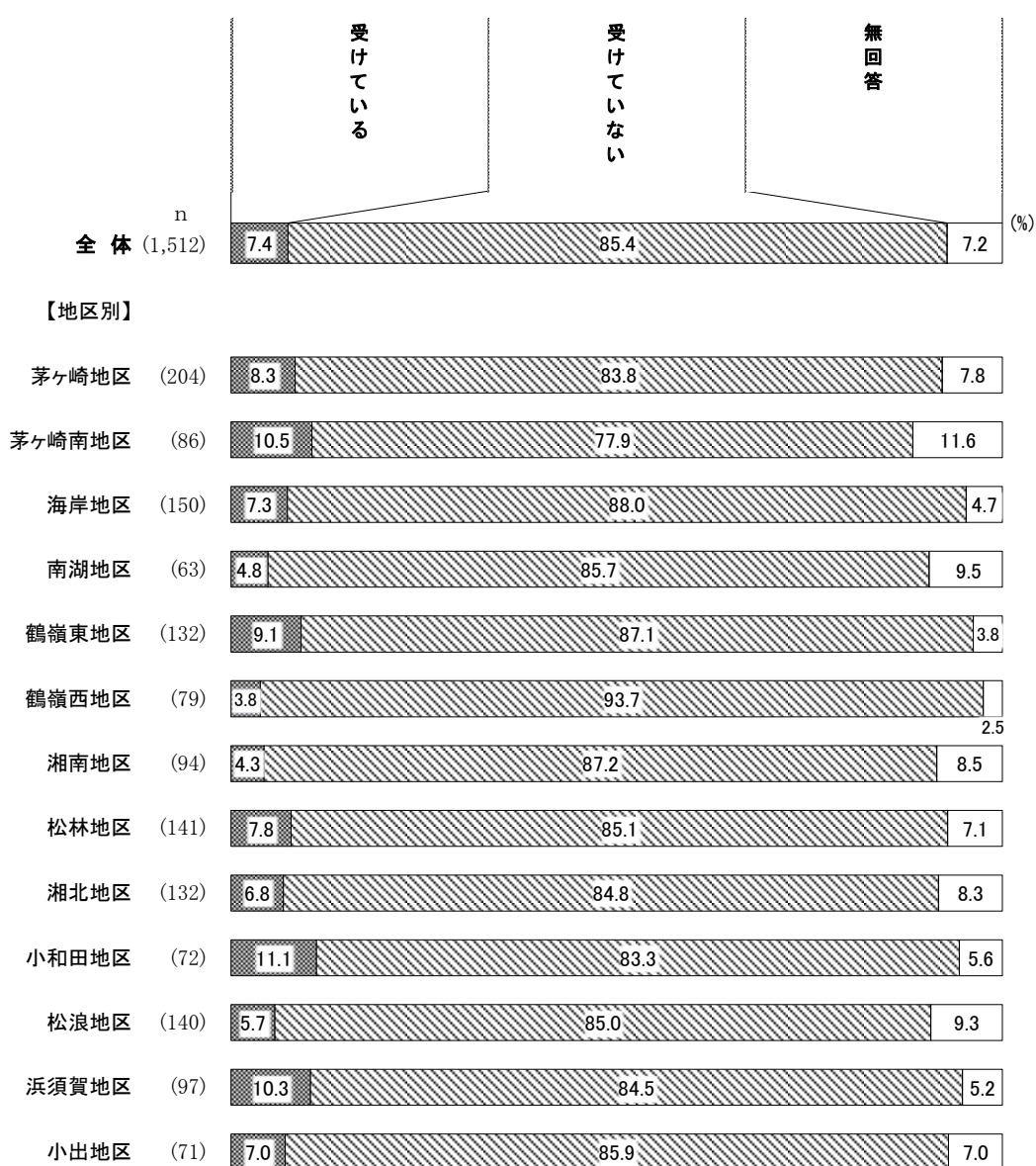
8 今後の「支え合い」のあり方について

(1) 介護保険サービス以外の地域の支え合いによる支援

問46 現在、近隣の住民、ボランティア団体などによる見守り、掃除・洗濯・買い物・ゴミ出しなどの家事援助、その他介護保険サービス以外で地域の支え合いによる支援を受けていますか。

介護保険サービス以外の地域の支え合いによる支援を「受けている」のは7.4%で、「受けていない」が85.4%を占めています。

地区別にみると、「受けている」は茅ヶ崎南地区、小和田地区、浜須賀地区で1割を超えます。

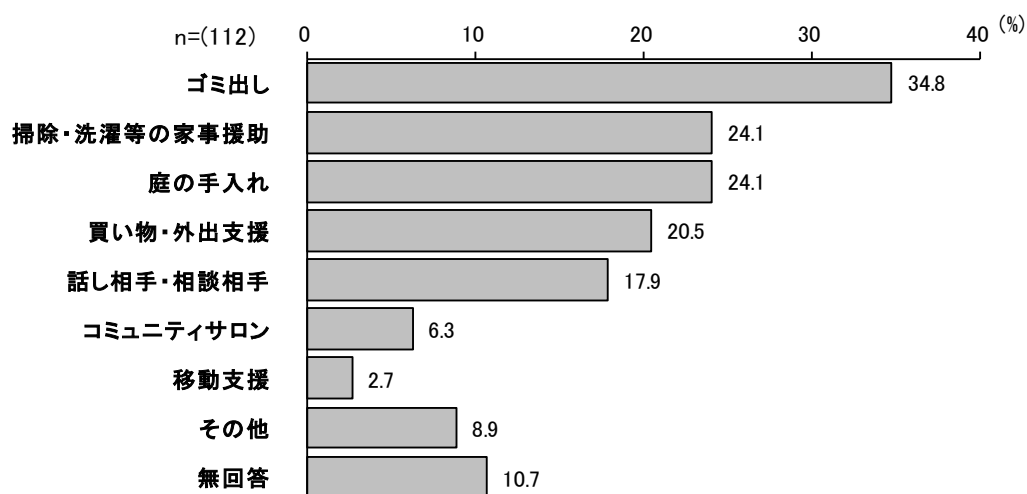


(1-1) 受けている地域の支え合いによる支援の内容

【問46で「1. 受けている」に○をつけた方におたずねします。】

問46-1 それはどのようなサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

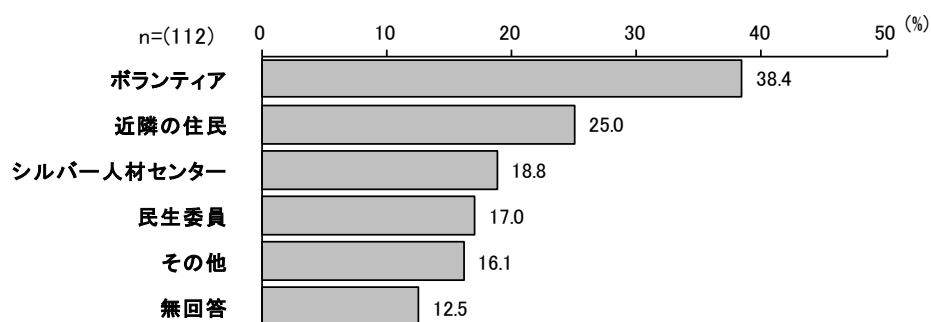
地域の支え合いによる支援を「受けている」と回答した方に、支援の内容をきいたところ、「ゴミ出し」が34.8%で最も高く、以下、「掃除・洗濯等の家事援助」と「庭の手入れ」が24.1%、「買い物・外出支援」が20.5%などとなっています。



(1-2) 地域の支え合いによる支援の提供者

問46-2 それはどなたからのサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

地域の支え合いによる支援を「受けている」と回答した方に、支援の提供者をきいたところ、「ボランティア」が38.4%で最も高く、次いで「近隣の住民」が25.0%、「シルバー人材センター」が18.8%などとなっています。

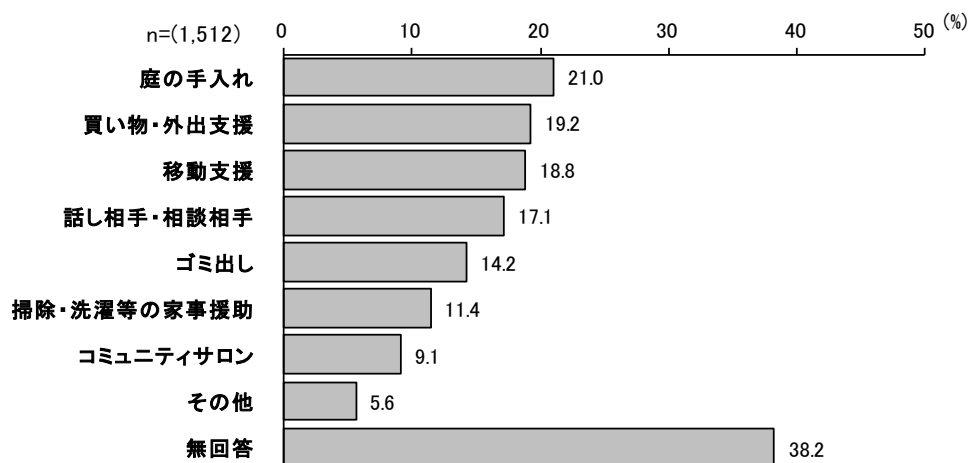


(2) 地域の支え合いによる支援で希望するサービス

問47 近隣の住民、ボランティア団体などによる介護保険サービス以外の地域の支え合いにおいてどのようなサービスがあったら良いと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

地域の支え合いによる支援で希望するサービスは、「庭の手入れ」(21.0%)、「買い物・外出支援」(19.2%)、「移動支援」(18.8%)が2割前後となっています。



9 自由回答

(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見

問48 最後になりますが、高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、ご記入ください。

387人の方から444件のご意見をいただきました。回答の主な内容は、以下のとおりです。

分類 (基本方針別)	主な回答内容	件数
3 高齢者が安心して暮らせるまちづくり	・介護タクシーを使いやすくしてほしい。 ・交通サービスを充実してほしい。	40 件
4 地域における高齢者の支援体制づくり	・いつでも何かを相談できる窓口がほしい。	12 件
6 介護保険サービス及び介護予防・生活支援サービス事業の充実	・通所介護で入浴サービスを充実させてほしい。 ・すぐに施設に入所できる体制づくりをお願いしたい。 ・介護認定の申請から結果通知までの期間が長いと思う。 ・老老介護がせまりつつあるため、不安を感じている。 ・今は介護を受けてないが、相手に迷惑をかけず金銭的にも気軽な介護を受けたい。	119 件
－ その他	・どのようなサービスを受けられるのか知らない人も多いと思うため、高齢者向けサービスの周知が必要。	32 件

※複数の項目について記入されている回答もあるため、各項目における回答件数の合計と自由回答の総数は一致しません。

第4章 要介護・要支援認定者 個別調査（施設）

第4章 要介護・要支援認定者個別調査（施設）

本章の一部では、施設の種類の違いを勘案して、他の章とは異なり、入所・入居している施設別の分析を中心に言及しています。

なお、介護療養型医療施設に入所している方の人数は少ないため、参考として掲載するものとし、分析には触れていません。

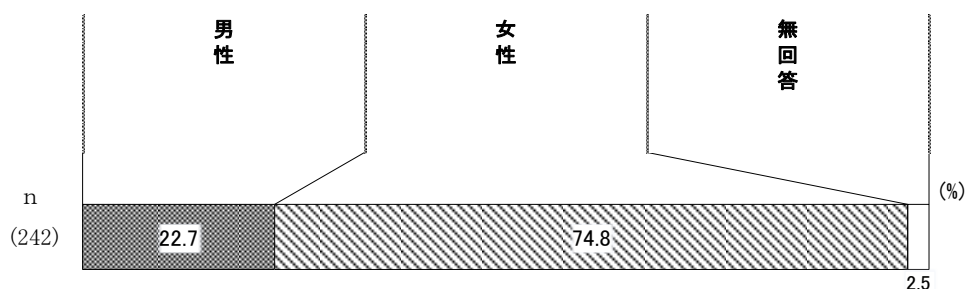
また、厳密には、介護3施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）と居住系サービス（有料老人ホーム、グループホーム）に分かれますが、便宜上、一括して「施設」という表現を用いています。

1 回答者（調査対象者）について

（1）性別

問1 あなたの性別をおたずねします。

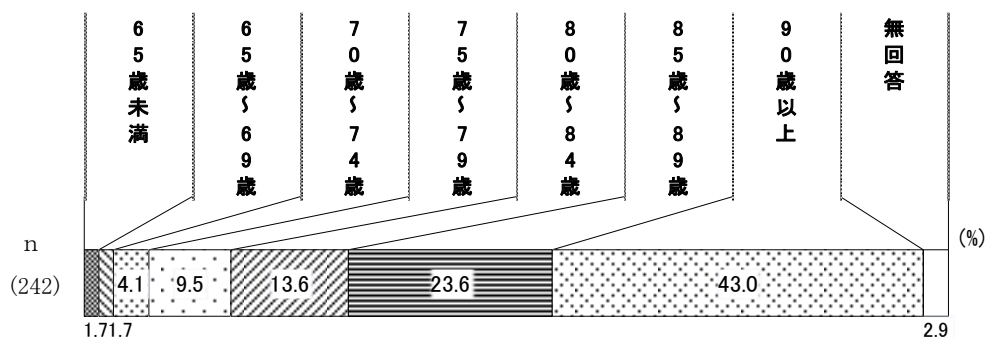
調査対象者の性別は、「女性」（74.8%）が「男性」（22.7%）の3倍以上となっています。



（2）年齢

問2 あなたの年齢はおいくつですか。（令和元年10月1日現在の満年齢）
（ひとつだけに○）

調査対象者の年齢は、「90歳以上」が43.0%で、年齢が下がるほど割合が低くなっています。



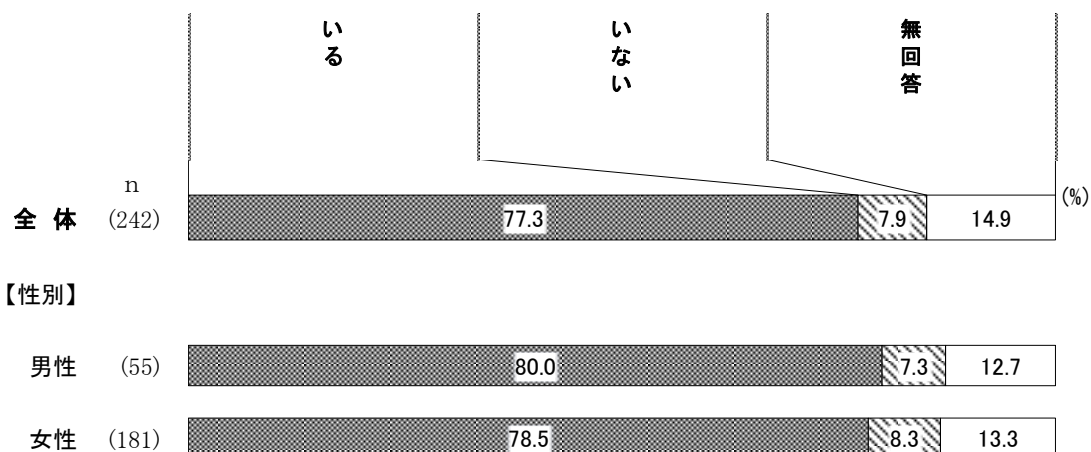
2 日常生活について

(1) 相談者の有無

問3 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人がいますか。

相談者の有無は、「いる」が77.3%を占めています。

性別でみると、特に大きな違いはみられません。

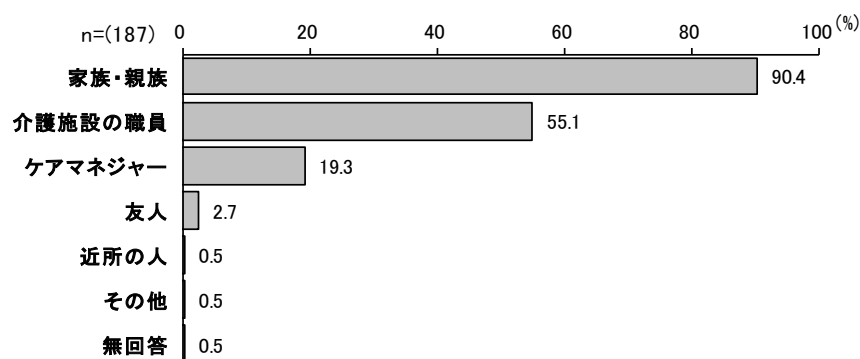


(1-1) 悩みや心配ごとの相談先

【問3で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問3-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

相談者が「いる」と回答した方に、誰に相談するかをきいたところ、「家族・親族」が90.4%と高く、次いで「介護施設の職員」が55.1%、「ケアマネジャー」が19.3%となっています。

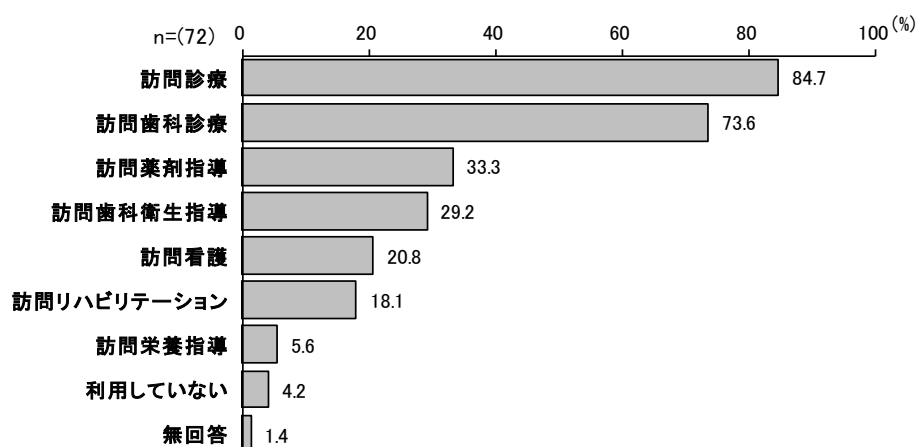


(2) 有料老人ホーム・グループホーム入居者の在宅医療サービス利用状況

＜調査の前に＞で「4. 有料老人ホームに入居中」、「5. グループホームに入居中」に○をつけた方におたずねします。】

問4 どのような在宅医療サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

“有料老人ホーム”と“グループホーム”の入居者に、利用している在宅医療サービスをきいたところ、「訪問診療」が84.7%で最も高く、次いで「訪問歯科診療」が73.6%、「訪問薬剤指導」が33.3%、「訪問歯科衛生指導」が29.2%などとなっています。

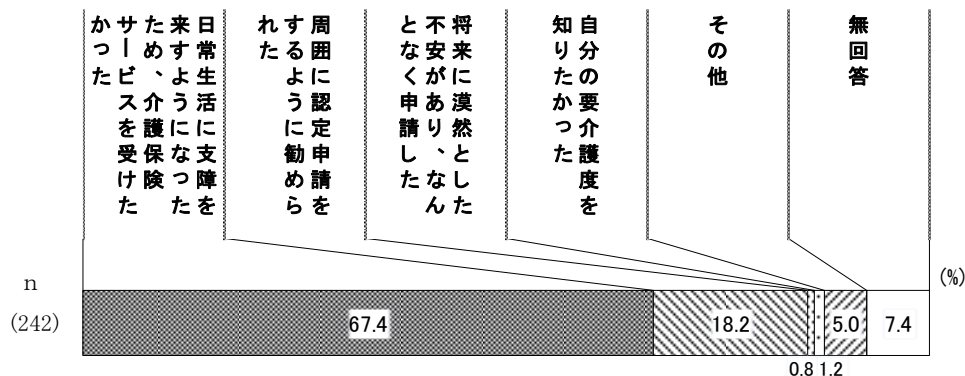


3 介護保険について

(1) 要介護認定を申請した理由

問5 あなたが、要介護認定を申請した理由は何ですか。(ひとつだけに○)

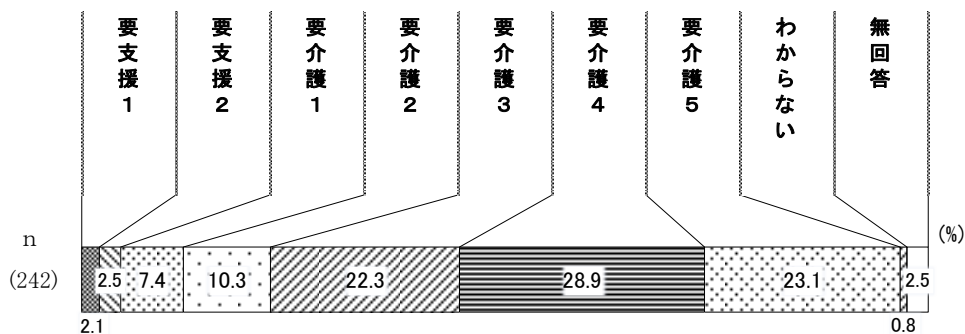
要介護認定を申請した理由は、「日常生活に支障を来すようになったため、介護保険サービスを受けたかった」が67.4%で最も高く、次いで「周囲に認定申請をするように勧められた」が18.2%となっています。



(2) 要介護度

問6 あなたの要介護度はいくつですか。(ひとつだけに○)

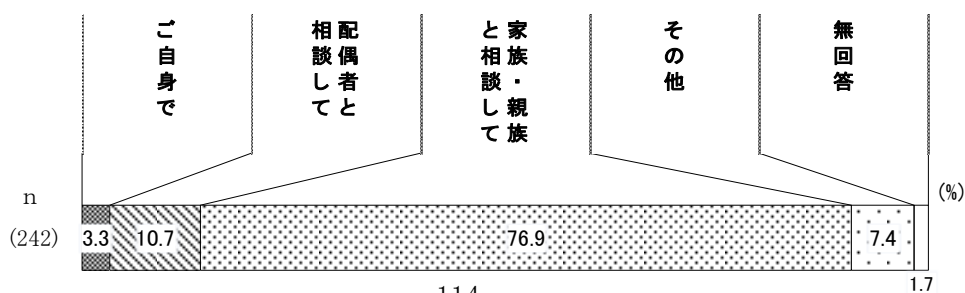
要介護度は、「要介護4」(28.9%)、「要介護5」(23.1%)、「要介護3」(22.3%)が2割以上で、《要介護3以上》が74.3%を占めています。



(3) 施設入所の決定者

問7 現在の施設の入所を決めたのはどなたですか。(ひとつだけに○)

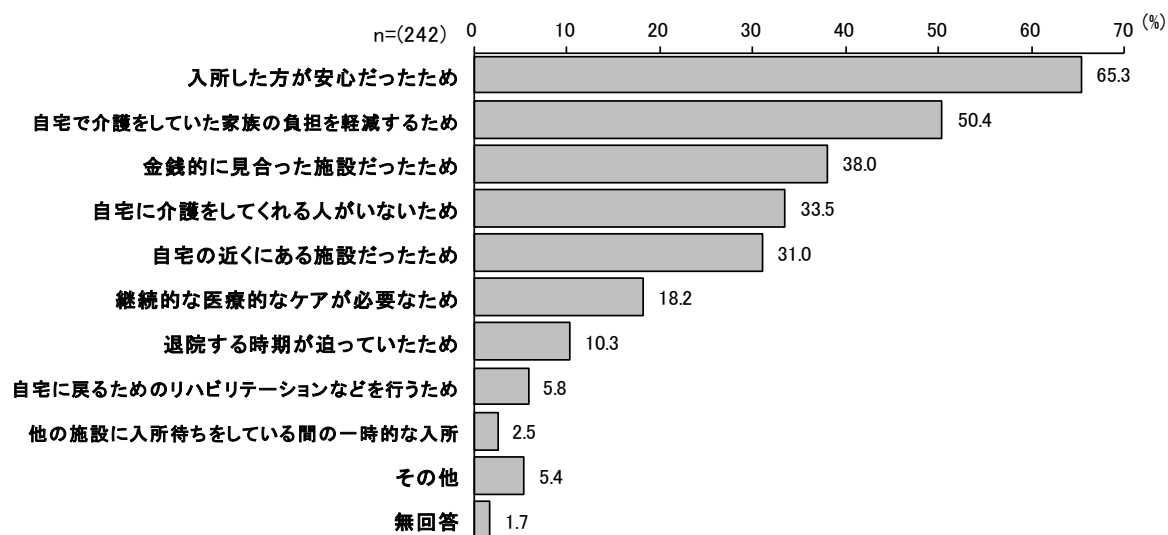
施設入所の決定者は、「家族・親族と相談して」が76.9%で最も高く、「配偶者と相談して」が10.7%でこれに次いでいます。



(4) 施設入所の理由

問8 現在の施設に入所した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

施設入所の理由は、「入所した方が安心だったため」が65.3%で最も高く、以下、「自宅で介護をしていた家族の負担を軽減するため」が50.4%、「金銭的に見合った施設だったため」が38.0%などとなっています。



入所施設別にみると、「入所した方が安心だったため」は有料老人ホームで7割台半ば、「自宅で介護をしていた家族の負担を軽減するため」は特別養護老人ホームで6割超えと高くなっています。

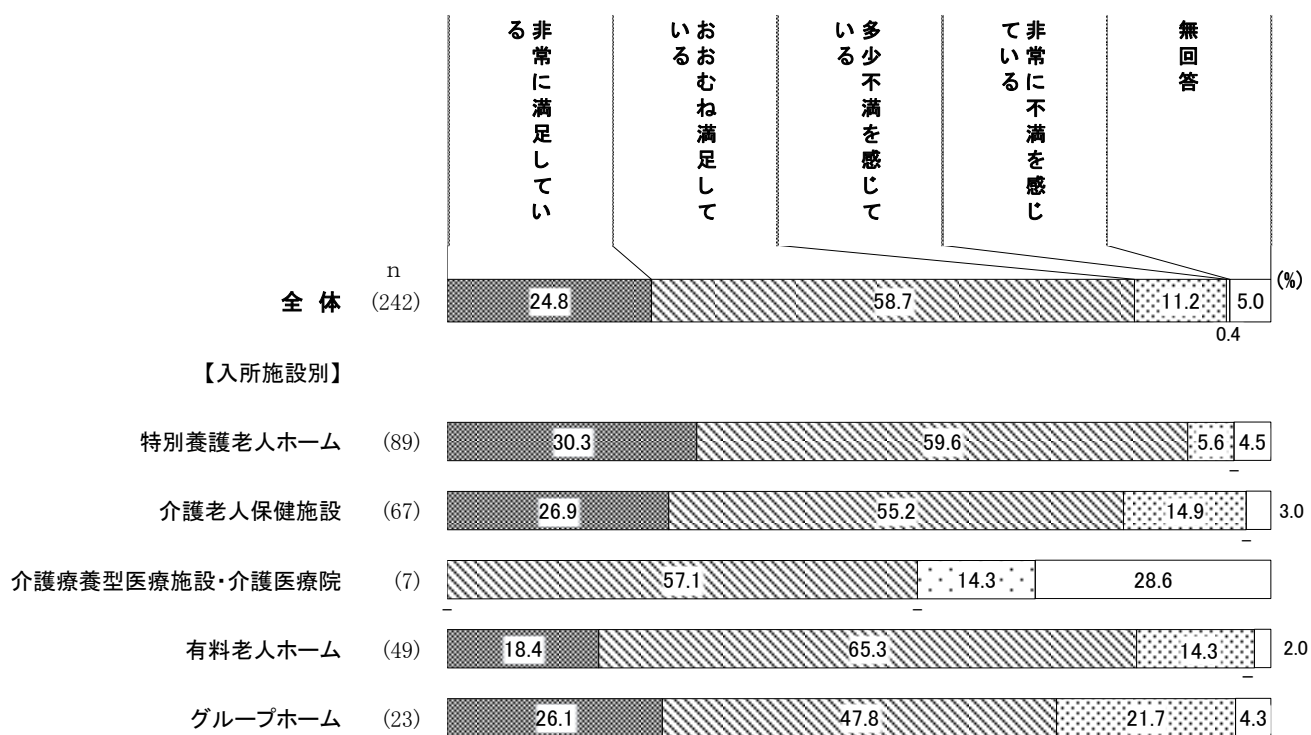
		n	入所した方が安心だったため	自宅で介護をしていた家族の負担を軽減するため	金銭的に見合った施設だったため	自宅に介護をしてくれる人がいないため	自宅の近くにある施設だったため	継続的な医療的なケアが必要なため	退院する時期が迫っていたため	自宅に戻るためのリハビリテーションなどを行うため	他の施設に入所待ちをしている間の一時的な入所	その他	無回答
全 体		242	65.3	50.4	38.0	33.5	31.0	18.2	10.3	5.8	2.5	5.4	1.7
入所施設別	特別養護老人ホーム	89	68.5	61.8	55.1	28.1	40.4	14.6	7.9	-	-	3.4	1.1
	介護老人保健施設	67	59.7	41.8	23.9	40.3	26.9	22.4	19.4	14.9	7.5	7.5	1.5
	介護療養型医療施設・介護医療院	7	42.9	57.1	14.3	42.9	-	71.4	14.3	28.6	-	14.3	-
	有料老人ホーム	49	73.5	42.9	40.8	32.7	26.5	14.3	8.2	-	-	4.1	2.0
	グループホーム	23	65.2	56.5	21.7	34.8	30.4	13.0	-	-	-	8.7	-

(5) 施設サービスの満足度

問9 現在、入居中の施設が提供するサービスに満足していますか。(ひとつだけに○)

施設サービスの満足度は、「おおむね満足している」が58.7%で最も高く、「非常に満足している」(24.8%) と合わせた《満足している》は83.5%となります。

入所施設別にみると、《満足している》は特別養護老人ホームで約9割と高くなっています。



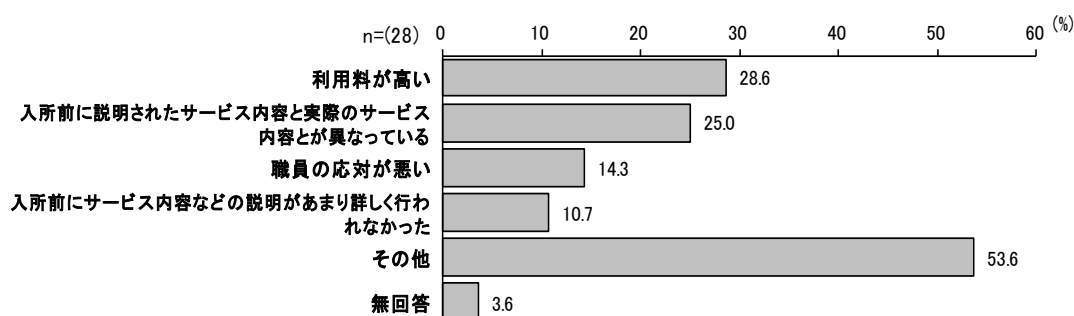
(5-1) 施設サービスに不満を感じている内容

【問9で「3. 多少不満を感じている」、「4. 非常に不満を感じている」に○をつけた方におたずねします。】

問9-1 具体的に感じていらっしゃる内容についてご記入ください。

(あてはまるものすべてに○)

施設サービスの満足度で、「多少不満を感じている」、「非常に不満を感じている」と回答した方に、不満を感じている内容をきいたところ、「利用料が高い」が28.6%で最も高く、「入所前に説明されたサービス内容と実際のサービス内容とが異なっている」が25.0%でこれに次いでいます。



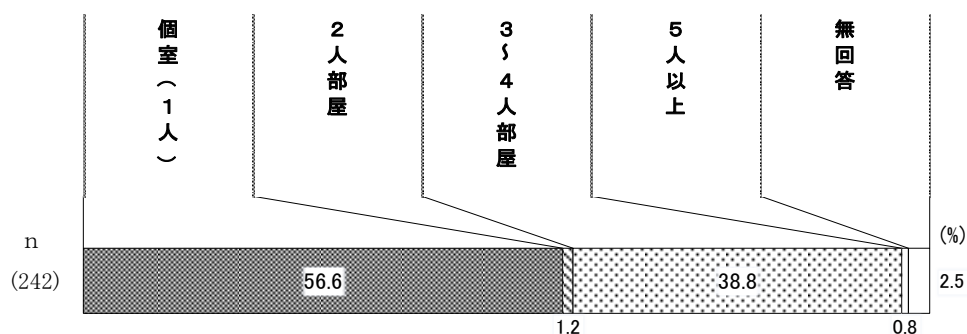
入所施設別にみると、nが少ないため、参考までに掲載します。

		(%)						
		n	利用料が高い	入所前に説明されたサービス内容と実際のサービス内容とが異なっている	職員の対応が悪い	入所前にサービス内容などの説明があまり詳しく行われなかった	その他	無回答
全 体		28	28.6	25.0	14.3	10.7	53.6	3.6
入所施設別	特別養護老人ホーム	5	40.0	-	-	-	60.0	20.0
	介護老人保健施設	10	10.0	50.0	30.0	-	60.0	-
	介護療養型医療施設・介護医療院	1	100.0	-	-	-	100.0	-
	有料老人ホーム	7	28.6	14.3	-	28.6	42.9	-
	グループホーム	5	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	-

(6) 部屋の定員数

問10 現在、入居中の部屋の定員は何人ですか。(ひとつだけに○)

部屋の定員数は、「個室（1人）」が56.6%で最も高く、次いで「3～4人部屋」が38.8%となっています。

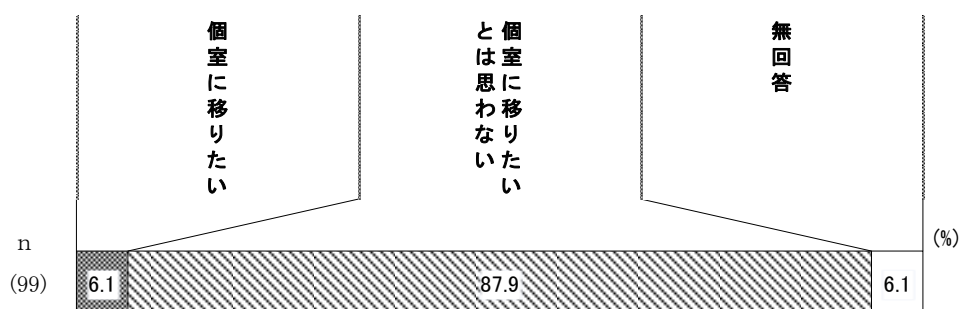


(6-1) 個室への移動希望の有無

【問10で「2. 2人部屋」～「4. 5人以上」に○をつけた方におたずねします。】

問10-1 個室に移動したいというご希望はありますか。(ひとつだけに○)

部屋の定員数で、「2人部屋」、「3～4人部屋」、「5人以上」と回答した方に、個室に移動したいという希望があるかをきいたところ、「個室に移りたいとは思わない」が87.9%を占めています。



(6-1-1) 個室への移動を希望しない理由

【問10-1で「2. 個室に移りたいとは思わない」に○をつけた方におたずねします。】

問10-1-1 希望しない理由についてご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

「個室に移りたいとは思わない」と回答した方に、個室への移動を希望しない理由をきいたところ、「現在の部屋に満足しているから」(57.5%)と「個室に入ると利用料の負担が増えるから」(55.2%)の2つが5割以上となっています。

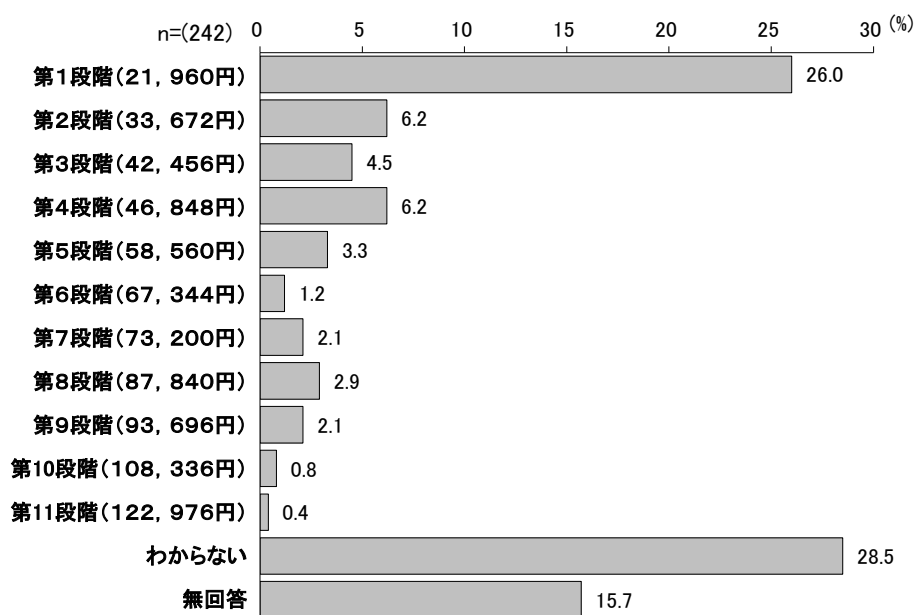


(7) 介護保険料の所得段階区分

問11 あなたの介護保険料の「所得段階」は、どの段階ですか。

令和元年度茅ヶ崎市介護保険料納入通知書にてご確認ください。(ひとつだけに○)

介護保険料の所得段階区分は、「第1段階(21,960円)」が26.0%で最も高くなっており、他の区分はいずれも1割未満となっています。

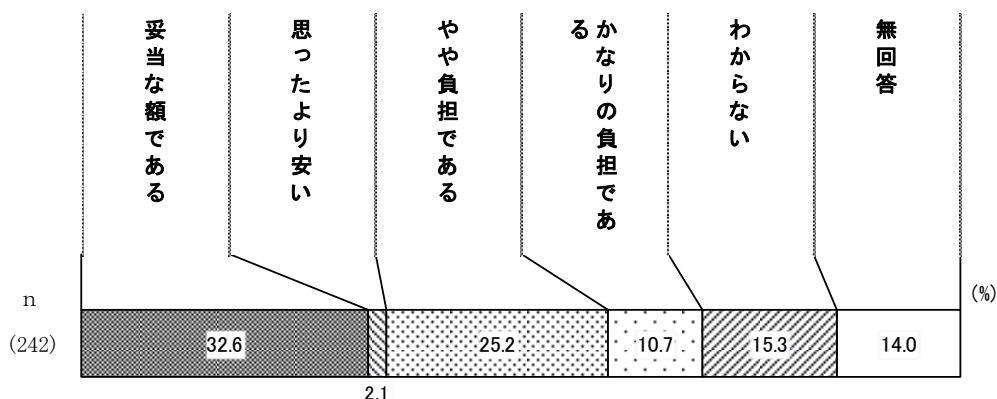


(8) 介護保険料の納付額について

問12 介護保険料の納付額について、どのようにお感じになりますか。

(ひとつだけに○)

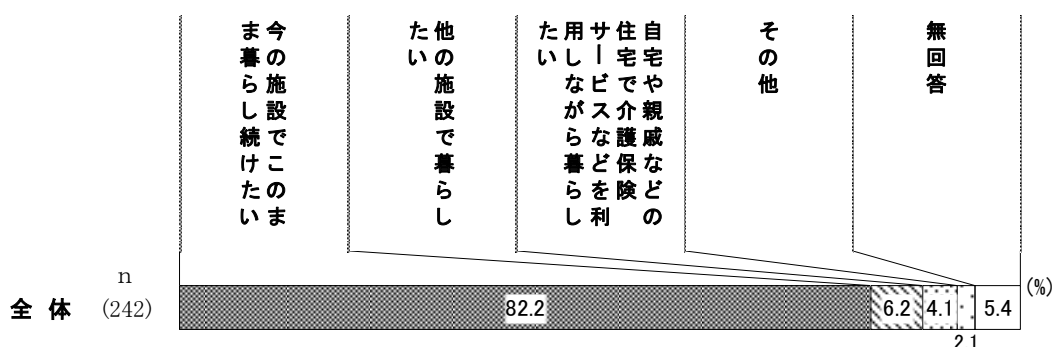
介護保険料の納付額については、「妥当な額である」が32.6%で最も高くなっています。一方、「やや負担である」(25.2%)と「かなりの負担である」(10.7%)を合わせた《負担である》は、35.9%となります。



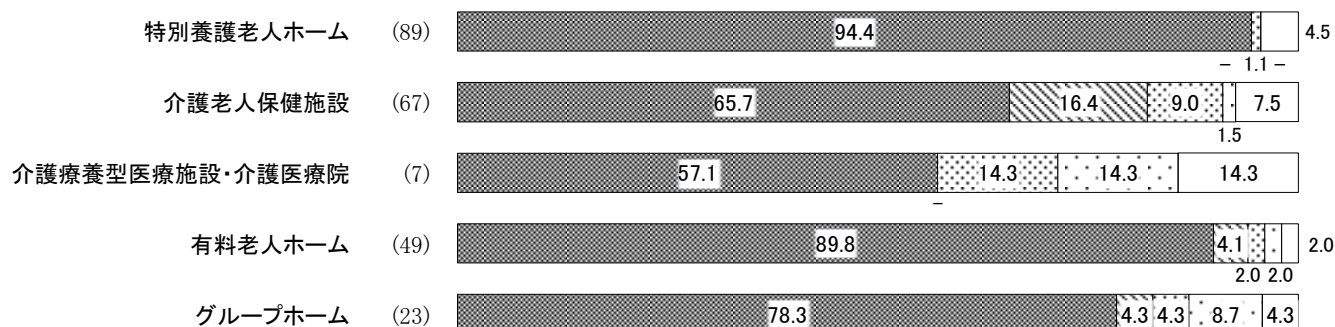
(9) 今後の生活の場についての考え

問13 今後の生活の場について、どのようにお考えですか。(ひとつだけに○)

今後の生活の場については、「今の施設でこのまま暮らし続けたい」が82.2%を占めています。入所施設別にみると、「他の施設で暮らしたい」は介護老人保健施設で1割台半ばと比較的高くなっています。



【入所施設別】

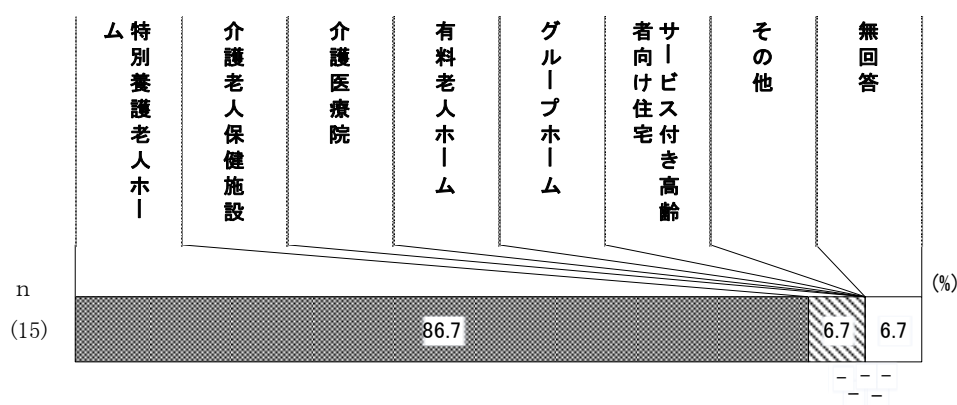


（９－１）生活の場を移したい施設の種類の種類

【問13で「２．他の施設で暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問13－１ 暮らしたい施設の種類をご記入ください。（ひとつだけに○）

今後の生活の場についての考えで、「他の施設で暮らしたい」と回答した方に、生活の場を移したい施設の種類のきいたところ、「特別養護老人ホーム」が86.7%を占めていますが、基数が小さいため、はっきりした傾向とはいえません。



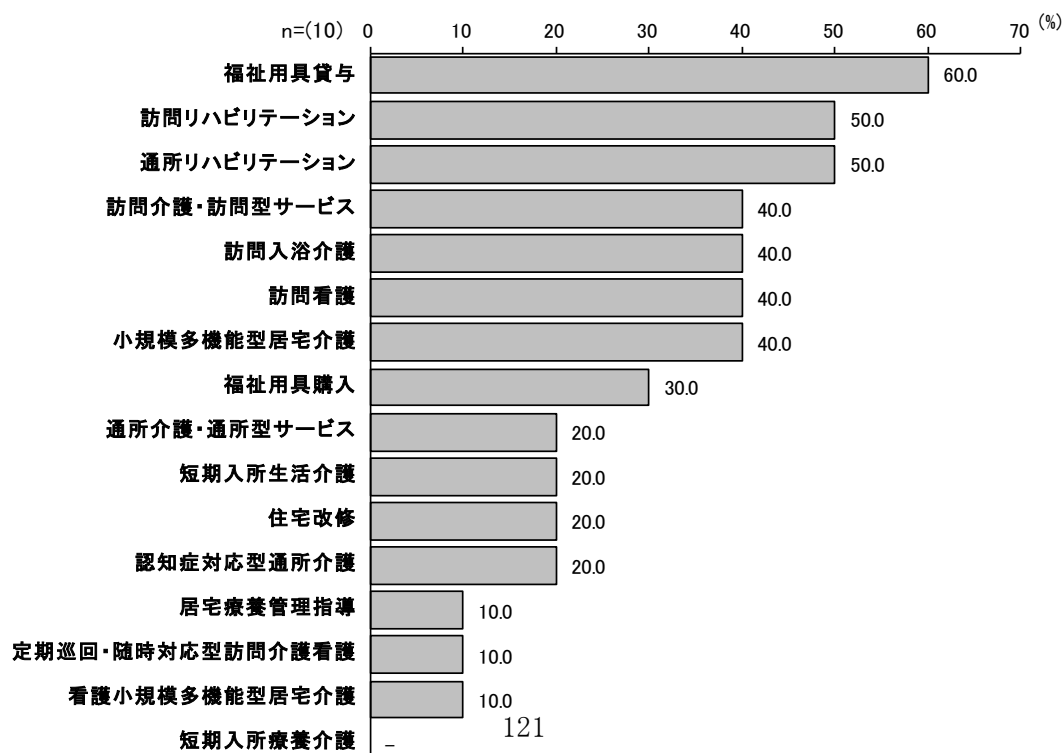
（９－２）在宅生活をする場合に必要となる介護保険サービス

【問13で「３．自宅や親戚などの住宅で介護保険サービスなどを利用しながら暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問13－２ 在宅生活をする場合、必要となる介護保険サービスの種類に○をしてください。

（あてはまるものすべてに○）

今後、「自宅や親戚などの住宅で介護保険サービスを利用しながら暮らしたい」と回答した方に、在宅生活をする場合に必要となる介護保険サービスをきいた結果は、nが小さいため、参考までに掲載します。

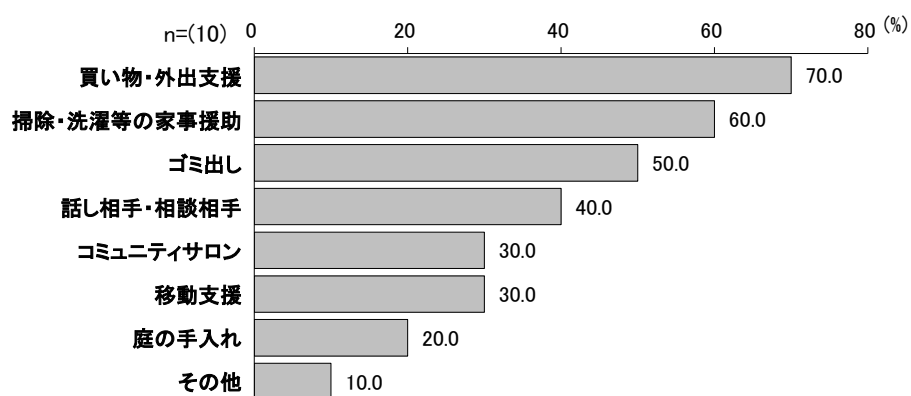


(9-3) 在宅生活する場合にあれば良いと思う地域のサービス

【問13で「3. 自宅や親戚などの住宅で介護保険サービスなどを利用しながら暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問13-3 在宅生活をする場合、近隣の住民、ボランティア団体などによる介護保険サービス以外の地域の支え合いにおいてどのようなサービスがあったら良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

今後、「自宅や親戚などの住宅で介護保険サービスを利用しながら暮らしたい」と回答した方に、在宅生活をする場合にあれば良いと思う地域のサービスをきいた結果は、nが小さいため、参考までに掲載します。



4 自由回答

(1) 高齢者福祉サービスや介護保険サービスについての市への要望や意見

問14 最後になりますが、高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、ご記入ください。

62人の方から75件のご意見をいただきました。回答の主な内容は、以下のとおりです。

分類 (基本方針別)	主な回答内容	件数
4 地域における高齢者の支援体制づくり	・介護をしている家族への支援も検討してほしい。介護が重なる場合は、精神的にも経済的にも苦しいと感じることがある。 ・入所前は、地域包括支援センターの職員に色々お世話になったため、地域にこのような機関があって助かった。	6 件
6 介護保険サービス及び介護予防・生活支援サービス事業の充実	・福祉用具の貸与について、在宅、施設入所に関わらず、介護保険サービスが利用できるようにしてほしい。 ・入所施設がなかなか見つからない。	35 件
- その他	・国の制度が変わった際には、具体例を示すなど、わかりやすい広報をしてほしい。 ・教育や福祉を手厚くしてほしい。	9 件

※複数の項目について記入されている回答もあるため、各項目における回答件数の合計と自由回答の総数は一致しません。

第5章 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査

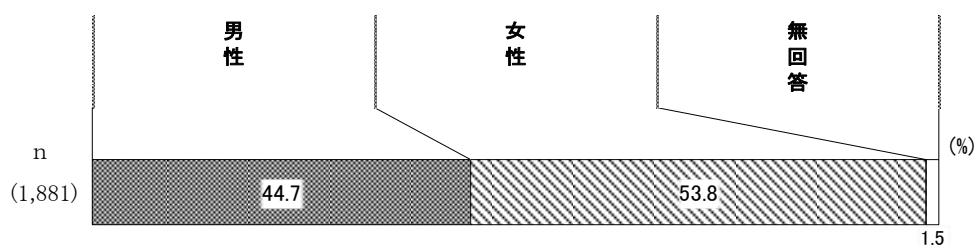
第5章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 対象者について

(1) 性別

(1) 性別について教えてください（ひとつだけに○）

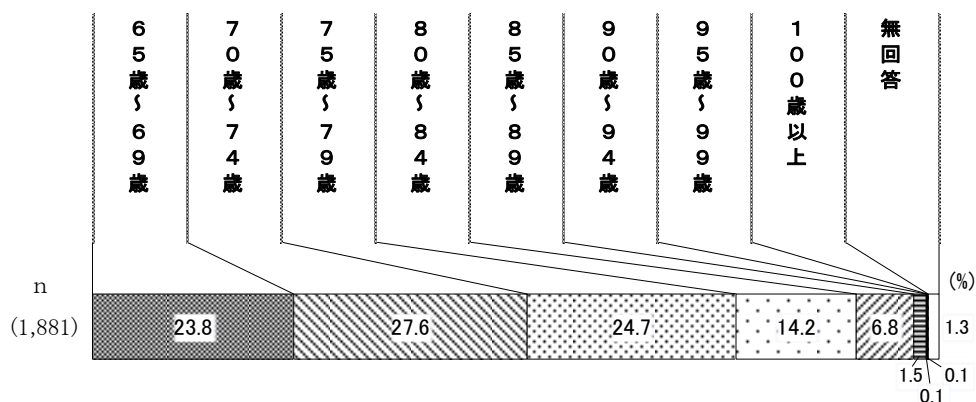
性別は「女性」（53.8%）が男性（44.7%）よりも9.1ポイント多くなっています。



(2) 年齢

(2) 年齢について教えてください（ひとつだけに○）

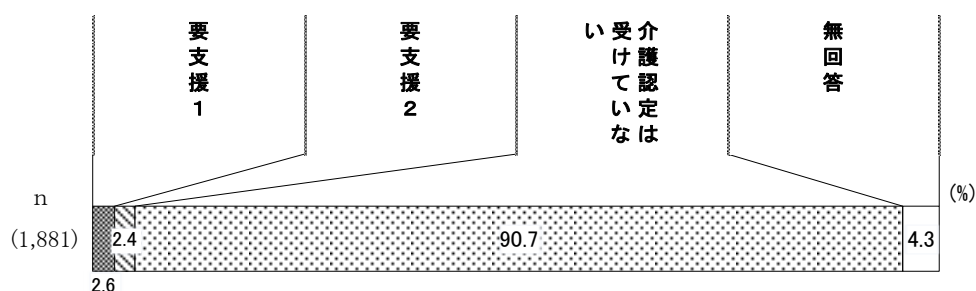
年齢は「70歳～74歳」（27.6%）と「75歳～79歳」（24.7%）を合わせた《70歳代》が52.3%と半数以上を占めています。



(3) 介護度

(3) 介護度について教えてください（ひとつだけに○）

認定を受けているのは「要支援1」（2.6%）と「要支援2」（2.4%）を合わせた5.0%です。

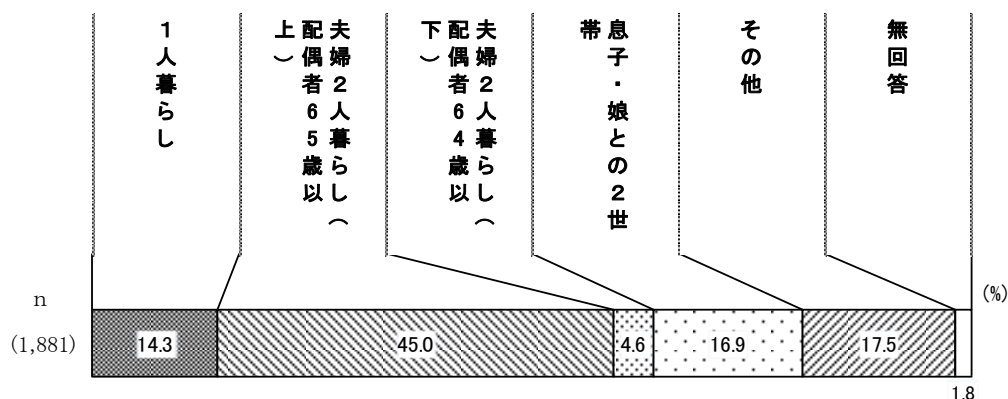


2 家族や生活状況について

(1) 家族構成

(1) 家族構成をお教えてください（ひとつだけに○）

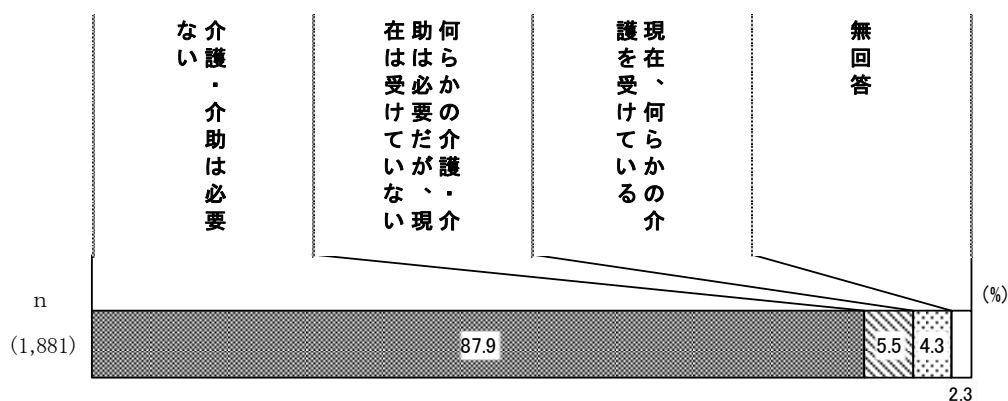
家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（45.0%）と「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」（4.6%）を合わせた《夫婦2人暮らし》が49.6%で約半数となっています。



(2) 介護・介助の必要性の有無

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（ひとつだけに○）

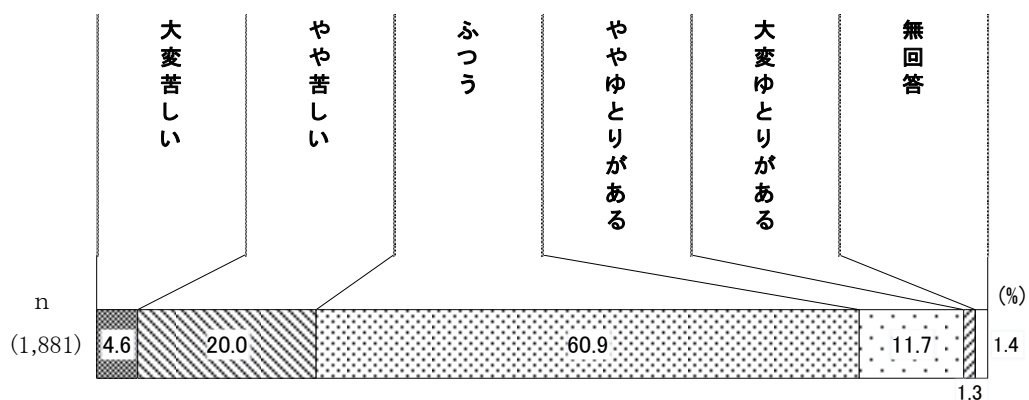
「現在、何らかの介助を受けている」のは4.3%、また、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」のは5.5%です。



(3) 現在の経済状況

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (ひとつだけに○)

現在の暮らしの経済的状況は、「大変苦しい」(4.6%)と「やや苦しい」(20.0%)を合わせた《苦しい》が24.6%、一方、「大変ゆとりがある」(1.3%)と「ややゆとりがある」(11.7%)を合わせた《ゆとりがある》は13.0%となっています。なお、「ふつう」は60.9%となっています。

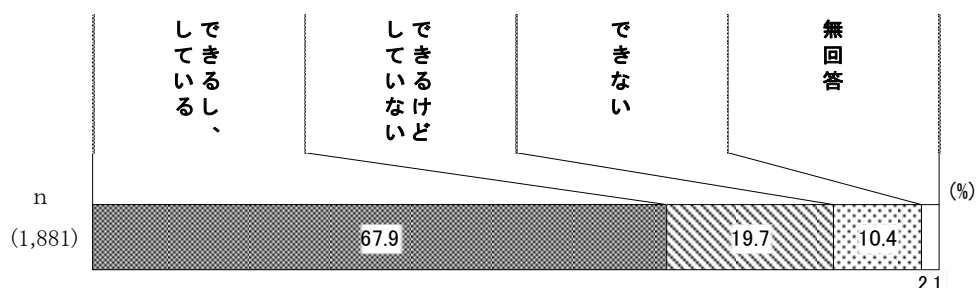


3 からだを動かすことについて

(1) 手すりや壁をつたわず階段を昇る

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (ひとつだけに○)

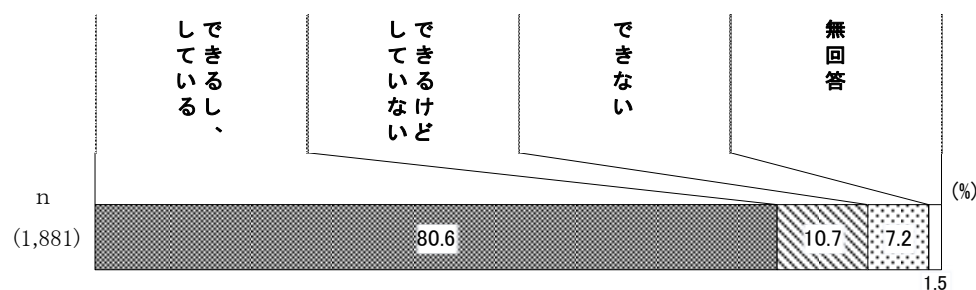
手すりや壁をつたわずに階段を昇ることが「できるし、している」のは67.9%、「できるけどしていない」のは19.7%で、両者を合わせた《できる》は87.6%となっています。



(2) 何もつかまらず椅子から立ち上がる

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (ひとつだけに○)

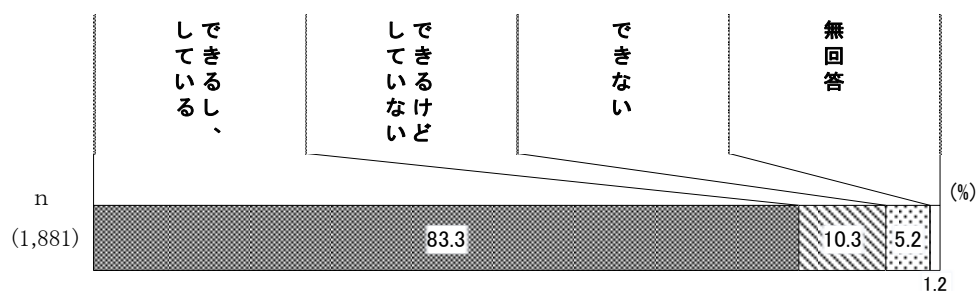
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることが「できるし、している」のは80.6%、「できるけどしていない」のは10.7%で、両者を合わせた《できる》は91.3%となっています。



(3) 15分位続けて歩く

(3) 15分位続けて歩いていますか (ひとつだけに○)

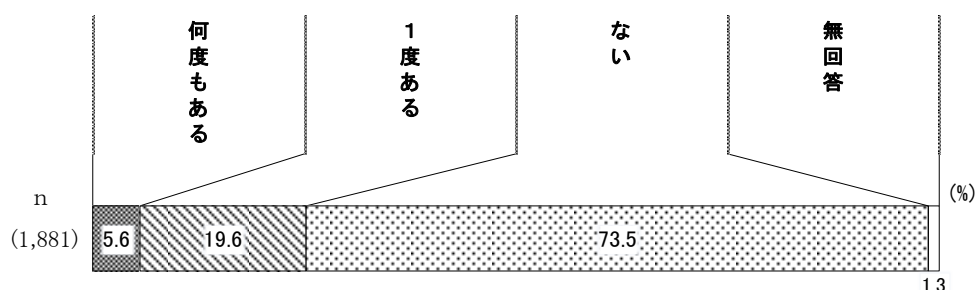
15分位続けて歩くことが「できるし、している」のは83.3%、「できるけどしていない」のは10.3%で、両者を合わせた《できる》は93.6%となっています。



(4) 過去1年間に転んだ経験

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか（ひとつだけに○）

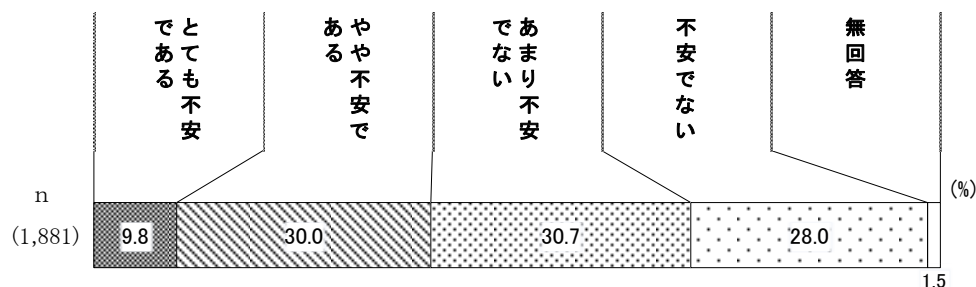
過去1年間に転んだ経験が「何度もある」のは5.6%、「1度ある」のは19.6%で、両者を合わせた《ある》は25.2%となっています。



(5) 転倒に対する不安

(5) 転倒に対する不安は大きいですか（ひとつだけに○）

転倒に対して「とても不安である」のは9.8%、「やや不安である」のは30.0%で、両者を合わせた《不安である》は39.8%となっています。



以上、運動機能に関する5項目のうち、(1) から (3) で「できない」、(4) で《ある》、(5) で《不安である》に該当した人の分布は以下のとおりです。3つ以上に該当した場合は運動機能低下傾向があるとされています。

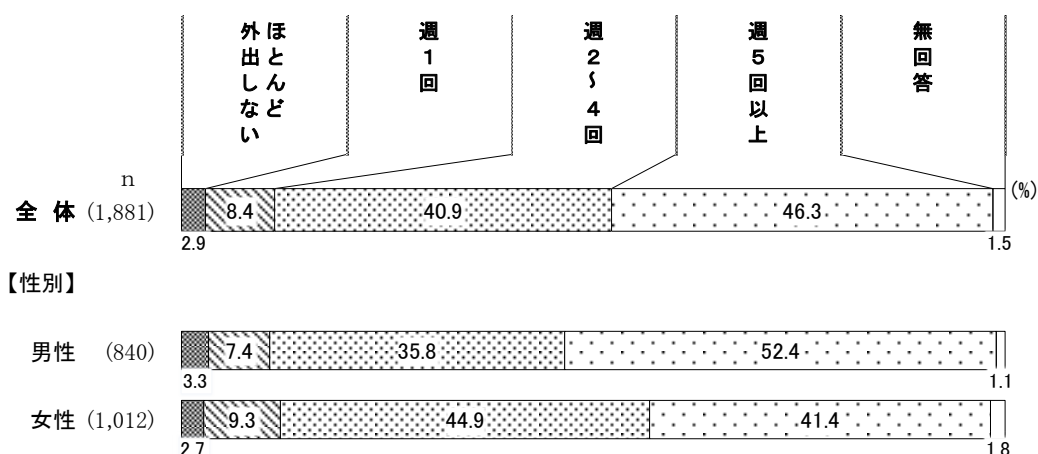
- ・該当なし・・・47.3%
- ・1項目該当・・・27.2%
- ・2項目該当・・・13.7%
- ・3項目該当・・・3.3%
- ・4項目該当・・・3.2%
- ・5項目該当・・・1.5%
- ・無回答・・・3.6%

(6) 外出頻度

(6) 週に1回以上は外出していますか（ひとつだけに○）

外出頻度は「週1回」が8.4%、「週2～4回」が40.9%、「週5回以上」が46.3%で、これらを合わせた《週1回以上》は95.6%となっています。

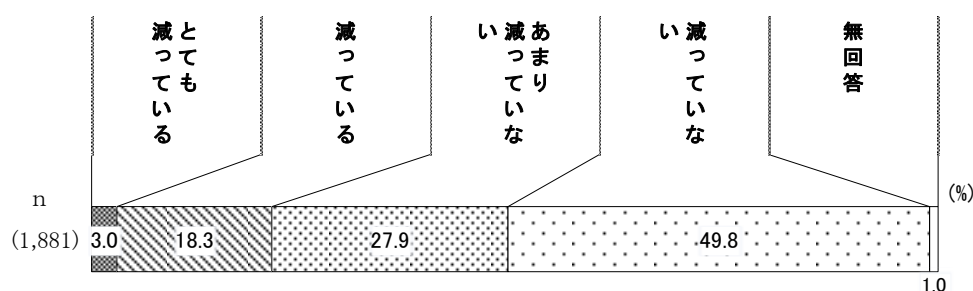
性別でみると、《週1回以上》は大きな違いはみられませんが、「週5回以上」は男性の方が女性より11.0ポイント高くなっています。



(7) 昨年と比べた外出回数

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（ひとつだけに○）

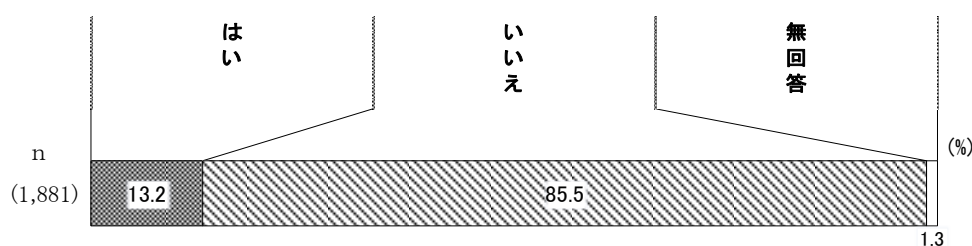
昨年と比べて外出の回数が「とても減っている」のは3.0%、「減っている」のは18.3%で、両者を合わせた《減っている》は21.3%となっています。



(8) 外出の控え

(8) 外出を控えていますか（ひとつだけに○）

外出を控えている（「はい」）のは13.2%です。

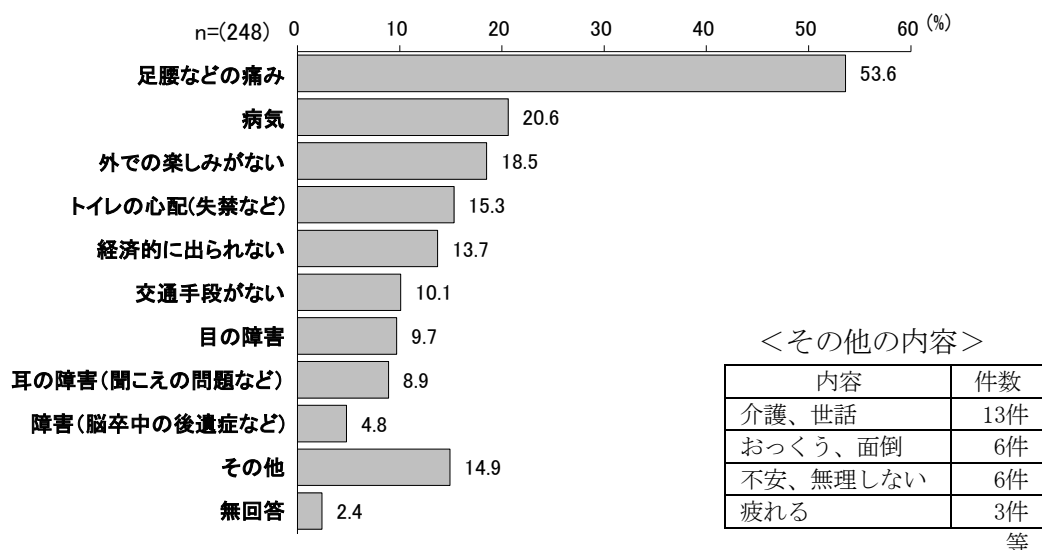


（８－１）外出を控えている理由

【（８）で「1. はい（外出を控えている）の方のみ】

（８－１）外出を控えている理由は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

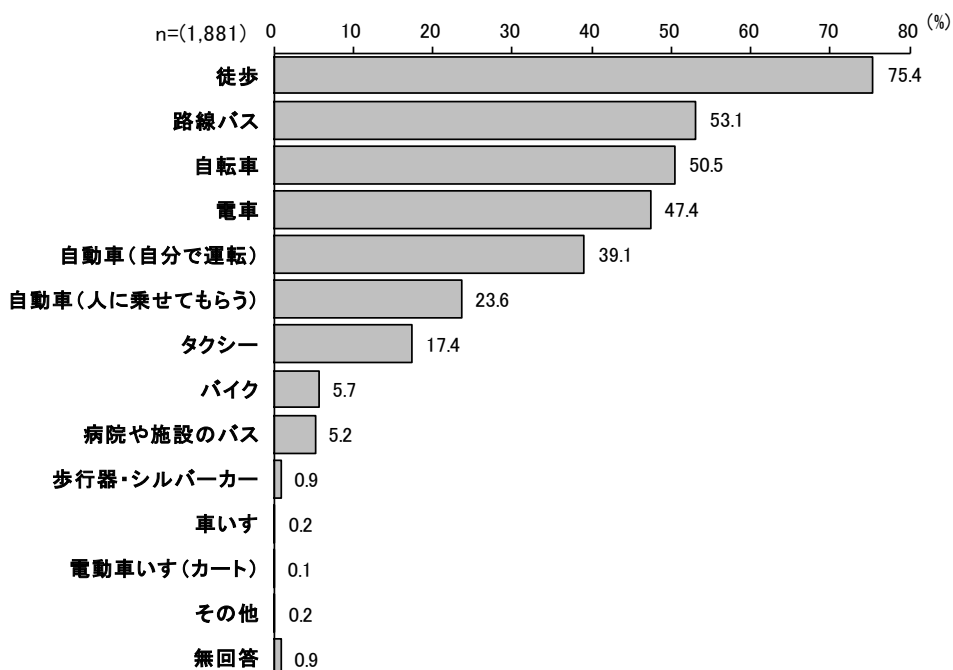
外出を控えている方に、その理由をきいたところ、「足腰などの痛み」が53.6%と特に高く、以下、「病気」が20.6%、「外での楽しみがない」18.5%、「トイレの心配（失禁など）」が15.3%などとなっています。



（９）外出の際の移動手段

（９）外出する際の移動手段は何ですか（あてはまるものすべてに○）

外出する際の移動手段は、「徒歩」が75.4%で最も高く、以下、「路線バス」が53.1%、「自転車」が50.5%、「電車」が47.4%、「自動車（自分で運転）」が39.1%などとなっています。



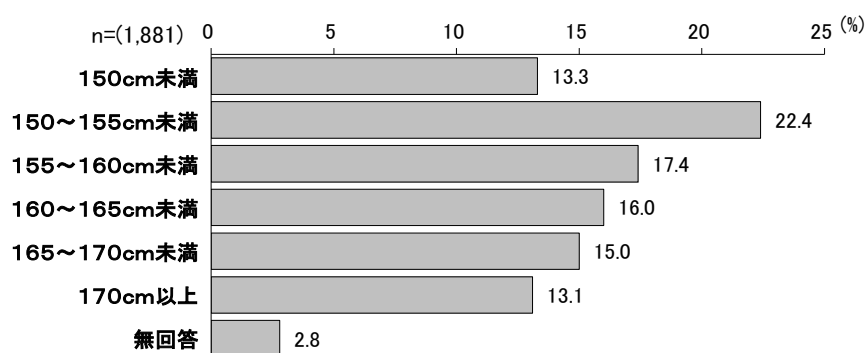
4 食べることにについて

(1) 身長・体重

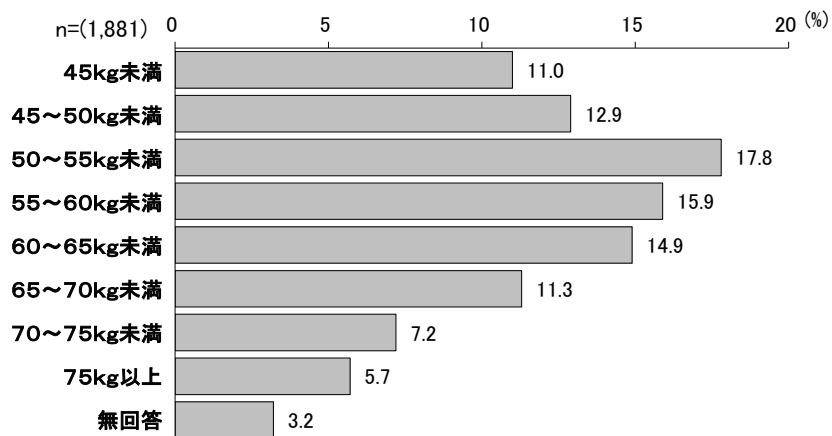
(1) 身長・体重

身長、体重から算出したBMI値は、「普通（18.5以上25.0未満）」が66.9%で、「肥満（25.0以上）」が20.4%となっています。

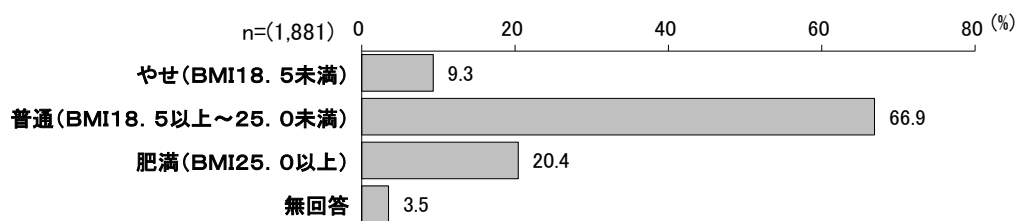
<身長>



<体重>



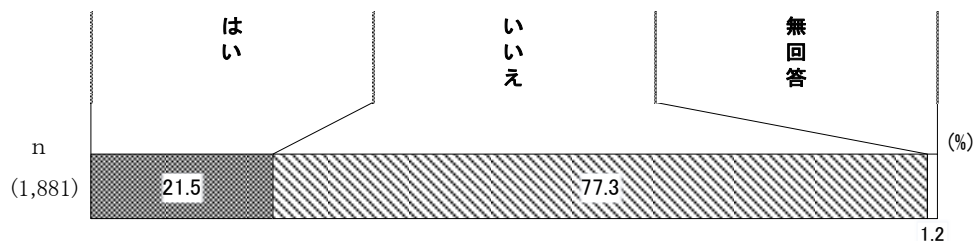
<BMI>



(2) 固いものの食べにくさ

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（ひとつだけに○）

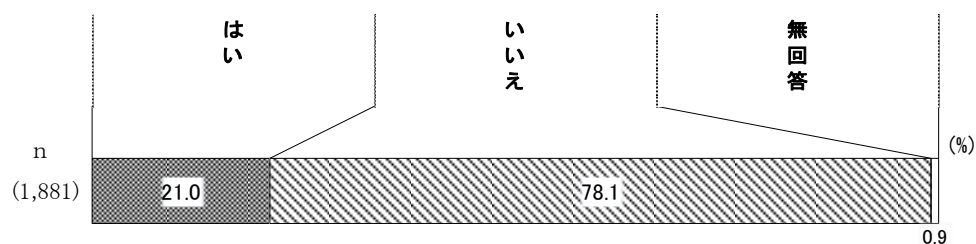
半年前に比べて固いものが食べにくくなった（「はい」）のは21.5%です。



(3) お茶や汁物でむせること

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか（ひとつだけに○）

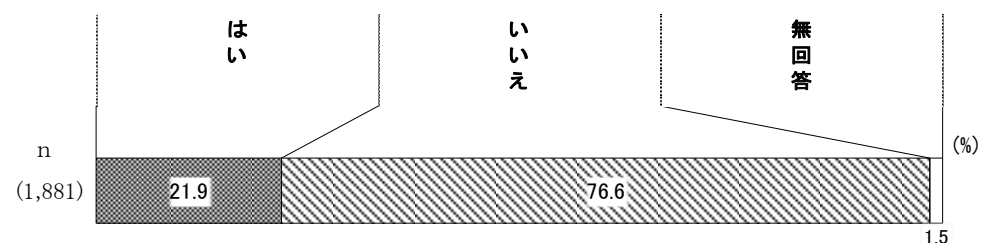
お茶や汁物等でむせることがある（「はい」）のは21.0%です。



(4) 口の渇き

(4) 口の渇きが気になりますか（ひとつだけに○）

口の渇きが気になる（「はい」）のは21.9%です。



以上、(2)～(4)の口腔機能に関する3項目うち、「はい」に該当した人の分布は以下のとおりです。2つ以上に該当した場合は口腔機能低下傾向があるとされています。

- ・該当なし・・・55.3%
- ・1項目該当・・・25.9%
- ・2項目該当・・・12.4%
- ・3項目該当・・・4.4%
- ・無回答・・・2.0%

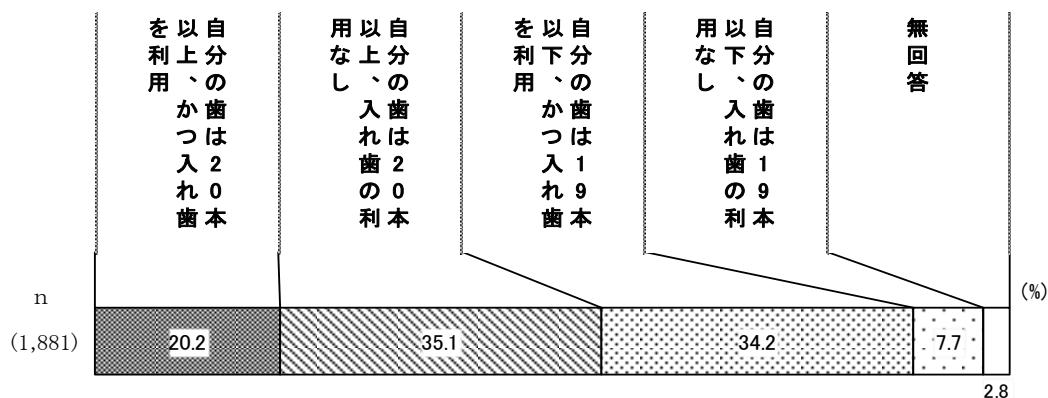
(5) 歯の本数と入れ歯の利用

(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

(ひとつだけに○)

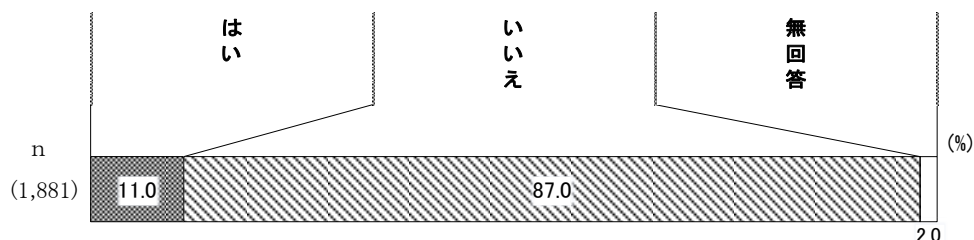
歯の本数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が35.1%で最も高くなっています。自分の歯が20本以上の人は55.3%、入れ歯の利用率は54.4%です。



(6) 6か月間の体重減少

(6) 6か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか (ひとつだけに○)

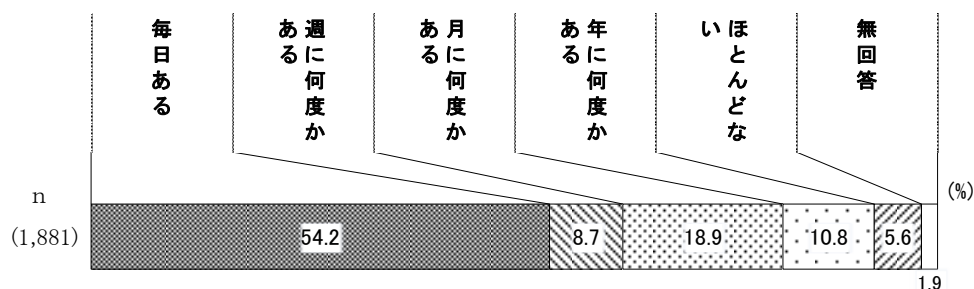
最近6か月間に2～3 kg 以上の体重減少があった(「はい」)のは11.0%です。



(7) 人と食事を共にする頻度

(7) どなたかと食事をとる機会がありますか (ひとつだけに○)

人と食事を共にする機会が「毎日ある」のは54.2%と半数を超え、「月に何度かある」が18.9%でこれに次いでいます。また、「ほとんどない」は5.6%となっています。

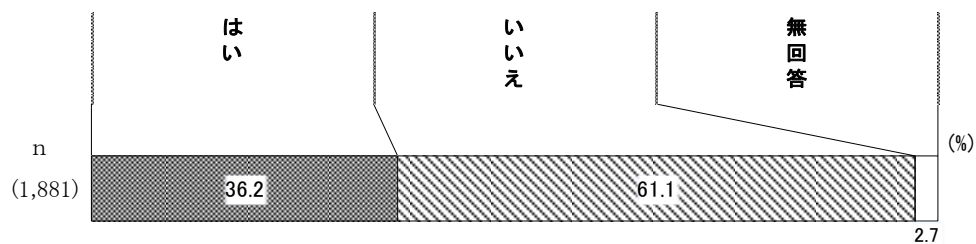


5 毎日の生活について

(1) 物忘れ

(1) 物忘れが多いと感じますか（ひとつだけに○）

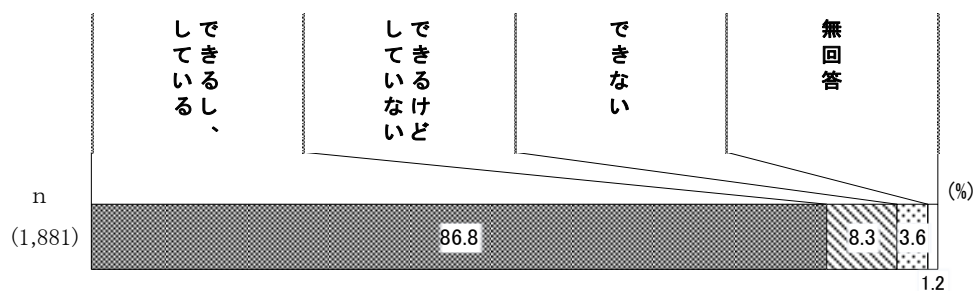
物忘れが多いと感じる（「はい」）のは36.2%です。



(2) 乗り物を使った1人の外出

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（ひとつだけに○）

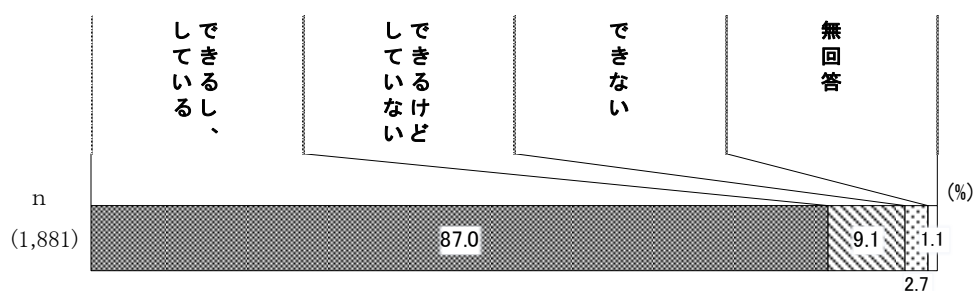
バスや電車を使って1人で外出が「できるし、している」のは86.8%、「できるけどしていない」のは8.3%で、両者を合わせた《できる》は95.1%となっています。



(3) 自分で食品・日用品の買い物

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか（ひとつだけに○）

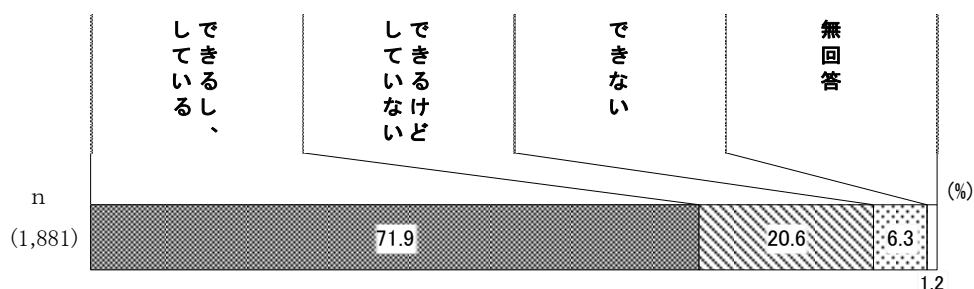
自分で食品・日用品の買物が「できるし、している」のは87.0%、「できるけどしていない」のは9.1%で、両者を合わせた《できる》は96.1%となっています。



(4) 自分で食事の用意

(4) 自分で食事の用意をしていますか（ひとつだけに○）

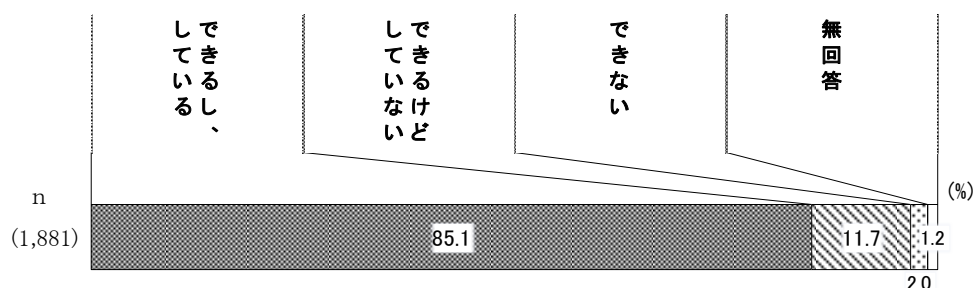
自分で食事の用意が「できるし、している」のは71.9%、「できるけどしていない」のは20.6%で、両者を合わせた《できる》は92.5%となっています。



(5) 自分で請求書の支払い

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか（ひとつだけに○）

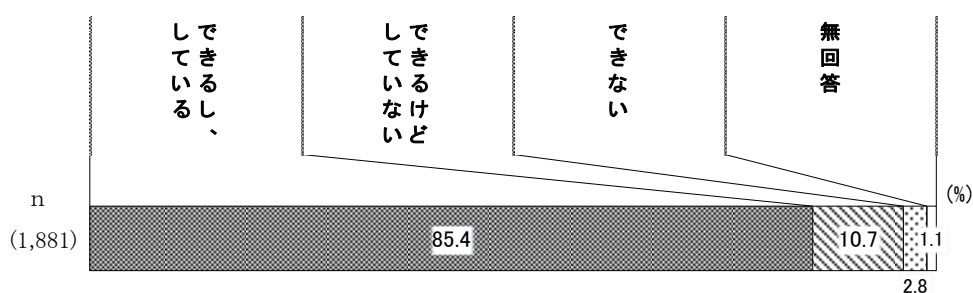
自分で請求書の支払いが「できるし、している」のは85.1%、「できるけどしていない」のは11.7%で、両者を合わせた《できる》は96.8%となっています。



(6) 自分で預貯金のおし入れ

(6) 自分で預貯金のおし入れをしていますか（ひとつだけに○）

自分で預貯金のおし入れが「できるし、している」のは85.4%、「できるけどしていない」のは10.7%で、両者を合わせた《できる》は96.1%となっています。



以上、(2)～(6)の手段的日常生活動作(IADL)に関する5項目うち、「できない」に該当した人の分布は以下のとおりです。3つ以上に該当した場合は介護予防・生活支援サービスを受けることができるかとされています。

- ・該当なし・・・88.2%
- ・1項目該当・・・6.1%
- ・2項目該当・・・1.5%
- ・3項目該当・・・1.1%
- ・4項目該当・・・0.4%
- ・5項目該当・・・0.6%
- ・無回答・・・2.2%

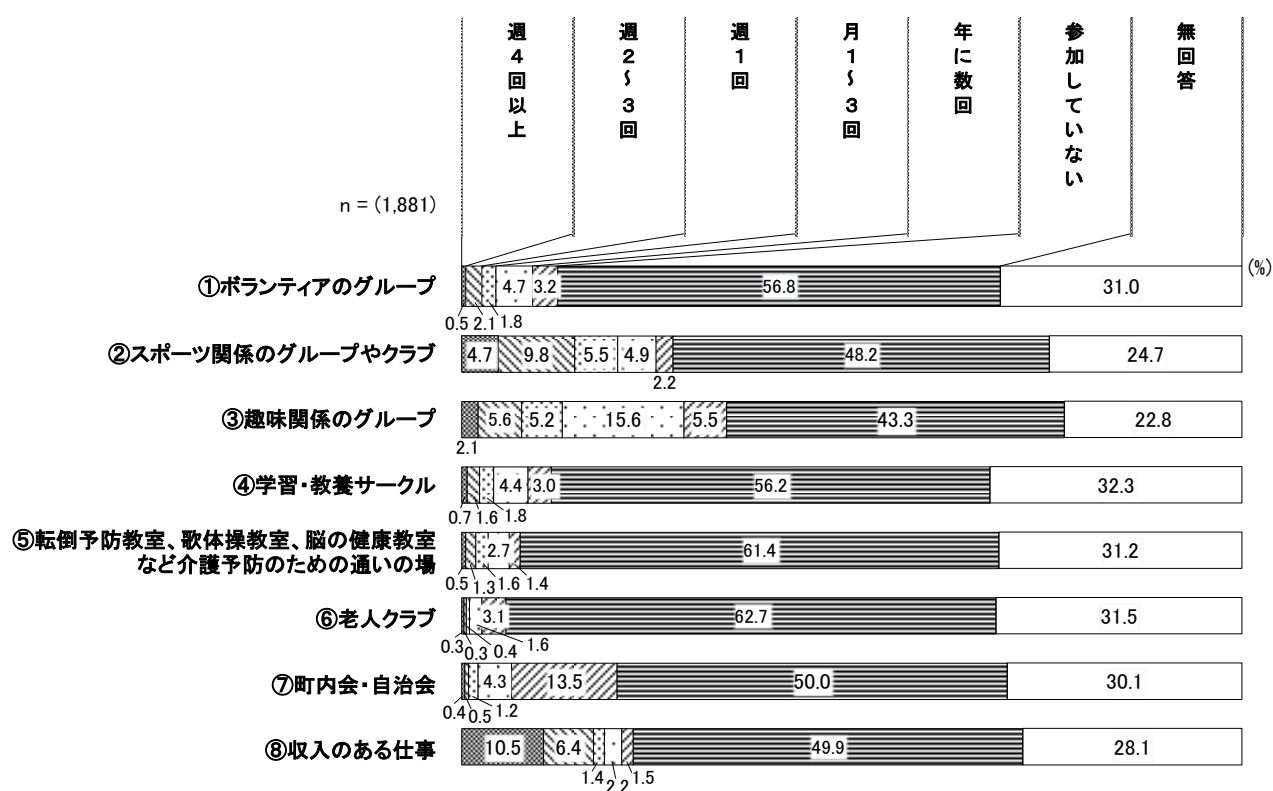
6 地域での活動について

(1) 地域活動参加頻度

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑧それぞれに○をつけてください

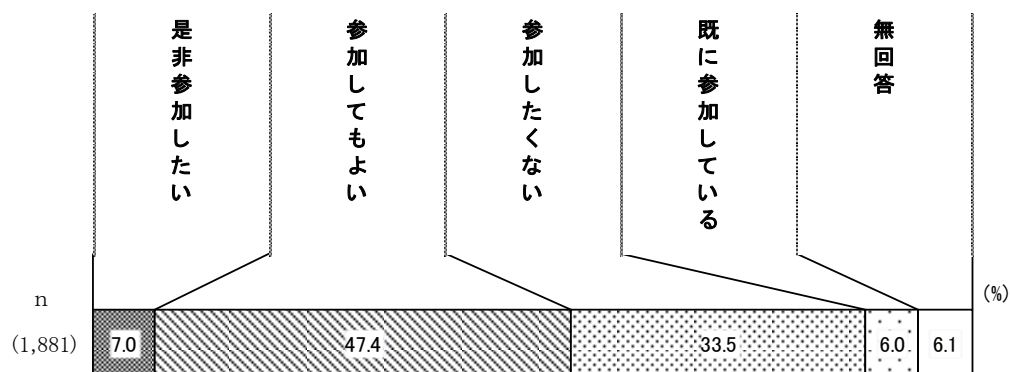
地域活動への参加頻度をみると、週4回以上の場合「⑧収入のある仕事」が10.5%で最も高くなっていますが、週1回以上になると、「②スポーツ関係のグループやクラブ」が20.0%で最も高く、「⑧収入のある仕事」(18.3%)、「③趣味関係のグループ」(12.9%)が続いています。さらに月1回以上の場合、「③趣味関係のグループ」(28.5%)、「②スポーツ関係のグループやクラブ」(24.9%)、「⑧収入のある仕事」(20.5%)の順になっています。



(2) グループ活動参加意向

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (ひとつだけに○)

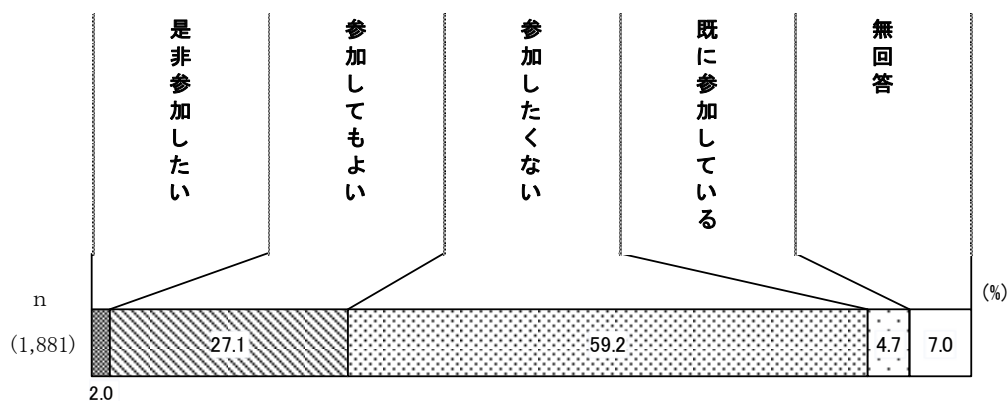
地域のグループ活動への参加意向をみると、「既に参加している」が6.0%となっています。また、「是非参加したい」(7.0%)と「参加してもよい」(47.4%)を合わせた、《参加意向あり》は54.4%となっています。



(3) グループ活動参画意向

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか (ひとつだけに○)

参加だけにとどまらない地域のグループ活動への参画意向をみると、「既に参加している」が4.7%です。「是非参加したい」(2.0%)と「参加してもよい」(27.1%)を合わせた、《参画意向あり》は29.1%で、単に参加の場合よりも25.3ポイント低くなっています。



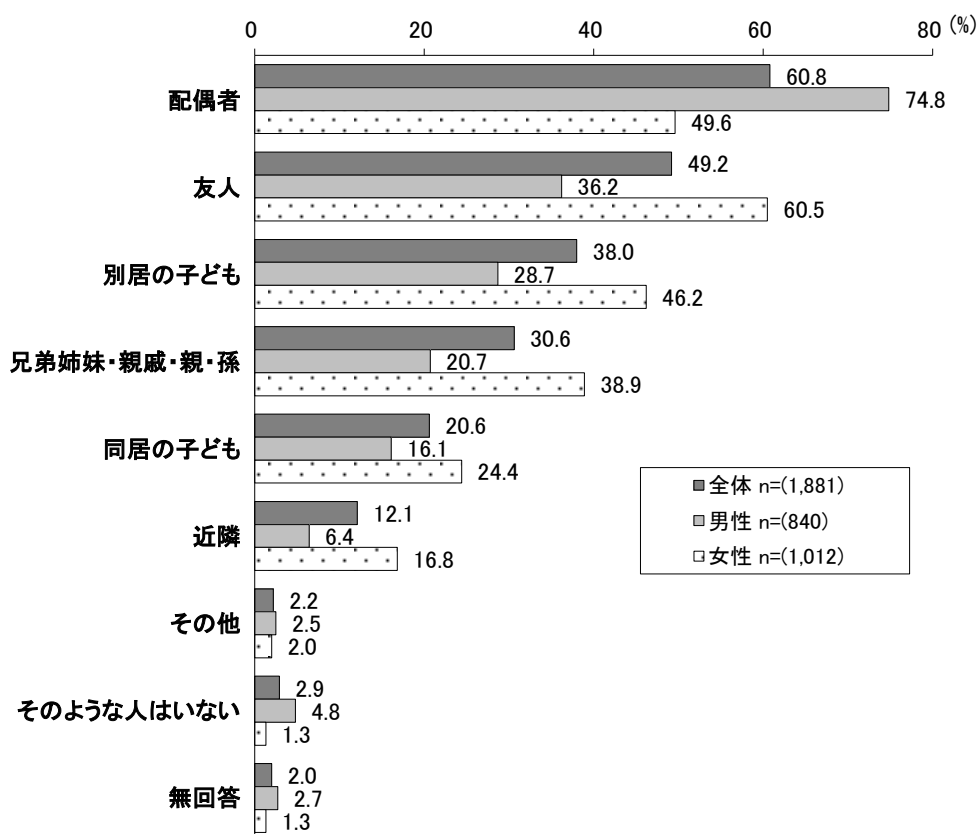
7 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（あてはまるものすべてに○）

心配事や愚痴を聞いてくれる相手は、「配偶者」が60.8%で最も高く、以下、「友人」が49.2%、「別居の子ども」が38.0%などとなっています。

性別でみると、「配偶者」は男性の方が女性より25ポイント以上高くなっています。それ以外の項目については、おおむね女性の方が男性より高くなっています。

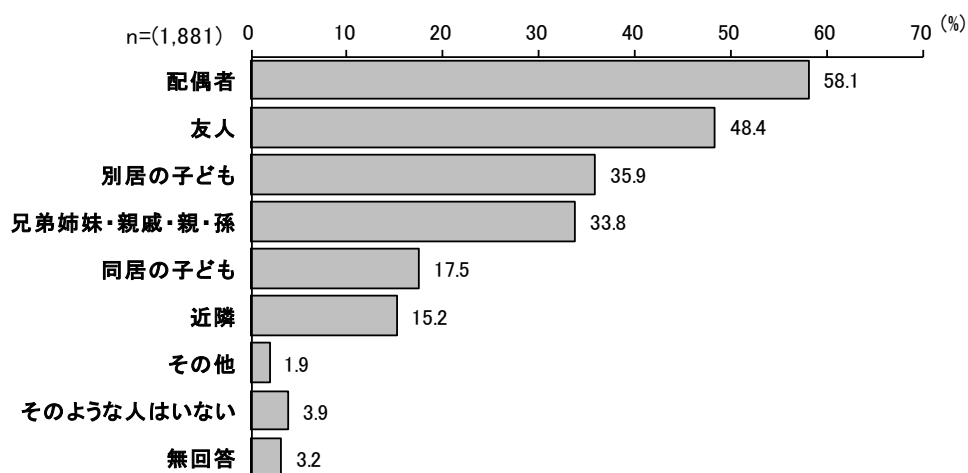


(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

(あてはまるものすべてに○)

心配事や愚痴を聞いてあげる相手は「配偶者」が58.1%で最も高く、以下、「友人」が48.4%、「別居の子ども」が35.9%などとなっており、聞いてくれる相手の場合と同じ順位になっています。

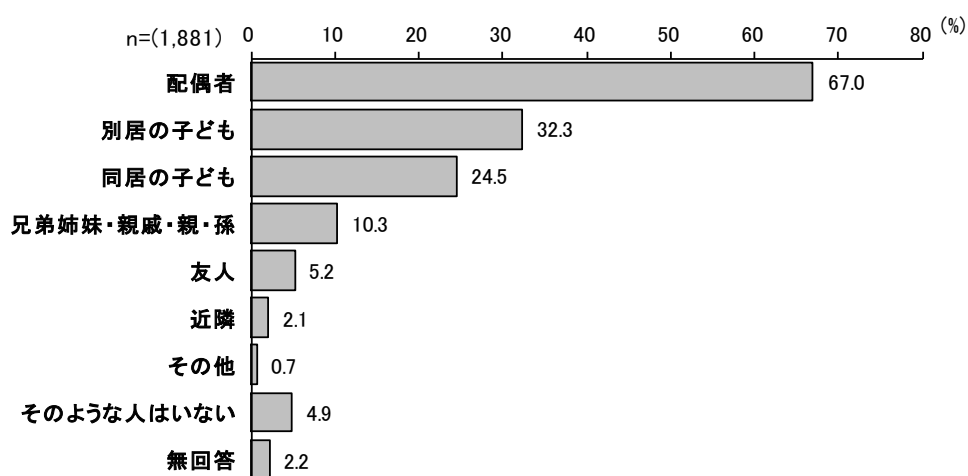


(3) 病気で寝込んだら看病や世話をしてくれる人

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

(あてはまるものすべてに○)

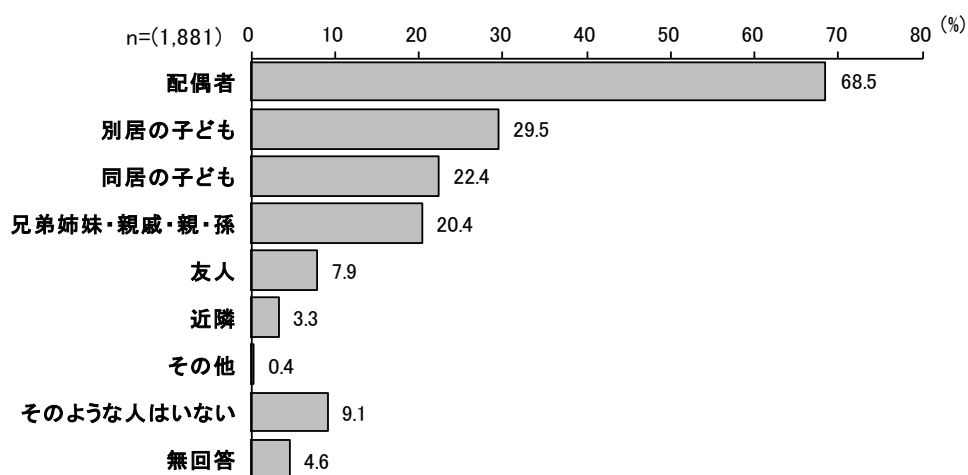
病気で寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が67.0%で最も高く、以下、「別居の子ども」が32.3%、「同居の子ども」が24.5%などとなっています。



(4) 病気で寝込んだら看病や世話をしてくれる人

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人（あてはまるものすべてに○）

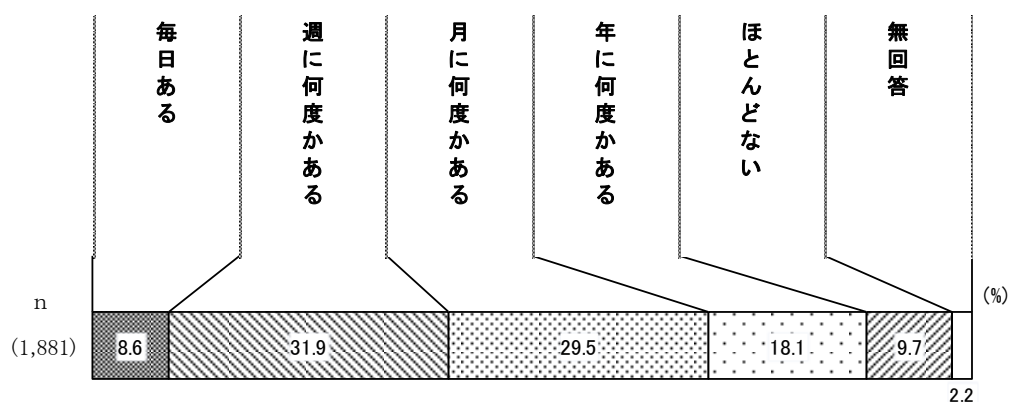
病気で寝込んだら看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が68.5%で最も高く、以下、「別居の子ども」が29.5%、「同居の子ども」が22.4%などとなっており、看病や世話をしてくれる人の場合と同じ順位になっています。



(5) 友人・知人と会う頻度

(5) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（ひとつだけに○）

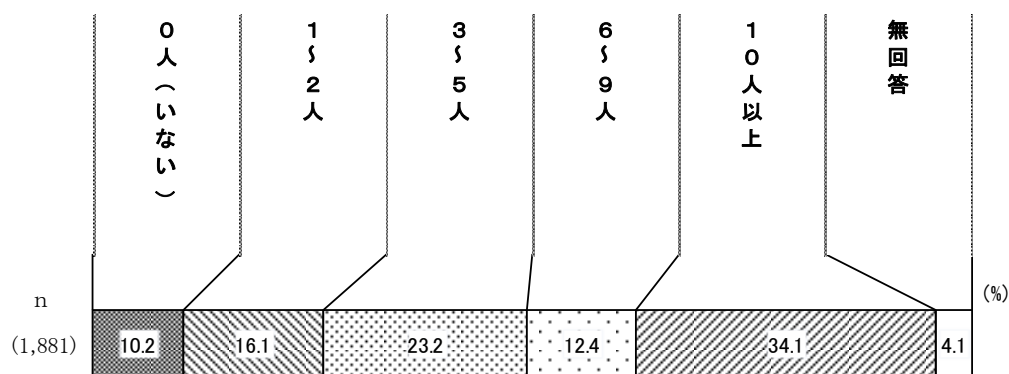
友人・知人と会う頻度は、「毎日ある」が8.6%、「週に何度かある」が31.9%で、両者を合わせた《週に1回以上》は40.5%となっています。



(6) 1か月間に会った友人・知人の人数

(6) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします（ひとつだけに○）

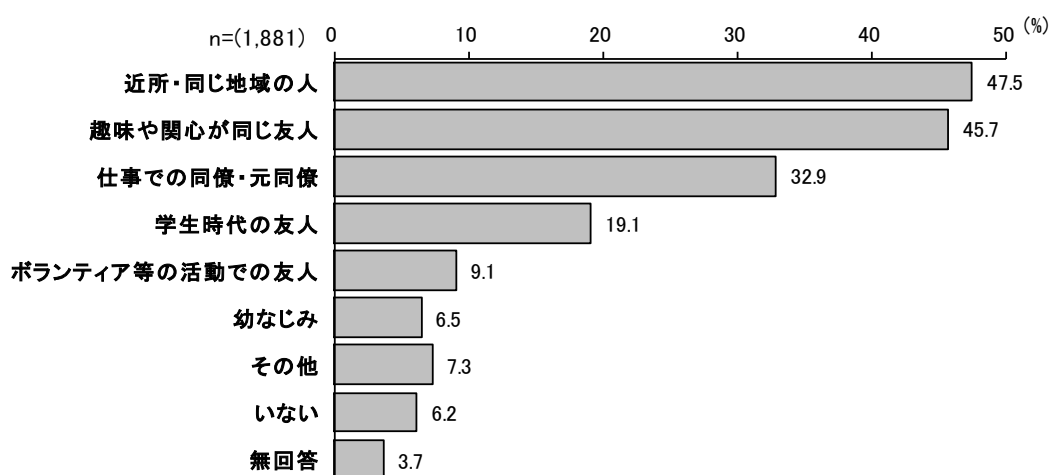
1か月間に会った友人・知人の人数は、「10人以上」が34.1%で最も高く、次いで「3～5人」が23.2%、「1～2人」が16.1%となっています。また、「0人」は10.2%です。



(7) よく会う友人・知人

(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（あてはまるものすべてに○）

よく会う友人・知人は「近所・同じ地域の人」(47.5%)と「趣味や関心が同じ友人」(45.7%)の2つが4割台で高く、以下、「仕事での同僚・元同僚」が32.9%、「学生時代の友人」が19.1%などとなっています。

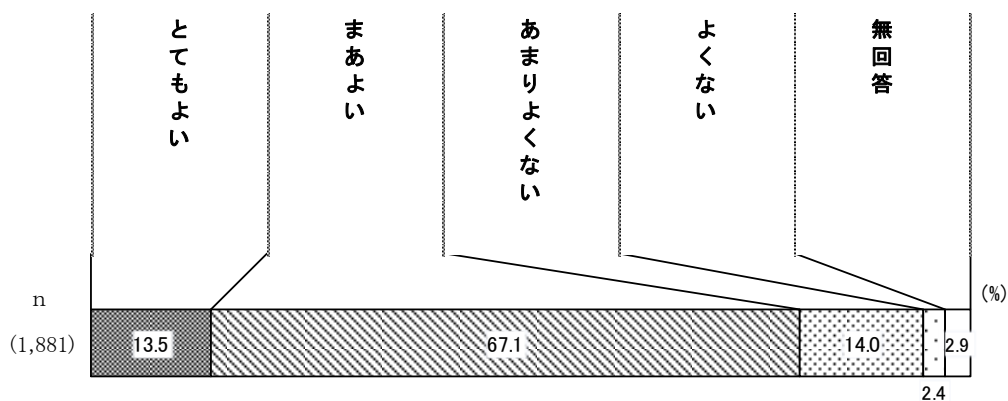


8 健康について

(1) 現在の健康状態

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか（ひとつだけに○）

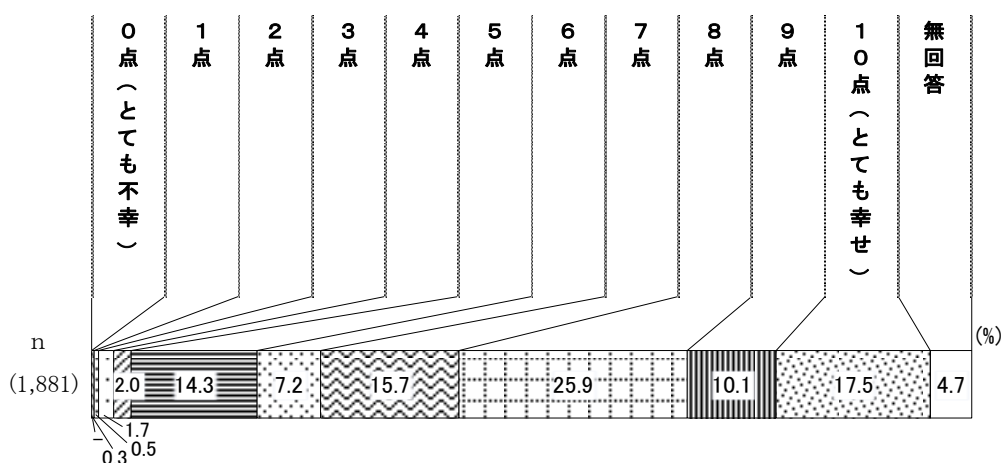
現在の健康状態は、「まあよい」が67.1%を占めています。これと「とてもよい」（13.5%）を合わせた《良い》は80.6%になります。



(2) 現在の幸福度

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ひとつだけに○をつけてください）

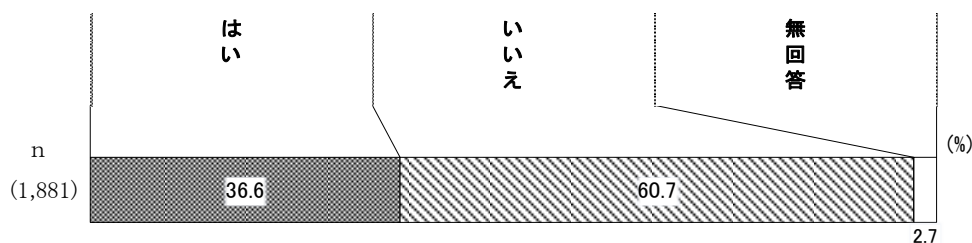
現在の幸福度を0～10点で答えてもらったところ、「8点」が25.9%で最も高く、次いで「10点（とても幸せ）」が17.5%、「7点」が15.7%などとなっています。



(3) 1か月間抑うつ経験

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（ひとつだけに○）

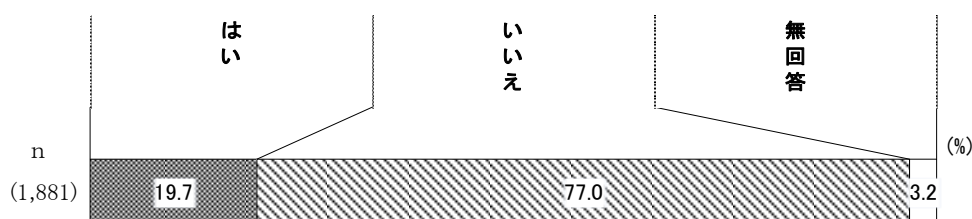
1か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになった経験があるのは36.6%です。



(4) 1か月間意欲減退経験

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（ひとつだけに○）

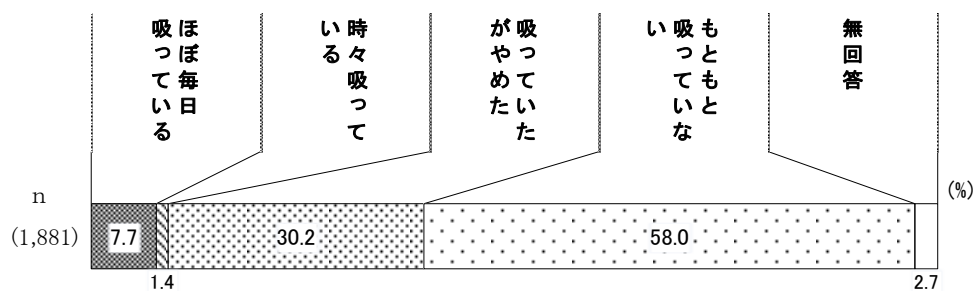
1か月間に物事に興味がわかない、心から楽しめない感じになった経験があるのは19.7%です



(5) 喫煙状況

(5) タバコは吸っていますか（ひとつだけに○）

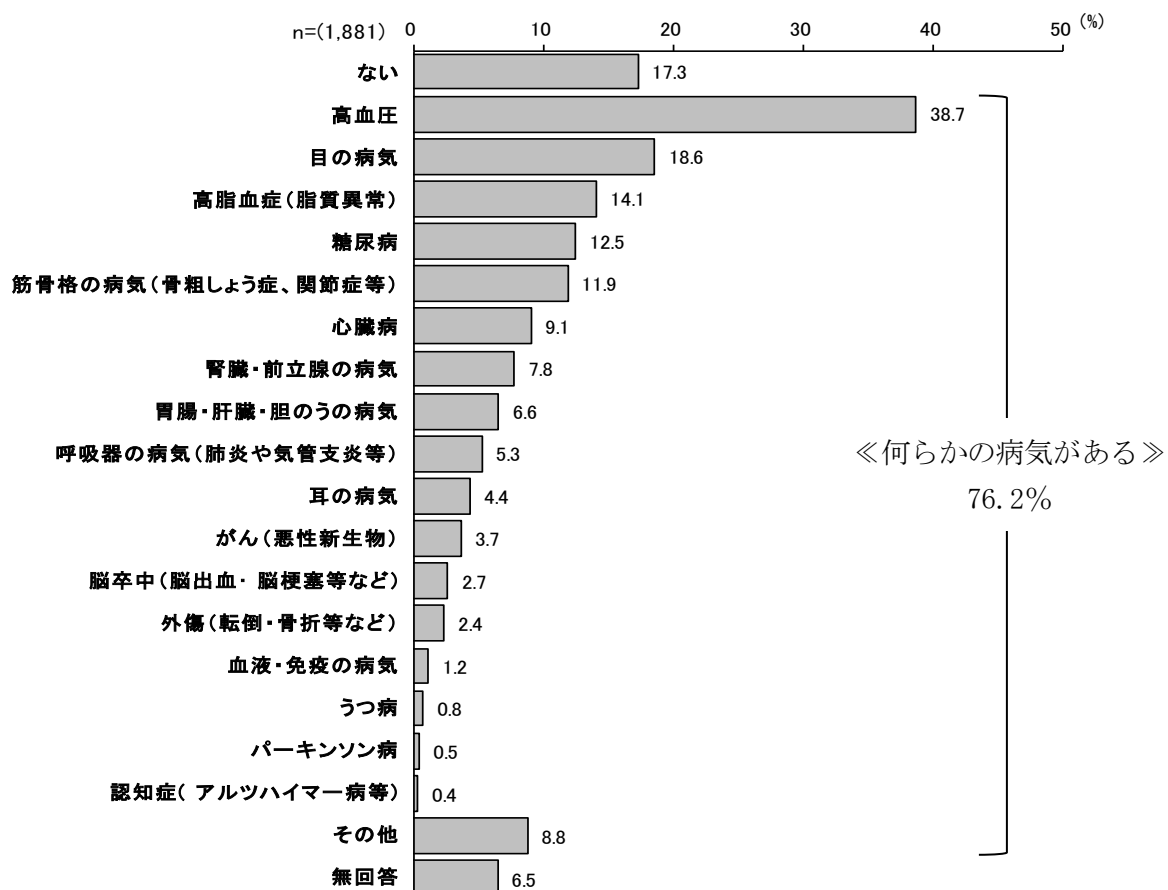
喫煙状況は、「ほぼ毎日吸っている」が7.7%、「時々吸っている」が1.4%で両者を合わせた《吸っている》は9.1%です。



(6) 罹患状況

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (あてはまるものすべてに○)

治療中、または後遺症のある病気をきいたところ、何らかの病気があるのは76.2%で、具体的には「高血圧」が38.7%と特に高く、以下、「目の病気」が18.6%、「高脂血症 (脂質異常)」が14.1%などとなっています。

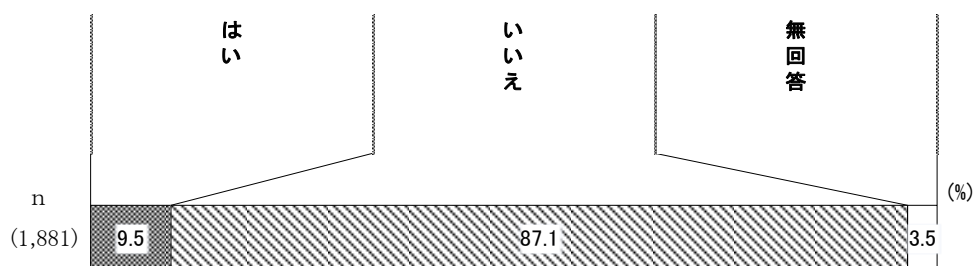


9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の有無

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか(ひとつだけに○)

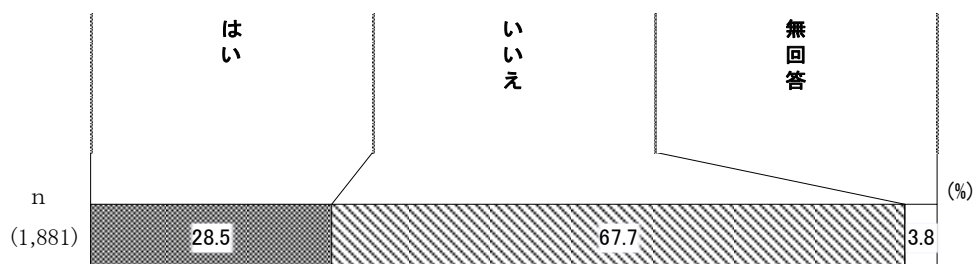
本人又は家族に認知症の症状があるのは9.5%です。



(2) 認知症相談窓口の認知

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか(ひとつだけに○)

認知症に関する相談窓口を知っているのは28.5%です。



資料編

資料編

1 一般高齢者個別調査 調査票

一般高齢者個別調査票

調査ご協力をお願い

日ごろより、本市の高齢者施策の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、「第8期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、皆様のご意見やご要望を反映させていくための基礎資料として、「一般高齢者個別調査」を実施することになりました。

このアンケート調査は、令和元年10月において満65歳以上の市民の方2,250人を無作為抽出し、お送りするものです。ご回答いただいたご意見は、統計的にとりまとめますので、個別のご意見等がそのまま公表されることはありません。

お手数ではありますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月1日

茅ヶ崎市長 佐藤 光

ご記入にあたってのお願い

◇この調査票は、できるだけご本人がご記入ください。ご本人がご記入いただけない場合は、ご家族などがご記入ください。

◇お答えは、令和元年10月1日現在の状況でご記入ください。

◇ここでの「あなた」とは、あて名のご本人のことです。（敬称は省略しています。）

◇答えたくない、又は分からない設問は無記入にし、次の設問にお進みください。

◇お答えは、あてはまる項目の番号に「ひとつだけに○」を付けていただくものと、「あてはまるものすべてに○」を付けていただくものがありますのでご注意ください。

「その他」にあてはまる場合には（ ）内になるべく具体的に記入してください。

◇設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや失印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は、次の設問に進んでください。

◇ご記入頂いた調査票は令和元年11月21日（木）までにご投函ください。

（同封の返信用封筒をお使いください。なお、切手を貼る必要はありません。）

※令和元年10月1日時点で住民登録がある対象者に送付しておりますので、ご了承ください。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

連絡先：茅ヶ崎市福祉部高齢福祉介護課 生きがい創出担当
電話 0467-82-1111（代表） ファクス 0467-82-1435

＜調査の前に＞

○現在、あて名のご本人は介護保険の要介護・要支援認定を受けていますか。（ひとつだけに○）

1. 受けている

→この調査の対象ではありませんので、回答は不要です。
お手数ですが、このまま同封の封筒に入れて、ご返送ください。
ご協力ありがとうございます。

2. 受けていない（要介護・要支援認定を申請中の方を含みます）

→下記設問へお進みください。

＜記入者について＞

○この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。（ひとつだけに○）

1. あて名のご本人

2. 配偶者 3. 息子 4. 娘

5. 息子の配偶者 6. 娘の配偶者 7. 孫

8. その他（具体的に： ）

【あて名のご本人以外が記入している場合お答えください。】

◇ご本人に代わって記入した理由をお聞かせください。（ひとつだけに○）

1. 医療機関に入院している 2. 仕事・旅行などで長期不在

3. 本人が記入するのは困難 4. 本人が記入したくない

5. その他（具体的に： ）

これ以降、あて名のご本人についてお答えねします。
あて名のご本人以外が記入される場合にも、特にことわり書きのない限り、あて名のご本人についてお答えください。

----- <運動についておたずねします> -----

問10 あなたには、運動の習慣がありますか。(ひとつだけに○)

1. ある	2. ない
-------	-------

→【問10で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問10-1 運動の頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

1. ほぼ毎日行っている	2. 週に2～3回
3. 週に1回程度	4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度	

→問10-2 どのくらいの期間続けていますか。(ひとつだけに○)

1. 1年未満	2. 1～3年未満	3. 3～5年未満
4. 5～10年未満	5. 10～20年未満	6. 20年以上

→問10-3 どのような運動を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ウォーキング	2. ジョギング	3. 水泳
4. 体操	5. 筋力トレーニング	6. 太極拳
7. ゲートボール	8. ゴルフ	9. 卓球
10. テニス	11. その他(具体的に:)	

----- <食生活や口腔についておたずねします> -----

《全ての方におたずねします》

問11 あなたは、どのようなことに気をつけて食事をしていきますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 1日3食食べる	2. 食べ過ぎないようにしている
3. いろいろなものを食べるようにしている	4. 塩辛いものを控える
5. 脂肪の摂りすぎを控える	
6. 動物性たんぱく質(肉・魚・卵・乳製品等)の食品を必ず摂るようにしている	
7. 自分で食事を作るようにしている	
8. その他(具体的に:)	
9. 特に気をつけていない	

問12 食事を抜くことがありますか。(ひとつだけに○)

1. 毎日ある	2. 週に何度かある
3. 月に何度かある	4. ほとんどない・全くない

問13 あなたは、食事などについて、下記のようなことがどのくらいあてはまりますか。

(ひとつずつ○)

ア 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい	2. いいえ
イ お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい	2. いいえ
ウ 口の渇きが気になりますか。	1. はい	2. いいえ
エ 1日に1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか。	1. はい	2. いいえ

----- <介護予防事業についておたずねします> -----

問14 茅ヶ崎市では、下記のような一般高齢者向けの介護予防事業を行っています。

(1) あなたは、現在、下記の介護予防事業に参加していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 生活習慣病予防に関する講演会 (糖尿病、腰痛、股関節など要介護状態につながるやすい内容で医師等による講演会)
2. 認知症予防のために運動と認知機能の両方を同時に行う教室 (コグニサイズなど)
3. 運動を中心に行う教室等 (ボールウォーキング、スロージョギング等)
4. 栄養講座 (缶詰等を使った簡単料理など、高齢者が負担なく栄養をとるための料理講座)
5. 歯科保健講座 (嚥下機能(のみこみ)の向上、唾液を出す工夫など口腔機能全般の向上を図る講座)
6. 65歳からのおしゃれ講座等 (介護予防や外出したくなる気持ちになるための工夫講座(自分に合うカラー、小物の使い方、お化粧等))
7. 転倒予防教室 (転倒予防のための運動教室(市内各地で毎月開催))
8. 歌体操教室 (やさしい童謡を歌いながら普段使っていない筋肉を動かす体操)
9. 脳の健康教室 (認知症の予防に効果があるとされている簡単な「読み書き」・「計算」を行う教室)
10. 60歳からのフィットネス教室 (市内スポーツクラブの設備等を利用して、多彩なトレーニングを取り入れた運動教室を開催)
11. フレイルチェック (高齢になって筋力や心身の活力が低下した状態をチェックする取り組み)
12. 参加している事業はない

(2) あなたは、今後、どの介護予防事業へ参加したい（参加し続けたい）と思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 生活習慣病予防に関する講演会
2. 認知症予防のために運動と認知機能の両方を同時に行う教室
3. 運動を中心に行う教室等
4. 栄養講座
5. 歯科保健講座
6. 65 歳からのおしゃれ講座等
7. 転倒予防教室
8. 歌体操教室
9. 脳の健康教室
10. 60 歳からのフットネス教室
11. フレイルチェック
12. 参加したい（参加し続けたい）事業はない

【問 14（2）で「12. 参加したい（参加し続けたい）事業はない」に○をつけた方におたずねします。】

問14-1 その理由は何か。（あてはまるものすべてに○）

1. 利用する必要があるほど元気だから
2. 同じ目的のために別のことをやっているから
3. 忙しくて利用する時間がないから
4. 介護予防事業に興味がないから
5. 時間帯が合わないから
6. その他（具体的に： ）

《全ての方におたずねします》

問15 あなたは「ちがき体操」を知っていますか。（ひとつだけに○）

1. 知っている
2. 知らない

【問 15 で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問15-1 「ちがき体操」の実施状況を教えてください。（ひとつだけに○）

1. 実施したことがある
2. 現在実施している
3. 実施していない

《ちがき体操とは》

○釣りやサーフィンといった茅ヶ崎の海をイメージした親しみやすいポーズを取り入れた介護予防、健康づくりの体操です。

《全ての方におたずねします》

問16 茅ヶ崎市高齢者のための優待サービス事業を知っていますか。（ひとつだけに○）

1. 知っている
2. 知らない

【問16で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問16-1 利用したことのある店舗の種類は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 理美容
2. 健康
3. 趣味・娯楽
4. 食べる・飲む
5. 買う
6. その他（ ）
7. 利用したことがない

《茅ヶ崎市高齢者のための優待サービス事業とは》

○市内にお住まいの65歳以上の皆様が、本事業の協賛店舗で優待カードを提示することにより割引等の特典を受けることができる事業です。
まちに出かけ、健康の維持・増進や趣味等を見つけ、生き生きと、楽しく、豊かな生活を送れるよう支援することを目的としています。

《全ての方におたずねします》

問 17 あなたは、下記のようなことがお一人ですでできますか。

ア バスや電車一人で外出していますか。	1. できるし、している	2. できるとしてない	3. できない
イ 日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している	2. できるとしてない	3. できない
ウ 自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している	2. できるとしてない	3. できない
エ 自分で掃除をしていますか。	1. できるし、している	2. できるとしてない	3. できない
オ 自分で洗濯をしていますか。	1. できるし、している	2. できるとしてない	3. できない
カ 公共料金等の請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している	2. できるとしてない	3. できない
キ 預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している	2. できるとしてない	3. できない

問18 あなたは、週に何回くらい外出（散歩や通院も含む）していますか。（ひとつだけに○）

1. ほとんど毎日
2. 週に2～3回
3. 週に1回くらい
4. ほとんど外出しない

→ 次ページ問 18-1へ

【問8で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問18－1 あまり外出しない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 外出するのが面倒 | 2. 体力面に不安がある |
| 3. 外出したい場所がない | 4. 誘ってくれる人がいない |
| 5. 人との交流がわずらわしい | 6. 家事・介護で忙しい |
| 7. 付き添ってくれる人がいない | 8. 交通手段がない |
| 9. 交通量の多い道や坂道が不安 | 10. きっかけや用事がない |
| 11. 金銭的な余裕がない | |
| 12. その他 (具体的に:) | |

【同様に、問8で「3. 週に1回くらい」、「4. ほとんど外出しない」に○をつけた方におたずねします。】

問18－2 外出しない日はどなたと過ごすことが多いですか。(ひとつだけに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 夫や妻と | 2. 息子や娘、孫と |
| 3. 兄弟姉妹など親族と | 4. 友人や近所の人と |
| 5. 昼間は一人だが夜は家族と | 6. 一日中一人で過ごすことが多い |
| 7. その他 (具体的に:) | |

《全ての方におたずねします》

問19 現在のくらしで、不安に思っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|------------------|----------------|
| 1. ご自身や家族の健康 | 2. 家族の介護 | 3. 地震・台風など自然災害 |
| 4. 独居・孤独への不安 | 5. 住まいのこと | 6. 日常の家事仕事 |
| 7. 収入・生活費に関すること | 8. 近隣との関係 | 9. 犯罪・防犯に関する事 |
| 10. 趣味・生きがいがないこと | 11. 詐欺・悪質商法に関する事 | |
| 12. その他 (具体的に:) | 13. 特にな | |

問20 あなたは、安全で安心なまちづくりを進めるうえで、どのようなことが必要だと思ひますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 歩道の段差解消など、歩きやすい環境の整備 |
| 2. 駅や建物内へのエレベーター・エスカレーターの設置 |
| 3. 路線バス等の公共交通の導入 |
| 4. 災害発生時の対応、及び防災・防火対策の推進 |
| 5. 詐欺・悪質商法防止のための取り組み |
| 6. 交通安全のための取り組み |
| 7. 防犯灯の設置や防犯パトロール等、地域の安全を守るための取り組み |
| 8. 高齢者を対象とした住宅施策の充実 |
| 9. 利用しやすい公園や広場の整備 |
| 10. 救急医療体制の整備 |
| 11. その他 (具体的に:) |
| 12. 特にな |

問21 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人や相談できるところがありますか。

(ひとつだけに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. いる (ある) | 2. いない (ない) |
|------------|-------------|

【問21で「2. いない (ない)」に○をつけた方におたずねします。】

問21－1 最も近い理由は何か。(ひとつだけに○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 相談したいが、身近に相談できる人がいない |
| 2. 相談したいが、誰に相談してよいのかわからない |
| 3. 相談したいが、内容を話づらい |
| 4. 相談しても解決しない |
| 5. 相談する必要がある |
| 6. その他 (具体的に:) |

《全ての方におたずねします》

問22 あなたは、振り込み詐欺の犯人から電話を受けたことがありますか。

(ひとつだけに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 受けたことがあり、被害に遭ってしまった |
| 2. 受けたことはあるが、被害に遭わなかった |
| 3. 受けたことがない |

問23 あなたは、振り込み詐欺の対策でどんなことを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 常に留守番電話に設定している |
| 2. 迷惑電話防止機能付き電話機・装置を使用している |
| 3. 家族で合言葉や約束事を決めるなど日頃からよく話し合っている |
| 4. その他 () |
| 5. 何も行っていない |

問24 あなたは、振り込み詐欺の対策方法についてどこで知りましたか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 家族や友人、知人から聞いた |
| 2. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 3. ポスター、チラシ |
| 4. 茅ヶ崎市の広報媒体 (広報紙、市民便利帳、ホームページなど) |
| 5. 講座やイベントでの市職員や警察官による防犯講話 |
| 6. その他 () |
| 7. 知らない |

問25 あなたは、運転免許証の返納の意思がありますか。(ひとつだけに○)

1. ある	2. 返納済み
3. ない	4. 元々持っていない

→【問25で「3. ない」に○をつけた方におたずねします。】

問25-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 車がないと生活が不便になるから	2. 運転の楽しみがなくなるから
3. 運転に自信があるから	4. 仕事で使用するから
5. その他 ()	

《全ての方におたずねします》

問26 あなたは自分らしい最期を迎えるために、何か準備していますか。(ひとつだけに○)

1. 既に準備している	2. 必要だと思うが、まだ準備していない
3. その他 (具体的に:)	4. 必要ない

→【問26で「1. 既に準備している」, 「2. 必要だと思うが、まだ準備していない」に○をつけた方におたずねします。】

問26-1 どのようなことを準備していますか。また、どのようなことが必要だと思いませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 財産等に関する遺言書の作成
2. 自分で判断出来なくなった場合に備えた財産管理の相談
3. どこで最期を迎えたいかの記録 (エンディングノート、わたしの覚え書き等)
4. どこで最期を迎えたいかについて家族や専門職 (主治医やケアマネジャーなど) への明言
5. 思い出の品物の整理や処分やその方法
6. 延命処置など医療に関する希望について家族や専門職 (主治医やケアマネジャーなど) への明言
7. その他 (具体的に:)

《全ての方におたずねします》

問27 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、エンディングノート (わたしの覚え書き等書き方講座) や家族等への伝達など、具体的に考える機会があれば参加してみたいですか。(ひとつだけに○)

1. 参加してみたい	2. 参加したいとは思わない
3. 参加したことがある	4. わからない

問28 あなたには、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけの薬局がありますか。(ひとつずつ○)
また、かかりつけ医を「1. ある」に○をつけた方は、医療機関も併せてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

ア かかりつけ医	1. ある	2. ない
イ かかりつけ歯科医	1. ある	2. ない
ウ かかりつけ薬局	1. ある	2. ない

※かかりつけ薬局とは、薬に関するいろいろな相談に応じ、情報提供してくれる薬局のこと

-----<あなたの社会参加についておたずねします>-----

問29 あなたの社会参加の状況や今後の意向についておたずねします。

(1) あなたは、現在、下記のような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味、スポーツ、レクリエーション (手芸、ダンス、歩こうの会など)
2. 学習会、講座 (語学勉強会、歴史学習など)
3. 地域行事 (地域のサロン、老人会など)
4. 社会・地域貢献活動 (自治会活動、社会貢献団体活動、ボランティア活動など)
5. 就労
6. 何もしていない

(2) あなたは、今後、どのような活動をしたい (活動を続けたい) と思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 趣味、スポーツ、レクリエーション	↑ 次ページ問29-1へ
2. 学習会、講座	
3. 地域行事	
4. 社会・地域貢献活動	
5. 就労	
6. 何もしたいとは思わない (できない)	↑ 次ページ問29-2へ

【問29（2）で「1.」～「5.」に○をつけた方におたずねします。】
問29－1 何があれば、より活動をしやすい（続けやすい）になりますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 家族や知人、友人からの後押し
2. 既に活動している人や市職員などからの勧誘や勧奨
3. 既に活動している人の様子や感想が分かる情報
4. 団体（就労の場合は事業所）の活動場所、時間、内容などの情報
5. その他（具体的に：
6. 特にない

【問29（2）で「6. 何もしたいとは思わない（できない）」に○をつけた方におたずねします。】

問29－2 活動をしたいとは思わない（できない）理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 健康・体力に自信がないから
2. 家事・仕事などで時間の余裕がないから
3. 経済的な余裕がないから
4. 人づきあい、人間関係が面倒だから
5. 興味ある活動がないから
6. 身近な所で活動する場がないから
7. 活動に関する情報がないから
8. 家族を介護しているから
9. 何をしたいかわからないから
10. その他（具体的に：

【問29（1）で「5. 就労」、又は、問29（2）で「5. 就労」に○をつけた方におたずねします。】

問29－3 就労するうえで、重視することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 生計が成り立つ収入（賃金）が確保できること
2. 自身の生活に合った勤務時間であること
3. 事務職、現業職などの職種が合うこと
4. 職場が自宅から近いこと
5. 体力的に問題がない業務であること
6. 経験が生かせる業務であること
7. 地域や人の役に立てる業務であること
8. 年金が減額されない程度の収入（賃金）であること
9. その他（具体的に：
10. 特にない

【同様に、問29（1）で「5. 就労」、又は、問29（2）で「5. 就労」に○をつけた方におたずねします。】
問29－4 あなたは週にどれくらい仕事をしていますか（したいですか）。
（ひとつだけに○）

1. 週4日以上	2. 週2～3日
3. 週1日	4. 月1～3日

《全ての方におたずねします》

問30 あなたが興味を持っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 旅行	2. スポーツ、運動、体操	3. 音楽
4. 映画	5. 読書	6. 歌、カラオケ
7. 写真、ビデオ撮影	8. パズル、クイズ	9. 麻雀、トランプ
10. 囲碁、将棋	11. パチンコ	12. グルメ、飲食
13. フアッション、おしゃれ	14. 美容	15. 時事、ニュース
16. 歴史、民俗	17. 語学	18. 資産運用、貯蓄
19. 料理	20. ガーデニング、家庭菜園	21. 手芸
22. パソコン	23. スマートフォン	24. 健康
25. その他（具体的に：		

-----<今後の「支え合い」のあり方についておたずねします>-----

問31 あなたは、地域のボランティア活動に参加したいと思いますか。（ひとつだけに○）

1. 既に参加している	2. 参加したい（今後参加したいと考えている）
3. 参加したいができない	4. 参加したくない

→【問31で「1. 既に参加している」、「2. 参加したい（今後参加したいと考えている）」、「3. 参加したいができない」に○をつけた方におたずねします。】

問31－1 あなたがボランティア等で「支える側」として活動したい（している）内容はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 掃除・洗濯などの家事援助	2. 買い物代行
3. ゴミ出しなどの生活援助	4. 介護予防教室などのサポート
5. サロンなどの運営サポート	6. 話し相手
7. 声掛け、見守り、安否確認	8. ドライバーなどの移動支援
9. その他（具体的に：	

《全ての方におたずねします》

問32 あなたは将来、ボランティア等「支えられる側」としてお願いしたいと思う内容又はボランティア等に既に既にお願している内容はどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 掃除・洗濯などの家事援助	2. 買い物代行
3. ゴミ出しなどの生活援助	4. サロン活動
5. 話し相手	6. 声掛け、見守り、安否確認
7. 移動支援	8. その他（具体的に： ）
9. 特になし	

問33 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(ひとつだけに○)

1. 制度の内容を知っていた	2. 名前は聞いたことがある
3. 知らなかった	

《成年後見制度とは》

○認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人に代わって財産管理や契約等の行為を行う援助者(成年後見人等)を選任することで、本人の権利を守り、生活を支援する制度です。

問34 本市に成年後見制度の利用・相談窓口があることを知っていますか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

→【問34で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問34-1 あなたが知っている相談窓口はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市（障害福祉課・高齢福祉介護課）	2. 地域包括支援センター
3. 成年後見支援センター	4. 社会福祉協議会
5. 地区社会福祉協議会	
6. その他（具体的に： ）	

《全ての方におたずねします》

問35 あなたは、行方不明の高齢者等を防災無線を使って市民に呼びかけて捜していただいていることについて、どう考えですか。(ひとつだけに○)

1. 必要だと思う（具体的に： ）
2. 必要ないと思う（具体的に： ）
3. その他（具体的に： ）

-----> <お住まいについておたずねします> -----

問36 現在のあなたのお住まいについておたずねします。(ひとつだけに○)

1. 持ち家（一戸建て）	2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）
3. 公営住宅（県営住宅・市営住宅など）	4. 公社・UR都市機構（旧公団）の賃貸住宅
5. 社宅、官舎、公舎など	6. 民間の借家（一戸建て）
7. 民間の借家（マンション・アパートなど）	8. 間借り
9. 老人ホーム（養護老人ホーム・軽費老人ホーム（ケアハウス）・有料老人ホーム）	
10. 高齢者向け住宅	11. その他（具体的に： ）

→【問36で「1. 持ち家（一戸建て）」、「2. 持ち家（マンションなどの集合住宅）」に○をつけた方におたずねします。】

問36-1 今後、住宅（持ち家）はどのように利用される予定ですか。

(ひとつだけに○)

1. 現在のまま住み続けたい
2. 子どもなどの家族に譲り、家族が住み続ける
3. 賃貸住宅として家賃収入を得たい
4. 適当な相続人がいないため、いずれは売却したい
5. 適当な相続人はいるが、転居などのため売却したい
6. その他（具体的に： ）

-----> <防災についておたずねします> -----

《全ての方におたずねします》

問37 あなたは、大きな災害に備えて、何か対策をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家具の転倒防止のため器具をつけている	2. 食料や飲料水などを備蓄している
3. 避難の際に持ち出すものを用意している	4. 避難経路の確認をしている
5. 家族と待ち合わせ場所などの相談をしている	
6. その他（具体的に： ）	
7. 特に何もしていない	

問38 あなたは、災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人がいますか。(ひとつだけに○)

1. いる	→ 次ページ問38-2へ
2. いない	

→【問38で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問38-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	2. 同居の家族・親族
3. 別居の子どもやその家族	4. 別居の親族
5. 近所の人	6. 友人
7. その他（具体的に： ）	

【問38で「2. いない」に○をつけた方におたずねします。】

問38-2 市では、地域の共助によって、災害発生時等に自ら避難することが困難な障害者や高齢者などに支援の手を差し伸べることで、「減災」につなげることを目的とした避難行動要支援者支援制度があります。

あなたは、この制度を知っていますか。(ひとつだけに○)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

----- <介護保険についておたずねします> -----

《全ての方におたずねします》

問39 あなたは、在宅ケア相談窓口を知っていますか。(ひとつだけに○)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

《在宅ケア相談窓口とは》

○在宅医療や医療と介護の連携に関する相談を受けてくれるところです。現在、茅ヶ崎市保健所にあります。

問40 あなたの介護保険料の「所得段階」は、どの段階ですか。

令和元年度茅ヶ崎市介護保険料納入通知書にてご確認ください。(ひとつだけに○)

1. 第1段階 (21,960円)	2. 第2段階 (33,672円)	3. 第3段階 (42,456円)
4. 第4段階 (46,848円)	5. 第5段階 (58,560円)	6. 第6段階 (67,344円)
7. 第7段階 (73,200円)	8. 第8段階 (87,840円)	9. 第9段階 (93,696円)
10. 第10段階 (108,336円)	11. 第11段階 (122,976円)	12. わからない

※カッコ内の金額は、所得段階に対する介護保険料です。

問41 介護保険料の納付額について、どのようにお感じになりますか。(ひとつだけに○)

1. 妥当な額である	2. 思ったより安い	3. やや負担である
4. かなりの負担である	5. わからない	

問42 あなたは、あなたの地域を担当している「地域包括支援センター」を知っていますか。(ひとつだけに○)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

→【問42で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問42-1 あなたは、「地域包括支援センター」を利用したことがありますか。

(ひとつだけに○)

1. 利用したことがある	2. 利用したことがない
--------------	--------------

○「地域包括支援センター」では

高齢者とその家族に対して、暮らしの悩みや保健福祉・介護に関する初期相談、専門機関への相談支援、高齢者の実態把握、権利擁護などを含む相談窓口を設置し、高齢者と家族からの多様な相談に対応しています。

名称	所在地	名称	所在地
ゆず	新栄町13-48 ワシナビル1階	くるみ	高田4-2-18 アート茅ヶ崎
つむぎ	幸町5-8 茅ヶ崎メディカルセンター2階	あかね	香川3-21-26
あい	茅ヶ崎メディカルセンター1-1-4 東海岸南1-1-4	青空	小和田3-3-5
れんげ	南湖5-10-6	さざなみ	常盤町2-2 松浪コミュニティセンター内
さくら	矢畑1427-1	あさひ	旭が丘6-11
みどり	萩園2360-1	わかば	芹沢846-3
すみれ	浜見平11-1 ハマミナーナ内		

《全ての方におたずねします》

問43 あなたは普段生活をしています中で、どのようなところで様々な情報を得ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. テレビ・ラジオ	2. 新聞、本・雑誌	3. インターネット
4. 家族	5. 友人・知人	6. 近所・地域の人
7. 職場の人	8. 医師・歯科医師・薬剤師(薬局)	
9. その他(具体的に:)	10. 特に情報を得ていない	

問44 市からの、介護保険や高齢者福祉に関する情報について、どのようなところで得ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報紙(広報ちがさき)	2. 市のホームページ	4. 市役所の窓口
3. 市役所からの案内(通知やチラシを含む)	6. 掲示板	7. テレビ(市の広報番組)
5. 回覧板	9. 新聞	10. ロコミ(人づて)
8. ラジオ(市の広報番組)	12. その他(具体的に:)	
11. 地域包括支援センター	13. 特に情報を得ていない	

問45 あなたは現在、家族の介護をしていますか。(ひとつだけに○)

1. している	2. していない
---------	----------

問46 あなたは、介護が必要となったとき、日常生活の世話をしてくれる人（介護予定者）はいますか。（ひとつだけに○）

1. いる

2. いない

【問46で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問46-1 主な介護予定者はどなたですか。(ひとつだけに○)

1. 配偶者

2. 息子

3. 娘

4. 息子の配偶者

5. 娘の配偶者

6. 孫

7. その他 (具体的に:)

問46-2 主な介護予定者の年齢についておたずねします。(ひとつだけに○)

1. 19歳以下

2. 20～29歳

3. 30～39歳

4. 40～49歳

5. 50～59歳

6. 60～69歳

7. 70～79歳

8. 80歳以上

問46-3 主な介護予定者は、あなたと同居していますか。二世帯住宅の場合は同居と扱います。(ひとつだけに○)

1. 同居している

2. 同居していない

3. 将来は同居する予定

《全ての方におたずねします》

問47 あなたは、寝たきりや認知症になるなど、介護が必要になったとき、どのような介護を希望しますか。(ひとつだけに○)

1. 可能な限り自宅で生活を続けたい
2. 施設（特別養護老人ホームなど）へ入居したい
3. 介護、見守りや食事の提供などのサービスがある高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き賃貸住宅など）に入居したい
4. その他（具体的に： ）

→【問47で「1. 可能な限り自宅で生活を続けたい」に○をつけた方におたずねします。】

問47-1 あなたの自宅、もしくは子どもや親戚の家は、介護を受けながら生活するのに適した状態になっていると思いますか。（ひとつだけに○）

1. 現状のままでも、介護を受けながら生活できる状態になっている
介護をしてくれる家族はいいが、住宅の改修が必要
3. 住宅の改修は必要ないが、介護をしてくれる人の手が足りない
4. 人手、住宅の状態ともに介護を受けながら生活するのに適していない
5. わからない

《全ての方におたずねします》

問48 最後にありますが、高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、お聞かせください。

[illegible]

ご協力ありがとうございます。この調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
11月21日（木）までにご投函ください。

2 要介護・要支援認定者個別調査（在宅） 調査票

要介護・要支援認定者個別調査票（在宅）

調査ご協力をお願い

日ごろより、本市の高齢者施策の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、「第8期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、皆様のご意見やご要望を反映させていただくための基礎資料として、「要介護・要支援認定者個別調査」を実施することになりました。

このアンケート調査は、令和元年10月において要介護・要支援の認定を受けている方2,875名を無作為抽出し、お送りするものです。ご回答いただいたご意見は、統計的にとりまとめますので、個別のご意見等がそのまま公表されることはありません。

お手数ではありますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月1日

茅ヶ崎市長 佐藤 光

要介護・要支援認定者個別調査（在宅） 調査票

要介護・要支援認定を受けていますか。（ひとつだけに○）

1. 要介護・要支援認定を受けていない、または市外転出などにより資格を喪失している

→この調査の対象ではありませんので、回答は不要です。

お手数ですが、このまま同封の封筒に入れて、ご返送ください。

ご協力ありがとうございます。

2. 要介護・要支援認定を受けていて、施設（※）に入所している。

※ 施設とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、介護療養型医療施設、グループホーム、介護付有料老人ホームを指します。

→この調査の対象ではありませんので、回答は不要です。

お手数ですが、このまま同封の封筒に入れて、ご返送ください。

ご協力ありがとうございます。

3. 要介護・要支援認定を受けている

→下記設問へお進みください。

＜記入者について＞

○この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。（ひとつだけに○）

1. あて名のご本人

2. 配偶者 3. 息子 4. 娘

5. 息子の配偶者 6. 娘の配偶者 7. 孫

8. その他（具体的に： ）

→【あて名のご本人以外が記入している場合お答えください。】

◇ご本人に代わって記入した理由をお聞かせください。（ひとつだけに○）

1. 医療機関に入院している 2. 仕事・旅行などで長期不在

3. 本人が記入するのは困難 4. 本人が記入したくない

5. その他（具体的に： ）

これ以降、あて名のご本人についておたずねします。

あて名のご本人以外が記入される場合にも、特にことわり書きのない限り、あて名のご本人についてお答えください。

問 8 あなたには、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけの薬局がありますか。
(ひとつずつ○)
また、かかりつけ医を「1. ある」に○をつけた方は、医療機関も併せてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

ア かかりつけ医	1. ある	2. ない
イ かかりつけ歯科医	1. ある	2. ない
ウ かかりつけ薬局	1. ある	2. ない

※かかりつけ薬局とは、薬に関するいろいろな相談に応じ、情報提供してくれる薬局のこと

問 9 どのような在宅医療サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 訪問診療	2. 訪問看護
3. 訪問歯科診療	4. 訪問歯科衛生指導
5. 訪問栄養指導	6. 訪問リハビリテーション
7. 訪問薬剤指導	8. 利用していない

問 10 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人がいますか。(ひとつだけに○)

1. いる	2. いない
-------	--------

→【問 10 で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問 10-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者	2. 同居の家族・親族
3. 別居の子どもやその家族	4. 別居の親族
5. 近所の人	6. 友人
7. ケアマネジャー	8. ホームヘルパー
9. 介護施設の職員	10. その他 (具体的に：)

【問 10 で「2. いない」に○をつけた方におたずねします。】

問 10-2 最も近い理由は何ですか。(ひとつだけに○)

1. 相談したいが、身近に相談できる人がいない
2. 相談したいが、誰に相談してよいかわからない
3. 相談したいが、内容を話づらい
4. 相談しても解決しない
5. 相談する必要がある
6. その他 (具体的に：)

《全ての方におたずねします》

問 11 日常生活の中で民間事業者による家事代行サービスや配食サービスなどを利用していますか。(ひとつだけに○)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

→【問 11 で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。】

問 11-1 それはどのようなサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家事代行サービス	2. 見守りサービス	3. 緊急通報サービス
4. 配食サービス	5. その他 (具体的に：)	

《全ての方におたずねします》

問 12 あなたは、振り込み詐欺の犯人から電話を受けたことがありますか。

(ひとつだけに○)

1. 受けたことがあります
2. 受けたことはあるが、被害に遭わなかった
3. 受けたことがない

問 13 あなたは、振り込み詐欺の対策でどんなことを行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 常に留守番電話に設定している
2. 迷惑電話防止機能付き電話機・装置を使用している
3. 家族で合言葉や約束を決めるなど日頃からよく話し合っている
4. その他 ()
5. 何も行っていない

問 14 あなたは、振り込み詐欺の対策方法についてどこで知りましたか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や友人、知人から聞いた
2. テレビ、ラジオ、新聞
3. ポスター、チラシ
4. 茅ヶ崎市の広報媒体 (広報紙、市民便利帳、ホームページなど)
5. 講座やイベントでの市職員や警察官による防犯講話
6. その他 ()
7. 知らない

問15 あなたは、運転免許証の返納の意思がありますか。(ひとつだけに○)

1. ある
2. 返納済み
3. ない
4. 元々持っていない

→【問15で「3. ない」に○をつけた方におたずねします。】

問15-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 車がないと生活が不便になるから
2. 運転の楽しみがなくなるから
3. 運転に自信があるから
4. 仕事で使用するから
5. その他 ()

《全ての方におたずねします》

問16 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、何か準備していますか。(ひとつだけに○)

1. 既に準備している
2. 必要だと思うが、まだ準備していない
3. その他 (具体的に：)
4. 必要ない

→【問16で「1. 既に準備している」、「2. 必要だと思うが、まだ準備していない」に○をつけた方におたずねします。】

問16-1 どのようなことを準備していますか。また、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 財産等に関する遺言書の作成
2. 自分で判断出来なくなった場合に備えた財産管理の相談
3. どこで最期を迎えたいかの記録 (エンディングノート、わたしの覚え書き等)
4. どこで最期を迎えたいかについて家族や専門職 (主治医やケアマネジャーなど) への明言
5. 思い出の品物の整理や処分やその方法
6. 延命処置など医療に関する希望について家族や専門職 (主治医やケアマネジャーなど) への明言
7. その他 (具体的に：)

《全ての方におたずねします》

問17 あなたは、自分らしい最期を迎えるために、エンディングノート (わたしの覚え書き等書き方講座) や家族等への伝達など、具体的に考える機会があれば参加してみたいですか。(ひとつだけに○)

1. 参加してみたい
2. 参加したいとは思わない
3. 参加したことがある
4. わからない

----- <お住まいについておたずねします> -----

問18 現在のあなたのお住まいについておたずねします。(ひとつだけに○)

1. 持ち家 (一戸建て)
2. 持ち家 (マンションなどの集合住宅)
3. 公営住宅 (県営住宅・市営住宅など)
4. 公社・UR都市機構 (旧公団) の賃貸住宅
5. 杜宅、官舎、公舎など
6. 民間の借家 (一戸建て)
7. 民間の借家 (マンション・アパートなど)
8. 間借り
9. 老人ホーム (養護老人ホーム・軽費老人ホーム (ケアハウス) ・有料老人ホーム)
10. 高齢者向け住宅
11. その他 (具体的に：)

→【問18で「1. 持ち家 (一戸建て)」、「2. 持ち家 (マンションなどの集合住宅)」に○をつけた方におたずねします。】

問18-1 今後、住宅 (持ち家) はどのように利用される予定ですか。

(ひとつだけに○)

1. 現在のまま住み続けたい
2. 子どもなどの家族に譲り、家族が住み続ける
3. 賃貸住宅として家賃収入を得たい
4. 適当な相続人がいないため、いずれは売却したい
5. 適当な相続人はいるが、転居などのため売却したい
6. その他 (具体的に：)

----- <防災についておたずねします> -----

《全ての方におたずねします》

問19 あなたは、大きな災害に備えて、何か対策をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家具の転倒防止のため器具をつけている
2. 食料や飲料水などを備蓄している
3. 避難の際に持ち出すものを用意している
4. 避難経路の確認をしている
5. 家族と待ち合わせ場所などの相談をしている
6. その他 (具体的に：)
7. 特に何もしていない

問20 あなたは、災害時や緊急時に身近で手助けしてくれる人がいますか。

1. いる
2. いない
→次ページ問20-2へ

→【問20で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問20-1 その方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者
2. 同居の家族・親族
3. 別居の子どもやその家族
4. 別居の親族
5. 近所の人
6. 友人
7. 介護施設の職員
8. その他 (具体的に：)

【問20で「2. いない」に○をつけた方におたずねします。】

問20-2 市では、地域の共助によって、災害発生時等に自ら避難することが困難な障害者や高齢者などに支援の手を差し伸べることで、「減災」につなげることを目的とした避難行動要支援者支援制度があります。

あなたは、この制度を知っていますか。(ひとつだけに○)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

《全ての方におたずねします》

問21 あなたは、避難行動要支援者の対象者ですが、地域への情報提供に同意していますか。(ひとつだけに○) ※「地域」とは自治会、民生委員・児童委員、自主防災組織等です。

1. 同意している	2. 同意していない
-----------	------------

【問21で「2. 同意していない」に○をつけた方におたずねします。】

問21-1 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 手助けしてくれる人がいるから	2. 制度を知らない
3. 地域の人に情報を知られたくないから	4. その他 ()

----- <あなたを介護してくれる方(主な介護者等)についておたずねします> -----
○主な介護者の方、もしくはご本人にご回答・ご記入をお願いいたします。

問22 あなたの主な介護者はどなたですか。なお、ヘルパーなどの介護職はのぞきます。

(ひとつだけに○)

1. 配偶者	2. 息子	3. 娘	4. 息子の配偶者
5. 娘の配偶者	6. 孫	7. その他 (具体的に:)	
8. 主な介護者はいない → 12 ページ問33へ			

【問23～問32は、問22で「8. 主な介護者はいない」以外に○をつけた方におたずねします。】

問23 主な介護者の年齢をおたずねします。(ひとつだけに○)

1. 19歳以下	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上

問24 主な介護者は、あなたと同居していますか。二世帯住宅の場合は同居と扱います。

(ひとつだけに○)

1. 同居している	2. 同居していない	3. 将来は同居する予定
-----------	------------	--------------

問25 主な介護者のこれまでの介護期間をおたずねします。(ひとつだけに○)

1. 1年未満	2. 1～2年未満	3. 2～5年未満
4. 5～10年未満	5. 10年以上	

問26 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、おたずねします。
(あてはまるものすべてに○)

【身体介護】			
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄		
3. 食事の介助 (食べる時)	4. 入浴・洗身		
5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱		
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等		
9. 服薬	10. 認知症状への対応		
11. 医療面での対応 (経管栄養、スプレー等)			
【生活援助】			
12. 食事の準備 (調理等)	13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)		
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き			
【その他】			
15. その他 (具体的に:)			

問27 主な介護者が介護を行う時間は1日あたりおおよそどのくらいですか。(ひとつだけに○)

1. 1時間未満	2. 1～2時間未満	3. 2～4時間未満
4. 4～6時間未満	5. 6～8時間未満	6. 8～10時間未満
7. 10～12時間未満	8. 12時間以上	

問28 主な介護者の状況についてご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢・病弱である	
2. 他にも介護しなければならぬ要介護認定者がいる	
3. 仕事のために十分介護ができない	
4. 子育てのために十分介護ができない	
5. その他の問題がある (具体的に:)	
6. 特に問題はない	

問29 ご家族やご親族の中で、あなたの介護のために、過去に仕事を辞めた方はいますか。
(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた (転職除く) |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた (転職除く) 家族・親族はいない |

問30 主な介護者の方の現在の勤務形態について、おたずねします。(ひとつだけに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. フルタイムで働いている | 2. パートタイムで働いている |
| 3. 働いていない | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」など、呼び方は異なっても、この条件にあてはまる場合は「パートタイム」になります。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかに○をつけてください。

→【問30で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」に○をつけた方におたずねします。】

問30-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 特に行っていない |
| 2. 労働時間を調整 (残業免除・短時間勤務等) しながら働いている |
| 3. 休暇 (年休や介護休暇等) を取りながら、働いている |
| 4. 「在宅勤務」を利用しながら、働いている |
| 5. 2～4以外の調整をしながら働いている |

→問30-2 主な介護者の方は、仕事と介護を両立するために、どのような支援等があれば効果があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 介護休暇等の制度の充実 |
| 2. 休暇を取得しやすくなるような職場づくり |
| 3. 労働慣行や勤務形態を柔軟に選択できる職場環境 (フレックスタイト制や在宅勤務など) |
| 4. 介護に関する相談窓口等の充実 |
| 5. 介護保険施設の整備 |
| 6. 介護をしている方への経済的な支援 |
| 7. その他 (具体的に:) |

→問30-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
(ひとつだけに○)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 問題なく続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. やや難しい | 4. かなり難しい |

問31 主な介護者の方が不安に感じている介護等について、おたずねします。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 【身体介護】 | |
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助 (食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等) | |
| 【生活援助】 | |
| 12. 食事の準備 (調理等) | 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |
| 【その他】 | |
| 15. その他 (具体的に:) | 16. 不安に感じていることは、特にならない |

問32 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人、ボランティア等 | 4. 地域包括支援センターやケアマネジャー |
| 5. 市役所や保健所 | 6. ヘルパー等の介護事業者 |
| 7. 病院の医師や相談員 | 8. 民生委員 |
| 9. 勤務先 | 10. その他 (具体的に:) |
| 11. 誰にも相談していない | |

-----<介護保険についておたずねします>-----

《全ての方におたずねします》

問33 あなたは、在宅ケア相談窓口を知っていますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

《在宅ケア相談窓口とは》

○在宅医療や医療と介護の連携に関する相談を受けてくれるところです。現在、茅ヶ崎市保健所にあります。

問34 あなたが、要介護認定を申請した理由は何ですか。(ひとつだけに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 日常生活に支障を来すようになったため、介護保険サービスを受けたかった |
| 2. 周囲に認定申請をするように勧められた |
| 3. 将来に漠然とした不安があり、なんとなく申請した |
| 4. 自分の要介護度を知りたかった |
| 5. その他 (具体的に:) |

問35 あなたの要介護度はいくつですか。(ひとつだけに○)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 要支援 1 | 2. 要支援 2 | 3. 要介護 1 | 4. 要介護 2 |
| 5. 要介護 3 | 6. 要介護 4 | 7. 要介護 5 | 8. わからない |

問36 市からの介護保険や高齢者福祉に関する情報について、どのような手段を通じて入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------------------|-------------|-----------------|
| 1. 市の広報紙 (広報がさき) | 2. 市のホームページ | 4. 市役所の窓口 |
| 3. 市役所からの案内 (通知やチラシを含む) | 6. 掲示板 | 7. テレビ (市の広報番組) |
| 5. 回覧板 | 9. 新聞 | 10. 口コミ (人づて) |
| 8. ラジオ (市の広報番組) | 12. ケアマネジャー | 13. 介護事業者 |
| 11. 地域包括支援センター | | |
| 14. その他 (具体的に:) | | |
| 15. 特に情報を得ていない | | |

問37 介護保険サービスの利用についておたずねします。(ひとつだけに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 現在、利用している |
| 2. 過去に利用していたが、現在は利用していない |
| 3. 利用していない |

→ 次ページ問 37-2へ

【問 37 で「1. 現在、利用している」に○をつけた方におたずねします。】

問 37-1 利用されている介護保険サービスの種類に○をしてください。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 訪問介護・訪問看護サービス (ホームヘルパーが利用者の居宅を訪問し介護をします。) |
| 2. 訪問入浴介護 (看護師等が移動入浴車で利用者の居宅を訪問し、入浴介助をします。) |
| 3. 訪問看護 (看護師等が利用者の居宅を訪問し、病状の観察等を行います。) |
| 4. 訪問リハビリテーション (理学療法士等が居宅を訪問し、リハビリをします。) |
| 5. 通所介護・通所リハビリテーション (通所介護施設で日常生活上の介護を受けたり機能訓練をします。) |
| 6. 通所リハビリテーション (介護老人保健施設などでリハビリをします。) |
| 7. 短期入所生活介護 (ショートステイ) (介護老人福祉施設等に短期間入所して介護を受けます。) |
| 8. 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ) (介護老人保健施設等に短期間入所して介護を受けます。) |
| 9. 福祉用具購入 (入浴用具等を購入した際に、購入費用の一部が支給されます。) |
| 10. 福祉用具貸与 (車いす等をレンタルします。) |
| 11. 住宅改修 (居宅へ車いすの取り付け等をした際に、改修費用の一部が支給されます。) |
| 12. 居宅療養管理指導 (医師等が居宅を訪問し、療養上の管理や指導を行います。) |
| 13. 居宅巡回・随時訪問・巡回看護 (居宅への定時の訪問と呼び出しに応じて随時の訪問を行います。) |
| 14. 認知症対応型通所介護 (認知症の方を対象とした通所介護です。) |
| 15. 小規模多機能型居宅介護 (事業所への通い、宿泊、自宅への訪問を組み合わせたサービス。) |
| 16. 看護小規模多機能型居宅介護 (訪問看護と小規模多機能型居宅介護を組み合わせたサービスです。) |

→ 次ページ問 37-1-1へ

【問37-1で「9. 福祉用具購入」「11. 住宅改修」に○をつけた方におたずねします。】

問37-1-1 福祉用具や住宅改修を利用した効果はありましたか。(ひとつだけに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 生活しやすくなった | 2. あまり効果はなかった |
| 3. かえって不便になった | 4. どちらともいえない |

【同様に、問 37-1 で「9. 福祉用具購入」「11. 住宅改修」に○をつけた方におたずねします。】

問37-1-2 福祉用具や住宅改修の内容は適切でしたか。(ひとつだけに○)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 適切であった | 2. 過剰な工事、不要な用具の購入があった |
| 3. 工事や用具に不足があった | 4. サービスをすくすくすすめられた |
| 5. わからない | |

【問 37 で「2. 過去に利用していたが、現在は利用していない」「3. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。】

問 37-2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 自分で生活できている | 2. 家族の介護で間に合っている |
| 3. 利用料が負担である | 4. 他人に家の中に入ってほしくない |
| 5. 利用したいサービスがない | 6. 入院している |
| 7. 利用手続きがわからない | |
| 8. その他 (具体的に:) | |

《全ての方におたずねします》

問38 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、おたずねします。(ひとつだけに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 既に申込みをしている |
| 2. 申し込んでいないが、今後1年以内には申し込みをしたい |
| 3. 今のところ申し込みをするつもりはない |
| 4. 入所について、まだ考えたことがない |

→ 次ページ問 38-2へ

【問38で「1. 既に申込みをしている」に○をつけた方におたずねします。】

問38-1 入所の時期は、いつごろを希望ですか。(ひとつだけに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. すぐに入所したい | 2. 1年以内に入所したい |
| 3. 1年から3年の間に入所したい | 4. 3年以上先の入所を考えている |
| 5. その他 (具体的に:) | |

→ 次ページ問 38-2へ

【問38で「1. 既に申し込みをしている」、「2. 申し込んでいないが、今後1年以内には申し込みをしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問38-2 申し込みをしている（申し込みをしたい）施設等は、どちらですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 特別養護老人ホーム（常時介護が必要な方が利用する福祉施設）
2. 介護老人保健施設（リハビリなどを行い在宅生活への復帰をめざす施設）
3. 介護医療院（長期療養のための医療と日常生活の介護が一体的に提供される施設）
4. 有料老人ホーム（介護を受けられる民間の施設）
5. グループホーム（認知症の方の小規模な居住施設）
6. サービス付き高齢者向け住宅
7. その他（具体的に：高齢者用の設備や安否確認の体制が整えられた住宅）

《全ての方におたずねします》

問39 介護保険サービスを利用したことで、次にあげるような変化はありましたか。

(あてはまるものをすべてに○)

1. 生活に張りができた
2. 心身の状態が良くなった
3. 改善しない、さらに悪化した
4. その他 (具体的に:)
5. 特になし
6. 利用したことがない

問40 過去1か月間に利用した、ケアマネジャーを除く介護保険サービス提供事業者に対する満足度はいかがですか。(ひとつだけに○)

1. かかわった全ての事業者に対しておむね満足している
2. 一部の事業者に対して不満を感じている
3. かかわった全ての事業者に対して不満を感じている
4. 介護保険サービスは利用していない

→【問40で「2. 一部の事業者に対して不満を感じている」、「3. かかった全ての事業者に対して不満を感じている」に○をつけた方におたずねします。】

問40—1 具体的にはどのような不満をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 担当者がたびたび替わる
2. 担当者の言葉遣いなどの礼儀がきちんとしていない
3. 担当者のケアの技術に不満がある
4. 約束どおりに担当者が来ない
5. その他（具体的に：_____）

《全ての方におたずねします》

問41 次のサードズのうち、会後利用してみたいサードズはどれですか

(あ)は主として、(い)より

1. 一つの事業所でデイサービス、ホームヘルパー、宿泊を組み合わせ、介護や看護ケアを受けることができるサービス
2. 認知症高齢者を対象としたデイサービス
3. 認知症高齢者を対象としたグループホーム
4. 日中・夜間を通じて、ヘルパーによる定期巡回と随時通報により訪問介護と訪問看護を受けることができるサービス
5. わかれない、いざれも利用したいとは思わない

問42 あなたが介護保険料の「所得段階」は、どの段階ですか。

令和元年度茅崎市介護保険料納入通知書にてご確認ください。(ひとつだけに○)

- | | | |
|----------------------|----------------------|-------------------|
| 1. 第1段階 (21,960円) | 2. 第2段階 (33,672円) | 3. 第3段階 (42,456円) |
| 4. 第4段階 (46,848円) | 5. 第5段階 (58,560円) | 6. 第6段階 (67,344円) |
| 7. 第7段階 (73,200円) | 8. 第8段階 (87,840円) | 9. 第9段階 (93,696円) |
| 10. 第10段階 (108,336円) | 11. 第11段階 (122,976円) | 12. わからない |

※カッコ内の金額は、所得段階に対する介護保険料です。

問43 介護保険料の納付額について、どのように感じられますか。(ひとっだけに○)

1. 妥当な額である
2. 思ったより安い
3. やや負担である
4. かなりの負担である
5. わからない

問44 あなたは、今後どのような場所で介護を希望しますか。(ひとつだけに○)

1. 可能な限り自宅で生活を続けたい
2. 施設（特別養護老人ホームなど）へ入居したい
3. 介護、見守りや食事の提供などがついている高齢者専用の住居（有料老人ホーム、ケア付き賃貸住宅など）に入居したい
4. その他（具体的に： ）

問 45 あなたの受けている介護保険サービスについて、医療機関（病院、診療所等）との連携はうまくできていると思いますか。（ひとつだけに○）

1. うまくできていると思う
2. ある程度できていると思う
3. あまりできているとは思わない
4. わからない

----- <今後の「支え合い」の在り方についておたずねします> -----

問46 現在、近隣の住民、ボランティア団体などによる見守り、掃除・洗濯・買い物・ゴミ出しなどの家事援助、その他介護保険サービス以外で地域の支え合いによる支援を受けていますか。

1. 受けている	2. 受けていない
----------	-----------

→【問46で「1. 受けている」に○をつけた方におたずねします。】
問46-1 それはどのようなサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 掃除・洗濯等の家事援助	2. 買い物・外出支援	3. ゴミ出し
4. コミュニティサロン	5. 話し相手・相談相手	6. 庭の手入れ
7. 移動支援	8. その他(具体的に:)	

→問46-2 それはどなたからのサービスですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ボランティア	2. 近隣の住民	3. シルバパー人材センター
4. 民生委員	5. その他(具体的に:)	

《全ての方におたずねします》
問47 近隣の住民、ボランティア団体などによる介護保険サービス以外の地域の支え合いにおいてどのようなサービスがあったら良いと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 掃除・洗濯等の家事援助	2. 買い物・外出支援	3. ゴミ出し
4. コミュニティサロン	5. 話し相手・相談相手	6. 庭の手入れ
7. 移動支援	8. その他(具体的に:)	

問48 最後になりますが、高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。この調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、11月21日(木)までにご投函ください。

3 要介護・要支援認定者個別調査（施設） 調査票

要介護・要支援認定者個別調査票（施設）

調査ご協力をお願い

日ごろより、本市の高齢者施策の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、「第8期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、皆様のご意見やご要望を反映させていただくための基礎資料として、「要介護・要支援認定者個別調査」を実施することになりました。

このアンケート調査は、令和元年10月において要介護・要支援の認定を受けている方500名を無作為抽出し、お送りするものです。ご回答いただいたご意見は、統計的にとりまとめますので、個別のご意見等がそのまま公表されることはありません。

お手数ではありますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月1日

茅ヶ崎市長 佐藤 光

要介護・要支援認定者個別調査（施設） 調査票

ご記入にあたってのお願い

◇この調査票は、できるだけご本人がご記入ください。ご本人がご記入いただけない場合は、ご家族などがご記入ください。

◇お答えは、令和元年10月1日現在の状況でご記入ください。

◇ここでの「あなた」とは、あて名のご本人のことです。（敬称は省略しています。）

◇答えたくない、又は分からない設問は無記入にし、次の設問に進みください。

◇お答えは、あてはまる項目の番号に「ひとつだけに○」を付けていただくものと、「あてはまるものすべてに○」を付けていただくものがありますのでご注意ください。

◇「その他」にあてはまる場合には（ ）内になるべく具体的に記入してください。

◇設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや失印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は、次の設問に進んでください。

◇ご記入いただいた調査票は令和元年11月21日（木）までにご投函ください。（同封の返信用封筒をお使いください。なお、切手を貼る必要はありません。）

※令和元年10月1日時点で住民登録がある対象者に送付しておりますので、ご了承ください。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

連絡先：茅ヶ崎市福祉部高齢福祉介護課 支援給付担当
電話 0467-82-1111（代表） ファクス 0467-82-1435

1

＜調査の前に＞

○現在、あて名のご本人の状況について、あてはまるものひとつに○をつけてください。

1. 特別養護老人ホームに入所中
2. 介護老人保健施設に入所中
3. 介護療養型医療施設・介護医療院に入所中
4. 有料老人ホームに入居中
5. グループホームに入居中
6. 既に退所している

→あて名のご本人が「既に退所している」場合、この調査の対象ではありませんでした。このまま同封の封筒に入れてご返送ください。
ご協力ありがとうございました。

＜回答者について＞

○この調査票にご記入いただいているのは、どなたですか。（ひとつだけに○）

1. あて名のご本人	2. 配偶者	3. 息子
4. 娘	5. 息子の配偶者	6. 娘の配偶者
7. 孫	8. その他（具体的に）	

これ以降、あて名のご本人についておたずねします。
あて名のご本人以外が記入されている場合にも、特にことわり書きのない限り、あて名のご本人についてご記入ください。

-----<あなたご自身（あて名のご本人）のことについておたずねします>-----

問 1 あなたの性別をおたずねします。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 2 あなたの年齢はいくつですか。（令和元年 10 月 1 日現在の満年齢（ひとつだけに○）

1. 65 歳未満	2. 65 歳～69 歳	3. 70 歳～74 歳
4. 75 歳～79 歳	5. 80 歳～84 歳	6. 85 歳～89 歳
7. 90 歳以上		

-----<日常生活についておたずねします>-----

問 3 あなたには、悩みや心配ごとを相談できる人がいますか。

1. いる	2. いない
-------	--------

→【問 3 で「1. いる」に○をつけた方におたずねします。】

問 3-1 その方はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 家族・親族	2. 近所の人
3. 友人	4. ケアマネジャー
5. 介護施設の職員	
6. その他（具体的に：_____）	

【2 ページの <調査の前に> で、「4. 有料老人ホームに入居中」、「5. グループホームに入居中」に○をつけた方におたずねします。】

問 4 どのような在宅医療サービスを利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 訪問診療	2. 訪問栄養指導
3. 訪問看護	4. 訪問リハビリテーション
5. 訪問歯科診療	6. 訪問薬剤指導
7. 訪問歯科衛生指導	8. 利用していない

-----<介護保険についておたずねします>-----

問 5 あなたが、要介護認定を申請した理由は何ですか。（ひとつだけに○）

1. 日常生活に支障を来すようになったため、介護保険サービスを受けたかった
2. 周囲に認定申請をするように勧められた
3. 将来に渡然とした不安があり、なんとなく申請した
4. 自分の要介護度を知りたかった
5. その他（具体的に：_____）

問 6 あなたの要介護度はいくつですか。（ひとつだけに○）

1. 要支援 1	2. 要支援 2	3. 要介護 1	4. 要介護 2
5. 要介護 3	6. 要介護 4	7. 要介護 5	8. わからない

問 7 現在の施設への入所を決めたのはどなたですか。（ひとつだけに○）

1. ご自身で
2. 配偶者と相談して
3. 家族・親族と相談して
4. その他（具体的に：_____）

問 8 現在の施設に入所した理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 入所した方が安心だったため
2. 自宅の近くにある施設だったため
3. 金銭的に見合った施設だったため
4. 自宅に介護をしてくれる人がいないため
5. 自宅で介護をしていた家族の負担を軽減するため
6. 他の施設に入所待ちをしている間の一時的な入所
7. 退院する時期が迫っていたため
8. 継続的な医療的なケアが必要のため
9. 自宅に戻るためのリハビリテーションなどを行うため
10. その他（具体的に：_____）

問9 現在、入所中の施設が提供するサービスに満足していますか。(ひとつだけに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 非常に満足している | 2. おおむね満足している |
| 3. 多少不満を感じている | 4. 非常に不満を感じている |

→【問9で「3. 多少不満を感じている」、「4. 非常に不満を感じている」に○をつけた方におたずねします。】

問9-1 具体的に不満を感じていらっしゃる内容についてご記入ください。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 職員の対応が悪い |
| 2. 入所前にサービス内容などの説明があまり詳しく行われなかった |
| 3. 入所前に説明されたサービス内容と実際のサービス内容とが異なっている |
| 4. 利用料が高い |
| 5. その他 (具体的に：) |

《全ての方におたずねします》

問10 現在、入所中の部屋の定員は何人ですか。(ひとつだけに○)

- | |
|------------|
| 1. 個室 (1人) |
| 2. 2人部屋 |
| 3. 3～4人部屋 |
| 4. 5人以上 |

→【問10で「2. 2人部屋」、「3. 3～4人部屋」、「4. 5人以上」に○をつけた方におたずねします。】

問10-1 個室に移動したいというご希望はありますか。(ひとつだけに○)

- | |
|------------------|
| 1. 個室に移りたい |
| 2. 個室に移りたいとは思わない |

→【問10-1で「2. 個室に移りたいとは思わない」に○をつけた方におたずねします。】

問10-1-1 希望しない理由についてご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 現在の部屋に満足しているから |
| 2. 個室に入ると利用料の負担が増えるから |
| 3. 個室に入ると寂しくなるから |
| 4. その他 (具体的に：) |

《全ての方におたずねします》

問11 あなたの介護保険料の「所得段階」は、どの段階ですか。

令和元年度茅ヶ崎市介護保険料納入通知書にてご確認ください。(ひとつだけに○)

- | | | |
|----------------------|----------------------|-------------------|
| 1. 第1段階 (21,960円) | 2. 第2段階 (33,672円) | 3. 第3段階 (42,456円) |
| 4. 第4段階 (46,848円) | 5. 第5段階 (58,560円) | 6. 第6段階 (67,344円) |
| 7. 第7段階 (73,200円) | 8. 第8段階 (87,840円) | 9. 第9段階 (93,696円) |
| 10. 第10段階 (108,336円) | 11. 第11段階 (122,976円) | 12. わからない |

※カッコ内の金額は、所得段階に対する介護保険料です。

問12 介護保険料の納付額について、どのように感じになりますか。(ひとつだけに○)

- | | | |
|--------------|------------|------------|
| 1. 妥当な額である | 2. 思ったより安い | 3. やや負担である |
| 4. かなりの負担である | 5. わからない | |

問13 今後の生活の場について、どのようにお考えですか。(ひとつだけに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 今の施設でこのまま暮らし続けたい |
| 2. 他の施設で暮らしたい |
| 3. 自宅や親戚などの住宅で介護保険サービスなどを利用しながら暮らしたい |
| 4. その他 (具体的に：) |
- 次ページ問13-2、問13-3へ

→【問13で「2. 他の施設で暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問13-1 暮らしたい施設の種類の種類をご記入ください。(ひとつだけに○)

- | |
|--|
| 1. 特別養護老人ホーム (常時介護が必要な方が利用する福祉施設) |
| 2. 介護老人保健施設 (リハビリなどを行い在宅生活への復帰をめざす施設) |
| 3. 介護医療院 (長期療養のための医療と日常生活の介護が一体的に提供される施設) |
| 4. 有料老人ホーム (介護等を受けられる民間の施設) |
| 5. グループホーム (認知症の方の小規模な居住施設) |
| 6. サービス付き高齢者向け住宅 (高齢者用の設備や安全施設の体制が整えられた住宅) |
| 7. その他 (具体的に：) |

【問 13 で「3. 自宅や親戚などの住宅で介護保険サービスなどを利用しながら暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。】
問13-2 在宅生活をする場合、必要となる介護保険サービスの種類に○をしてください。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 訪問介護・訪問型サービス (ホームヘルパーが利用者の居室を訪問し介護をします。) |
| 2. 訪問入浴介護 (看護師等が移動入浴車で利用者の居室を訪問し、入浴介助をします。) |
| 3. 訪問看護 (看護師等が利用者の居室を訪問し、病状の観察等をします。) |
| 4. 訪問リハビリテーション (理学療法士等が居室を訪問し、リハビリをします。) |
| 5. 通所介護・通所型サービス (通所介護施設で日常生活上の介護を受けたり機能訓練をします。) |
| 6. 通所リハビリテーション (介護老人保健施設などでリハビリをします。) |
| 7. 短期入所生活介護 (ショートステイ) (介護老人保健施設等に短期間入所して介護を受けます。) |
| 8. 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ) (介護老人保健施設等に短期間入所して介護を受けます。) |
| 9. 福祉用具購入 (入浴用いす等を購入した際に、購入費用の一部が支給されます。) |
| 10. 福祉用具貸与 (車いす等をレンタルします。) |
| 11. 住宅改修 (居室へ手すりの取り付け等をした際に、改修費用の一部が支給されます。) |
| 12. 居宅療養管理指導 (医師等が居室を訪問し、療養上の管理や指導を行います。) |
| 13. 定時巡回・随時対応型訪問介護看護 (居宅への定時・随時と称し出で随時訪問を行います。) |
| 14. 認知症対応型通所介護 (認知症の方を対象とした通所介護です。) |
| 15. 小規模多機能型居宅介護 (事業所への通い、宿泊、自宅への訪問を組み合わせたサービス。) |
| 16. 看護小規模多機能型居宅介護 (訪問看護と小規模多機能型居宅介護を組み合わせたサービスです。) |

【同様に、問 13 で「3. 自宅や親戚などの住宅で介護保険サービスなどを利用しながら暮らしたい」に○をつけた方におたずねします。】

問 13-3 在宅生活をする場合、近隣の住民、ボランティア団体などによる介護保険サービス以外の地域の支え合いにおいてどのようなサービスがあったら良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------|---------------|----------|
| 1. 掃除・洗濯等の家事援助 | 2. 買い物・外出支援 | 3. ゴミ出し |
| 4. コミュニティサロン | 5. 話し相手・相談相手 | 6. 庭の手入れ |
| 7. 移動支援 | 8. その他 (具体的に： |) |

問 14 最後にありますが、高齢者福祉サービスや介護保険サービスについて、市へのご要望、ご意見などがございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。この調査票は、同封の返信用封筒 (切手不要) に入れて、
11月21日 (木) までにご投函ください。

4 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査ご協力をお願い

日ごろより、本市の高齢者施策の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
このたび、「第8期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、皆様のご意見やご要望を反映させていただくための基礎資料として、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施することになりました。
このアンケート調査は、令和元年10月において満65歳以上の市民の方2,375人を無作為抽出し、お送りするものです。ご回答いただいたご意見は、統計的にとりまとめますので、個別のご意見等がそのまま公表されることはありません。
お手数ではありますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年11月7日

茅ヶ崎市長 佐藤 光

ご記入にあたってのお願い

- ◇この調査票は、できるだけご本人がご記入ください。ご本人がご記入いただけない場合は、ご家族などがご記入ください。
- ◇お答えは、**令和元年10月1日現在**の状況でご記入ください。
- ◇ここでいう「あなた」とは、あて名のご本人のことです。(敬称は省略しています。)
- ◇答えたくない、又は分からない設問は無記入にし、次の設問に進みください。
- ◇お答えは、あてはまる項目の番号に「ひとつだけに○」を付けていただくものと、「あてはまるものすべてに○」を付けていただくものがありますのでご注意ください。
「その他」にあてはまる場合には()内になるべく具体的に記入してください。
- ◇設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は、次の設問に進んでください。
- ◇ご記入いただいた調査票は**令和元年11月28日(木)**までにご投函ください。
(同封の返信用封筒をお使いください。なお、切手を貼る必要はありません。)

※令和元年10月1日時点で住民登録がある対象者にお送りしておりますので、ご了承ください。
※要介護1～5の認定を受けている方はこの調査の対象ではありませんので、回答は不要です。
お手数ですが、このまま同封の返信用封筒に入れて、ご投函ください。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
連絡先：茅ヶ崎市福祉部高齢福祉介護課 生きがい・創出担当

電話 0467-82-1111 (代表) ファクス 0467-82-1435

記入日	令和元年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。			
1. あて名のご本人が記入			
2. ご家族が記入 (あて名のご本人から見た続柄)			
3. その他			

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。
- 本調査で得られた情報につきましては、茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（以下「高齢者福祉計画等」という。）策定の目的以外には利用いたしません。
- 当該情報については、茅ヶ崎市が適切に管理いたします。
- なお、高齢者福祉計画等策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがありますが、ご回答いただいたご意見は、統計的にとりまとめますので、個別のご意見等がそのまま公表されることはありません。

※令和元年10月1日現在の状況でご記入ください。

あなたについて	
(1) 性別についてお教えてください（ひとつだけに○）	
1. 男性	2. 女性
(2) 年齢についてお教えてください（ひとつだけに○）	
1. 65 歳～69 歳	2. 70 歳～74 歳
3. 75 歳～79 歳	4. 80 歳～84 歳
5. 85 歳～89 歳	6. 90 歳～94 歳
7. 95 歳～99 歳	8. 100 歳以上
(3) 介護度についてお教えてください（ひとつだけに○）	
1. 要支援 1	2. 要支援 2
3. 介護認定は受けていない	
※要介護 1～5 の認定を受けている方はこの調査の対象ではありませんので、回答は不要です。お手数ですが、このまま同封の返信用封筒に入れて、ご投函ください。 ご協力ありがとうございます。	

問1 あなたの家族や生活状況について		
(1) 家族構成をお教えてください (ひとつだけに○)		
1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯	
5. その他		
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (ひとつだけに○)		
1. 介護・介助は必要ない	2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)		
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (ひとつだけに○)		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
問2 からだを動かすことについて		
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (ひとつだけに○)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (ひとつだけに○)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(3) 15分位続けて歩いていますか (ひとつだけに○)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (ひとつだけに○)			
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない	
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (ひとつだけに○)			
1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか (ひとつだけに○)			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2~4回	4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (ひとつだけに○)			
1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない
(8) 外出を控えていますか (ひとつだけに○)			
1. はい	2. いいえ		
【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】			
①外出を控えている理由は、次のどれですか (あてはまるものすべてに○)			
1. 病気	2. 障害 しょうがい (脳卒中の後遺症 こういしょう など)	4. トイレの心配(失禁など)	
3. 足腰などの痛み		6. 目の障害	
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)		8. 経済的に出られない	
7. 外での楽しみがない		10. その他 ()	
9. 交通手段がない			

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (あてはまるものすべてに○)			
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	
4. 自動車 (自分で運転)	5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車	
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす	
10. 電動車いす (カート)	11. 歩行器・シルバーカー		
12. タクシー	13. その他 ()		

問3 食べることにについて	
(1) 身長・体重	身長 cm 体重 kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (ひとつだけに○)	
1. はい	2. いいえ
(3) お茶や汁物等でもせることがありますか (ひとつだけに○)	
1. はい	2. いいえ
(4) 口の渇きが気になりますか (ひとつだけに○)	
1. はい	2. いいえ
(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (ひとつだけに○)	
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (ひとつだけに○)	
1. はい	2. いいえ
(7) どなたかと食事をもににする機会がありますか (ひとつだけに○)	
1. 毎日ある	2. 週に何度かある
3. 月に何度かある	4. 年に何度かある
5. ほとんどない	
問4 毎日の生活について	
(1) 物忘れが多いと感じますか (ひとつだけに○)	
1. はい	2. いいえ
(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (ひとつだけに○)	
1. できるし、している	2. できるだけしていない
3. できない	
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (ひとつだけに○)	
1. できるし、している	2. できるだけしていない
3. できない	
(4) 自分で食事の用意をしていますか (ひとつだけに○)	
1. できるし、している	2. できるだけしていない
3. できない	
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (ひとつだけに○)	
1. できるし、している	2. できるだけしていない
3. できない	
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (ひとつだけに○)	
1. できるし、している	2. できるだけしていない
3. できない	

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①～⑧それぞれに○をつけてください						
	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 転倒予防教室、歌体操教室、脳の健康教室など介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたは <u>その活動に参加者として参加してみたい</u> と思いますか (ひとつだけに○)						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたは <u>その活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたい</u> と思いますか (ひとつだけに○)						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						

問6 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいます	
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(あてはまるものすべてに○)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣 6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(あてはまるものすべてに○)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣 6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(あてはまるものすべてに○)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣 6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(あてはまるものすべてに○)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣 6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない
(5) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか(ひとつだけに○)	
1. 毎日ある	2. 週に何度がある 3. 月に何度がある
4. 年に何度がある	5. ほとんどない

(6) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には何度会っても1人と数えることとします (ひとつだけに○)				
1. 0人 (いない)	2. 1～2人	3. 3～5人		
4. 6～9人	5. 10人以上			
(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (あてはまるものすべてに○)				
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人		
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人			
6. ボランティア等の活動での友人				
7. その他	8. いらない			

問7 健康について										
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (ひとつだけに○)										
1. とてもよい	2. まあよい									
3. あまりよくない	4. よくない									
(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ひとつだけに○をつけてください)										
とても不幸 0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 とても幸せ
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (ひとつだけに○)										
1. はい	2. いいえ									
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (ひとつだけに○)										
1. はい	2. いいえ									

(5) タバコは吸っていますか (ひとつだけに○)		
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない		
(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (あてはまるものすべてに○)		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	13. 血液・免疫の病気
14. うつ病	15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他 ()

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について	
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (ひとつだけに○)	
1. はい	2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (ひとつだけに○)	
1. はい	2. いいえ

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。■■■■

この調査票は、同封の返信用封筒 (切手不要) に入れて、11月28日 (木) までに
ご投函ください。

茅ヶ崎市
第8期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に関する調査
報告書

令和2年3月

編集・発行 茅ヶ崎市福祉部高齢福祉介護課
〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号
電話 0467-82-1111（代表）
